30th anniversary

がん研究支援30年

1995–2024

がん研究支援30年報告と御礼

私たちが主催してきた医療ボランティア活動は「テリーフォックスラン」から「生命の駅伝」へ、タイトルこそ変わったが、その精神と運営は30年間一貫していました。私たちの活動に共感して募金してくださる方々の浄財は、100％がん研究支援に贈与してきました。

30年間の総募金額は54,685,225円、支援研究は124研究になりました。「命」をつなぐこの「駅伝」は松阪市で始まり、第7回から第18回までは近隣の愛知県・岐阜県・大阪府・奈良県・和歌山県へと拡張しました。しかし、三重県以外では定着できませんでした。

第19回以後は三重県内39行政機関・34医療機関・10企業等をロードランで訪問してきました。いずれの機関でも、担当者の温かいご努力で多くの募金を集めていただきました。第30回では11の自治体の首長がラン参加してくださいました。

運営費は、これまた共感してくれる個人・企業、時には支援団体が引き受けてくれました。

第6回以後、「支える会」を結成し、会長 太田正隆先生・副会長 玉置久雄先生に重責を担っていただきました。

ボランティア活動は、社会性あふれるボランティア精神をもって実践する活動ですが、個人の生活・職場との両立で継続が難しい活動でもあります。長い間、運営に携わってこられた諸氏は熱いボランティア精神を発揮してきてくれました。第1回から顧問として支えて下さった田島和雄先生・竹田 寛先生・白石泰三先生・他諸先生方は、アドバイスや膝詰め談義・シンポジュウムの講師などを費用自己負担で支えてくださいました。

事務局サポーターとして今村恵那さん、額賀 崇さん、庄司佳伸さん、山本泰広さん、下和田惠男さん。

街道ランコースを越田 信さん、関 康之さん、梅田育夫さん、川口和志さん、田牧慎也さん、中上 修さんたちが設計してくれました。

ランナーのリーダーとして責任を果たしてくれた三重県庁ランニングクラブの津谷章夫さん、熊野走らん会の九鬼俊明さん・松田弘和さん、NTT伊勢志摩「いい汗会」の北川 明さん・中村陽子さん、伊賀市役所陸上部の上窪英男さん、市民ランナーの中田正弘さん・伊藤文雄さん・平末義之さん、義足のランナー前田良伸さん、がん体験ランナーの小林育夫さん他多くのランナーの方々。

サポーターとして伴に活動してくれた上村幸生さん・西井静男さん玉枝さん・土口昌光さん・伊藤忠夫さん・北出恭子さん・森川道雄さん・松島正也さん、他多くの諸氏の努力でこの活動が継続できましたことをここにご報告いたします。

重ねて、私たちの活動が継続できたもう１つの要因は、三重大学医学部の研究者たちの協力・・・研究支援応募 → 選考会（受賞者決定）→ 奨励賞授与式 → 1年後に研究成果発表・・・があったからこそ寄付金の使途が明確化できました。

日本では1981年以後40年余、がんは死亡原因の1位です。しかし、がん治療後の生存率が確実に増加しています。予防啓発・早期発見・治療の進歩の成果だと思います。

今後も、医療関係者でない私たち市民が、人類の敵である病とどうやって闘っていくか模索し、実践していきたいと思います。

報告者　上村眞由

がん研究支援の歴史

	表題・開催日・ロードラン開催地	主催・実行委員長	運営費支援	募金額・寄付先・その他
第1回	The Terry Fox Run in 松阪 1995年11月19日	主催：松阪国際クラブ 会長 ：上村 眞由 委員長：Benjamin Williams	支える会 会長：志田 幸雄	1,120,471円 Terry Fox 財団 愛知県がんセンター 【その他】 ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・RUN / WALK ・ステージ
第2回	The Terry Fox Run in 松阪 1996年11月9日・10日	主催：松阪国際クラブ 会長：上村 眞由 委員長：石田 さなえ	日本財団	885,406円 Terry Fox 財団 愛知県がんセンター 【その他】 ＜シンポジューム＞ 会場：松阪産業振興センター ・パネルディスカッション ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・RUN / WALK ・ステージ
第3回	The Terry Fox Run in みえ 1997年5月10日・11日	主催：松阪国際クラブ 会長：上村 眞由 委員長：Bill Lafferty	支える会 会長：志田 幸雄	638,004円 Terry Fox 財団 愛知県がんセンター 【その他】 ＜シンポジューム＞ 会場：松阪伊勢信用金庫 5F ・パネルディスカッション 講演：田島 和雄（愛知県がんセンター） ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・RUN / WALK ・ステージ
第4回	The Terry Fox Run in みえ 1998年5月9日・10日	主催：実行委員会 会長：上村 眞由 委員長：Tom M. Backman	支える会 会長：村田 耕一	581,623円 Terry Fox 財団 愛知県がんセンター 【その他】 ＜シンポジューム＞ 会場：松阪伊勢信用金庫 5F ・パネルディスカッション 講演：田中 宏暁（福岡大学） ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・RUN / WALK ・ステージ
第5回	The Terry Fox Run in みえ 1999年5月9日	主催：実行委員会 会長：上村 眞由 委員長：Angela S.Lytle	支える会 会長：村田 耕一	643,710円 Terry Fox 財団 愛知県がんセンター 【その他】 ＜シンポジューム＞ 会場：中部台体育館 講演：徳留 信寛（名古屋市立大学） ・ディスカッション ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・RUN / WALK ・ステージ
第6回	The Terry Fox Run in みえ 2000年5月11日～14日 桑名市→松阪市　上野市→松阪市 紀宝町→松阪市　志摩市→松阪市	主催：実行委員会 会長：上村 眞由 委員長：楠谷 さゆり	支える会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	1,149,064円 Terry Fox 財団 愛知県がんセンター 【その他】 ＜シンポジューム＞ 会場：中部台体育館 ・パネルディスカッション ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・RUN / WALK ・ステージ
第7回	The Terry Fox Run 2001年5月8日～13日 名古屋市→松阪市 新宮市→松阪市	主催：実行委員会 委員長：上村 眞由	支える会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	2,052,852円 Terry Fox 財団 愛知県がんセンター 【その他】 ＜シンポジューム＞ 会場：愛知県がんセンター 講演：田邉 譲（金城大学）、 徳留 信寛（名古屋市立大学） 会場：松阪大学 講演：田島 和雄（愛知県がんセンター） ・パネルディスカッション ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・RUN / WALK ・ステージ
第8回	The Terry Fox Run 2002年5月8日～12日 岐阜市→桑名市 名古屋市→桑名市→松阪市 那智勝浦町→松阪市 伊勢市→松阪市	主催：実行委員会 委員長：上村 眞由	支える会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	2,081,511円 Terry Fox 財団 愛知県がんセンター 【その他】 ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・ステージ ・RUN / WALK

	表題・開催日・ロードラン開催地	主催・実行委員長	運営費支援	募金額・寄付先・その他
第 9 回	The Terry Fox Run 2003 年 5 月 18 日～25 日 岐阜市→桑名市 那智勝浦町→松阪市 名古屋市→松阪市	主催：実行委員会 委員長：上村 眞由	支える会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	1,316,205 円 Terry Fox 財団 愛知県がんセンター 【その他】 ＜シンポジューム＞ 会場：三重信用金庫 講演：田島 和雄（愛知県がんセンター） ・パネルディスカッション ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・RUN / WALK ・ステージ
第 10 回	The Terry Fox Run Nippon 2004 2004 年 5 月 14 日～23 日 名古屋市→松阪市 那智勝浦町→松阪市	主催：実行委員会 委員長：上村 眞由	支える会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	1,520,539 円 Terry Fox 財団 愛知県がんセンター 【その他】 ＜記念式典＞ 会場：松阪コミュニティー文化センター ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・RUN / WALK 熊野古道世界遺産直前
第 11 回	The Terry Fox Run Nippon 2005 2005 年 5 月 20 日～22 日 名古屋市→松阪市 那智勝浦町→松阪市	主催：実行委員会 委員長：上村 眞由	支える会 MIEF 国際課推進事業助成金	840,901 円 Terry Fox 財団 愛知県がんセンター 【その他】 ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・ファイナル RUN / WALK ・ランチコーナー（うきさとむら）
第 12 回	The Terry Fox Run Nippon 2006 2006 年 5 月 11 日～21 日 名古屋市→桑名市→松阪市 那智勝浦町→熊野市→松阪市 大阪市→柏原→橿原市→東吉野町→松阪市 (三重、愛知、和歌山、大阪、奈良)	主催：実行委員会 委員長：上村 眞由	支える会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	1,234,646 円 Terry Fox 財団 愛知県がんセンター 【その他】 ＜イベント＞ 会場：農業公園ベルファーム ・ファイナル RUN / WALK ・ステージ ・交流会
第 13 回	The Terry Fox Run Nippon 2007 2007 年 5 月 12 日～20 日 大阪コース（万博公園→大阪城） 愛知コース（名城公園） 参宮みち（桑名市→松阪市） 熊野みち（那智大社→松阪市） 奈良みち（県庁→県立医科大学） 伊勢みち（飯高町波瀬→農業公園ベルファーム）	主催：実行委員会 委員長：上村 眞由	支える会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	1,426,776 円 Terry Fox 財団 愛知県がんセンター NPO 法人チャイルド・ケモ・ハウス 奈良県立医科大学 【その他】 ＜イベント＞ 会場：農業公園ベルファーム ・RUN / WALK
第 14 回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2008 年 5 月 23 日～25 日 大阪市→奈良市→天理市→桜井市→松阪市→多気町 名古屋市→桑名市→津市→多気町 新宮市→紀北町→南伊勢町→志摩市→鳥羽市→伊勢市→玉城町→多気町	主催：実行委員会 委員長：上村 眞由	EKIDEN for LIFE の会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	744,205 円 愛知県がんセンター 国立大学法人三重大学 大阪府成人病センター 支援研究 3 【その他】 ＜イベント＞ 会場：多気町天啓公園 ・ファイナル RUN / WALK ・ステージ タイトル名を「Terry Fox Run」から「生命（いのち）の駅伝」に変えました。
第 15 回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2009 年 5 月 16 日～24 日 大阪城公園　名古屋城公園 桑名市→多気町　飯高町→多気町 新宮市→南伊勢町→志摩市→伊勢市→多気町	主催：実行委員会 委員長：上村 眞由	EKIDEN for LIFE の会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	1,058,791 円 愛知県がんセンター 国立大学法人三重大学 大阪成人病センター 支援研究 5 【その他】 ＜イベント＞ 会場：多気町天啓公園 ・RUN / WALK
第 16 回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2010 年 5 月 15 日～23 日 大阪城公園 名古屋城公園 桑名市→松阪市 新宮市→松阪市 伊勢市→松阪市 飯高町→農業公園ベルファーム	主催：実行委員会 共催：三重大学 委員長：上村 眞由	EKIDEN for LIFE の会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	994,896 円 愛知県がんセンター 国立大学法人三重大学 大阪成人病センター 支援研究 5 【その他】 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師：堀 夏樹（NTT 東日本関東病院） 田島 和雄（愛知県がんセンター） 挨拶　中川正春文部大臣

	表題・開催日・ロードラン開催地	主催・実行委員長	運営費支援	募金額・寄付先・その他
第 17 回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2011 年 5 月 14 日～22 日 大阪城公園　名古屋城公園 桑名市→松阪市　新宮市→松阪市 伊勢市→松阪市 飯高町→中部台運動公園	主催：実行委員会 共催：三重大学 大阪対がん協会 委員長：上村 眞由	EKIDEN for LIFE の会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	887,523 円 愛知県がんセンター 国立大学法人三重大学 大阪成人病センター 支援研究 5 【その他】 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師：高村 光幸（三重大学） 西田 愼二（日赤和歌山医療センター）
第 18 回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2012 年 5 月 12 日～20 日 大阪城公園 あいち健康の森公園 桑名市→松阪市　新宮市→松阪市 伊勢市→松阪市 飯高町→中部台運動公園	主催：実行委員会 共催　：三重大学 三重県 委員長：上村 眞由	EKIDEN for LIFE の会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	1,564,585 円 愛知県がんセンター 国立大学法人三重大学 大阪成人病センター 支援研究 7 【その他】 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師：田島 和雄（愛知県がんセンター） 松原 貴子（三重大学）
第 19 回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2013 年 5 月 17 日～26 日 桑名市→松阪市　新宮市→松阪市 伊勢市→松阪市 飯高町→中部台運動公園 伊賀上野市→名張市 （総走行距離 327 ㎞）	主催：実行委員会 共催：三重大学 三重県 委員長：上村 眞由	EKIDEN for LIFE の会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	1,919,206 円 国立大学法人三重大学 支援研究 5 【その他】 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師：野本 由人（三重大学） 珠玖 洋（三重大学）
第 20 回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2014 年 5 月 16 日～25 日 桑名市→松阪市　伊勢市→松阪市 新宮市→松阪市（熊野古道） 飯高町→中部台運動公園 （総走行距離 335 ㎞）	主催：実行委員会 共催　：三重大学 三重県 委員長：上村 眞由	EKIDEN for LIFE の会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	1,943,506 円 和歌山県立医科大学 国立大学法人三重大学 支援研究 6 【その他】 サイクル　熊野市→南伊勢町→志摩市→松阪市 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師：佐々木 孝治（三重県健康福祉部） 坂口 力（元厚生労働大臣） 中瀬 一則（三重大学） 上村 眞由（生命の駅伝） 会場：名張市立病院 講師：山村 剛司（名張市立病院） 白石 泰三（三重大学） 会場：尾鷲市立中央公民館 講師：田島 和雄（愛知県がんセンター） 加藤 弘幸（尾鷲総合病院） 会場：桑名シティホテル 講師：竹田 寛（桑名市総合医療センター） 白石 泰三（三重大学） 会場：伊勢赤十字病院 講師：川口 真矢（伊勢赤十字病院） 田島 和雄（愛知県がんセンター）
第 21 回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2015 年 5 月 15 日～24 日 桑名市→松阪市　志摩市→松阪市 新宮市→松阪市　伊賀市→名張市 飯高町→中部台運動公園 （総走行距離 378 ㎞）	主催：実行委員会 共催　：三重大学 三重県 委員長：上村 眞由	EKIDEN for LIFE の会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄	2,116,145 円 和歌山県立医科大学 国立大学法人三重大学 支援研究 6 【その他】 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師：山門 享一郎（兵庫医科大学） 影山 愼一（三重大学） ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・RUN / WALK ・ステージ ＜膝づめ談議＞ 1 月 三木里町、三木浦町、九鬼町 馬越町（尾鷲市） 3 月 志摩市サンライフ 11 月 尾鷲市立中央公民館

	表題・開催日・ロードラン開催地	主催・実行委員長	運営費支援	募金額・寄付先・その他
第22回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2016年6月8日～19日 桑名市→松阪市　志摩市→松阪市 新宮市→松阪市　名張市→鈴鹿市 飯高町→中部台運動公園 （総走行距離391㎞）	主催：実行委員会 共催：三重大学 　　　三重県 委員長：上村　眞由	EKIDEN for LIFE の会 会長：太田　正隆 副会長：玉置　久雄	2,353,697円 和歌山県立医科大学 国立大学法人三重大学 支援研究 6 【その他】 ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・ファイナルイベント ・RUN / WALK ・ステージ ・テント SHOP
第23回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2017年5月14日～28日 桑名市→亀山市→鈴鹿市 志摩市→鳥羽市→伊勢市→松阪市 新宮市→大台町→松阪市 伊賀市→名張市→津市久居 飯高町→中部台運動公園 （総走行距離416㎞）	主催：実行委員会 共催：三重大学 　　　三重県 委員長：上村　眞由	EKIDEN for LIFE の会 会長：太田　正隆 副会長：玉置　久雄	2,137,801円 和歌山県立医科大学 国立大学法人三重大学 支援研究 5 【その他】 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師：前島　伸一郎（藤田保健衛生大学） 　　　三木　誓雄 　　　（伊賀市立上野総合市民病院） ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・RUN / WALK ・ステージ ・テント SHOP
第24回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2018年5月13日～27日 菰野町→桑名市→亀山市 鈴鹿市→津市→松阪市 志摩市→鳥羽市→伊勢市→松阪市 新宮市→尾鷲市→大紀町→松阪市 名張市→伊賀市 飯高町→中部台運動公園 （総走行距離408㎞）	主催：実行委員会 共催：三重大学 委員長：上村　眞由	EKIDEN for LIFE の会 会長：太田　正隆 副会長：玉置　久雄	2,529,067円 和歌山県立医科大学 国立大学法人三重大学 支援研究 5 【その他】 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師：中谷　中（三重大学） ＜イベント＞ 会場：中部台運動公園 ・ファイナルイベント ・RUN / WALK ・ステージ ・テント SHOP ・うんどうかい ＜膝づめ談議＞ 2月　島勝浦（紀北町）
第25回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2019年5月12日～6月1日 菰野町→桑名市→鈴鹿市→津市→松阪市 串本町→新宮市→尾鷲市→松阪市 度会町→南伊勢町→志摩市→伊勢市→松阪市 飯高町→中部台運動公園 （総走行距離　約460㎞）	主催：実行委員会 共催：三重大学 委員長：上村　眞由	EKIDEN for LIFE の会 会長：太田　正隆 副会長：玉置　久雄 ＜協賛団体＞ 三重厚生連 万協製薬株式会社	3,075,702円 和歌山県立医科大学 国立大学法人三重大学 支援研究 6 【その他】 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師　堀口　美穂（三重大学病院） 会場：尾鷲市立中央公民館 講師：野本　由人（三重大学） 　　　加藤　弘幸（尾鷲総合病院） ＜膝づめ談議＞ ・いなべ市 ・東員町 三重県29市町訪問 協賛団体 2
第26回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2020年11月14日～29日 員弁市→桑名市→四日市市 菰野町→四日市市　鈴鹿市→亀山市 津市→松阪市　名張市→伊賀市 紀宝町→松阪市　志摩市→松阪市 南伊勢町→松阪市　飯高町→中部台運動公園 （総走行距離　約430㎞）	主催：実行委員会 共催：三重大学 委員長：上村　眞由	EKIDEN for LIFE の会 会長：太田　正隆 副会長：玉置　久雄 ＜協賛団体＞ 連合三重 井村屋グループ 辻製油株式会社 三重厚生連 万協製薬株式会社 瀬古食品有限会社	3,429,103円 国立大学法人三重大学 支援研究 4 【その他】 コロナ禍で11月に実施 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師：垣添　忠生（日本対がん協会） ＜膝づめ談議＞ 　1月　新鹿町（熊野市） 　　　　有馬町（熊野市） ＜イベント＞ 会場：三重大学 ・RUN / WALK 協賛団体 7

	表題・開催日・ロードラン開催地	主催・実行委員長	運営費支援	募金額・寄付先・その他
第27回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2021年5月22日～6月6日 津市→松阪市　紀宝町→松阪市 度会町→志摩市→鳥羽市→伊勢市 →松阪市 飯高町→中部台運動公園 （総走行距離　約290㎞）	主催：実行委員会 共催：三重大学 委員長：上村 眞由	EKIDEN for LIFEの会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄 ＜協賛団体＞ 井村屋グループ 辻製油株式会社 三重厚生連 万協製薬株式会社 丸亀産業株式会社 竹輝銅庵 三重県病院協会	3,072,675円 国立大学法人三重大学 支援研究 5 【その他】 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師：伊佐地 秀司（三重大学） コロナ対策実施RUN 新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の適用で北勢地区・伊賀地区12市町で中止。 協賛団体 8
第28回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2022年5月15日～29日 員弁市→木曽岬町→桑名市→菰野町→四日市市　鈴鹿市→亀山市 紀宝町→松阪市　伊賀市→名張市 度会町→志摩市→鳥羽市→伊勢市 →松阪市 飯高町→中部台運動公園 （総走行距離　約410㎞）	主催：実行委員会 共催：三重大学 委員長：上村 眞由	EKIDEN for LIFEの会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄 ＜協賛団体＞ 連合三重 井村屋グループ 辻製油株式会社 三重厚生連 万協製薬株式会社 丸亀産業株式会社 竹輝銅庵 三重県病院協会	3,341,543円 国立大学法人三重大学 支援研究 5 【その他】 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師：奥川 喜永（三重大学） コロナ対策実施RUN 協賛団体 8
第29回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2023年5月15日～30日 菰野町→員弁市→木曽岬町→桑名市→四日市市　鈴鹿市→亀山市 名張市→伊賀市 度会町→志摩市　紀宝町→松阪市 伊勢市→松阪市 飯高町→中部台運動公園 （総走行距離　約402㎞）	主催：実行委員会 共催：三重大学 委員長：上村 眞由	EKIDEN for LIFEの会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄 ＜協賛団体＞ 井村屋グループ 辻製油株式会社 三重厚生連 万協製薬株式会社 丸亀産業株式会社 三重県病院協会	3,646,576円 国立大学法人三重大学 支援研究 7 【その他】 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師：豊増 泰（三重大学） ＜膝づめ談議＞ 1月　木曽岬町 2月　朝日町 7月　川越町 協賛団体 6
第30回	EKIDEN for LIFE （生命の駅伝） 2024年5月11日～6月1日 菰野町→員弁市→木曽岬町→桑名市→四日市市　鈴鹿市→亀山市 伊賀市→名張市 度会町→志摩市→鳥羽市→伊勢市 →松阪市 新宮市→紀宝町→熊野市→松阪市 飯高町→中部台運動公園 （総走行距離　約413㎞）	主催：実行委員会 共催：三重大学 委員長：上村 眞由	EKIDEN for LIFEの会 会長：太田 正隆 副会長：玉置 久雄 ＜協賛団体＞ 井村屋グループ 辻製油株式会社 三重厚生連 万協製薬株式会社 丸亀産業株式会社 三重交通株式会社 三重県病院協会	4,378,496円 国立大学法人三重大学 支援研究 5 【その他】 ＜市民公開講座＞ 会場：三重大学 講師：金　哲彦（プロランニングコーチ） ＜膝づめ談議＞ 1月　菰野町 4月　熊野市　御浜町 4月　大台町　松阪市飯南町 協賛団体 9
合計				54,685,225円

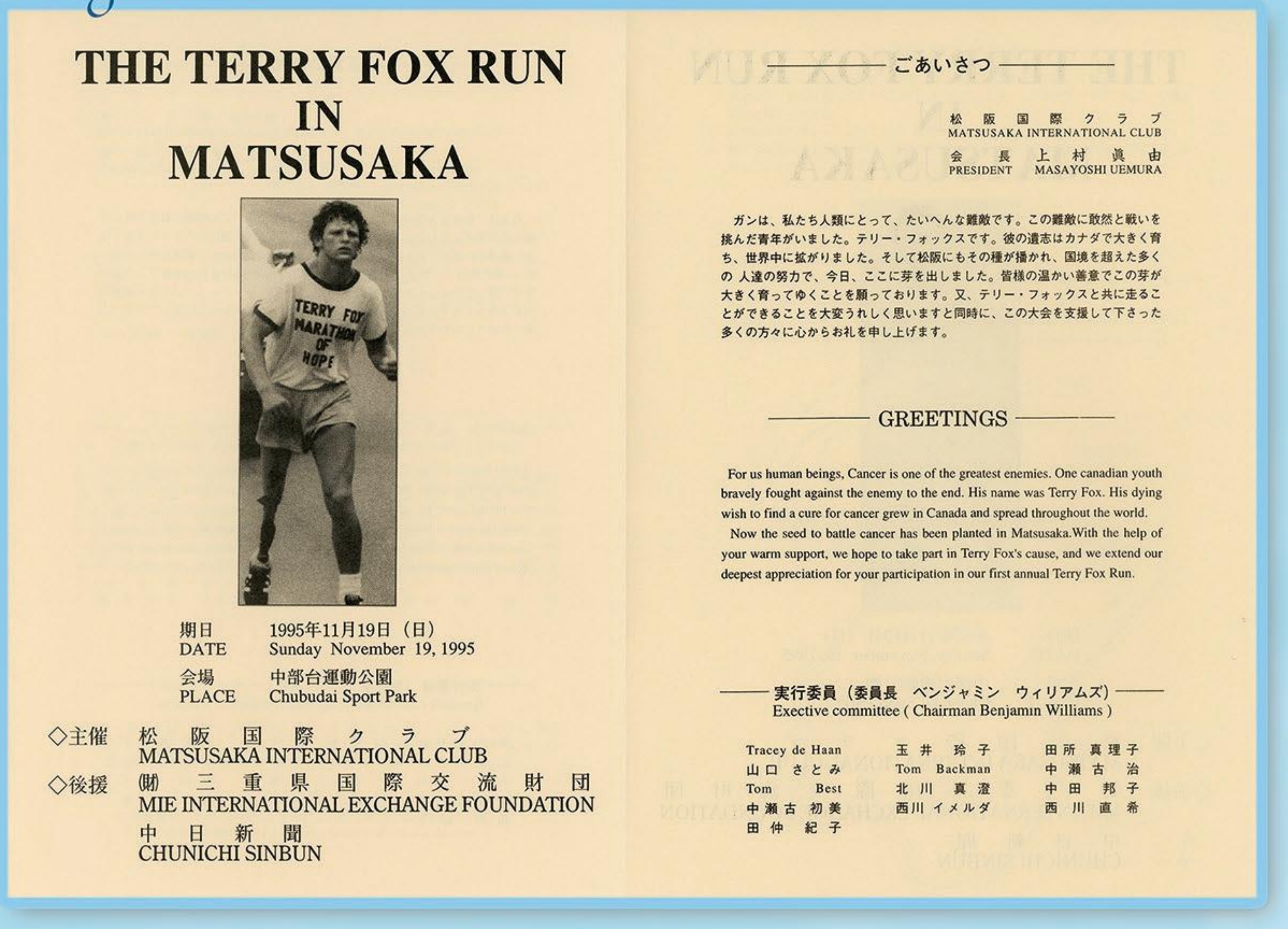
総募金額　￥54,685,225

総支援研究　124研究

01 The Terry Fox Run

1995

Program



THE TERRY FOX RUN
IN
MATSUSAKA

期日 1995年11月19日（日）
DATE Sunday November 19, 1995

会場 中部台運動公園
PLACE Chubudai Sport Park

◇主催 松阪国際クラブ
MATSUSAKA INTERNATIONAL CLUB
◇後援 ㈶三重県国際交流財団
MIE INTERNATIONAL EXCHANGE FOUNDATION
中日新聞
CHUNICHI SINBUN

ごあいさつ

松阪国際クラブ
MATSUSAKA INTERNATIONAL CLUB
会長 上村眞由
PRESIDENT MASAYOSHI UEMURA

ガンは、私たち人類にとって、たいへんな難敵です。この難敵に敢然と戦いを挑んだ青年がいました。テリー・フォックスです。彼の遺志はカナダで大きく育ち、世界中に拡がりました。そして松阪にもその種が播かれ、国境を超えた多くの人達の努力で、今日、ここに芽を出しました。皆様の温かい善意でこの芽が大きく育ってゆくことを願っております。又、テリー・フォックスと共に走ることができることを大変うれしく思いますと同時に、この大会を支援して下さった多くの方々に心からお礼を申し上げます。

GREETINGS

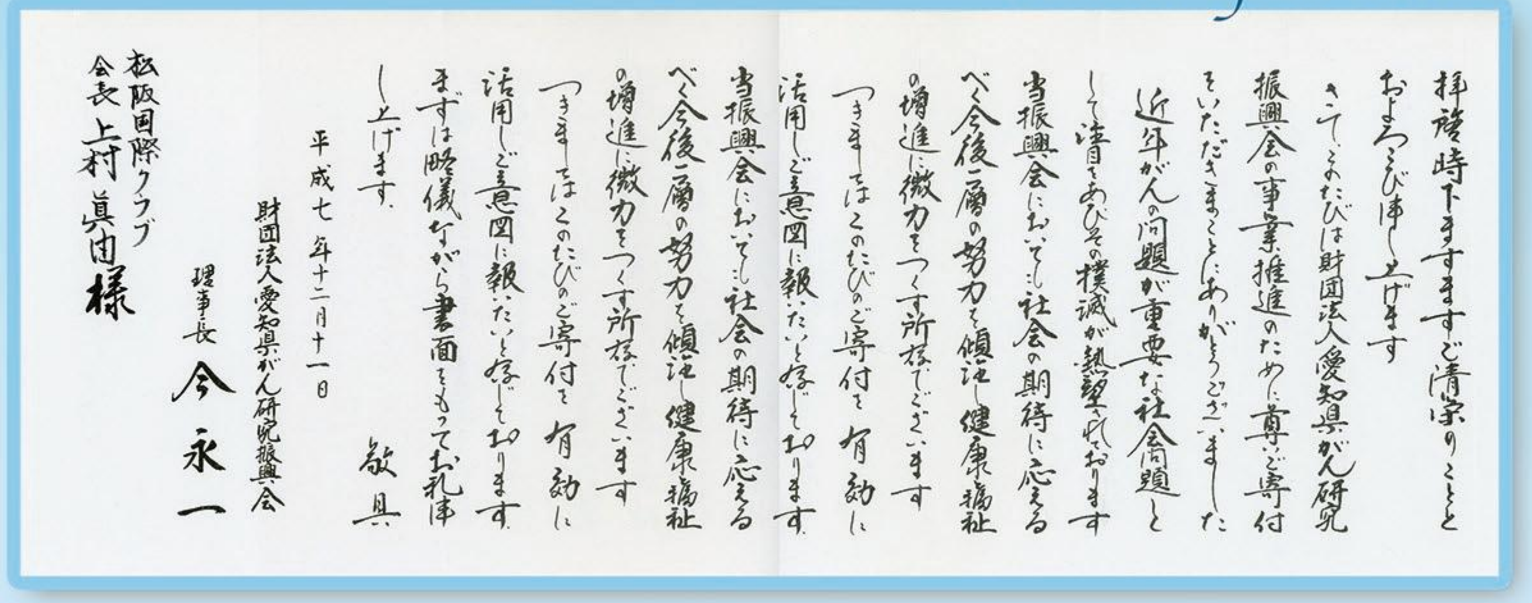
For us human beings, Cancer is one of the greatest enemies. One canadian youth bravely fought against the enemy to the end. His name was Terry Fox. His dying wish to find a cure for cancer grew in Canada and spread throughout the world.

Now the seed to battle cancer has been planted in Matsusaka.With the help of your warm support, we hope to take part in Terry Fox's cause, and we extend our deepest appreciation for your participation in our first annual Terry Fox Run.

実行委員（委員長 ベンジャミン ウィリアムズ）
Exective committee (Chairman Benjamın Williams)

Tracey de Haan	玉井玲子	田所真理子
山口さとみ	Tom Backman	中瀬古治
Tom Best	北川真澄	中田邦子
中瀬古初美	西川イメルダ	西川直希
田仲紀子		

Thank you letter



拝啓 時下ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます
さて このたびは財団法人愛知県がん研究振興会の事業推進のために尊いご寄付をいただきまことにありがとうございました
近年がんの問題が重要な社会問題として注目をあびその撲滅が熱望されております
当振興会におきましては社会の期待に応えるべく今後一層の努力を傾注し健康福祉の増進に微力をつくす所存でございます
つきましてはこのたびのご寄付を有効に活用しご意図に報いたいと存じております
当振興会におきましては社会の期待に応えるべく今後一層の努力を傾注し健康福祉の増進に微力をつくす所存でございます
つきましてはこのたびのご寄付を有効に活用しご意図に報いたいと存じております
まずは略儀ながら書面をもってお礼申し上げます
敬具

平成七年十二月十一日
財団法人愛知県がん研究振興会
理事長 今永一

松阪国際クラブ
会長 上村眞由様

Newspaper article

夕刊三重 1995年10月6日

テリー・フォックス・ラン

外国人と日本人が連携し実現

松阪国際クのトムさん提案

加の青年の遺志たたえ

東京に次ぎ 松阪で来月開催

がんと闘病の末、右足を切断。がん研究資金ねん出のため義足でカナダ横断マラソンに挑戦、二十二歳で死去したカナダ人のテリー・フォックスさんの遺志をたたえよう―。松阪国際クラブ（略称・MIC、上村真由会長、約五十人）は、全国では東京に次ぐ二番目となる「テリー・フォックス ラン IN まつさか」を、十一月十九日に松阪市立野町の中部台運動公園で開催する。大会は、[illegible]から十[illegible]のコースを参加者が歩いたり走ったりするものだが、日本人と外国人が〝二人三脚〟で大会を企画、実行するという意義あるイベントに仕上がったのに加え、県下初の大会開催が今後の国際交流を図る上でも試金石になる。

MICは、国際化に対応した地域社会の在り方を交流を通じて探り、「思考は国際的視点より、行動は身近な足元から」をスローガンに活動。同市内のさまざまな職種の人や市内在住の外国人、英語圏の国からの派遣教師などとともに一九八八年に結成。外国人講師ら約二十人と市民を母体とする組織で、県高校スピーチコンテストをはじめ、語学研修のためアメリカへ高校生を派遣したり、講演会、パーティー、ハイキング、料理教室などを開催し国際化社会に向けて取り組んできた。

今回は、MIC実行委員を務める同市中央町の英会話講師、カナダ人のトム・ベストさん（四〇）が今春、テリー・フォックス・ランを提案し、津市大谷町の外国語指導助手、アメリカ人のベンジャミン・ウィリアムズさん（三[illegible]）を実行委員長に日本人と外国人会員らが企画に全力を注いだ。

MICでは松阪での大会に向け、カナダからテリー・フォックスさんに関する資料ビデオなどを取り寄せて勉強するとともに、資料を日本語に訳して広く県下の人々に紹介。外国人を対象には英字の情報誌などを通して理解や協力を求めている。

上村会長は、「東京以外では初めての開催です。テリー・フォックスの趣旨、がん研究基金を募るという〝ゴール〟に向かって日本人も外国人も一つになって楽しんで参加してもらいたい」と呼び掛けている。

参加費として寄せられた寄付金は全額、カナダに本部を置くテリー・フォックス基金と国内のがん研究資金として役立てられる。

大会当日は、午前十時から同時四十分まで受け付けとウォーミングアップ、同時四十五分から開会式があり、同十一時にスタート。公園内の一[illegible]、六[illegible]、十二[illegible]、四[illegible]のコースを各参加者が自由に歩いたり、走ったりする。午後零時半から昼食、同一時から日本人や外国人で構成する四バンドがミニコンサートを開催、同三時半ごろ終了する。雨天決行。

対象は年齢や性別、居住地、国籍などは自由、誰でも参加できる。参加費は一人千円以上で、四千円以上寄付をするとテリー・フォックスの走る姿がカラフルにプリントされた記念Tシャツが贈呈される。

希望者は、参加申込書に名前と住所、電話番号、勤務先または学校名、参加距離数などを記入、家族や友人など身近な人の寄付金なども募った場合は連名し、十一月十八日必着で、上村真由会長宅まで持参するか郵送、FAXで申し込む。また、参加費（寄付金）は、百五銀行・松阪支店（店番号601）普通貯金口座番号695898 口座名MICテリー・フォックスラン基金に十一月十七日必着で振り込む。振込領収書は当日、提示すること。当日の参加も受け付ける。

詳しい問い合わせは上村会長

がんで足を切断しても走り続けたテリー・フォックス

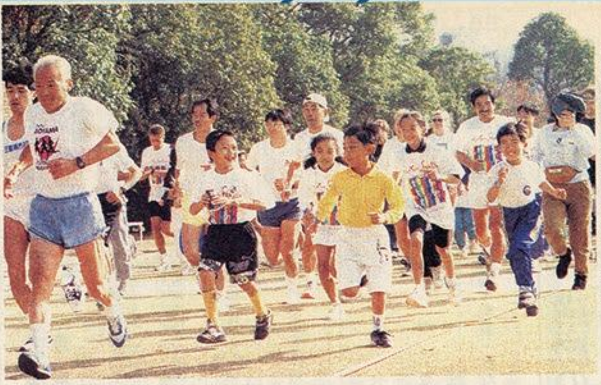
右足切断、22歳で死去

〈テリー・フォックス〉一九七七年、右足ががんに侵されていると告知され、ひざ上十五㌢から切断。がんで苦しむ多くの人を目の当たりにし、がん研究の重要性を認識、寄付金を集めるためにカナダを走って横断することを決めた。一九八〇年末から百四十三日間、毎日約四十[illegible]走り続けた。が、ゴールを目前にした一九八一年六月に死亡。目標としたがん研究寄付金（約二千四百万円）は集まり、今日に至るまで、「テリーフォックス」の名の元に世界各国でがん研究基金を募る大会が催されている。

がん研究の基金募る

テリー・フォックスの記念Tシャツを着るトムさん＝鎌田町

中日新聞【三重版】1995年11月20日



テリーの遺志を継いでラン、ウオークに挑む参加者ら＝松阪市の中部台運動公園で

がん研究支援 200人が〝快汗〟

松阪でテリー・フォックス・ラン

家族連れらの善意続々

会場だけで65万円も

参加者の善意をがん研究に役立てる「テリー・フォックス ラン IN まつさか」（松阪国際クラブ主催、県国際交流財団、中日新聞本社後援）が十九日、松阪市立野町の中部台運動公園で開かれた。

県内をはじめ愛知、岐阜県などから家族連れを中心に、多数の外国人を含む約二百人が参加。上村真由国際クラブ会長らが「みんなの善意で大会を開催できました」「楽しく走りましょう」とあいさつした。

この後、一㌔、四㌔などのコースに分かれて、公園内を自由に走ったり、歩いたり。

四㌔のウオークに挑戦した最高齢の浜瀬芳子さん（八六）＝松阪市西林＝は「クラブのメンバーに誘われまして。園内の紅葉をめでながら気持ちよい汗を流せました」とにっこり。

松阪大学などで英会話を教え、子供たちと六人で参加したケリー・スミスさん（二見町）は「イベントの意義を子供たちに事前に話しており、いい体験になったと思います。来年もきたい」と話していた。

参加者はこの後、各国バンドのミニコンサートも楽しんだ。会場ではボランティアの人たちも大勢出て、給水奉仕やおかゆの無料サービスなどをした。

この催しは、がんに侵されたカナダの青年テリー・フォックスが、がん研究基金を募るため、走ってカナダ横断を計画。テリーはゴール前に死亡したが、遺志を継いだランが、世界各国に広がっている。

この日は、参加できなかった人も多くの善意を参加者に託しており、善意は会場だけで六十五万円も。後日、銀行振り込みの善意と合わせ全額が愛知県がん研究振興会とテリー・フォックス財団に寄付される。

Photograph

11 19 '95

02 The Terry Fox Run

Program

THE SECOND ANNUAL
TERRY FOX RUN / WALK
In Matsusaka, Mie Prefecture

期日　1996年11月10日（日）
DATE　Sunday, November 10, 1996
会場　中部台運動公園
PLACE　Chubudai Sport Park

◇主催　松阪国際クラブ
MATSUSAKA INTERNATIONAL CLUB
◇協賛　日本財団
JAPAN FOUNDATION

◇後援　㈶三重県国際交流財団
MIE INTERNATIONAL EXCHANGE FOUNDATION
松阪地区歯科医師会
MATSUSAKA DENTAL ASSOCIATION
鈴鹿国際交流財団
SUZUKA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION
松阪国際交流協会
MATSUSAKA INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION

ごあいさつ

松阪国際クラブ
MATSUSAKA INTERNATIONAL CLUB
会長　上村眞由
PRESIDENT　MASAYOSHI UEMURA

ガンは、私たち人類にとって、たいへんな難敵です。この難敵に敢然と戦いを挑んだ青年がいました。テリー・フォックスです。彼の遺志はカナダで大きく育ち、世界中に拡がりました。そして昨年、松阪にもその種が播かれ、国境を超えた多くの 人達の努力で、育ちはじめました。皆様の温かい善意でこの芽が大きく育ってゆくことを願っております。また、今日、ボランティア精神に満ちた皆様と共に走ることができることを大変うれしく思いますと同時に、この大会を支援して下さった多くの方々に心からお礼を申し上げます。

GREETINGS

For us human beings, cancer is one of the greatest enemies. One Canadian youth bravely fought against the enemy to the end. His name was Terry Fox. His dying wish to find a cure for cancer grew in Canada and spread throughout the world. Last year, the seed to battle cancer was planted in Matsusaka. Thanks to your warm support and the numerous volunteers,we are able to continue nurturing this sprouting bud of hope. We extend our deepest appreciation for your participation in our second annual Terry Fox Run / Walk.

実行委員会
Executive Committee

実行委員長　石田さなえ
(Executive Directer　Sanae Ishida)
副実行委員長　田所真理子
(Associate Directer　Mariko Tadokoro)

山口さとみ
西川イメルダ
Nick Maher
田仲紀子
海住恒幸
Tom Backman
北川真澄
宮村英史
井上まゆみ
西川直希
中田邦子
中川紀文
Michael Maher

プログラム
Program

10:00〜	受付 Registration	
10:45〜11:00	開会式、ウォーミングアップ Opening Ceremony, Warm-up	
11:00〜	スタート Start	
12:00〜	昼食 Lunch	・やきそば（250円） Yakisoba（¥250） ・たきこみごはん（250円） Japanese pilaf（¥250） ・スップリ（200円） Italian rice croquet（¥200） ・パン Assorted breads
	飲み物 Drinks	・コーヒー（100円） Coffee（¥100） ・ジュース（50円） Juice（¥50） ・ビール（300円） Beer（¥300）
		※レストラン「山ばと」にも多くのメニューがあります Lunch is also available at Yamabato restaurant
	ミニコンサート Mini Concert	①Jelly Jerry（日本 Japan） ②Meoto Taiko（日本 Japan） ③Lilibeth（アメリカ AMERICA） ④Naoki's Band（フィリピン Philippines & 日本Japan） ⑤Miyama Show（日本 Japan）
15:20〜15:30	閉会式 Closing Ceremony	

テリーフォックスラン IN 松阪を支える会
Terry Fox Run in Matsusaka Sponsors

会長　村田耕一
President　Kouichi Murata

ながい歯科医院
青木開発㈱
つぼみ保育学園
村田歯科クリニック
㈱日本屋
はしもと歯科医院
阪口歯科医院
くろい歯科クリニック
㈲藤工業
アポロ印刷㈱
おおたクリニック
藤村歯科医院
黒部歯科医院
じぬし矯正歯科クリニック
富士土地
ミヤトウ
麒麟塾

協力
Support and Contributors

ヤマモリ株式会社
加古パン教室
松阪高校
中部台公園
三重東洋珈琲㈱
ドミニク・ドゥーセの店
松阪商業高校
うきさとむら
辰巳加代子
三重高校

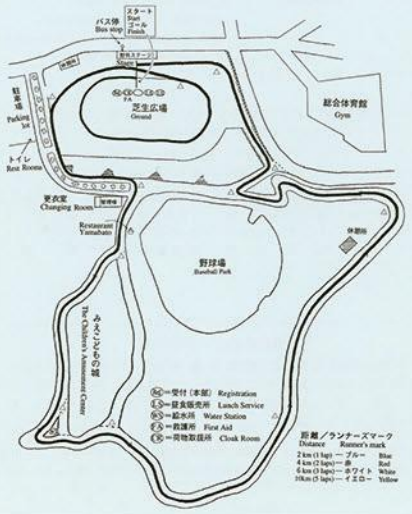
※松阪駅への無料シャトルバスは3：30PMに中部台公園バス停（ステージ裏）から出発します
The last free shuttle bus to Matsusaka station will depart from Chubudai Park (behind the stage) at 3:30 PM

大会参加上の注意

1、最近マラソンにおいて参加者の体調、体力過信による事故が多発しています。参加者は、自己の責任において健康状態には十分注意し、体調がすぐれない時は、出場を取り止めてください。
2、走る前は必ずウォーミングアップ、柔軟体操等を十分に行ってください。
3、競技中事故が発生した場合、応急処置は行いますが、その後の責任は当大会主催者では、責任を負いかねますので十分に注意してください。

Running Tips

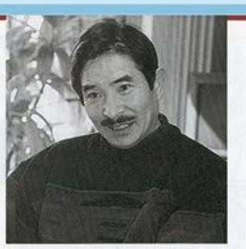
Enjoy, have fun, and remember ——it's all for charity
1、Remember to stretch out and warm up prior to running.
2、Do not overestimate your own physical stamina. If you feel pain, nausea, or dizziness ——— STOP RUNNING
3、In case of accident, emergency teams are on alert. MATSUSAKA INTERNATIONAL CLUB accepts no responsibility for such accidents or injunes incurred during the run.



Article

おもしろ人間登場 VOL.21
三重県下で活躍するユニークな人、がんばっている人、元気な人、そんな人のページです

昨年、開催されたイベント「テリー・フォックス ランーIN まつさか」を主催した
松阪国際クラブ会長
上村 眞由さん



昨年十一月十九日、松阪で「テリー・フォックス ランーIN まつさか」というイベントが行われました。これはがんの研究資金を募るためにがんに侵され切断した右足に義足をつけてアメリカ大陸横断を実行し、完走目前にして亡くなった大学生、テリー・フォックスの遺志を継ぐ活動です。

世界各国で行われている活動で、日本では東京に次いで二番目の開催となりました。会場の松阪中部台運動公園に集まった参加者は、公園内をそれぞれ、二キロ、四キロ、六キロ、十二キロのコースに別れ、走ったり歩いたりします。当日の参加者は約二百人。参加者からは千円以上の参加料を集め、当日の会場だけでも約六十五万円ほどが集まったそうです。

このイベントを主催したのは松阪国際クラブ。クラブの設立者でもある会長の上村眞由さんに、「テリー・フォックス ランーIN まつさか」や国際交流についてお話を伺いました。

松阪国際クラブを始めたきっかけを教えてください。

当初は、行政では行き届かないところを考えるということで、地域問題研究会という集まりを行っていました。この会を通じて、松阪に住む外国人の現状を知ったことや、ホームステイの受け入れを通して国際化の必要性を強く感じました。最初は国際交流といっても、ホームパーティーを行うだけだったのですが、クラブに外国で生活したことのある人や、外国人がたくさん入ってくるようになり、パーティーだけでなく社会に語りかけたいという思いが強くなってきました。そこで最初に開催したのが高校生の英語スピーチ大会です。

「テリー・フォックス ラン」を開催しようと決めたのはなぜでしょうか？

英語スピーチ大会の後、もっと他のことをやりたいという気持ちが会のなかでも起こりました。そこで会員のカナダ人から提案されたのが「テリー・フォックス ラン」だったのです。外国人はみなよく知ってましたが、私達はまったく知らなかったので資料を取り寄せました。それで世界のあらゆる国で行われている有名なイベントだということを知ったのです。

イベントの開催はたいへんだったでしょう。

とても勉強になりました。というのは、準備のための忙しさから、外国人の会員との間で、丁寧さや確認を怠ったためのトラブルが起こりました。つまり、日本人同士では「以心伝心」と言われるようになんとなく分かる、分からない部分があってもまあまあというところがありますが、相手が外国人だとそうはいかない。かなり深いところまで突き詰めて話し合う。曖昧な部分を残さない。そんな話し合いです。かなり激しい討論になったこともありましたが、それが、互いに理解を深めることにもなりました。

文化の差なのでしょうか？

そうですね。日本人は文化のなかで他国の人とつきあうことがなかった。よく、ホームステイで表面的には仲がよいが一歩踏み込めないという問題が言われます。この会には七か国の人が参加していますから、考え方の差は日本人対外国人ではなく、皆が対七か国分なのです。この会の活動を通して、日本人同士で曖昧にしていた部分、漠然としていた部分が見えてきて勉強になりました。

皆で考えて、コミュニケーションすることで開催にこぎつけたのですね。

このクラブはいつもそうなんです。会員は皆、個性、自己主張が強い人ばかり。女性ももちろんそうですからセクハラなんて絶対にダメ。男性だから、女性だからという考え方もダメと言われますから、自分自身も自己改革していかなくてはいけないんです。

当日の様子、成果はどうですか？

寄付金は愛知のがんセンターとカナダの活動本部へ送りました。外国人もたくさん参加してくれたのですが、普段は無駄のない生活をしている外国人が、たくさん寄付をしてくれたことに驚きました。ボランティアの感覚が日本人と違うんですね。外国の方はこのイベントに参加するにあたって、子供にどういったイベントなのか、その意味まで十分に話をしたというのです。ボランティアの心を、地域や学校ではなく親が子供に教えていくんですね。

これからの活動について教えてください。

今年も、十月に「テリー・フォックス ランーIN まつさか」や「英語スピーチ大会」を開催します。長期的には、松阪市内はもちろん広くは外国まで、様々な団体とつながりをもち、ネットワークを広げていきたいと思っています。

激しい討論になったこともありましたが、それが、互いに理解を深めることにもなりました。

ガン研究助成
テリーフォックスラン IN

「テリー フォックス ランIN まつさか」開催の時のクラブメンバー達です。

1996

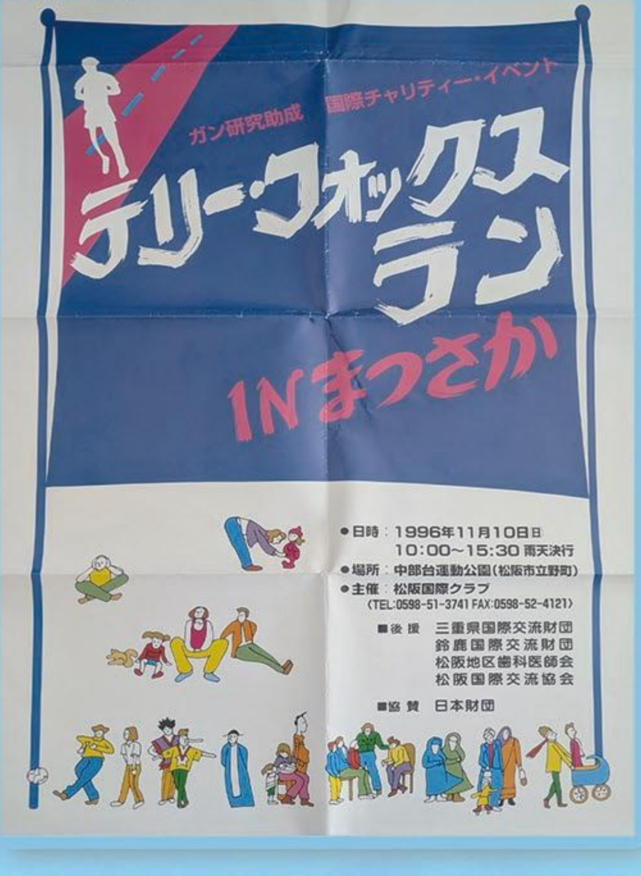
Symposium

第１回シンポジウム『対がん生活』

1996年11月9日
松阪産業振興センター

植屋悦男（中京大学）
田島和雄（愛知県がんセンター）
大澤　誠（夕刊三重）
村田耕一（村田歯科クリニック）

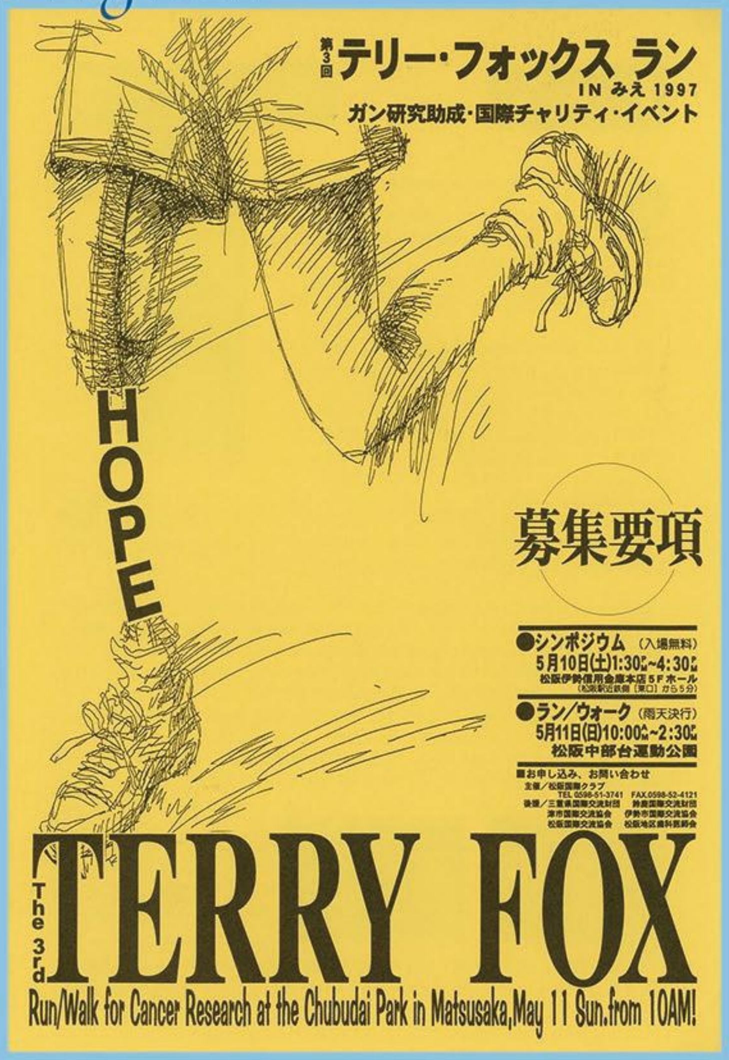
Poster


ガン研究助成　国際チャリティー・イベント
テリー・フォックス ラン
INまつさか

●日時：1996年11月10日日
10:00〜15:30 雨天決行
●場所：中部台運動公園（松阪市立野町）
●主催：松阪国際クラブ
（TEL:0598-51-3741 FAX:0598-52-4121）
■後援　三重県国際交流財団
鈴鹿国際交流財団
松阪地区歯科医師会
松阪国際交流協会
■協賛　日本財団

03 The Terry Fox Run

Program



第3回 テリー・フォックス ラン
IN みえ 1997
ガン研究助成・国際チャリティ・イベント

HOPE

募集要項

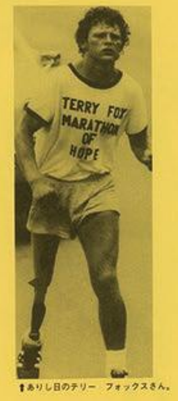
●シンポジウム （入場無料）
5月10日(土)1:30PM~4:30PM
松阪伊勢信用金庫本店5Fホール
（松阪駅近鉄側〔東口〕から5分）

●ラン／ウォーク （雨天決行）
5月11日(日)10:00AM~2:30PM
松阪中部台運動公園

■お申し込み、お問い合わせ
主催／松阪国際クラブ
TEL 0598-51-3741 FAX.0598-52-4121
後援／三重県国際交流財団 鈴鹿国際交流財団
津市国際交流協会 伊勢市国際交流協会
松阪国際交流協会 松阪地区歯科医師会

The 3rd
TERRY FOX
Run/Walk for Cancer Research at the Chubudai Park in Matsusaka,May 11 Sun.from 10AM!

趣 旨



↑ありし日のテリー フォックスさん。

過去10年間のデータによると、生涯において、約半数の人が、ガンを患う可能性があり、現在、日本では4人に1人がガンで亡くなっています。今やガンは、患者や医師だけの敵ではなく、人類全体の難敵であり、もはや他人事ではないことを思い知らされます。

1977年、カナダでこの難敵に一人で立ち向かい始めた青年がいました。右足がガンに侵されていると告知され、右足の膝上15センチから下を切断したテリー フォックスです。彼は入院中にガンに苦しんでいる多くの患者を目の当たりにして、一刻も早くガンの治療研究を進めてもらわなければと思いたち、その基金を募るためカナダを走って横断することを決意したのです。この彼の旅は“希望のマラソン”と呼ばれました。しかしゴールにたどり着く前に、ガンが肺に転移し、志半ばで亡くなりました。けれども、テリー フォックスの思いは受け継がれ、毎年ガン研究基金を募る大会が行われています。1995年には、カナダ国内で3500ヵ所以上、世界中では52ヵ国267ヵ所で大会が開催され、62万5千人が参加しました。

自分の身を惜しまずガン研究の発展を求め続けたテリーの遺志を受け継いで、松阪国際クラブは1995年11月19日に初めて「テリー フォックス ラン／ウォーク」を開催し、昨年は第2回を重ねるに至りました。2回の大会とも、皆さまの温かいご支援のおかげで大成功をおさめることができました。寄付金は、すべてカナダに本部を置くテリー フォックス財団と愛知県がん研究振興会に贈り、ガン研究の進歩に役立てられています。

どうか私たちの趣旨にご賛同いただき、ラン／ウォークに実際に参加したり、寄付を参加者に託してくださることで、あなたの気持ちを大会にお寄せください。

ガンに苦しむ人々に思いを馳せながら、当日は日ごろの健康に感謝し、国籍、性別、世代などすべての違いを超えた国際交流を楽しむボランティア精神あふれる一日をご一緒しましょう。

↑昨年の大会より

Program

スケジュール

シンポジウム 5月10日(土) 松阪伊勢信用金庫5階ホール（入場無料）

テーマ
「ガン予防のためのライフスタイル」

第 一 部　講演（PM 1：30～2：30）
講師　田嶋　和雄（愛知県がんセンター研究所疫学部長）

第 二 部　パネルディスカッション（PM 2：40～4：30）
パネリスト　田嶋　和雄（上記）
・作野　功典（三重県松阪保健所長）
三林　鈴子（主婦）
木村由紀子（三重県立看護大学生）
ビル　ラファティ（松阪国際クラブ）
コーディネーター　志田　幸雄（桜木記念病院長）

ラン／ウォーク 5月11日(日) 中部台運動公園

AM 10 00～10 40 受付
10 40～11 00 開会式　ウォーミングアップ
11 00～ ラン／ウォーク
（以上 雨天決行）
12 30～ 昼食
焼そば、炊き込みご飯、
ジュース、コーヒーなど販売
ミニコンサート
松阪商業高校ギター部
フリーマーケット
14 15～14 30 閉会式
（以上 雨天中止）

協 力

松阪商業高校
三重高校
ヤマモリ株式会社
インターナショナル・ルイ企画
松阪ビデオクラブ
三重東洋珈琲㈱
松阪高校
うきさとむら
じゃらんじゃらんの会
加古パン教室
三重イルカクラブフリーマーケット実行委員会
シュール・クリエイティヴ

※無料シャトルバス・ 松阪駅 JR側（西口）・第三銀行前 AM9：30発

ラン/ウォークへの参加について

対象 年齢、性別、居住地、国籍など全く問いません。母乳車でも車椅子でも参加できます。

方法
1)「参加申込書」をもらって必要事項を記入してください。
※あらかじめ、大会趣旨に賛同する家族、友人、同僚など身近な人に、寄付の協力を呼び掛けて下さい。
2) 大会当日1人1,000円以上（高校生以下500円以上）のガン研究への寄付金を持参して下さい。
※その寄付金が参加者自身のものでも、他の人から託された寄付金の合計でも、または、その両方の合計でもかまいません。
※合計額が5,000円以上で、当日ラン／ウォークに参加される方には、大会記念Tシャツを進呈いたします。
3) 競技ではありませんので、公園内の2km、4km、6km、10kmのコースを各自のペースで自由に歩いたり、走ったりしてください。

尚、やむなく当日参加できない方は、寄付金を下記の銀行口座宛にお振り込み下さい。また、お手数ですが、申込書も事務局宛に郵送して下さい。折り返し、各人数分の感謝状をお送りいたします。

振込先，百五銀行　松阪支店（店番号601）
普通預金口座番号，395898
口座名，MICテリー　フォックスラン基金

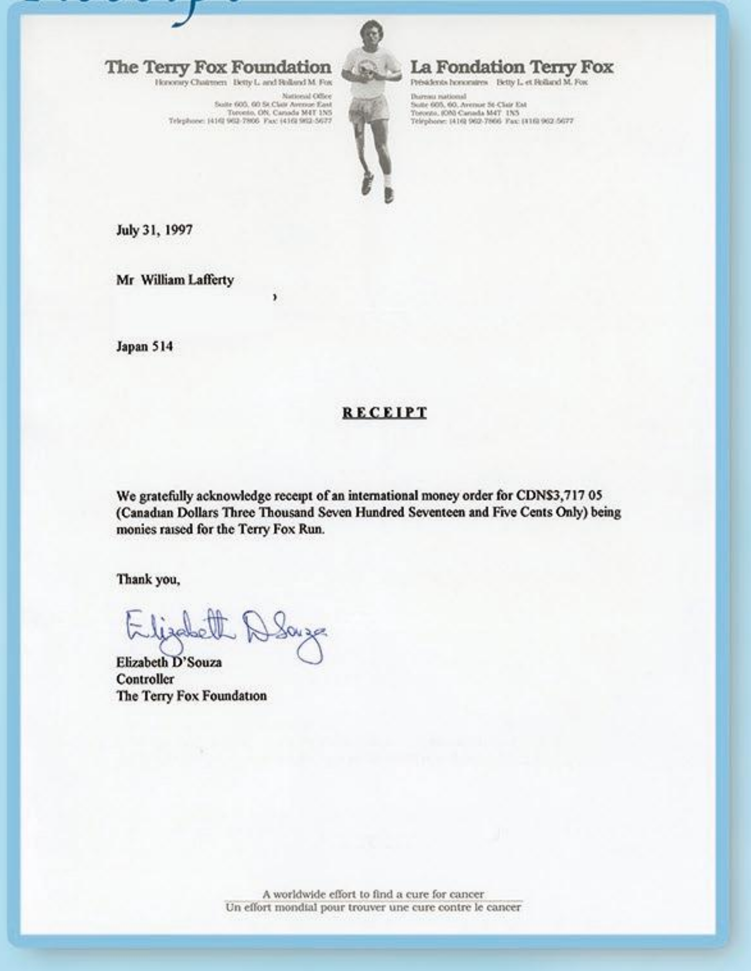
参加申込及び問い合わせ先

松阪国際クラブ事務局　上村眞由
〒515　松阪市鎌田町732
TEL，0598-51-3741
携帯電話 [redacted]
FAX，0598-52-4121

参加申込書の郵送をご希望の方は、返信用封筒に80円切手を貼り、住所 氏名を明記して、上記松阪国際クラブ宛までお送り下さい。

当日参加も可能ですので、皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。

Receipt



The Terry Fox Foundation
Honorary Chairmen Betty L. and Rolland M. Fox
National Office
Suite 605, 60 St Clair Avenue East
Toronto, ON, Canada M4T 1N5
Telephone: (416) 962-7866 Fax: (416) 962-5677

La Fondation Terry Fox
Présidents honoraires Betty L. et Rolland M. Fox
Bureau national
Suite 605, 60, Avenue St-Clair Est
Toronto, (ON) Canada M4T 1N5
Téléphone: (416) 962-7866 Fax: (416) 962-5677

July 31, 1997

Mr William Lafferty
,

Japan 514

RECEIPT

We gratefully acknowledge receipt of an international money order for CDN$3,717 05 (Canadian Dollars Three Thousand Seven Hundred Seventeen and Five Cents Only) being monies raised for the Terry Fox Run.

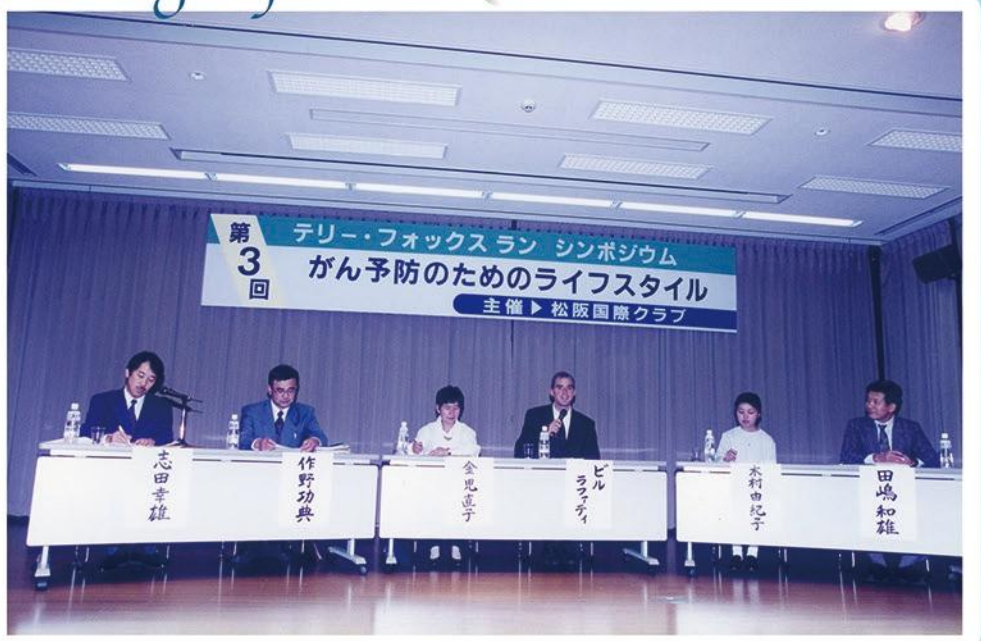
Thank you,

Elizabeth D'Souza

Elizabeth D'Souza
Controller
The Terry Fox Foundation

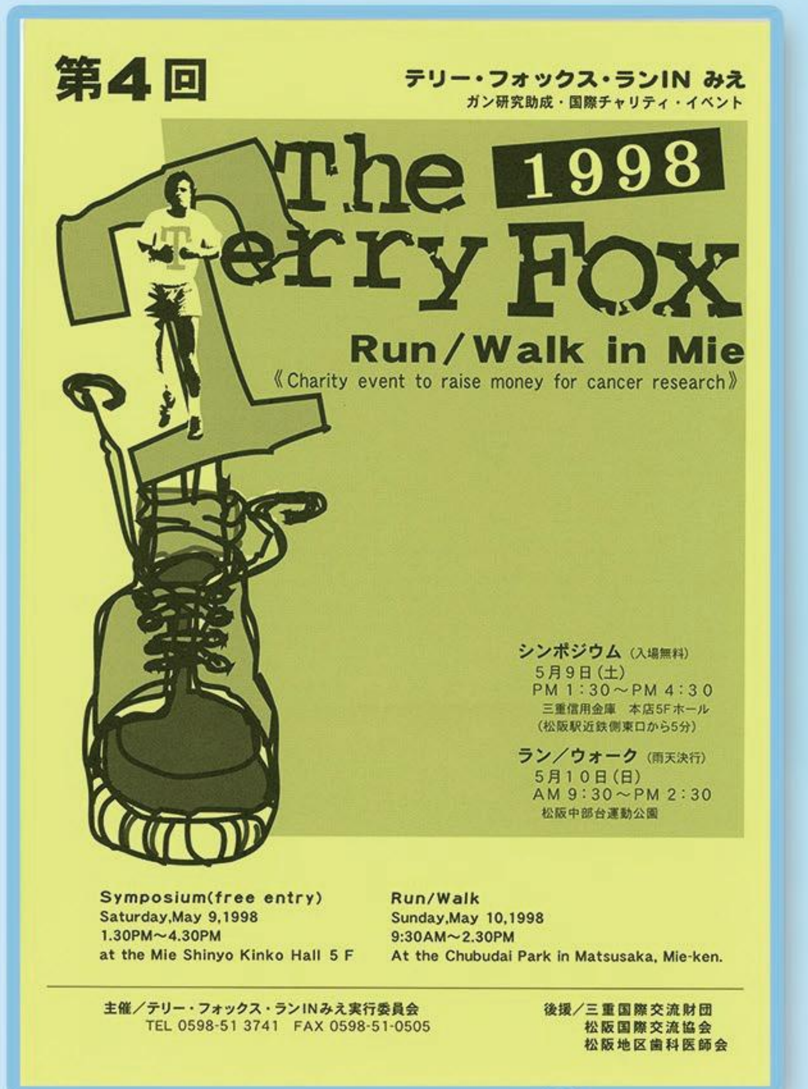
A worldwide effort to find a cure for cancer
Un effort mondial pour trouver une cure contre le cancer

Photograph


第3回 テリー・フォックス ラン シンポジウム
がん予防のためのライフスタイル
主催▶松阪国際クラブ
志田幸雄
作野功典
金児直子
ビル ラファティ
木村由紀子
田嶋和雄

1997

04 The Terry Fox Run



第4回

テリー・フォックス・ランIN みえ
ガン研究助成・国際チャリティ・イベント

The 1998 Terry Fox
Run/Walk in Mie
《Charity event to raise money for cancer research》

シンポジウム（入場無料）
5月9日（土）
PM 1：30～PM 4：30
三重信用金庫　本店5Fホール
（松阪駅近鉄側東口から5分）

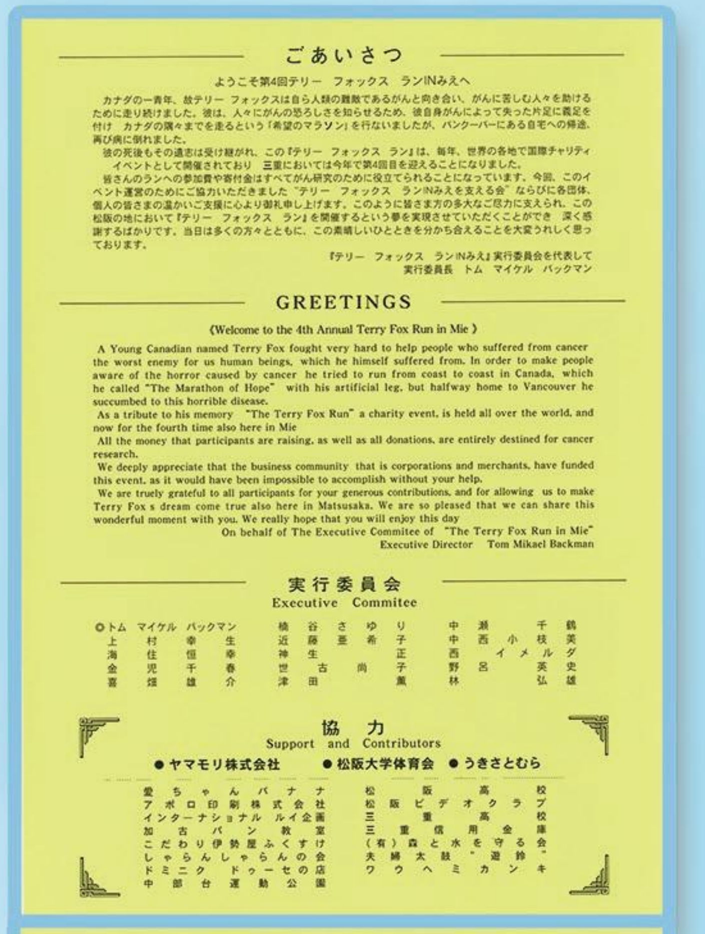
ラン／ウォーク（雨天決行）
5月10日（日）
AM 9：30～PM 2：30
松阪中部台運動公園

Symposium(free entry)
Saturday,May 9,1998
1.30PM～4.30PM
at the Mie Shinyo Kinko Hall 5 F

Run/Walk
Sunday,May 10,1998
9:30AM～2.30PM
At the Chubudai Park in Matsusaka, Mie-ken.

主催／テリー・フォックス・ランINみえ実行委員会
TEL 0598-51 3741　FAX 0598-51-0505

後援／三重国際交流財団
松阪国際交流協会
松阪地区歯科医師会



ごあいさつ

ようこそ第4回テリー　フォックス　ランINみえへ

カナダの一青年、故テリー　フォックスは自ら人類の難敵であるがんと向き合い、がんに苦しむ人々を助けるために走り続けました。彼は、人々にがんの恐ろしさを知らせるため、彼自身がんによって失った片足に義足を付け　カナダの隅々までを走るという「希望のマラソン」を行ないましたが、バンクーバーにある自宅への帰途、再び病に倒れました。

彼の死後もその遺志は受け継がれ、この『テリー　フォックス　ラン』は、毎年、世界の各地で国際チャリティ　イベントとして開催されており　三重においては今年で第4回目を迎えることになりました。

皆さんのランへの参加費や寄付金はすべてがん研究のために役立てられることになっています。今回、このイベント運営のためにご協力いただきました"テリー　フォックス　ランINみえを支える会"ならびに各団体、個人の皆さまの温かいご支援に心より御礼申し上げます。このように皆さま方の多大なご尽力に支えられ、この松阪の地において『テリー　フォックス　ラン』を開催するという夢を実現させていただくことができ　深く感謝するばかりです。当日は多くの方々とともに、この素晴しいひとときを分かち合えることを大変うれしく思っております。

『テリー　フォックス　ランINみえ』実行委員会を代表して
実行委員長　トム　マイケル　バックマン

GREETINGS

《Welcome to the 4th Annual Terry Fox Run in Mie》

A Young Canadian named Terry Fox fought very hard to help people who suffered from cancer the worst enemy for us human beings, which he himself suffered from. In order to make people aware of the horror caused by cancer he tried to run from coast to coast in Canada, which he called "The Marathon of Hope" with his artificial leg, but halfway home to Vancouver he succumbed to this horrible disease.

As a tribute to his memory "The Terry Fox Run" a charity event, is held all over the world, and now for the fourth time also here in Mie

All the money that participants are raising, as well as all donations, are entirely destined for cancer research.

We deeply appreciate that the business community that is corporations and merchants, have funded this event, as it would have been impossible to accomplish without your help.

We are truely grateful to all participants for your generous contributions, and for allowing us to make Terry Fox s dream come true also here in Matsusaka. We are so pleased that we can share this wonderful moment with you. We really hope that you will enjoy this day

On behalf of The Executive Commitee of "The Terry Fox Run in Mie"
Executive Director　Tom Mikael Backman

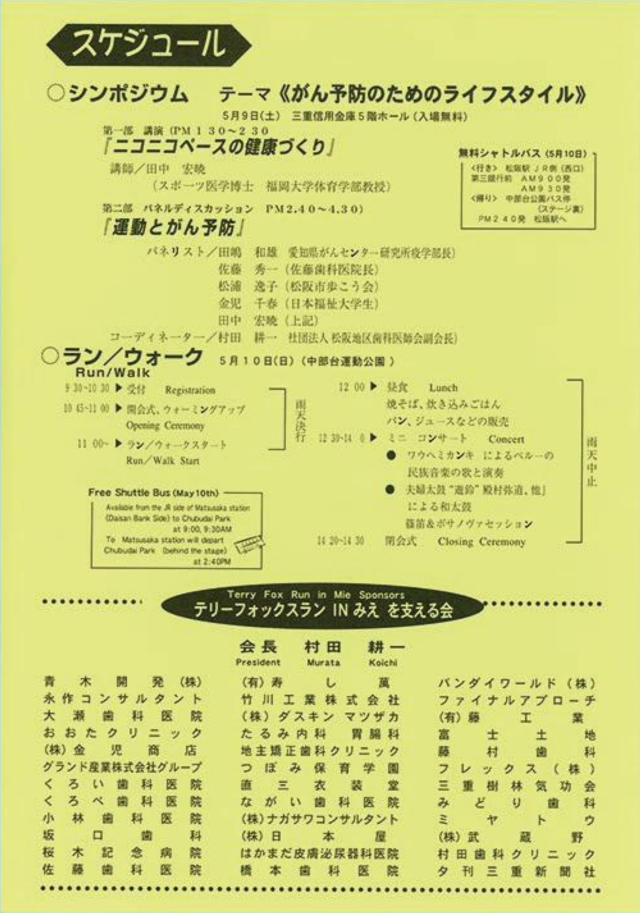
実行委員会
Executive Commitee

◎トム　マイケル　バックマン
上村　幸生
海住　恒幸
金児　千春
喜畑　雄介
橋谷　さゆり
近藤　亜希子
神生　正
世古　尚子
津田　薫
中瀬　千鶴
中西　小枝美
西　イメルダ
野呂　英史
林　弘雄

協力
Support and Contributors

● ヤマモリ株式会社　● 松阪大学体育会　● うきさとむら

愛ちゃんバナナ
アポロ印刷株式会社
インターナショナル　ルイ企画
加古パン教室
こだわり伊勢屋ふくすけ
しゃらんしゃらんの会
ドミニク　ドゥーセの店
中部台運動公園
松阪高校
松阪ビデオクラブ
三重高校
三重信用金庫
（有）森と水を守る会
夫婦太鼓"遊鈴"
ワウヘミカンキ



スケジュール

○シンポジウム　テーマ《がん予防のためのライフスタイル》

5月9日（土）　三重信用金庫5階ホール（入場無料）

第一部　講演（PM 1 30～2 30
「ニコニコペースの健康づくり」
講師／田中　宏暁
（スポーツ医学博士　福岡大学体育学部教授）

第二部　パネルディスカッション　PM2.40～4.30）
「運動とがん予防」
パネリスト／田嶋　和雄　愛知県がんセンター研究所疫学部長）
佐藤　秀一（佐藤歯科医院長）
松浦　逸子（松阪市歩こう会）
金児　千春（日本福祉大学生）
田中　宏暁（上記）
コーディネーター／村田　耕一　社団法人 松阪地区歯科医師会副会長）

無料シャトルバス（5月10日）
〈行き〉　松阪駅ＪＲ側（西口）
第三銀行前　ＡＭ９００発
ＡＭ９３０発
〈帰り〉　中部台公園バス停
（ステージ裏）
ＰＭ２４０発　松阪駅へ

○ラン／ウォーク　5月10日（日）（中部台運動公園）
Run/Walk

9 30~10 30 ▶ 受付　Registration
10 45~11 00 ▶ 開会式、ウォーミングアップ　Opening Ceremony
11 00~ ▶ ラン／ウォークスタート　Run／Walk Start
（雨天決行）

12 00 ▶ 昼食　Lunch
焼そば、炊き込みごはん
パン、ジュースなどの販売
12 30~14 0 ▶ ミニ　コンサート　Concert
● ワウヘミカンキ　によるペルーの民族音楽の歌と演奏
● 夫婦太鼓"遊鈴"殿村弥道、他」による和太鼓
篠笛＆ボサノヴァセッション
14 20~14 30　閉会式　Closing Ceremony
（雨天中止）

Free Shuttle Bus (May 10th)
Available from the JR side of Matsusaka station
(Daisan Bank Side) to Chubudai Park
at 9:00, 9:30AM
To Matsusaka station will depart
Chubudai Park (behind the stage)
at 2:40PM

テリーフォックスラン IN みえ を支える会
Terry Fox Run in Mie Sponsors

会長　村田　耕一
President　Murata　Koichi

青木開発（株）
永作コンサルタント
大瀬歯科医院
おおたクリニック
（株）金児商店
グランド産業株式会社グループ
くろい歯科医院
くろべ歯科医院
小林歯科医院
坂口歯科
桜木記念病院
佐藤歯科医院
（有）寿し萬
竹川工業株式会社
（株）ダスキン マツザカ
たるみ内科　胃腸科
地主矯正歯科クリニック
つぼみ保育学園
直三衣装堂
ながい歯科医院
（株）ナガサワコンサルタント
（株）日本屋
はかまだ皮膚泌尿器科医院
橋本歯科医院
バンダイワールド（株）
ファイナルアプローチ
（有）藤工業
富士土地
藤村歯科
フレックス（株）
三重樹林気功会
みどり歯科
ミヤトウ
（株）武蔵野
村田歯科クリニック
夕刊三重新聞社

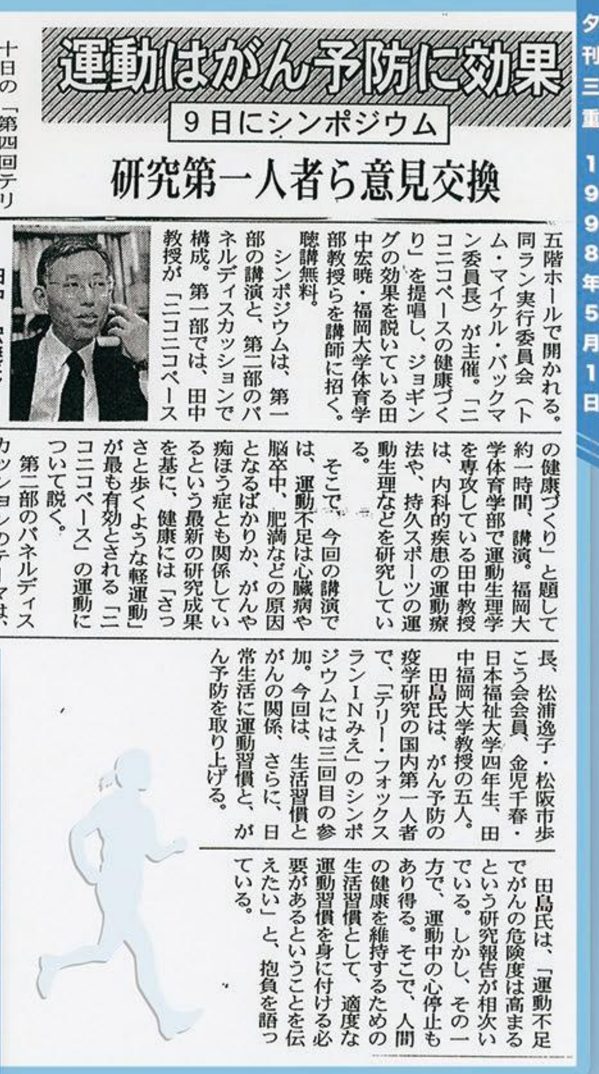
Program

Photograph

テリー・フォックスラン INみえ

テリー・フォックスラン INみえ

Newspaper article



夕刊三重　1998年5月1日

運動はがん予防に効果

9日にシンポジウム

研究第一人者ら意見交換

十日の「第四回テリー・フォックス ランIN みえ」を前に、がん予防にも通じる適度な運動について考えるシンポジウムが、前日の九日午後一時半から、松阪市朝日町一区の三重信用金庫本店五階ホールで開かれる。同ラン実行委員会（トム・マイケル・バックマン委員長）が主催。「ニコニコペースの健康づくり」を提唱し、ジョギングの効果を説いている田中宏暁・福岡大学体育学部教授らを講師に招く。聴講無料。

シンポジウムは、第一部の講演と、第二部のパネルディスカッションで構成。第一部では、田中教授が「ニコニコペースの健康づくり」と題して約一時間、講演。福岡大学体育学部で運動生理学を専攻している田中教授は、内科的疾患の運動療法や、持久スポーツの運動生理などを研究している。

そこで、今回の講演では、運動不足は心臓病や脳卒中、肥満などの原因となるばかりか、がんや痴ほう症とも関係しているという最新の研究成果を基に、健康には「さっさと歩くような軽運動」が最も有効とされる「ニコニコペース」の運動について説く。

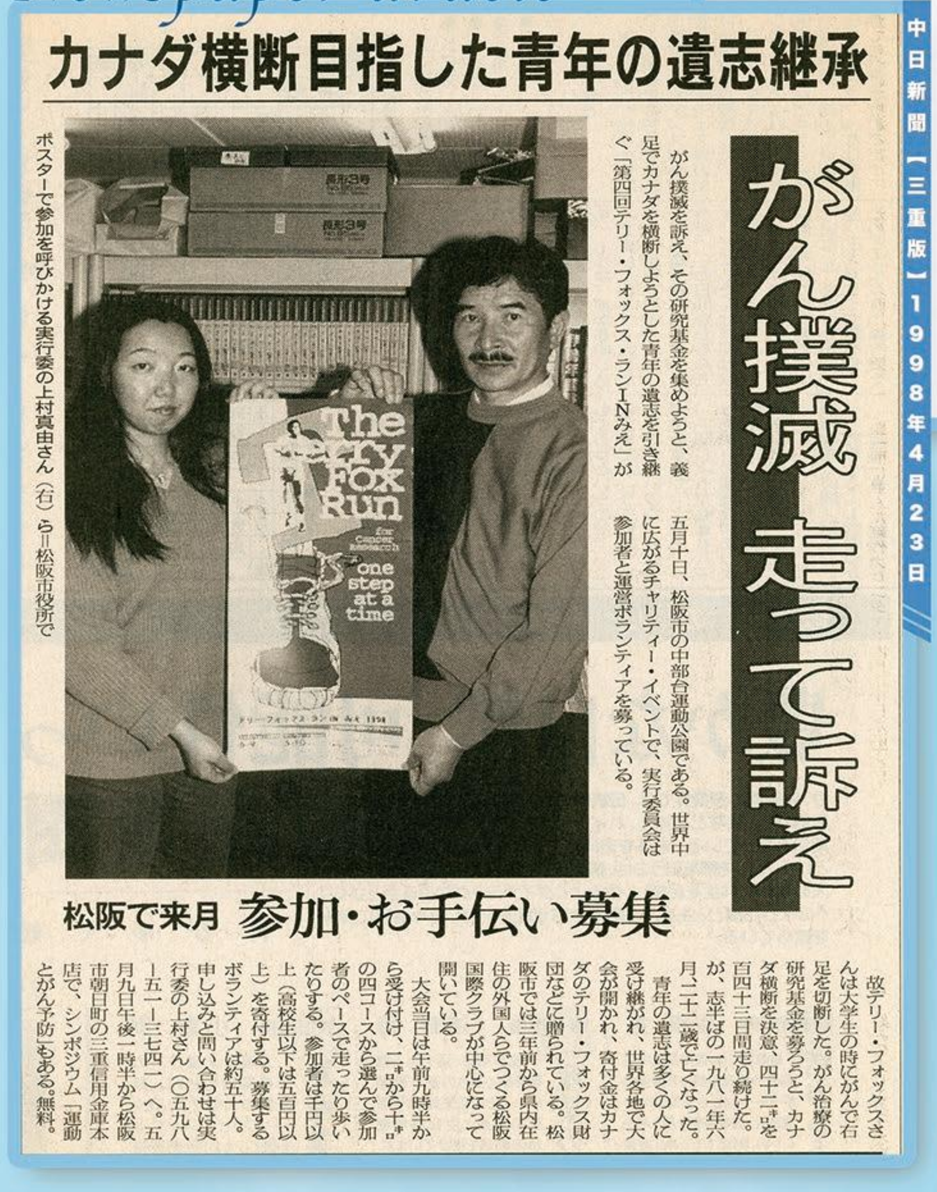
第二部のパネルディスカッションのテーマは、「運動とがん予防」（コーディネーター＝村田耕一・松阪歯科医師会副会長）で、パネリストは、田島和雄・愛知県がんセンター研究所疫学部長、佐藤秀一・佐藤歯科医院長、松浦逸子・松阪市歩こう会会員、金児千春・日本福祉大学四年生、田中福岡大学教授の五人。

田島氏は、がん予防の疫学研究の国内第一人者で、「テリー・フォックスランIN みえ」のシンポジウムには三回目の参加。今回は、生活習慣とがんの関係、さらに、日常生活に運動習慣と、がん予防を取り上げる。

田島氏は、「運動不足でがんの危険度は高まるという研究報告が相次いでいる。しかし、その一方で、運動中の心停止もあり得る。そこで、人間の健康を維持するための生活習慣として、適度な運動習慣を身に付ける必要があるということを伝えたい」と、抱負を語っている。

田中　宏暁氏

田島　和雄氏



中日新聞【三重版】1998年4月23日

カナダ横断目指した青年の遺志継承

がん撲滅 走って訴え

松阪で来月　参加・お手伝い募集

がん撲滅を訴え、その研究基金を集めようと、義足でカナダを横断しようとした青年の遺志を引き継ぐ「第四回テリー・フォックス・ランINみえ」が五月十日、松阪市の中部台運動公園である。世界中に広がるチャリティー・イベントで、実行委員会は参加者と運営ボランティアを募っている。

ポスターで参加を呼びかける実行委の上村真由さん（右）ら＝松阪市役所で

故テリー・フォックスさんは大学生の時にがんで右足を切断した。がん治療の研究基金を募ろうと、カナダ横断を決意、四十二㌔を百四十三日間走り続けた。が、志半ばの一九八一年六月、二十二歳で亡くなった。

青年の遺志は多くの人に受け継がれ、世界各地で大会が開かれ、寄付金はカナダのテリー・フォックス財団などに贈られている。松阪市では三年前から県内在住の外国人らでつくる松阪国際クラブが中心になって開いている。

大会当日は午前九時半から受け付け、二㌔から十㌔の四コースから選んで参加者のペースで走ったり歩いたりする。参加者は千円以上（高校生以下は五百円以上）を寄付する。募集するボランティアは約五十人。申し込みと問い合わせは実行委の上村さん（〇五九八―五一―三七四二）へ。五月九日午後一時半から松阪市朝日町の三重信用金庫本店で、シンポジウム「運動とがん予防」もある。無料。

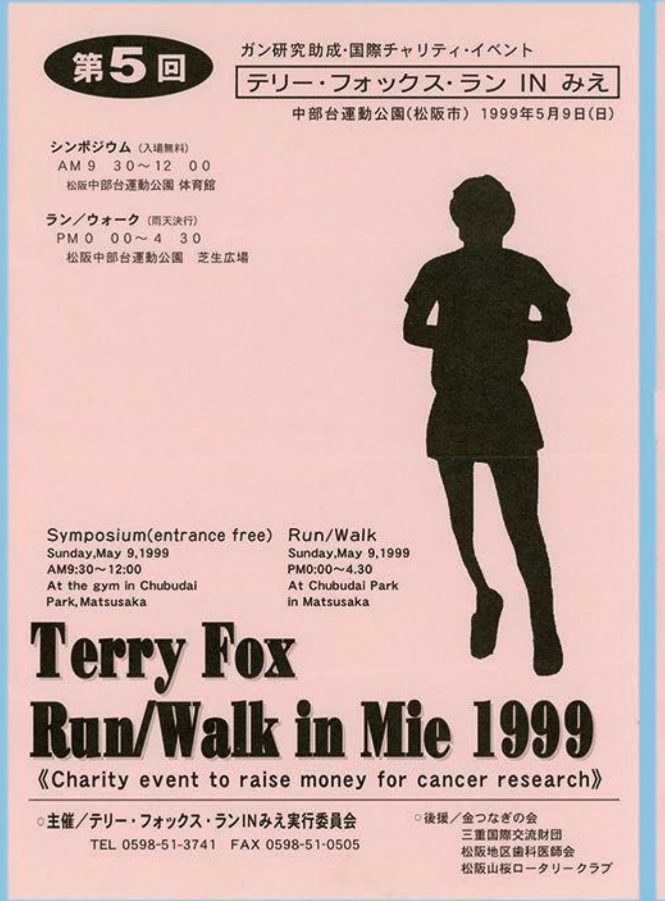
第4回 テリー・フォックス ラン シンポジウム
がん予防のためのライフスタイル
主催 ▶ テリーフォックスラン実行委員会

1998

05 The Terry Fox Run

1999

Program



第５回

ガン研究助成･国際チャリティ･イベント

テリー・フォックス・ラン IN みえ

中部台運動公園（松阪市） 1999年5月9日（日）

シンポジウム（入場無料）
AM9 30～12 00
松阪中部台運動公園 体育館

ランノウォーク（雨天決行）
PM0 00～4 30
松阪中部台運動公園 芝生広場

Symposium(entrance free)
Sunday,May 9,1999
AM9:30～12:00
At the gym in Chubudai Park,Matsusaka

Run/Walk
Sunday,May 9,1999
PM0:00～4.30
At Chubudai Park in Matsusaka

Terry Fox Run/Walk in Mie 1999

《Charity event to raise money for cancer research》

○主催／テリー・フォックス・ランINみえ実行委員会
TEL 0598-51-3741 FAX 0598-51-0505

○後援／金つなぎの会
三重国際交流財団
松阪地区歯科医師会
松阪山桜ロータリークラブ

スケジュール

○シンポジウム '99年5月9日(日) 中部台体育館
Symposium

第一部 講演（AM9.30～10.20）

『がん予防の実践』 "Prevention of lifestyle-related cancer"

講師／徳留 信寛 Shinkan Tokudome,MD,MPH,PhD
（名古屋市立大学医学部 公衆衛生学教授）
(Professor and Chairman Department of Public Health Nagoya City University Medical School)

第二部 グループディスカッション Group Discussion（AM10:30～12:00）

①TERRY FOX RUN IN THE WORLD
"Terry Fox Run in the World" (English lecture discussion)
Reporter Angela S.Lytle（executive committee）
Chairman Refik Cosic （executive committee）

②環境とがん
"The Environment and Cancer" (Japanese)
レポーター 太田 正隆（おおたクリニック院長）
議 長 村田 耕一（村田歯科クリニック院長）

③運動とがん
"Preventative Measures and Cancer" (Japanese)
レポーター 田島 和雄（愛知県がんセンター研究所疫学部長）
議 長 珍道 利行（実行委員）

④がんとともに生きる
"A Cancer Survivor Speaks" (Japanese)
レポーター 広野 光子（ がんを明るく前向きに語る 金つなぎの会 代表）
議 長 海住 恒幸（実行委員）

無料シャトルバス…
Free Shuttle Bus
中部台公園バス停 ステージ裏）
PM4 45発 松阪駅へ
To Matsusaka station will depart Chubudai Park (behind the stage) at PM4 45

○ラン／ウォーク [redacted]（中部台運動公園）
Run/Walk

12 00～14 00 ▶ 芝公園にて 昼食販売と ランノウォークの受付
Resistration and Lunch

ランチメニュー	lunch menu
味付ごはん pilaf	¥250
みたらしだんご 1本 dumpling	¥80
焼きとり 3本 yakitori	¥200
うどん udon	¥300

14 15～16 00 ▶ トリムコースにて ラン／ウォーク run／walk

ステージ ※雨天の場合は体育館 If it rains, in the Gym

12 00～12 30 ▶	琴演奏（正派雅之優会	Playing the koto
12 30～13 00 ▶	日本舞踊 さくら会	Japanese dancing
13 00～13 30 ▶	奥伊勢宮 清流太鼓	Taiko(drum)
13 30～14 00 ▶	コーラス 卯の花」	Chorus
14 00 14 15	開会の言葉と柔軟体操	Opening Ceremony
14 30～15 00 ▶	琴演奏（正派雅優会	
15 00～15 30 ▶	奥伊勢宮 清流太鼓	
15 30～16 00 ▶	夢クラブ ピエロ	
16 00 16 30	閉会の言葉と報告会 片づけ	Closing Ceremony

テリーフォックスラン IN みえ を支える会

青木開発㈱
あかつき
㈱アタケ
アポロ印刷㈱
井本IK病院
㈱うおすけ
エヌケーケーユニックス
大瀬歯科医院
おおたクリニック
おおはし小児科
オフィスアカデミー
岡井ファーム
㈲川口自動車
㈱北川鉄工建設
㈱北村組
㈲キハタトレーディング
グランド産業株式会社グループ
くろい歯科クリニック
くろべ歯科
阪口歯科医院
㈲清水商会
鈴木建材㈲
竹川工業㈱
㈱タチオカ
地王矯正歯科クリニック
つぼみ保育学園
TAS設計事務所
直三衣装店
ながい歯科医院
㈱ナガサクコンサルタント
㈱長束商店
西川商事有限会社
㈱西村商店
日本屋
㈲野呂仏英堂
ファミリー動物医院みの
㈲藤工業
富士土地
増山医院
松本歯科医院
マルカ商運
㈱まるよし
㈲三重電気商会
三鈴土木コンサルタント㈱
みどり歯科
㈱宮園機工
㈱武蔵野
ミヤトウ
村田歯科クリニック
森本歯科医院
夕刊三重新聞社
㈲ワイズ
㈲和田金

実行委員会
Executive Commitee

Anna Edoo
上村眞由
○楠谷さゆり
Tom M. Backman
Refik Cosic
◎Angela S. Lytle
海住恒幸
玉井玲子
Mark Branov
上村幸生
喜畑雄介
珍道利行
村田耕一

◎委員長 chairman
○副委員長 vice-chairman

協力
Support and Contributors

●うきさとむら ●ドミニク ドゥーセの店 ●ヤマモリ株式会社
●加古パン教室 ●中部台運動公園 ●脇田屋 ●松阪木綿

奥伊勢宮川精流太鼓
コーラス卯の花
さくら会
正派雅之優会
夢クラブ ピエロ

Newspaper article

中日新聞【三重版】1999年5月10日

マイペースで走る参加者たち＝松阪市立野町で

がん研究振興願い400人
財団などに70万円寄付へ
松阪でテリー・フォックス・ラン

がん治療の研究基金を募る「第五回テリー・フォックス・ランｉｎみえ」が九日、松阪市立野町の中部台運動公園で開かれた。実行委員会には約七十万円の寄付金が集まり、カナダに本部があるテリー・フォックス・ラン財団と愛知県がん研究振興会に半分ずつ寄付される。

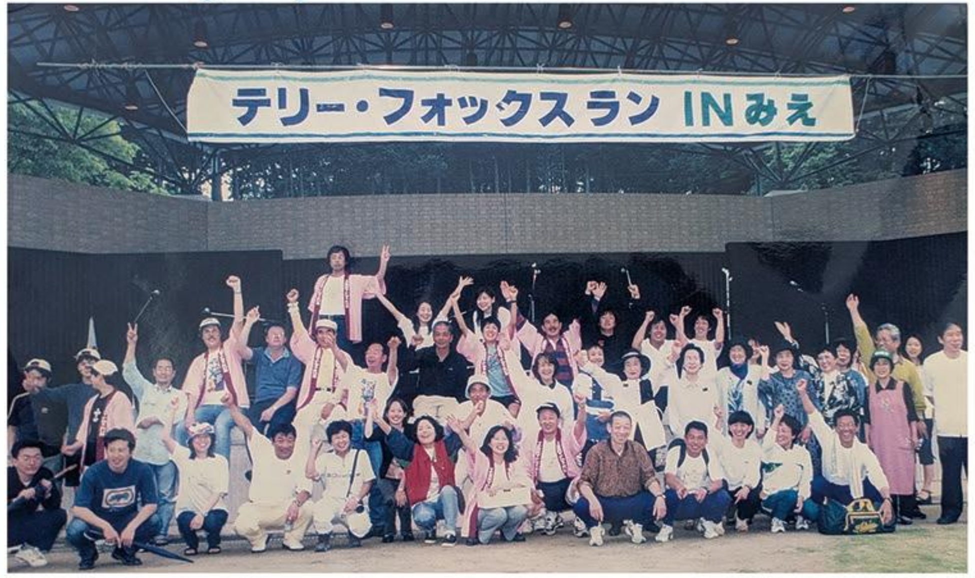
テリー・フォックス・ランは、がんで右足を失い、がん治療研究の資金を募るために一九七七年、カナダ横断マラソンに挑んだカナダ人、故テリー・フォックスさんの遺志を継いで始まった。世界約五十カ国の約千八百カ所、日本では東京と同市で開かれている。

この日は午前中、同公園内の総合体育館でシンポジウムが開かれ、徳留信寛・名古屋市立大医学部教授の「がん予防の実践」と題した講演やグループディスカッションなどがあった。

午後からは同公園の芝生広場に会場を移し、市内の中学生ボランティアらを含め、県内外から約四百人が参加してラン・ウオークが行われた。

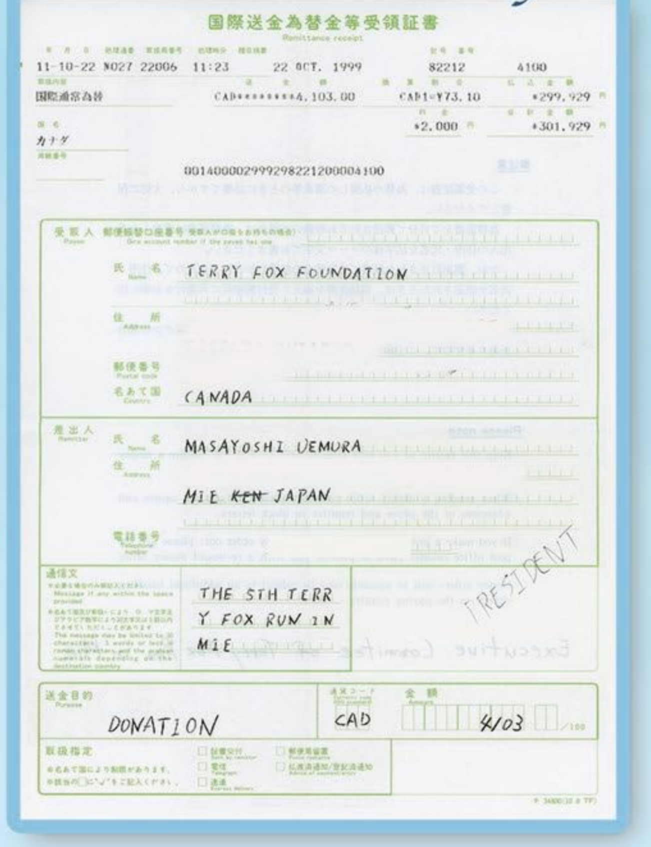
開会式で実行委員長のアンジェラ・ライトルさんが「さまざまな国籍、年齢の人が、がんについて考えるため走ってくれるのをうれしく思う。皆さんで楽しみましょう」とあいさつ。参加者たちは2㌔、4㌔、6㌔、10㌔の各コースに分かれ、それぞれのペースで走った。

Photograph



テリー・フォックスラン INみえ

Remittance receipt



国際送金為替金等受領証書
Remittance receipt

11-10-22 N027 22006 11:23 22 OCT. 1999 82212 4100

国際通常為替 CAD********4,103.00 CAD1=¥73.10 ¥299,929 円

¥2,000 円 ¥301,929 円

カナダ

00140000299929822120000410 0

受取人 Payee
氏名 Name: TERRY FOX FOUNDATION
住所 Address:
郵便番号 Postal code:
名あて国 Country: CANADA

差出人 Remitter
氏名 Name: MASAYOSHI UEMURA
住所 Address: MIE ~~KEN~~ JAPAN
電話番号 Telephone number:

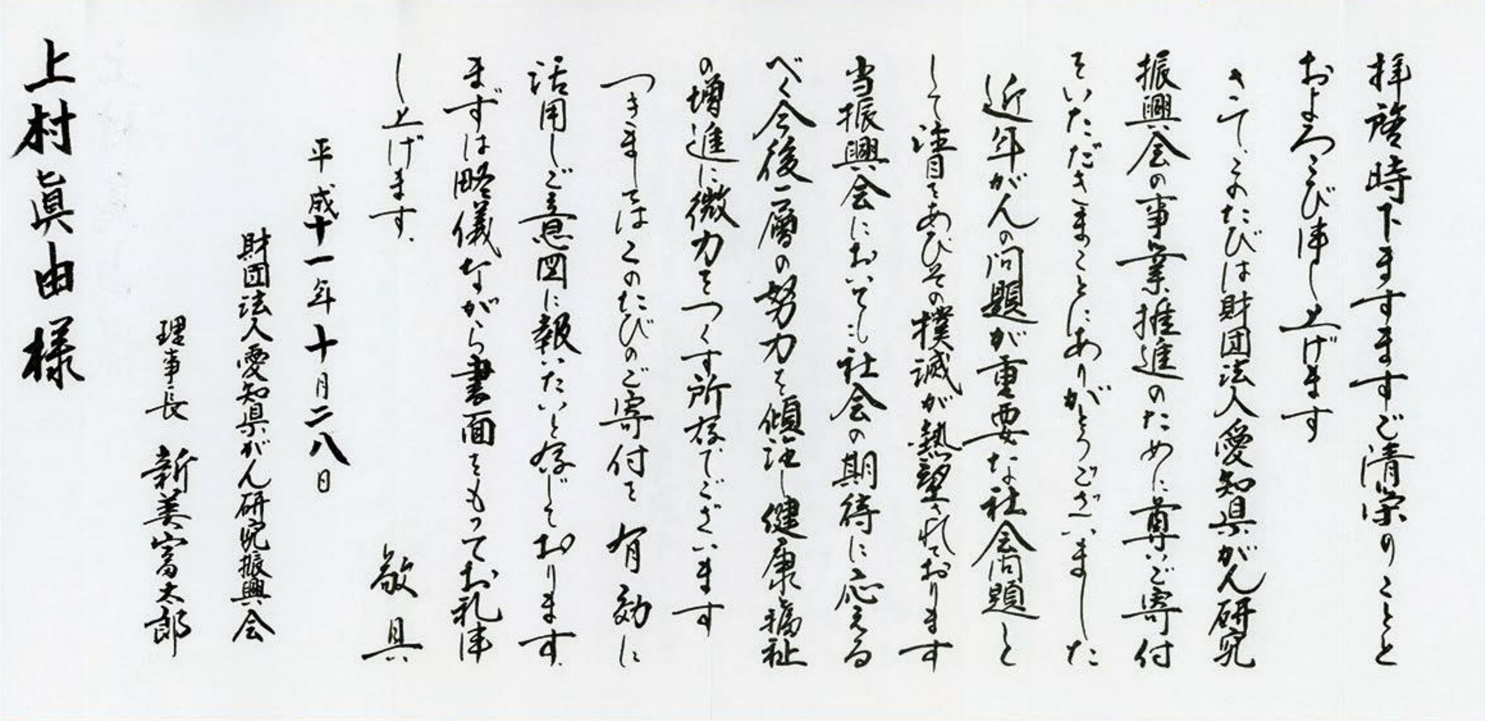
通信文: THE 5TH TERRY FOX RUN IN MIE

PRESIDENT
Executive Committee

送金目的 Purpose: DONATION
通貨コード: CAD
金額 Amount: 4103 /100

取扱指定
☐ 証書交付
☐ 電信
☐ 速達
☐ 郵便局留置
☐ 払渡済通知／登記済通知

Thank you letter



拝啓　時下ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます
さて、このたびは財団法人愛知県がん研究振興会の事業推進のために尊いご寄付をいただきまことにありがとうございました
近年がんの問題が重要な社会問題として注目をあびその撲滅が熱望されております
当振興会においても社会の期待に応えるべく今後一層の努力を傾注し健康福祉の増進に微力をつくす所存でございます
つきましてはこのたびのご寄付を有効に活用しご意図に報いたいと存じております
まずは略儀ながら書面をもってお礼申し上げます。
敬具

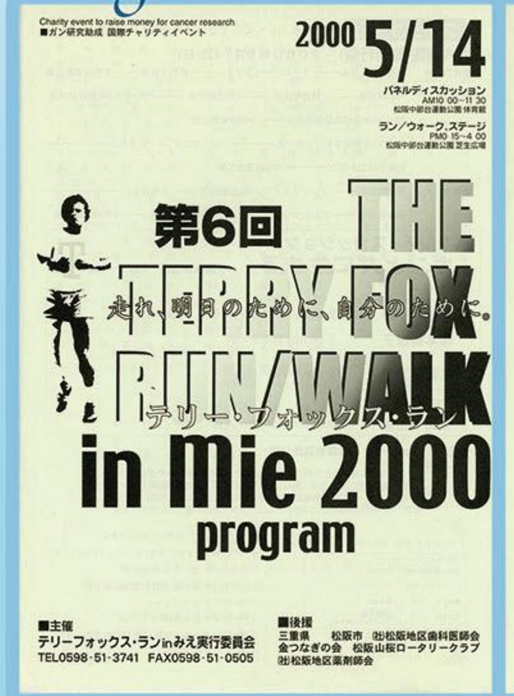
平成十一年十月二八日

財団法人愛知県がん研究振興会
理事長　新美富太郎

上村眞由様

06 The Terry Fox Run

Program


Charity event to raise money for cancer research
■ガン研究助成 国際チャリティイベント

2000 5/14

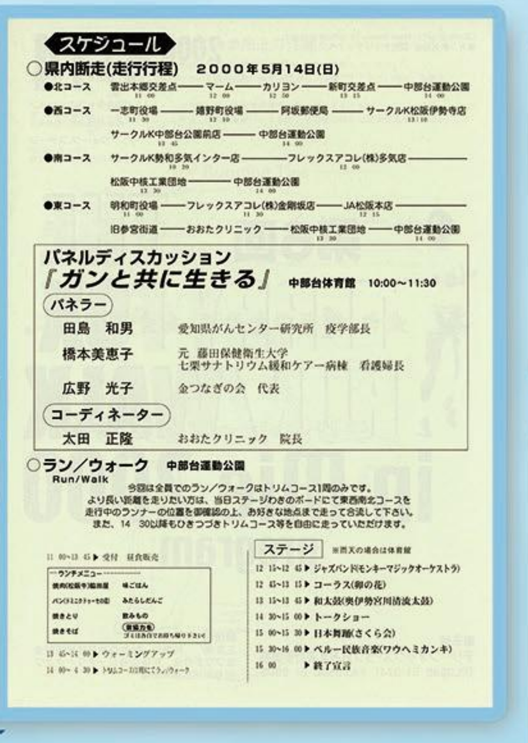
パネルディスカッション
AM10 00~11 30
松阪中部台運動公園 体育館

ラン/ウォーク.ステージ
PM0 15~4 00
松阪中部台運動公園 芝生広場

第6回 THE TERRY FOX RUN/WALK
走れ、明日のために、自分のために。
テリー・フォックス・ラン
in Mie 2000
program

■主催
テリーフォックス・ランinみえ実行委員会
TEL0598・51・3741 FAX0598・51・0505

■後援
三重県 松阪市 ㈳松阪地区歯科医師会
金つなぎの会 松阪山桜ロータリークラブ
㈳松阪地区薬剤師会


スケジュール

○県内断走(走行行程) 2000年5月14日(日)

- ●北コース 雲出本郷交差点 11 00 ― マーム 12 00 ― カリヨン 12 50 ― 新町交差点 13 15 ― 中部台運動公園 14 00
- ●西コース 一志町役場 11 30 ― 嬉野町役場 12 10 ― 阿坂郵便局 ― サークルK松阪伊勢寺店 13:10 ― サークルK中部台公園前店 13 45 ― 中部台運動公園 14 00
- ●南コース サークルK勢和多気インター店 10 20 ― フレックスアコレ(株)多気店 12 00 ― 松阪中核工業団地 13 30 ― 中部台運動公園 14 00
- ●東コース 明和町役場 11 00 ― フレックスアコレ(株)金剛坂店 11 30 ― JA松阪本店 12 15 ― 旧参宮街道 ― おおたクリニック ― 松阪中核工業団地 13 30 ― 中部台運動公園 14 00

パネルディスカッション
『ガンと共に生きる』 中部台体育館 10:00~11:30

(パネラー)

田島 和男	愛知県がんセンター研究所 疫学部長
橋本美恵子	元 藤田保健衛生大学 七栗サナトリウム緩和ケアー病棟 看護婦長
広野 光子	金つなぎの会 代表

(コーディネーター)

太田 正隆	おおたクリニック 院長

○ラン/ウォーク 中部台運動公園
Run/Walk

今回は全員でのラン/ウォークはトリムコース1周のみです。
より長い距離を走りたい方は、当日ステージわきのボードにて東西南北コースを走行中のランナーの位置を御確認の上、お好きな地点まで走って合流して下さい。
また、14 30以降もひきつづきトリムコース等を自由に走っていただけます。

11 00~13 45 ▶ 受付 昼食販売

ランチメニュー
焼肉(松阪牛) 味ごはん
パン(ドミニクドゥーセの店) みたらしだんご
焼きとり 飲みもの
焼きそば

13 45~14 00 ▶ ウォーミングアップ
14 00~4 30 ▶ トリムコース1周にてラン/ウォーク

ステージ ※雨天の場合は体育館

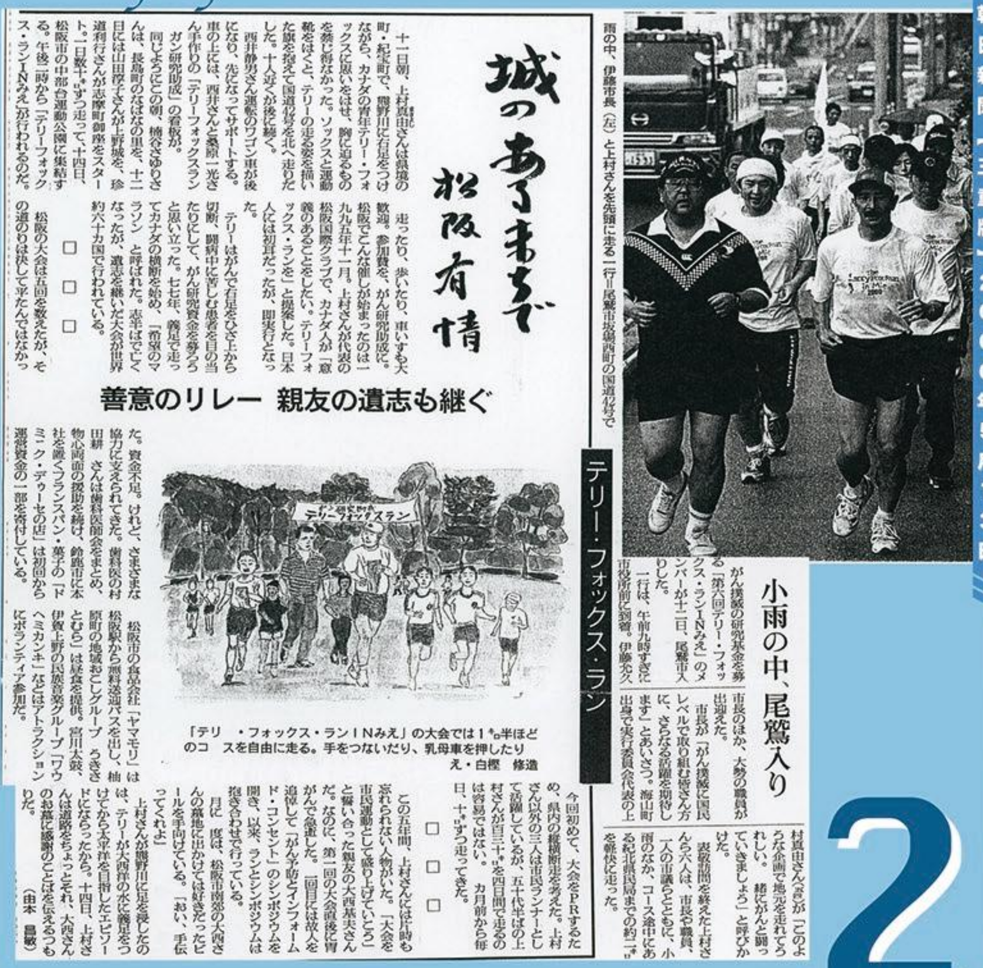
12 15~12 45 ▶ ジャズバンド(モンキーマジックオーケストラ)
12 45~13 15 ▶ コーラス(卵の花)
13 15~13 45 ▶ 和太鼓(奥伊勢宮川清流太鼓)
14 30~15 00 ▶ トークショー
15 00~15 30 ▶ 日本舞踊(さくら会)
15 30~16 00 ▶ ペルー民族音楽(ワウヘミカンキ)
16 00 ▶ 終了宣言

Photograph

テリー・フォックスラン INみえ

テリー・フォックスラン INみえ

Newspaper article


朝日新聞【三重版】2000年5月13日

城のあるまちで 松阪 有情

善意のリレー 親友の遺志も継ぐ

テリー・フォックス・ラン

十一日朝、上村真由さんは県境の町・紀宝町で、熊野川に右足をつけながら、カナダの青年テリー・フォックスに思いをはせ、胸に迫るものを禁じ得なかった。ソックスと運動靴をはくと、テリーの走る姿を描いた旗を抱えて国道42号を北へ走りだした。十人近くが後に続く。

西井静男さん運転のワゴン車が後になり、先になってサポートする。車の上には、西井さんと桑原一光さん手作りの「テリーフォックスラン ガン研究助成」の看板が。

同じようにこの朝、楠谷さゆりさんは、長島町のなばなの里を、十二日には山田淳子さんが上野城を、珍道利行さんが志摩町御座をスタート。一日数十キロずつ走って、十四日、松阪市の中部台運動公園に集結する。午後二時から「テリーフォックス・ランINみえ」が行われるのだ。

走ったり、歩いたり、車いすも大歓迎。参加費を、がん研究助成に。松阪でこんな催しが始まったのは一九九五年十一月。上村さんが代表の松阪国際クラブで、カナダ人が「意義のあることをしたい。テリーフォックス・ランを」と提案した。日本人には初耳だったが、即実行となった。

テリーはがんで右足をひざ上から切断、闘病中に苦しむ患者を目の当たりにして、がん研究資金を募ろうと思い立った。七七年、義足で走ってカナダの横断を始め、「希望のマラソン」と呼ばれた。志半ばで亡くなったが、遺志を継いだ大会が世界約六十カ国で行われている。

□　□　□

松阪の大会は五回を数えたが、その道のりは決して平たんではなかった。資金不足。けれど、さまざまな協力に支えられてきた。歯科医の村田耕　さんは歯科医師会をまとめ、物心両面の援助を続け、鈴鹿市に本社を置くフランスパン・菓子の「ドミ　ク・デゥーセの店」は初回から運営資金の一部を寄付している。

松阪市の食品会社「ヤマモリ」は松阪駅から無料送迎バスを出し、柚原町の地域おこしグループ「うきさとむら」は昼食を提供。宮川太鼓、伊賀上野の民族音楽グループ「ワウヘミカンキ」などはアトラクションにボランティア参加だ。

今回初めて、大会をPRするため、県内の縦横断走を考えた。上村さん以外の三人は市民ランナーとして活躍しているが、五十代半ばの上村さんが百三十キロを四日間で走るのは容易ではない。　カ月前から毎日、十キロずつ走ってきた。

□　□　□

この五年間、上村さんには片時も忘れられない人物がいた。「大会を市民運動として盛り上げていこう」と誓い合った親友の大西基実さんだ。なのに、第一回の大会直後に胃がんで急逝した。二回目には故人を追悼して「がん予防とインフォームド・コンセント」のシンポジウムを開き、以来、ランとシンポジウムは抱き合わせで行っている。

　月に　度は、松阪市南郊の大西さんの墓地に出かけては好きだったビールを手向けている。「おい、手伝ってくれよ」

上村さんが熊野川に足を浸したのは、テリーが大西洋の水に義足をつけてから太平洋を目指したエピソードにならったから。十四日、上村さんは道路をちょっとそれ、大西さんのお墓に感謝のことばを伝えるつもりだ。

（由本　昌敏）

「テリ　・フォックス・ランINみえ」の大会では1㌔半ほどのコ　スを自由に走る。手をつないだり、乳母車を押したり　え・白樫　修造

雨の中、伊藤市長（左）と上村さんを先頭に走る一行＝尾鷲市坂場西町の国道42号で

小雨の中、尾鷲入り

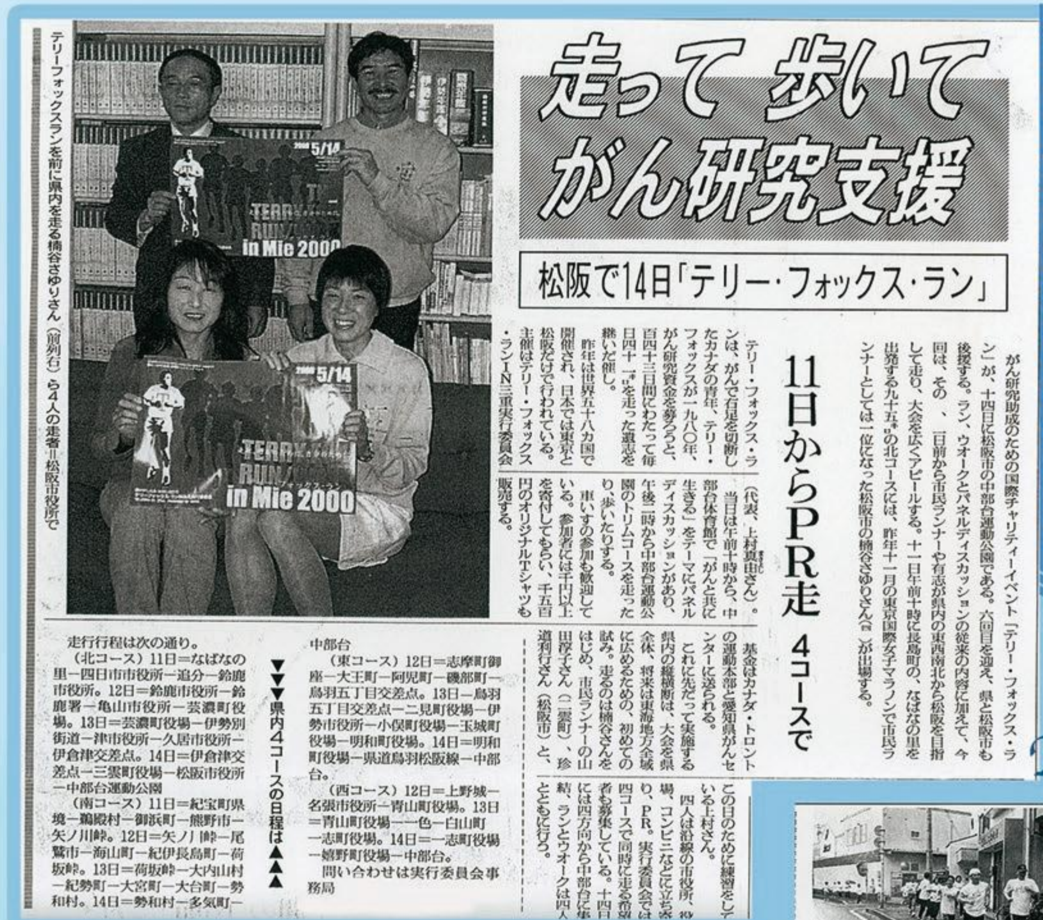
がん撲滅の研究基金を募る「第六回テリー・フォックス・ランINみえ」のメンバーが十二日、尾鷲市入りした。

一行は、午前九時すぎに市役所前に到着。伊藤允久市長のほか、大勢の職員が出迎えた。

市長が「がん撲滅に国民レベルで取り組む皆さん方に、さらなる活躍を期待します」とあいさつ。海山町出身で実行委員会代表の上村真由さん（[illegible]）が「このような企画で地元を走れてうれしい。一緒にがんと闘っていきましょう」と呼びかけた。

表敬訪問を終えた上村さんら六人は、市長や職員、一人の市議らとともに、小雨のなか、コース途中にある紀北県民局までの約二㌔を軽快に走った。

2000


朝日新聞【三重版】2000年5月3日

走って 歩いて がん研究支援

松阪で14日「テリー・フォックス・ラン」

11日からPR走 4コースで

がん研究助成のための国際チャリティーイベント「テリー・フォックス・ラン」が、十四日に松阪市の中部台運動公園である。六回目を迎え、県と松阪市も後援する。ラン、ウオークとパネルディスカッションの従来の内容に加えて、今回は、その　、　日前から市民ランナーや有志が県内の東西南北から松阪を目指して走り、大会を広くアピールする。十一日午前十時に長島町の、なばなの里を出発する九十五キロの北コースには、昨年十一月の東京国際女子マラソンで市民ランナーとしては一位になった松阪市の楠谷さゆりさん（[illegible]）が出場する。

テリー・フォックス・ランは、がんで右足を切断したカナダの青年、テリー・フォックスが一九八〇年、がん研究資金を募ろうと、百四十三日間にわたって毎日四十二キロを走った遺志を継いだ催し。

昨年は世界五十八カ国で開催され、日本では東京と松阪だけで行われている。主催はテリー・フォックス・ランIN三重実行委員会（代表、上村真由さん）。

当日は午前十時から、中部台体育館で「がんと共に生きる」をテーマにパネルディスカッションがあり、午後二時から中部台運動公園のトリムコースを走ったり、歩いたりする。

車いすの参加も歓迎している。参加者には千円以上を寄付してもらい、千五百円のオリジナルTシャツも販売する。

基金はカナダ・トロントの運動本部と愛知県がんセンターに送られる。

これに先だって実施する県内の縦横断は、大会を県全体、将来は東海地方全域に広めるための、初めての試み。走るのは楠谷さんをはじめ、市民ランナーの山田淳子さん（三雲町）、珍道利行さん（松阪市）と、この日のために練習をしている上村さん。

四人は沿線の市役所、役場、コンビニなどに立ち寄り、PR。実行委員会では四コースで同時に走る希望者も募集している。十四日には四方向から中部台に集結、ランとウオークは四人とともに行う。

テリーフォックスランを前に県内を走る楠谷さゆりさん（前列右）ら4人の走者＝松阪市役所で

▼▼▼県内4コースの日程は▲▲▲

走行行程は次の通り。

（北コース）11日＝なばなの里―四日市市役所―追分―鈴鹿市役所。12日＝鈴鹿市役所―鈴鹿署―亀山市役所―芸濃町役場。13日＝芸濃町役場―伊勢別街道―津市役所―久居市役所―伊倉津交差点。14日＝伊倉津交差点―三雲町役場―松阪市役所―中部台運動公園

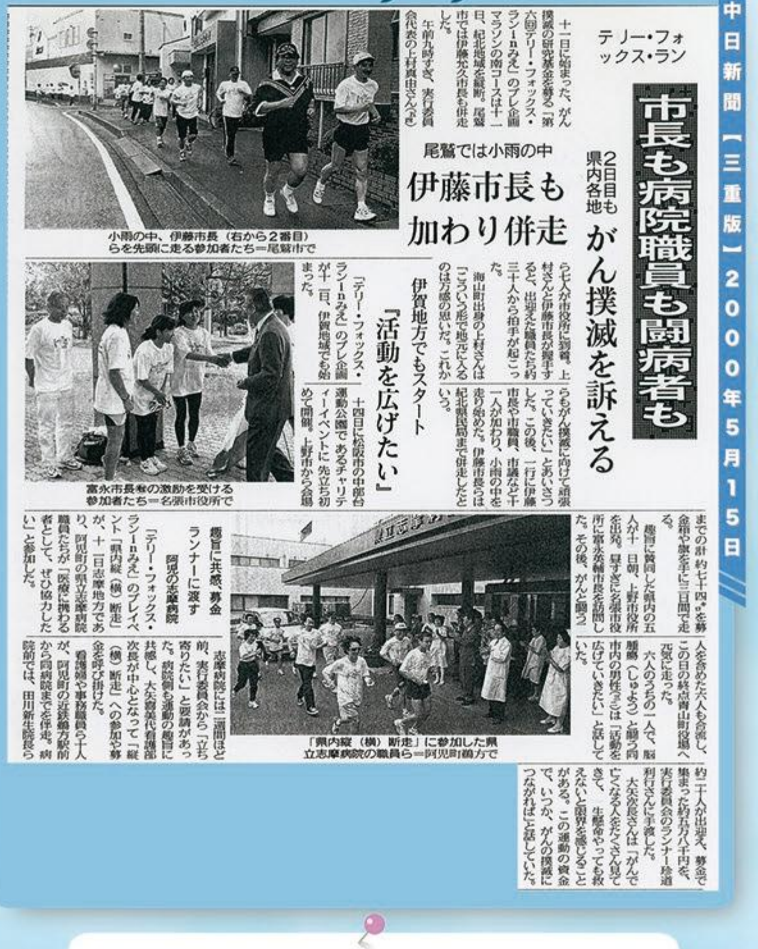
（南コース）11日＝紀宝町県境―鵜殿村―御浜町―熊野市―矢ノ川峠。12日＝矢ノ川峠―尾鷲市―海山町―紀伊長島町―荷坂峠。13日＝荷坂峠―大内山村―紀勢町―大宮町―大台町―勢和村。14日＝勢和村―多気町―中部台

（東コース）12日＝志摩町御座―大王町―阿児町―磯部町―鳥羽五丁目交差点。13日―鳥羽五丁目交差点―二見町役場―伊勢市役所―小俣町役場―玉城町役場―明和町役場。14日＝明和町役場―県道鳥羽松阪線―中部台。

（西コース）12日＝上野城―名張市役所―青山町役場。13日＝青山町役場――色―白山町―一志町役場。14日＝一志町役場―嬉野町役場―中部台。

問い合わせは実行委員会事務局

Newspaper article


中日新聞【三重版】2000年5月15日

テリー・フォックス・ラン

市長も病院職員も闘病者も

2日目も県内各地 がん撲滅を訴える

尾鷲では小雨の中 伊藤市長も加わり併走

十一日に始まった、がん撲滅の研究基金を募る「第六回テリー・フォックス・ランinみえ」のプレ企画マラソンの南コースは十二日、紀北地域を縦断。尾鷲市では伊藤允久市長も併走した。

午前九時すぎ、実行委員会代表の上村真由さん（[illegible]）ら七人が市役所に到着。上村さんと伊藤市長が握手すると、出迎えた職員たち約三十人から拍手が起こった。

海山町出身の上村さんは「こういう形で地元に入るのは万感の思いだ。これからもがん撲滅に向けて頑張っていきたい」とあいさつした。この後、一行に伊藤市長や市職員、市議など十一人が加わり、小雨の中を走り始めた。伊藤市長らは紀北県民局まで併走したという。

小雨の中、伊藤市長（右から2番目）らを先頭に走る参加者たち＝尾鷲市で

伊賀地方でもスタート 『活動を広げたい』

「テリー・フォックス・ランinみえ」のプレ企画が十一日、伊賀地域でも始まった。十四日に松阪市の中部台運動公園であるチャリティーイベントに先立ち初めて開催。上野市から会場までの計約七十四キロを募金箱や旗を手に三日間で走る。

趣旨に賛同した県内の五人が十一日朝、上野市役所を出発。昼すぎに名張市役所に富永英輔市長を訪問した。その後、がんと闘う二人を含めた六人も合流し、この日の終点青山町役場へ元気に走った。

六人のうちの一人で、脳腫瘍（しゅよう）と闘う同市内の男性（[illegible]）は「活動を広げていきたい」と話していた。

富永市長㊧の激励を受ける参加者たち＝名張市役所で

趣旨に共感、募金ランナーに渡す 阿児の志摩病院

「テリー・フォックス・ランinみえ」のプレイベント「県内縦（横）断走」が、十一日志摩地方であり、阿児町の県立志摩病院職員たちが「医療に携わる者として、ぜひ協力したい」と参加した。

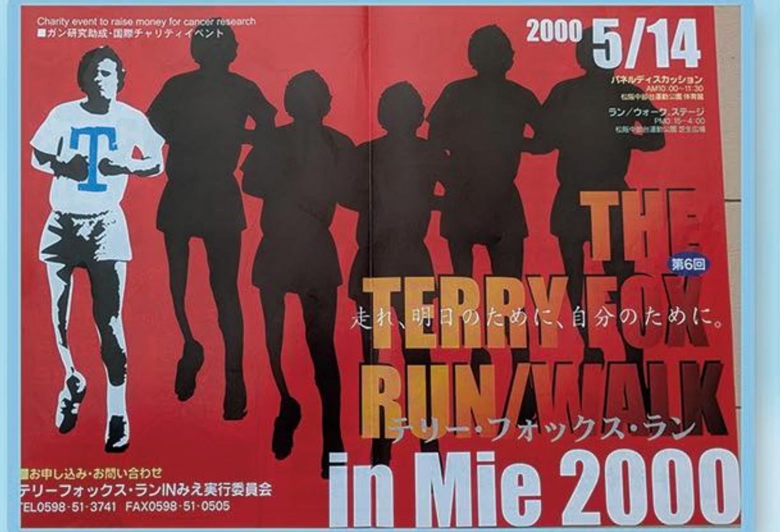
志摩病院には二週間ほど前、実行委員会から「立ち寄りたい」と要請があった。病院側も運動の趣旨に共感し、大矢寛美代看護部次長が中心となって「縦（横）断走」への参加や募金を呼び掛けた。

看護婦や事務職員ら十人が、阿児町の近鉄鵜方駅前から同病院までを伴走。病院前では、田川新生院長ら約二十人が出迎え、募金で集まった約五万八千円を、実行委員会のランナー珍道利行さんに手渡した。

大矢次長さんは「がんで亡くなる人をたくさん見てきて、一生懸命やっても救えないと限界を感じることがある。この運動の資金で、いつか、がんの撲滅につながれば」と話していた。

「県内縦（横）断走」に参加した県立志摩病院の職員ら＝阿児町鵜方で

Poster


Charity event to raise money for cancer research
■ガン研究助成・国際チャリティイベント

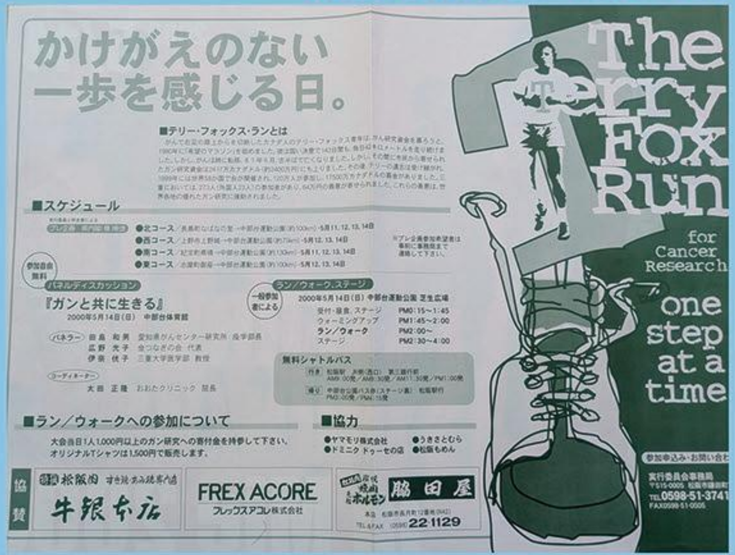
2000 5/14

パネルディスカッション
AM10:00~11:30
松阪中部台運動公園 体育館

ラン/ウォーク.ステージ
PM0:15~4:00
松阪中部台運動公園 芝生広場

第6回 THE TERRY FOX RUN/WALK
走れ、明日のために、自分のために。
テリー・フォックス・ラン
in Mie 2000

■お申し込み・お問い合わせ
テリーフォックス・ランINみえ実行委員会
TEL0598・51・3741 FAX0598・51・0505


かけがえのない
一歩を感じる日。

The Terry Fox Run for Cancer Research "one step at a time"

■テリー・フォックス・ランとは

■スケジュール

- ●北コース
- ●西コース
- ●南コース
- ●東コース

パネルディスカッション
『ガンと共に生きる』
2000年5月14日(日) 中部台体育館

パネラー
田島 和男 愛知県がんセンター研究所 疫学部長
広野 光子 金つなぎの会 代表
伊奈 侯子 三重大学医学部 教授

コーディネーター
太田 正隆 おおたクリニック 院長

ラン/ウォーク.ステージ
2000年5月14日(日) 中部台運動公園 芝生広場

受付・昼食.ステージ	PM0:15~1:45
ウォーミングアップ	PM1:45~2:00
ラン/ウォーク	PM2:00~
ステージ	PM2:30~4:00

無料シャトルバス

■ラン/ウォークへの参加について
大会当日1人1,000円以上のガン研究への寄付金を持参して下さい。
オリジナルTシャツは1,500円で販売します。

■協力
●ヤマモリ株式会社 ●うきさとむら
●ドミニク ドゥーセの店 ●松阪もめん

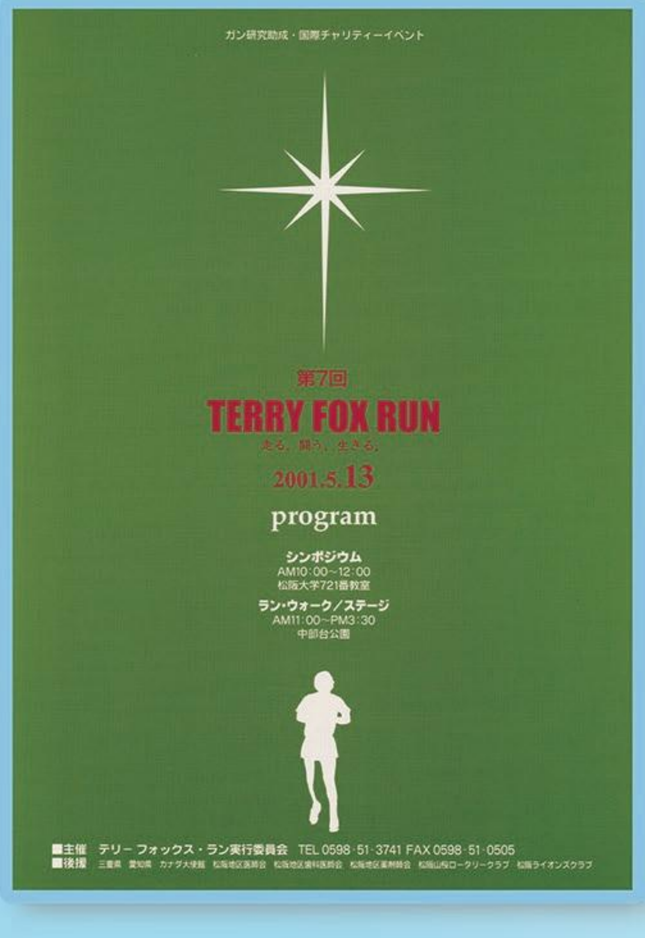
協賛
牛銀本店
FREX ACORE フレックスアコレ株式会社
脇田屋 TEL&FAX (0598) 22-1129

参加申込み・お問い合わせ
実行委員会事務局
TEL0598-51-3741
FAX0598-51-0505

ガン研究助成 テリー・フォックス・ラン in Mie

07 The Terry Fox Run

Program



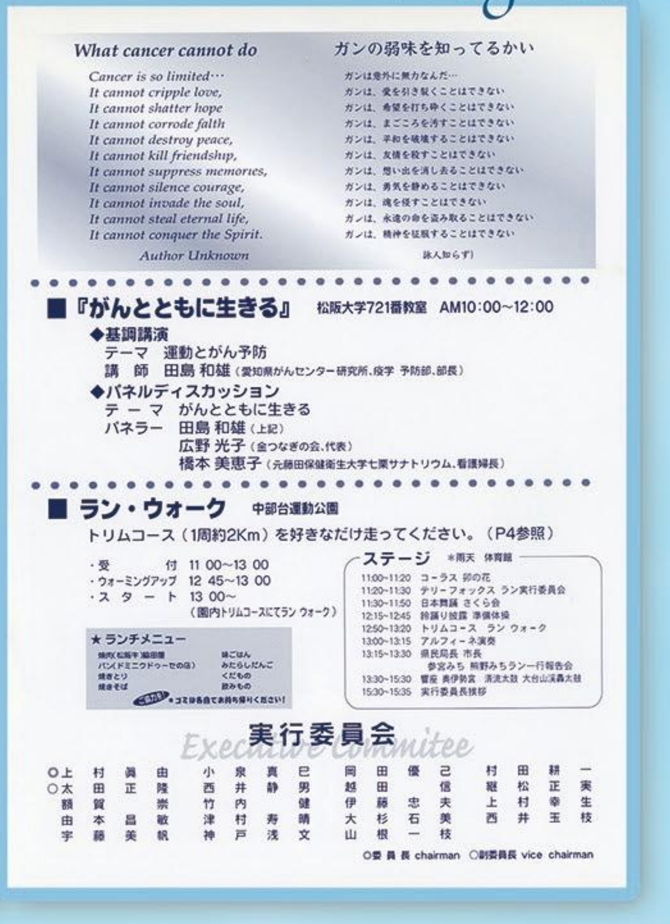
ガン研究助成・国際チャリティーイベント

第7回
TERRY FOX RUN
走る。闘う。生きる。
2001.5.13
program

シンポジウム
AM10：00～12：00
松阪大学721番教室

ラン・ウォーク／ステージ
AM11：00～PM3：30
中部台公園

■主催　テリー フォックス・ラン実行委員会　TEL 0598-51-3741 FAX 0598-51-0505
■後援　三重県　愛知県　カナダ大使館　松阪地区医師会　松阪地区歯科医師会　松阪地区薬剤師会　松阪山桜ロータリークラブ　松阪ライオンズクラブ



What cancer cannot do

Cancer is so limited…
It cannot cripple love,
It cannot shatter hope
It cannot corrode faith
It cannot destroy peace,
It cannot kill friendship,
It cannot suppress memories,
It cannot silence courage,
It cannot invade the soul,
It cannot steal eternal life,
It cannot conquer the Spirit.

Author Unknown

ガンの弱味を知ってるかい

ガンは意外に無力なんだ…
ガンは、愛を引き裂くことはできない
ガンは、希望を打ち砕くことはできない
ガンは、まごころを汚すことはできない
ガンは、平和を破壊することはできない
ガンは、友情を殺すことはできない
ガンは、想い出を消し去ることはできない
ガンは、勇気を静めることはできない
ガンは、魂を侵すことはできない
ガンは、永遠の命を盗み取ることはできない
ガンは、精神を征服することはできない

詠人知らず）

■『がんとともに生きる』　松阪大学721番教室　AM10：00～12：00

◆基調講演
テーマ　運動とがん予防
講　師　田島 和雄（愛知県がんセンター研究所、疫学 予防部、部長）

◆パネルディスカッション
テ ー マ　がんとともに生きる
パネラー　田島 和雄（上記）
広野 光子（金つなぎの会、代表）
橋本 美恵子（元藤田保健衛生大学七栗サナトリウム、看護婦長）

■ ラン・ウォーク　中部台運動公園

トリムコース（1周約2Km）を好きなだけ走ってください。（P4参照）

- 受　　付　11 00～13 00
- ウォーミングアップ　12 45～13 00
- ス タ ー ト　13 00～（園内トリムコースにてラン ウォーク）

★ランチメニュー
焼肉（松阪牛 脇田屋）
パン（ドミニクドゥーセの店）
焼きとり
焼きそば
味ごはん
みたらしだんご
くだもの
飲みもの
ご協力を！＊ゴミは各自でお持ち帰り下さい！

ステージ　＊雨天　体育館

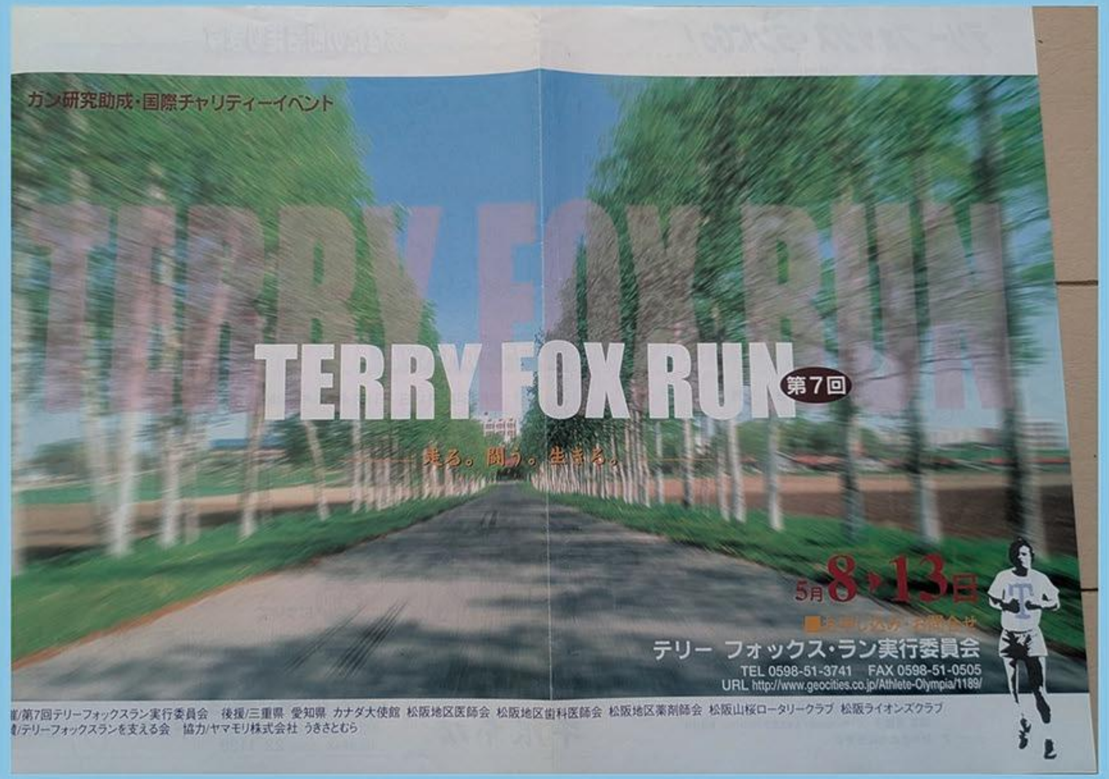
11:00~11:20　コーラス 卯の花
11:20~11:30　テリーフォックス ラン実行委員会
11:30~11:50　日本舞踊 さくら会
12:15~12:45　鈴踊り披露 準備体操
12:50~13:20　トリムコース　ラン ウォーク
13:00~13:15　アルフィーネ演奏
13:15~13:30　県民局長 市長
参宮みち 熊野みちラン一行報告会
13:30~15:30　響座 奥伊勢宮　清流太鼓 大台山渓轟太鼓
15:30~15:35　実行委員長挨拶

実行委員会
Executive Commitee

◎上村眞由　小泉真巳　岡田優己　村田耕一
○太田正隆　西井静男　越田 信　堀松正実
額賀 崇　竹内 健　伊藤忠夫　上村幸生
由本昌敏　津村寿晴　大杉石美　西井玉枝
宇藤美帆　神戸浅文　山根一枝

◎委員長 chairman　○副委員長 vice chairman

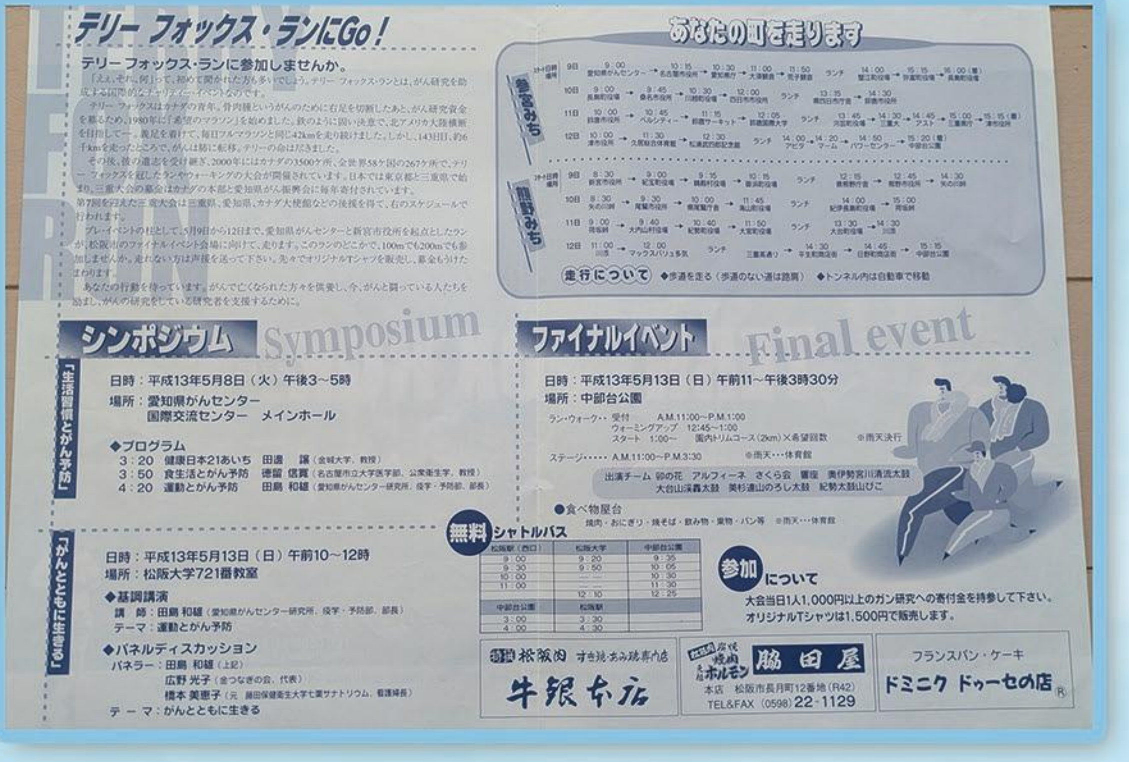
Poster



ガン研究助成・国際チャリティーイベント
TERRY FOX RUN
TERRY FOX RUN
第7回
走る。闘う。生きる。
5月8・13日

■お申し込み・お問合せ
テリー フォックス・ラン実行委員会
TEL 0598-51-3741　FAX 0598-51-0505
URL http://www.geocities.co.jp/Athlete-Olympia/1189/

催/第7回テリーフォックスラン実行委員会　後援/三重県　愛知県　カナダ大使館　松阪地区医師会　松阪地区歯科医師会　松阪地区薬剤師会　松阪山桜ロータリークラブ　松阪ライオンズクラブ
援/テリーフォックスランを支える会　協力/ヤマモリ株式会社　うきさとむら



テリー フォックス・ランにGo！

テリー フォックス・ランに参加しませんか。

「ええ、それ、何」って、初めて聞かれた方も多いでしょう。テリー フォックス・ランとは、がん研究を助成する国際的なチャリティー・イベントなのです。

テリー フォックスはカナダの青年。骨肉腫というがんのために右足を切断したあと、がん研究資金を募るため、1980年に「希望のマラソン」を始めました。鉄のように固い決意で、北アメリカ大陸横断を目指して一。義足を着けて、毎日フルマラソンと同じ42kmを走り続けました。しかし、143日目、約6千kmを走ったところで、がんは肺に転移、テリーの命は尽きました。

その後、彼の遺志を受け継ぎ、2000年にはカナダの3500ケ所、全世界58ケ国の267ケ所で、テリー フォックスを冠したランやウォーキングの大会が開催されています。日本では東京都と三重県で始まり、三重大会の募金はカナダの本部と愛知県がん振興会に毎年寄付されています。

第7回を迎えた三重大会は三重県、愛知県、カナダ大使館などの後援を得て、右のスケジュールで行われます。

プレ・イベントの柱として、5月9日から12日まで、愛知県がんセンターと新宮市役所を起点としたランが、松阪市のファイナルイベント会場に向けて、走ります。このランのどこかで、100mでも200mでも参加しませんか。走れない方は声援を送って下さい。先々でオリジナルTシャツを販売し、募金もうけたまわります。

あなたの行動を待っています。がんで亡くなられた方々を供養し、今、がんと闘っている人たちを励まし、がんの研究をしている研究者を支援するために。

あなたの町を走ります

走行について　◆歩道を走る（歩道のない道は路肩）　◆トンネル内は自動車で移動

シンポジウム Symposium

「生活習慣とがん予防」

日時：平成13年5月8日（火）午後3～5時
場所：愛知県がんセンター
国際交流センター　メインホール

◆プログラム
3：20　健康日本21あいち　田邊　譲（金城大学、教授）
3：50　食生活とがん予防　徳留 信寛（名古屋市立大学医学部、公衆衛生学、教授）
4：20　運動とがん予防　田島 和雄（愛知県がんセンター研究所、疫学・予防部、部長）

「がんとともに生きる」

日時：平成13年5月13日（日）午前10～12時
場所：松阪大学721番教室

◆基調講演
講　師：田島 和雄（愛知県がんセンター研究所、疫学・予防部、部長）
テーマ：運動とがん予防

◆パネルディスカッション
パネラー：田島 和雄（上記）
広野 光子（金つなぎの会、代表）
橋本 美恵子（元 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム、看護婦長）
テ ー マ：がんとともに生きる

ファイナルイベント Final event

日時：平成13年5月13日（日）午前11～午後3時30分
場所：中部台公園

ラン・ウォーク‥ 受付　A.M.11:00～P.M.1:00
ウォーミングアップ　12:45～1:00
スタート　1:00～　園内トリムコース（2km）×希望回数　※雨天決行

ステージ‥‥‥ A.M.11:00～P.M.3:30　※雨天‥‥体育館

出演チーム　卯の花　アルフィーネ　さくら会　響座　奥伊勢宮川清流太鼓
大台山渓轟太鼓　美杉遠山のろし太鼓　紀勢太鼓山びこ

●食べ物屋台
焼肉・おにぎり・焼そば・飲み物・果物・パン等　※雨天‥‥体育館

無料シャトルバス

松阪駅（西口）	松阪大学	中部台公園
9:00	9:20	9:35
9:30	9:50	10:05
10:00	——	10:30
11:00	——	11:30
	12:10	12:25
中部台公園	松阪駅	
3:00	3:30	
4:00	4:30	

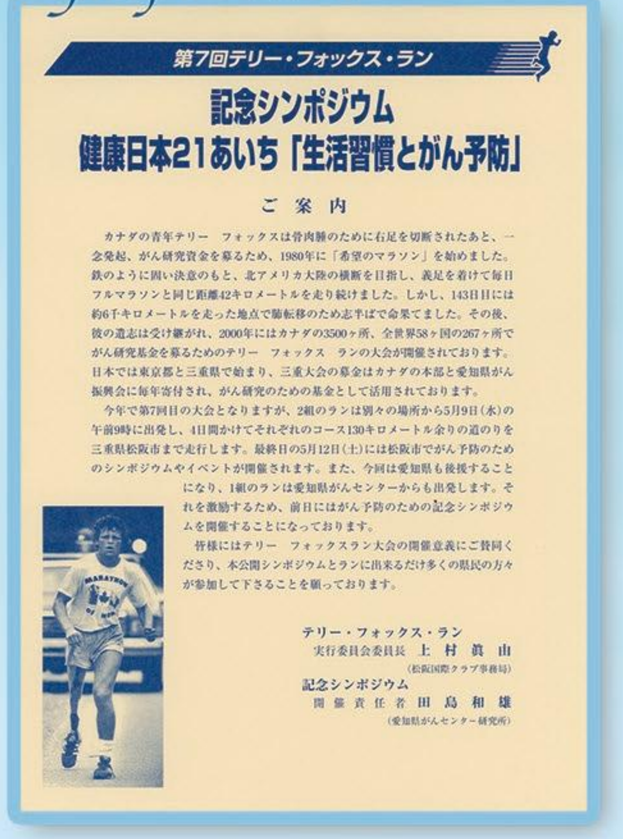
参加について
大会当日1人1,000円以上のガン研究への寄付金を持参して下さい。
オリジナルTシャツは1,500円で販売します。

松阪肉 すき焼・あみ焼専門店
牛銀本店

焼肉 ホルモン 脇田屋
本店　松阪市長月町12番地（R42）
TEL&FAX（0598）22-1129

フランスパン・ケーキ
ドミニク ドゥーセの店®

Symposium



第7回テリー・フォックス・ラン

記念シンポジウム
健康日本21あいち「生活習慣とがん予防」

ご 案 内

カナダの青年テリー　フォックスは骨肉腫のために右足を切断されたあと、一念発起、がん研究資金を募るため、1980年に「希望のマラソン」を始めました。鉄のように固い決意のもと、北アメリカ大陸の横断を目指し、義足を着けて毎日フルマラソンと同じ距離42キロメートルを走り続けました。しかし、143日目には約6千キロメートルを走った地点で肺転移のため志半ばで命果てました。その後、彼の遺志は受け継がれ、2000年にはカナダの3500ヶ所、全世界58ヶ国の267ヶ所でがん研究基金を募るためのテリー　フォックス　ランの大会が開催されております。日本では東京都と三重県で始まり、三重大会の募金はカナダの本部と愛知県がん振興会に毎年寄付され、がん研究のための基金として活用されております。

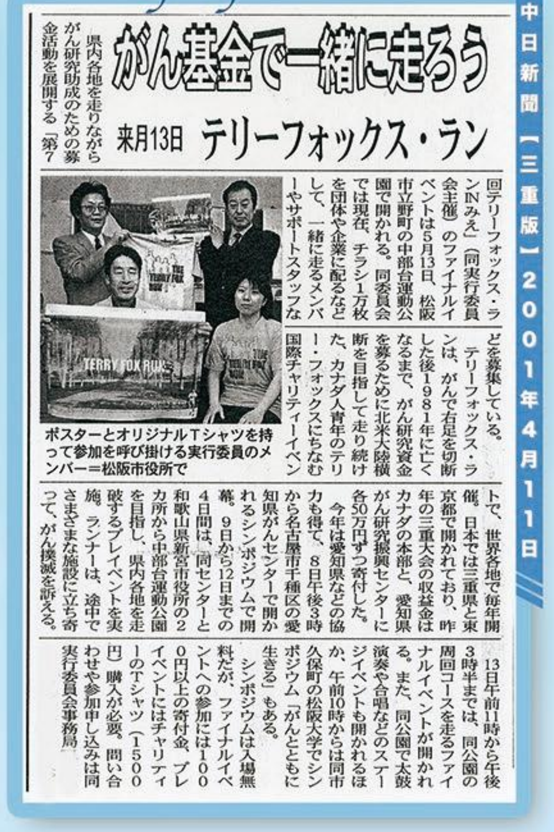
今年で第7回目の大会となりますが、2組のランは別々の場所から5月9日（水）の午前9時に出発し、4日間かけてそれぞれのコース130キロメートル余りの道のりを三重県松阪市まで走行します。最終日の5月12日（土）には松阪市でがん予防のためのシンポジウムやイベントが開催されます。また、今回は愛知県も後援することになり、1組のランは愛知県がんセンターからも出発します。それを激励するため、前日にはがん予防のための記念シンポジウムを開催することになっております。

皆様にはテリー　フォックスラン大会の開催意義にご賛同くださり、本公開シンポジウムとランに出来るだけ多くの県民の方々が参加して下さることを願っております。

テリー・フォックス・ラン
実行委員会委員長　上 村 眞 由
（松阪国際クラブ事務局）

記念シンポジウム
開 催 責 任 者　田 島 和 雄
（愛知県がんセンター研究所）

Newspaper article



中日新聞【三重版】2001年4月11日

がん基金で一緒に走ろう
来月13日　テリーフォックス・ラン

県内各地を走りながらがん研究助成のための募金活動を展開する「第7回テリーフォックス・ランINみえ」（同実行委員会主催）のファイナルイベントは5月13日、松阪市立野町の中部台運動公園で開かれる。同委員会では現在、チラシ1万枚を団体や企業に配るなどして、一緒に走るメンバーやサポートスタッフなどを募集している。

テリーフォックス・ランは、がんで右足を切断した後1981年に亡くなるまで、がん研究資金を募るために北米大陸横断を目指して走り続けた、カナダ人青年のテリー・フォックスにちなむ国際チャリティーイベントで、世界各地で毎年開催。日本では三重県と東京都で開かれており、昨年の三重大会の収益金はカナダの本部と、愛知県がん研究振興センターに各50万円ずつ寄付した。

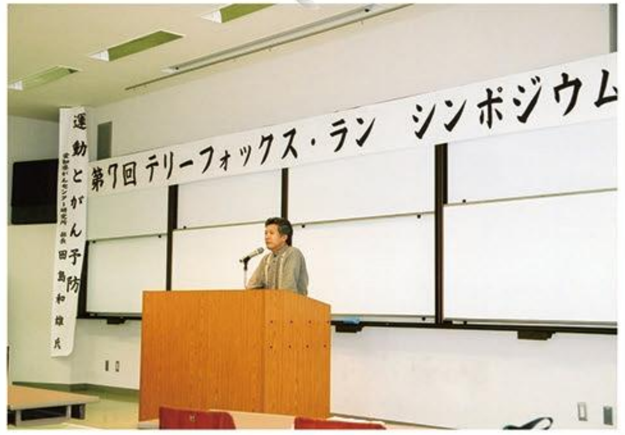
今年は愛知県などの協力も得て、8日午後3時から名古屋市千種区の愛知県がんセンターで開かれるシンポジウムで開幕。9日から12日までの4日間は、同センターと和歌山県新宮市役所の2カ所から中部台運動公園を目指し、県内各地を走破するプレイベントを実施。ランナーは、途中でさまざまな施設に立ち寄って、がん撲滅を訴える。

13日午前11時から午後3時半までは、同公園の周回コースを走るファイナルイベントが開かれる。また、同公園で太鼓演奏や合唱などのステージイベントも開かれるほか、午前10時からは同市久保町の松阪大学でシンポジウム「がんとともに生きる」もある。

シンポジウムは入場無料だが、ファイナルイベントへの参加には1000円以上の寄付金、プレイベントにはチャリティーのTシャツ（1500円）購入が必要。問い合わせや参加申し込みは同実行委員会事務局

ポスターとオリジナルTシャツを持って参加を呼び掛ける実行委員のメンバー＝松阪市役所で

Photograph

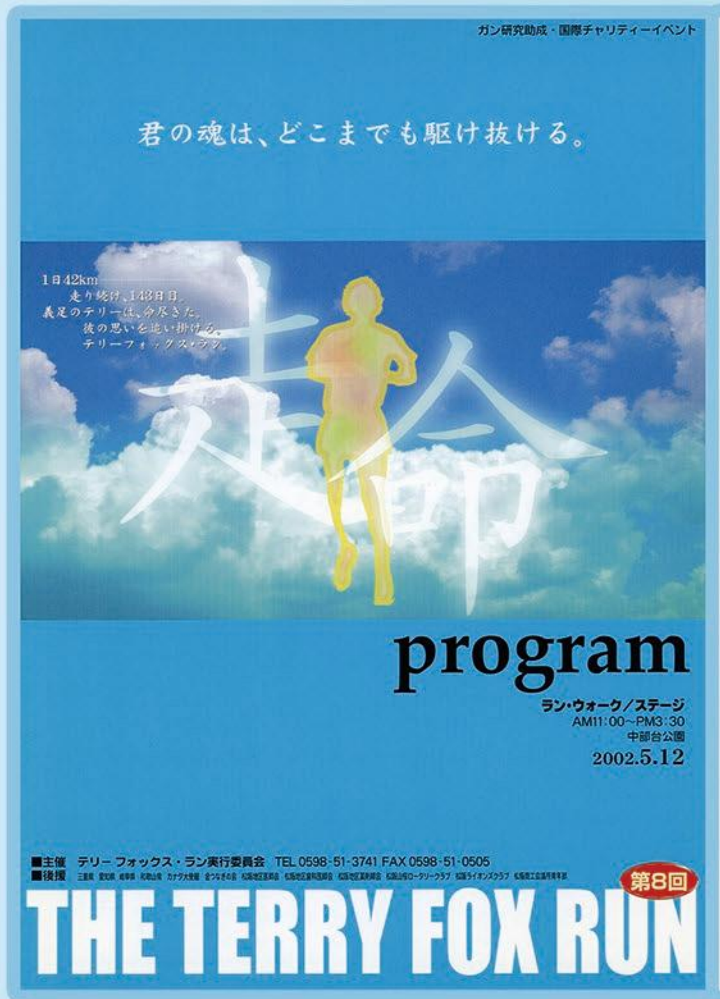


第7回 テリーフォックス・ラン　シンポジウム
運動とがん予防
愛知県がんセンター研究所 部長 田島和雄 氏

2001

08 The Terry Fox Run

Program



ガン研究助成・国際チャリティーイベント

君の魂は、どこまでも駆け抜ける。

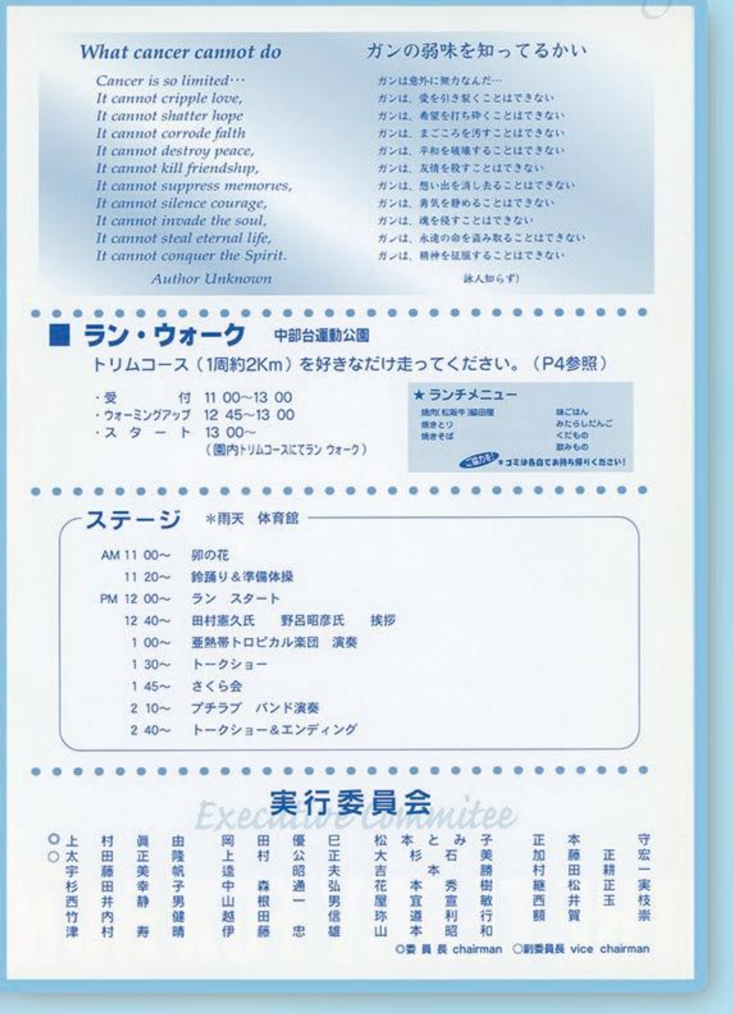
1日42km
走り続け、143日目。
義足のテリーは、命尽きた。
彼の思いを追い掛ける。
テリーフォックス・ラン。

program

ラン・ウォーク／ステージ
AM11:00〜PM3:30
中部台公園
2002.5.12

■主催 テリー フォックス・ラン実行委員会 TEL 0598-51-3741 FAX 0598-51-0505
■後援 三重県 愛知県 岐阜県 和歌山県 カナダ大使館 [illegible]

第8回
THE TERRY FOX RUN



What cancer cannot do	ガンの弱味を知ってるかい
Cancer is so limited…	ガンは意外に無力なんだ…
It cannot cripple love,	ガンは、愛を引き裂くことはできない
It cannot shatter hope	ガンは、希望を打ち砕くことはできない
It cannot corrode faith	ガンは、まごころを汚すことはできない
It cannot destroy peace,	ガンは、平和を破壊することはできない
It cannot kill friendship,	ガンは、友情を殺すことはできない
It cannot suppress memories,	ガンは、想い出を消し去ることはできない
It cannot silence courage,	ガンは、勇気を静めることはできない
It cannot invade the soul,	ガンは、魂を侵すことはできない
It cannot steal eternal life,	ガンは、永遠の命を盗み取ることはできない
It cannot conquer the Spirit.	ガンは、精神を征服することはできない
Author Unknown	詠人知らず）

■ ラン・ウォーク 中部台運動公園

トリムコース（1周約2Km）を好きなだけ走ってください。（P4参照）

- ・受付 11 00〜13 00
- ・ウォーミングアップ 12 45〜13 00
- ・スタート 13 00〜
  （園内トリムコースにてラン ウォーク）

★ランチメニュー

焼肉(松阪牛 瀬田屋)
焼きとり
焼きそば
味ごはん
みたらしだんご
くだもの
飲みもの

ご協力を ＊ゴミは各自でお持ち帰りください!

ステージ ＊雨天 体育館

AM 11 00〜	卯の花
11 20〜	鈴踊り＆準備体操
PM 12 00〜	ラン スタート
12 40〜	田村憲久氏 野呂昭彦氏 挨拶
1 00〜	亜熱帯トロピカル楽団 演奏
1 30〜	トークショー
1 45〜	さくら会
2 10〜	プチラブ バンド演奏
2 40〜	トークショー＆エンディング

実行委員会

Executive Commitee

○上村眞由
○太田正隆
宇藤美帆
杉田幸子
西井静男
竹内　健
津村寿晴

岡田優巳
上村公正
遠　昭夫
中森通弘
山根一男
越田　信
伊藤忠雄

松本とみ子
大杉　石美
吉　本　勝
花本　秀樹
屋宜　宣敏
珎道　利行
山本　昭和

正本　守
加藤正宏
村田耕一
継松正実
西井玉枝
額賀　崇

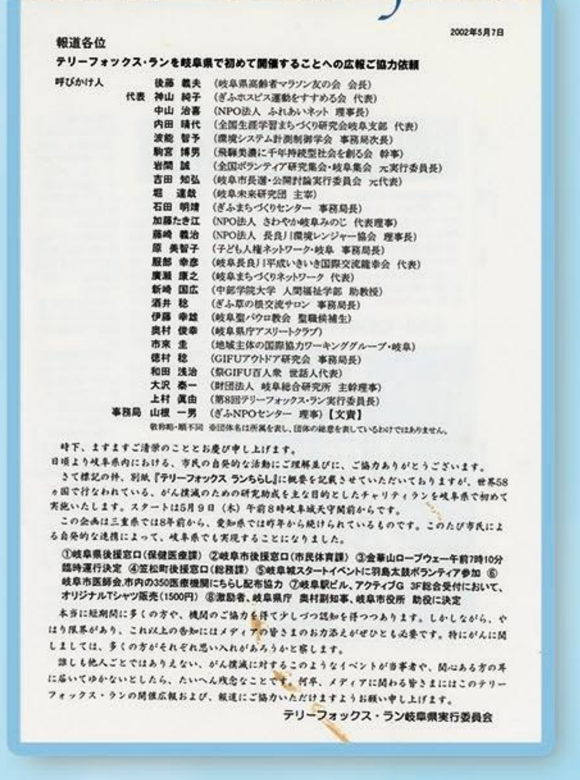
○委員長 chairman ○副委員長 vice chairman

Photograph

テリー・フォックスラン INみえ

2002

Letter to the press



2002年5月7日

報道各位

テリーフォックス・ランを岐阜県で初めて開催することへの広報ご協力依頼

呼びかけ人	後藤 義夫	（岐阜県高齢者マラソン友の会 会長）
代表	神山 純子	（ぎふホスピス運動をすすめる会 代表）
	中山 治喜	（NPO法人 ふれあいネット 理事長）
	内田 晴代	（全国生涯学習まちづくり研究会岐阜支部 代表）
	波能 智予	（環境システム計測制御学会 事務局次長）
	駒宮 博男	（飛騨美濃に千年持続型社会を創る会 幹事）
	岩間 誠	（全国ボランティア研究集会・岐阜集会 元実行委員長）
	吉田 知弘	（岐阜市長選・公開討論実行委員会 元代表）
	堀 達枝	（岐阜未来研究団 主宰）
	石田 明靖	（ぎふまちづくりセンター 事務局長）
	加藤たき江	（NPO法人 さわやか岐阜みのじ 代表理事）
	藤崎 義治	（NPO法人 長良川環境レンジャー協会 理事長）
	原 美智子	（子ども人権ネットワーク・岐阜 事務局長）
	服部 幸彦	（岐阜長良川平成いきいき国際交流親善会 代表）
	廣瀬 康之	（岐阜まちづくりネットワーク 代表）
	新崎 国広	（中部学院大学 人間福祉学部 助教授）
	酒井 稔	（ぎふ草の根交流サロン 事務局長）
	伊藤 幸雄	（岐阜聖パウロ教会 聖職候補生）
	奥村 俊幸	（岐阜県庁アスリートクラブ）
	市來 圭	（地域主体の国際協力ワーキンググループ・岐阜）
	徳村 稔	（GIFUアウトドア研究会 事務局長）
	和田 浅治	（祭GIFU百人衆 世話人代表）
	大沢 泰一	（財団法人 岐阜総合研究所 主幹理事）
	上村 眞由	（第8回テリーフォックス・ラン実行委員長）
事務局	山根 一男	（ぎふNPOセンター 理事）【文責】

敬称略・順不同 ※団体名は所属を表し、団体の総意を表しているわけではありません。

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より岐阜県内における、市民の自発的な活動にご理解並びに、ご協力ありがとうございます。

さて標記の件、別紙『テリーフォックス ランちらし』に概要を記載させていただいておりますが、世界58ヵ国で行なわれている、がん撲滅のための研究助成を主な目的としたチャリティランを岐阜県で初めて実施いたします。スタートは5月9日（木）午前8時岐阜城天守閣前からです。

この企画は三重県では8年前から、愛知県では昨年から続けられているものです。このたび市民による自発的な連携によって、岐阜県でも実現することになりました。

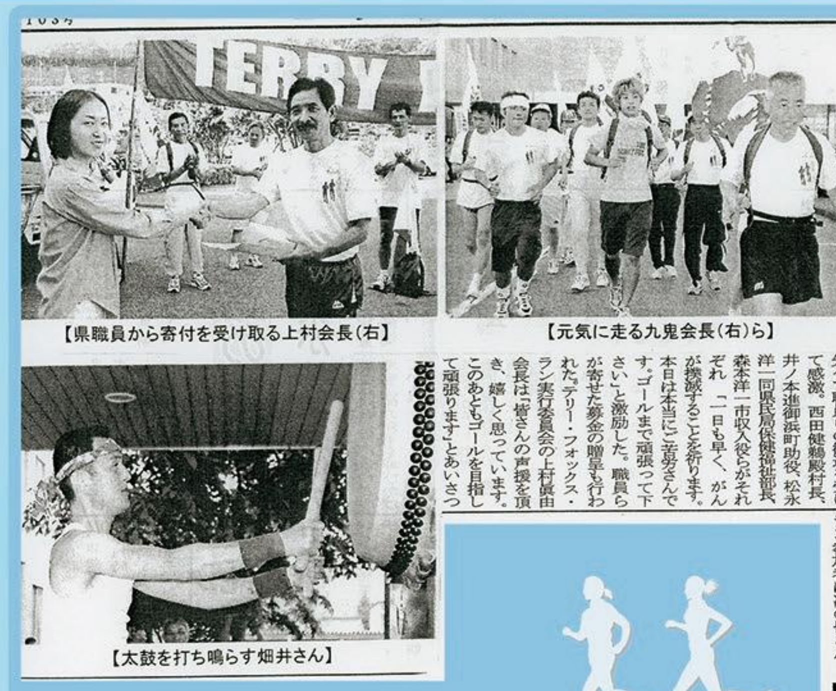
①岐阜県後援窓口（保健医療課） ②岐阜市後援窓口（市民体育課） ③金華山ロープウェー午前7時10分臨時運行決定 ④笠松町後援窓口（総務課） ⑤岐阜城スタートイベントに羽島太鼓ボランティア参加 ⑥岐阜市医師会、市内の350医療機関にちらし配布協力 ⑦岐阜駅ビル、アクティブG 3F総合受付において、オリジナルTシャツ販売（1500円） ⑧激励者、岐阜県庁 奥村副知事、岐阜市役所 助役に決定

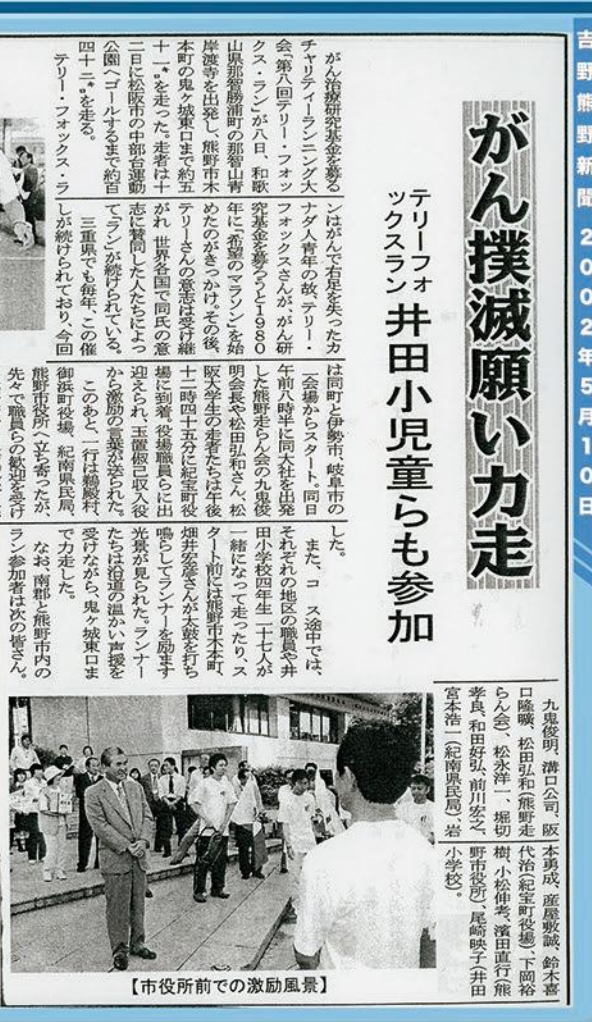
本当に短期間に多くの方や、機関のご協力を得て少しづつ認知を得つつあります。しかしながら、やはり限界があり、これ以上の告知にはメディアの皆さまのお力添えがぜひとも必要です。特にがんに関しましては、多くの方がそれぞれ思い入れがあろうかと察します。

誰しも他人ごとではありえない、がん撲滅に対するこのようなイベントが当事者や、関心ある方の耳に届いてゆかないとしたら、たいへん残念なことです。何卒、メディアに関わる皆さまにはこのテリーフォックス・ランの開催広報および、報道にご協力いただけますようお願い申し上げます。

テリーフォックス・ラン岐阜県実行委員会

Newspaper article





吉野熊野新聞 2002年5月10日

がん撲滅願い力走

テリーフォックスラン 井田小児童らも参加

がん治療研究基金を募るチャリティーランニング大会「第八回テリー・フォックス・ラン」が八日、和歌山県那智勝浦町の那智山青岸渡寺を出発し、熊野市木本町の鬼ヶ城東口まで約五十一㌔を走った。走者は十二日に松阪市の中部台運動公園へゴールするまで約百四十二㌔を走る。

テリー・フォックス・ランはがんで右足を失ったカナダ人青年の故、テリー・フォックスさんが、がん研究基金を募ろうと1980年に「希望のマラソン」を始めたのがきっかけ。その後、テリーさんの意志は受け継がれ 世界各国で同氏の意志に賛同した人たちによって「ラン」が続けられている。

三重県でも毎年、この催しが続けられており、今回は同町と伊勢市、岐阜市の三会場からスタート。同日午前八時半に同大社を出発した熊野走らん会の九鬼俊明会長や松田弘和さん、松阪大学生の走者たちは午後十二時四十五分に紀宝町役場に到着。役場職員らに出迎えられ、玉置仮己収入役から激励の言葉が送られた。

このあと、一行は鵜殿村、御浜町役場、紀南県民局、熊野市役所へ立ち寄ったが、先々で職員らの歓迎を受けて感激。西田健鵜殿村長、井ノ本進御浜町助役、松永洋一同県民局保健福祉部長、森本洋一市収入役らがそれぞれ「一日も早く、がんが撲滅することを祈ります。本日は本当にご苦労さんです。ゴールまで頑張って下さい」と激励した。職員らが寄せた募金の贈呈も行われた。テリー・フォックス・ラン実行委員会の上村眞由会長は「皆さんの声援を頂き、嬉しく思っています。このあともゴールを目指して頑張ります」とあいさつした。

また、コース途中では、それぞれの地区の職員や井田小学校四年生二十七人が一緒になって走ったり、スタート前には熊野市木本町、畑井宏彦さんが太鼓を打ち鳴らしてランナーを励ます光景が見られた。ランナーたちは沿道の温かい声援を受けながら、鬼ヶ城東口まで力走した。

なお、南郡と熊野市内のラン参加者は次の皆さん。

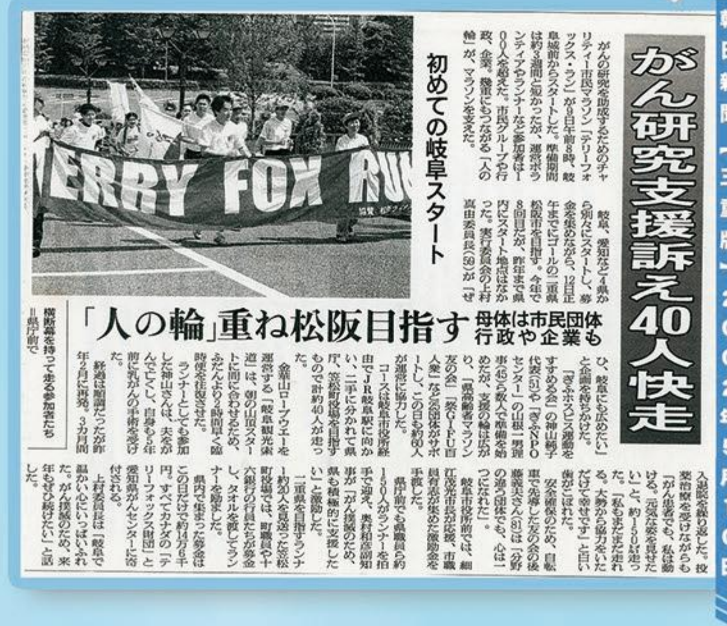
九鬼俊明、溝口公司、阪口隆曠、松田弘和（熊野走らん会）、松永洋一、堀切孝良、和田好弘、前川宏之、宮本浩二（紀南県民局）、岩本勇成、産屋敷誠、鈴木喜代治（紀宝町役場）、下岡裕樹、小松伸考、濱田直行（熊野市役所）、尾崎映子（井田小学校）。

【県職員から寄付を受け取る上村会長（右）】

【元気に走る九鬼会長（右）ら】

【太鼓を打ち鳴らす畑井さん】

【市役所前での激励風景】



朝日新聞【三重版】2002年5月10日

がん研究支援訴え40人快走

初めての岐阜スタート

「人の輪」重ね松阪目指す 母体は市民団体 行政や企業も

がんの研究を助成するためのチャリティー市民マラソン「テリーフォックス・ラン」が9日午前8時、岐阜城前からスタートした。準備期間は約3週間と短かったが、運営ボランティアやランナーなど参加者は100人を超えた。市民グループや行政、企業。幾重にもつながる「人の輪」が、マラソンを支えた。

岐阜、愛知など4県から別々にスタートし、募金を集めながら、12日正午までにゴールの三重県松阪市を目指す。今年で8回目だが、昨年まで県内にスタート地点はなかった。実行委員会の上村眞由委員長(59)が「ぜひ、岐阜にも広めたい」と企画を持ちかけた。

「ぎふホスピス運動をすすめる会」の神山純子代表(51)や「ぎふNPOセンター」の山根一男理事(45)ら数人で準備を始めたが、支援の輪は広がり、「県高齢者マラソン友の会」「祭GIFU百人衆」など6団体がサポートし、この日も約60人が運営に協力した。

コースは岐阜市役所経由でJR岐阜駅に向かい、二手に分かれて県庁、笠松町役場を目指すもので計約40人が走った。

金華山ロープウエーを運営する「岐阜観光索道」は、朝の山頂スタートに間に合わせるため、ふだんより2時間早く臨時便を往復させた。

ランナーとしても参加した神山さんは、夫をがんで亡くし、自身も5年前に乳がんの手術を受けた。

経過は順調だったが昨年2月に再発。3カ月間入退院を繰り返した。投薬治療を受けながらも「がん患者でも、私は動ける。元気な姿を見せたい」と、約150㍍走った。「私もまだまだ走れる。大勢から協力をいただけて幸せです」と白い歯がこぼれた。

安全確保のため、自転車で先導した友の会の後藤義夫さん(81)は「分野の違う団体でも、心は一つになれた」。

岐阜市役所前では、細江茂光市長が応援、市職員有志が集めた激励金を手渡した。

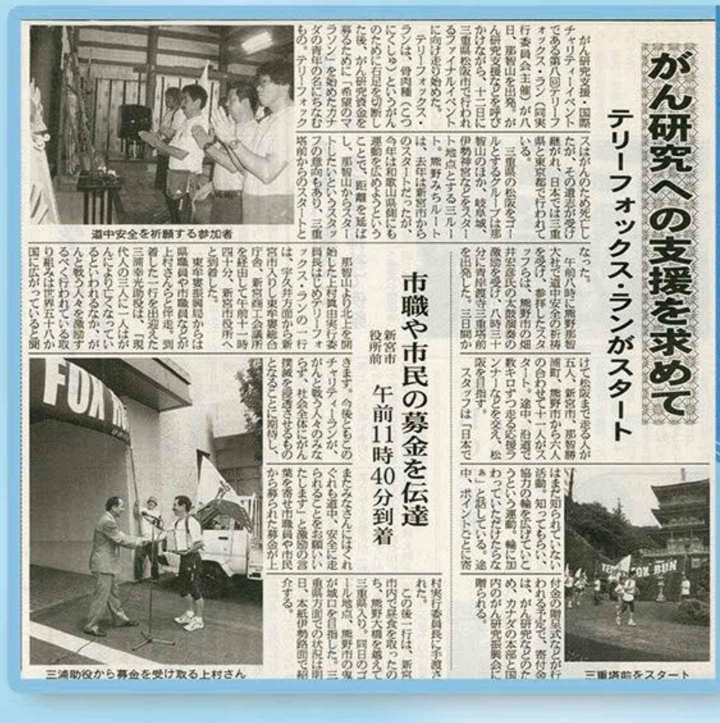
県庁前でも県職員ら約150人がランナーを拍手で迎え、奥村和彦副知事が「がん撲滅のため、県も積極的に支援したい」と激励した。

三重県を目指すランナー約20人を見送った笠松町役場では、町職員や十六銀行の行員たちが募金し、タオルを渡してランナーを励ました。

県内で集まった募金はこの日だけで約14万6千円。すべてカナダの「テリーフォックス財団」と愛知県がんセンターに寄付される。

上村委員長は「岐阜で温かい心にいっぱいふれた。がん撲滅のため、来年もぜひ続けたい」と話した。

横断幕を持って走る参加者たち＝県庁前で



紀南新聞 2002年5月9日

がん研究への支援を求めて

テリーフォックス・ランがスタート

がん研究支援・国際チャリティーイベントである第八回テリーフォックス・ラン（同実行委員会主催）が八日、那智山を出発。がん研究支援などを呼びかけながら、十二日に三重県松阪市で行われるファイナルイベントに向け走り始めた。

テリーフォックス・ランは、骨肉腫（こつにくしゅ）というがんのために右足を切断した後、がん研究資金を募るために「希望のマラソン」を始めたカナダの青年の名にちなむもの。テリーフォックスはがんのため死亡したが、その遺志が受け継がれ、日本では三重県と東京都で行われている。

三重県の松阪をゴールとするグループは那智山のほか、岐阜城、伊勢神宮などをスタート地点とする三ルート。熊野みちルートは、去年は新宮市からのスタートだったが、今年は和歌山県側にも運動を広めようということで、距離を延ばし、那智山からスタートしたいというスタッフの意向もあり、三重塔前からのスタートとなった。

午前八時に熊野那智大社で道中安全の祈祷を受け、参拝したスタッフらは、熊野市の畑井宏彦氏の太鼓演奏の激励を受け、八時三十分に青岸渡寺三重塔前を出発した。三日間かけて松阪まで走る人が五人、新宮市、那智勝浦町、熊野市から六人の合わせて十一人がスタート。途中、沿道で数キロずつ走る応援ランナーなどを交え、松阪を目指す。

スタッフは「日本ではまだ知られていない活動。知ってもらい、協力の輪を広げていこうという運動。輪に加わっていただけたらなぁ」と話している。途中、ポイントごとに寄付金の贈呈式などが行われる予定で、寄付金は、がん研究などのため、カナダの本部と国内のがん研究振興会に贈られる。

市職や市民の募金を伝達 新宮市役所前 午前11時40分到着

那智山より北上を開始した上村眞由実行委員長はじめテリーフォックス・ランの一行は、宇久井方面から新宮市入りし東牟婁総合庁舎、新宮商工会議所を経由して午前十一時四十分、新宮市役所へと到着した。

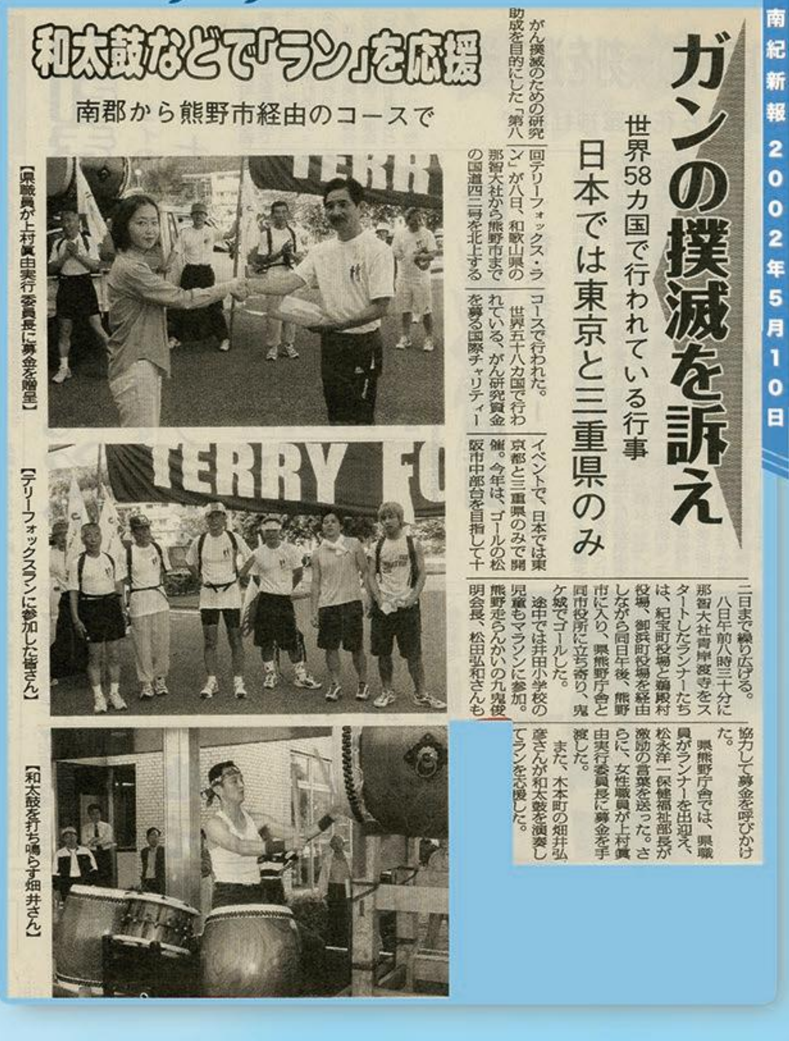
東牟婁振興局からは県職員や市職員などが上村さんらと伴走。到着した一行を出迎えた三浦幸光助役は、「現代人の三人に一人はがんにより亡くなっているといわれるなか、がんと戦う人々を激励するべく行われている取り組みは世界五十八か国に広がっていると聞きます。今後ともこのチャリティーランが、がんと戦う人々のみならず、社会全体にがん撲滅を浸透させるものとなることに期待し、またみなさんにはくれぐれも道中、安全に走られることをお願いいたします」と激励の言葉を寄せ市職員や市民から募られた募金が上村実行委員長に手渡された。

この後一行は、新宮市内で昼食を取ったのち、熊野大橋を越えて三重県入り。同日のゴール地点、熊野市の鬼が城口を目指した。三重県方面での状況は明日、本紙伊勢路面で紹介する。

道中安全を祈願する参加者

三浦助役から募金を受け取る上村さん

三重塔前をスタート



南紀新報 2002年5月10日

ガンの撲滅を訴え

世界58カ国で行われている行事 日本では東京と三重県のみ

和太鼓などで「ラン」を応援 南郡から熊野市経由のコースで

がん撲滅のための研究助成を目的にした「第八回テリーフォックス・ラン」が八日、和歌山県の那智大社から熊野市までの国道四二号を北上するコースで行われた。

世界五十八カ国で行われている、がん研究資金を募る国際チャリティーイベントで、日本では東京都と三重県のみで開催。今年は、ゴールの松阪市中部台を目指して十二日まで繰り広げる。

八日午前八時三十分に那智大社青岸渡寺をスタートしたランナーたちは、紀宝町役場と鵜殿村役場、御浜町役場を経由しながら同日午後、熊野市に入り、県熊野庁舎と同市役所に立ち寄り、鬼ケ城でゴールした。

途中では井田小学校の児童もマラソンに参加。熊野走らんかいの九鬼俊明会長、松田弘和さんも協力して募金を呼びかけた。

県熊野庁舎では、県職員がランナーを出迎え、松永洋一保健福祉部長が激励の言葉を送った。さらに、女性職員が上村眞由実行委員長に募金を手渡した。

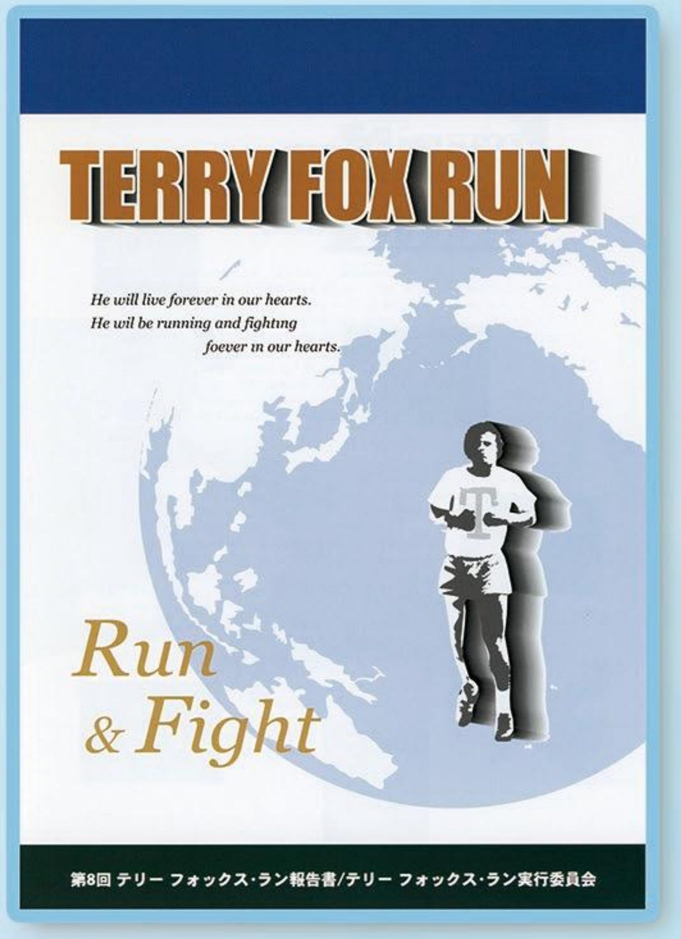
また、木本町の畑井弘彦さんが和太鼓を演奏してランを応援した。

【県職員が上村眞由実行委員長に募金を贈呈】

【テリーフォックスランに参加した皆さん】

【和太鼓を打ち鳴らす畑井さん】

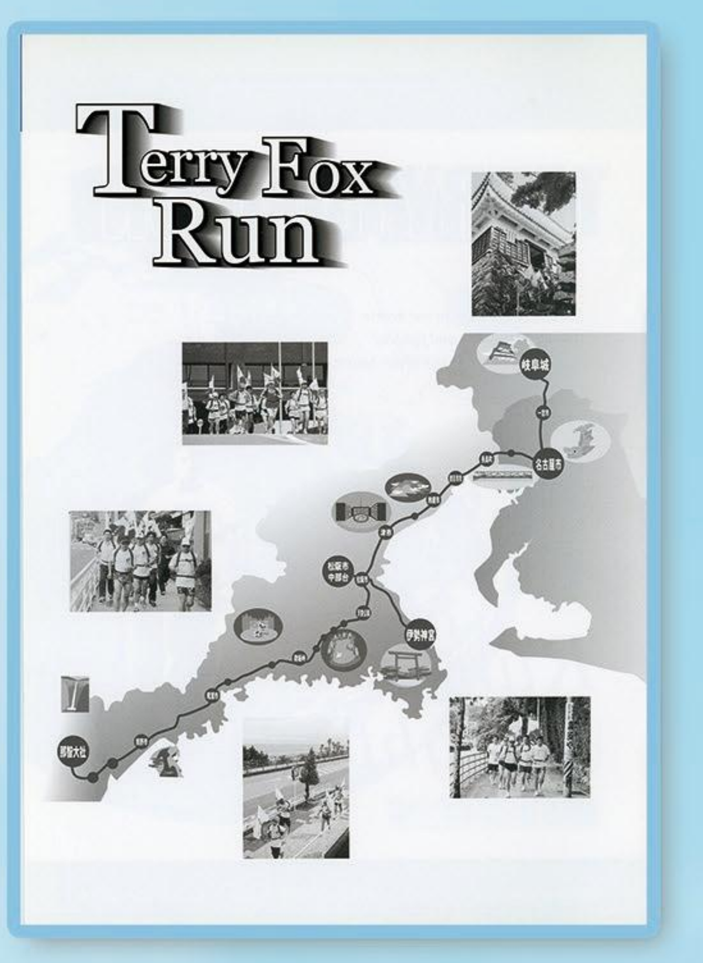
2002


TERRY FOX RUN

He will live forever in our hearts.
He wil be running and fightng
foever in our hearts.

Run
& Fight

第8回 テリー フォックス・ラン報告書/テリー フォックス・ラン実行委員会


Terry Fox Run

Terry Fox Run

テリーフォックスラン・プレ企画
「あなたの町を走ります」

参宮みち編

■ 参宮道　■ 伊勢道

4

Terry Fox Run

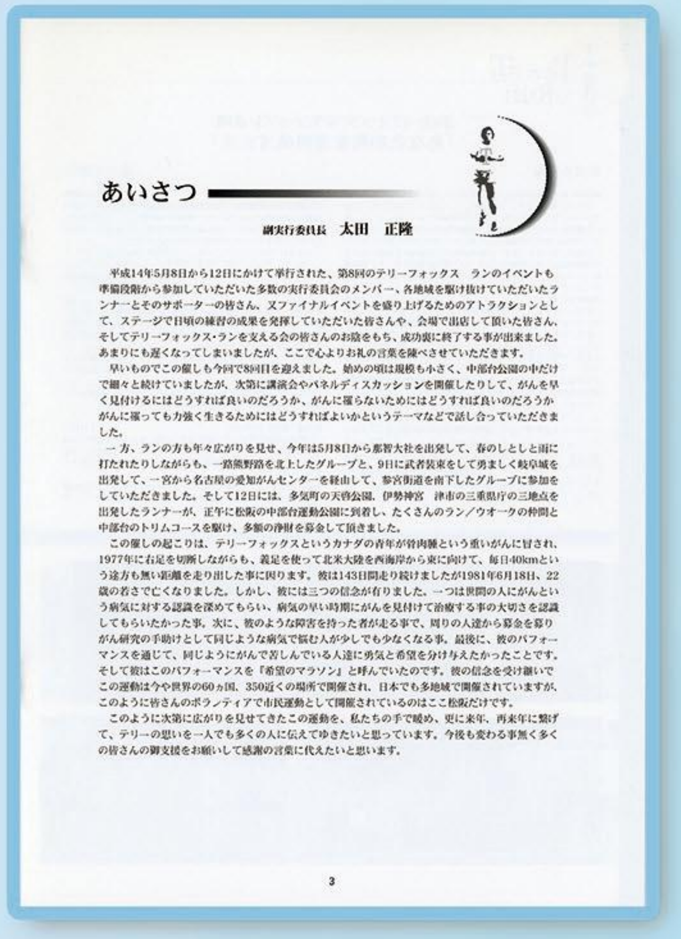
テリーフォックスラン・プレ企画
「あなたの町を走ります」

伊勢みち編

熊野みち編

■ 熊野道　■ 松阪（中部台公園）

5


あいさつ

副実行委員長　太田　正隆

平成14年5月8日から12日にかけて挙行された、第8回のテリーフォックス　ランのイベントも準備段階から参加していただいた多数の実行委員会のメンバー、各地域を駆け抜けていただいたランナーとそのサポーターの皆さん、又ファイナルイベントを盛り上げるためのアトラクションとして、ステージで日頃の練習の成果を発揮していただいた皆さんや、会場で出店して頂いた皆さん、そしてテリーフォックス・ランを支える会の皆さんのお陰をもち、成功裏に終了する事が出来ました。あまりにも遅くなってしまいましたが、ここで心よりお礼の言葉を陳べさせていただきます。

早いものでこの催しも今回で8回目を迎えました。始めの頃は規模も小さく、中部台公園の中だけで細々と続けていましたが、次第に講演会やパネルディスカッションを開催したりして、がんを早く見付けるにはどうすれば良いのだろうか、がんに罹らないためにはどうすれば良いのだろうかがんに罹っても力強く生きるためにはどうすればよいかというテーマなどで話し合っていただきました。

一方、ランの方も年々広がりを見せ、今年は5月8日から那智大社を出発して、春のしとしと雨に打たれたりしながらも、一路熊野路を北上したグループと、9日に武者装束をして勇ましく岐阜城を出発して、一宮から名古屋の愛知がんセンターを経由して、参宮街道を南下したグループに参加をしていただきました。そして12日には、多気町の天啓公園、伊勢神宮　津市の三重県庁の三地点を出発したランナーが、正午に松阪の中部台運動公園に到着し、たくさんのラン／ウオークの仲間と中部台のトリムコースを駆け、多額の浄財を募金して頂きました。

この催しの起こりは、テリーフォックスというカナダの青年が骨肉腫という重いがんに冒され、1977年に右足を切断しながらも、義足を使って北米大陸を西海岸から東に向けて、毎日40kmという途方も無い距離を走り出した事に因ります。彼は143日間走り続けましたが1981年6月18日、22歳の若さで亡くなりました。しかし、彼には三つの信念が有りました。一つは世間の人にがんという病気に対する認識を深めてもらい、病気の早い時期にがんを見付けて治療する事の大切さを認識してもらいたかった事。次に、彼のような障害を持った者が走る事で、周りの人達から募金を募りがん研究の手助けとして同じような病気で悩む人が少しでも少なくなる事。最後に、彼のパフォーマンスを通じて、同じようにがんで苦しんでいる人達に勇気と希望を分け与えたかったことです。そして彼はこのパフォーマンスを『希望のマラソン』と呼んでいたのです。彼の信念を受け継いでこの運動は今や世界の60ヵ国、350近くの場所で開催され、日本でも多地域で開催されていますが、このように皆さんのボランティアで市民運動として開催されているのはここ松阪だけです。

このように次第に広がりを見せてきたこの運動を、私たちの手で暖め、更に来年、再来年に繋げて、テリーの思いを一人でも多くの人に伝えてゆきたいと思っています。今後も変わる事無く多くの皆さんの御支援をお願いして感謝の言葉に代えたいと思います。

3

Terry Fox Run

第8回テリーフォックス・ラン　イベント概要

テリーフォックスはカナダの青年。骨肉腫というがんのために右足を切断したあと、がん研究資金を募るため、1980年に「希望のマラソン」を始めました。鉄のように固い決意で、北アメリカ大陸横断を目指して　。義足を着けて、毎日フルマラソンと同じ42kmを走り続けました。しかし、143日目、約6千kmを走ったところで、がんは肺に転移、テリーの命は尽きました。

その後、彼の意志を受け継ぎ、2000年にはカナダの3500ケ所、全世界58ヶ国の267ケ所で、テリーフォックスを冠したランやウォーキングの大会が開催されています。日本では東京都と三重県で始まり、集められた募金はカナダの本部と愛知県がん研究振興会に毎年寄付されています。

あなたの行動を待っています。がんで亡くなられた方々を供養し、今、がんと闘ってる人たちを励まし、がんの研究者を支援するために。

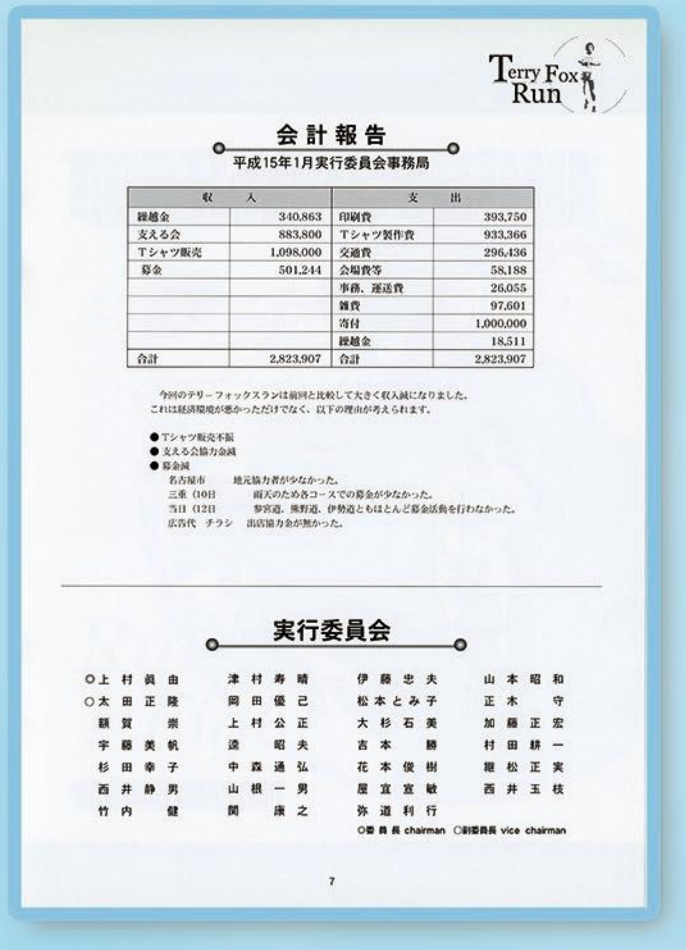
ファイナルイベント　※雨天決行
日時：平成14年5月12日（日）AM11：00～PM3：30
場所：中部台運動公園（松阪市）

ラン・ウォーク
受　　付　AM10 00～PM0 00
ウォーミングアップ　AM11 45～PM0 00
スタート　PM 0 00～

テリーフォックスラン・プレ企画　日程

2002

6


Terry Fox Run

会計報告

平成15年1月実行委員会事務局

収入		支出	
繰越金	340,863	印刷費	393,750
支える会	883,800	Tシャツ製作費	933,366
Tシャツ販売	1,098,000	交通費	296,436
募金	501,244	会場費等	58,188
		事務、運送費	26,055
		雑費	97,601
		寄付	1,000,000
		繰越金	18,511
合計	2,823,907	合計	2,823,907

今回のテリーフォックスランは前回と比較して大きく収入減になりました。
これは経済環境が悪かっただけでなく、以下の理由が考えられます。

- ● Tシャツ販売不振
- ● 支える会協力金減
- ● 募金減

名古屋市　地元協力者が少なかった。
三重（10日　雨天のため各コースでの募金が少なかった。
当日（12日　参宮道、熊野道、伊勢道ともほとんど募金活動を行わなかった。
広告代　チラシ　出店協力金が無かった。

実行委員会

◎上村眞由	津村寿晴	伊藤忠夫	山本昭和
○太田正隆	岡田優己	松本とみ子	正木守
額賀崇	上村公正	大杉石美	加藤正宏
宇藤美帆	途昭夫	吉本勝	村田耕一
杉田幸子	中森通弘	花本俊樹	樫松正実
西井静男	山根一男	屋宜宣敏	西井玉枝
竹内健	関康之	弥道利行	

◎委員長 chairman　○副委員長 vice chairman

7

スタート Start
バス停 Bus stop
ゴール Finish
駐車場 Parking lot
芝生広場 Ground
総合体育館 Gym
トイレ Rest Rooms
更衣室 Changing Rooms
Restaurant Yamabato
野球場 Baseball Park
休憩所
みえこどもの城 The Children's Amusement Center

TERRY FOX RUN

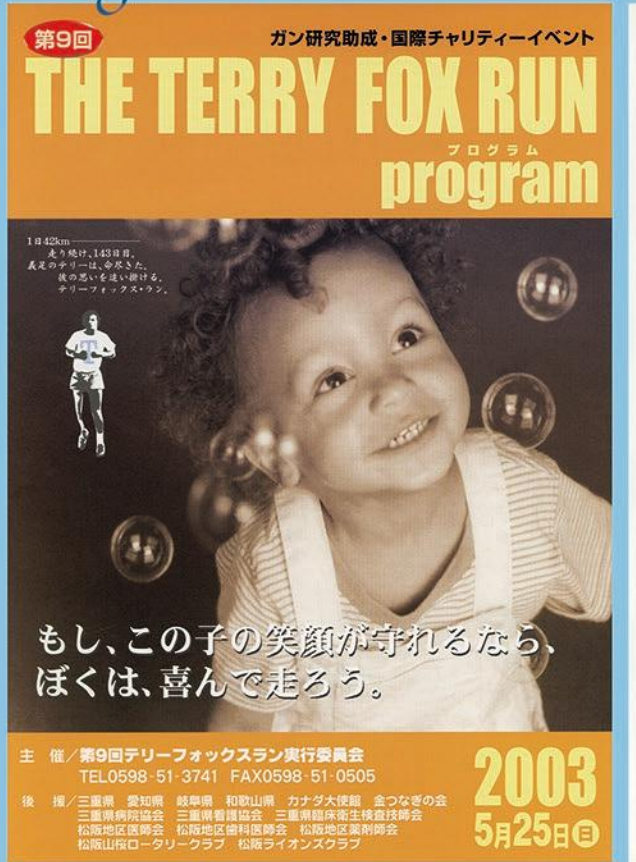
■主催　テリーフォックス・ラン実行委員会　TEL0598 51·3741 FAX0598·51·0505
■後援　三重県　愛知県　カナダ大使館　松阪地区医師会　松阪地区歯科医師会　松阪地区薬剤師会　松阪山桜ロータリークラブ　松阪ライオンズクラブ　虹つなぎの会

09

The Terry Fox Run

2003

Program


第9回

ガン研究助成・国際チャリティーイベント

THE TERRY FOX RUN

プログラム
program

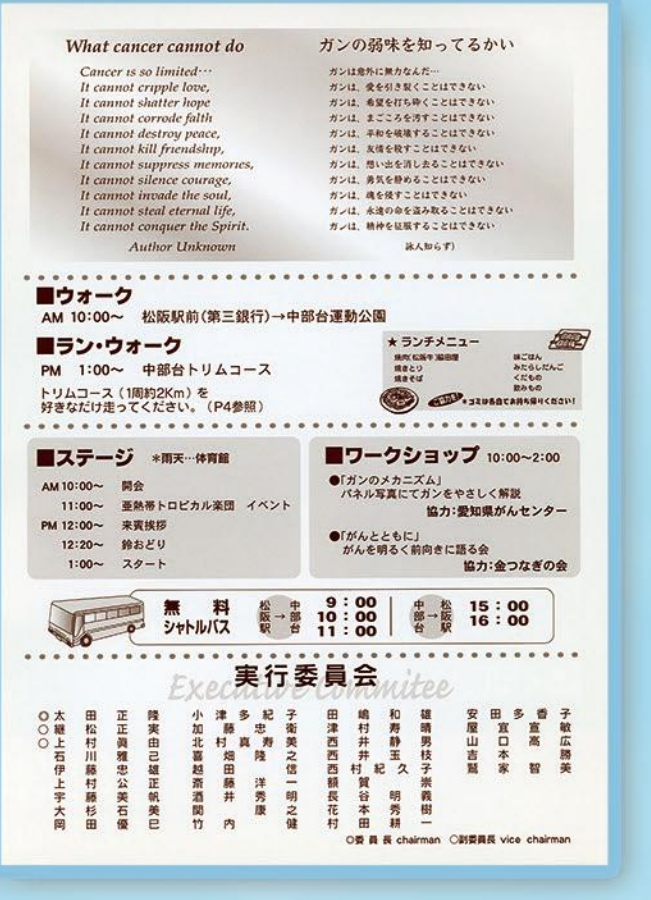
1日42km——
走り続け、143日目。
義足のテリーは、命尽きた。
彼の思いを走り継げる。
テリーフォックス・ラン。

もし、この子の笑顔が守れるなら、
ぼくは、喜んで走ろう。

主　催／第9回テリーフォックスラン実行委員会
TEL0598-51-3741　FAX0598-51-0505

後　援／三重県　愛知県　岐阜県　和歌山県　カナダ大使館　金つなぎの会
三重県病院協会　三重県看護協会　三重県臨床衛生検査技師会
松阪地区医師会　松阪地区歯科医師会　松阪地区薬剤師会
松阪山桜ロータリークラブ　松阪ライオンズクラブ

2003
5月25日㊐


What cancer cannot do

Cancer is so limited…
It cannot cripple love,
It cannot shatter hope
It cannot corrode faith
It cannot destroy peace,
It cannot kill friendship,
It cannot suppress memories,
It cannot silence courage,
It cannot invade the soul,
It cannot steal eternal life,
It cannot conquer the Spirit.

Author Unknown

ガンの弱味を知ってるかい

ガンは意外に無力なんだ…
ガンは、愛を引き裂くことはできない
ガンは、希望を打ち砕くことはできない
ガンは、まごころを汚すことはできない
ガンは、平和を破壊することはできない
ガンは、友情を殺すことはできない
ガンは、想い出を消し去ることはできない
ガンは、勇気を静めることはできない
ガンは、魂を侵すことはできない
ガンは、永遠の命を盗み取ることはできない
ガンは、精神を征服することはできない

詠人知らず）

■ウォーク
AM 10:00～　松阪駅前（第三銀行）→中部台運動公園

■ラン・ウォーク
PM　1:00～　中部台トリムコース
トリムコース（1周約2Km）を
好きなだけ走ってください。（P4参照）

★ランチメニュー
焼肉（松阪牛 脇田屋）
焼きとり
焼きそば
味ごはん
みたらしだんご
くだもの
飲みもの
＊ゴミは各自でお持ち帰りください!

■ステージ　＊雨天…体育館
AM 10:00～　開会
11:00～　亜熱帯トロピカル楽団　イベント
PM 12:00～　来賓挨拶
12:20～　鈴おどり
1:00～　スタート

■ワークショップ　10:00～2:00
●「ガンのメカニズム」
パネル写真にてガンをやさしく解説
協力:愛知県がんセンター
●「がんとともに」
がんを明るく前向きに語る会
協力:金つなぎの会

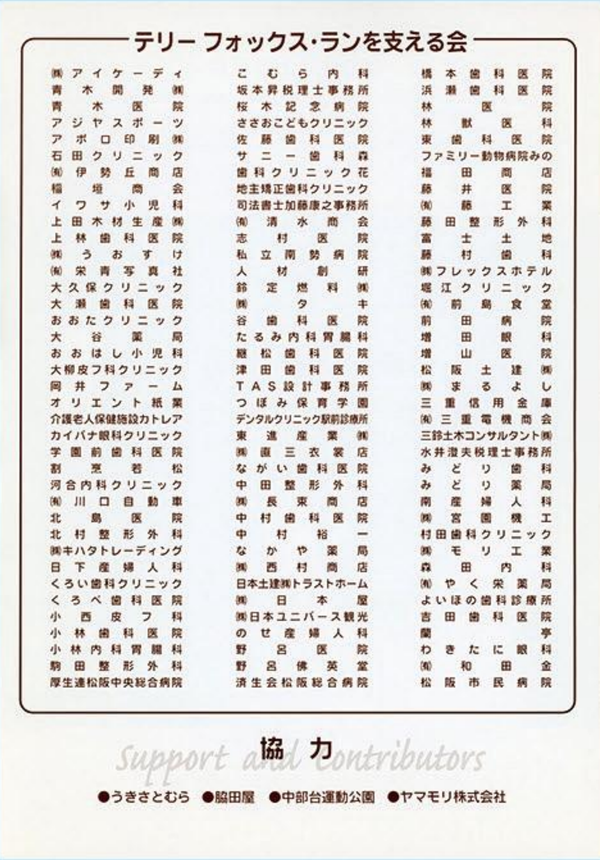
無料シャトルバス
松阪駅→中部台　9：00　10：00　11：00
中部台→松阪駅　15：00　16：00

実行委員会

Executive Commitee

◎太田正隆　小津多紀子　田嶋和雄　安田多香子
○継松正実　加藤忠衛　津村寿晴　屋宜宣敏
○上村眞由　北村真寿美　西井静男　山口高広
石川雅己　喜畑隆之　西井玉枝　吉本勝
伊藤忠雄　越田信　西村紀久子　鷲家智美
上村公正　斎藤洋一　額賀崇
宇藤美帆　酒井秀明　長谷明義
大杉石美　関康之　花本秀樹
岡田優巳　竹内健　村田耕一

◎委員長 chairman　○副委員長 vice chairman

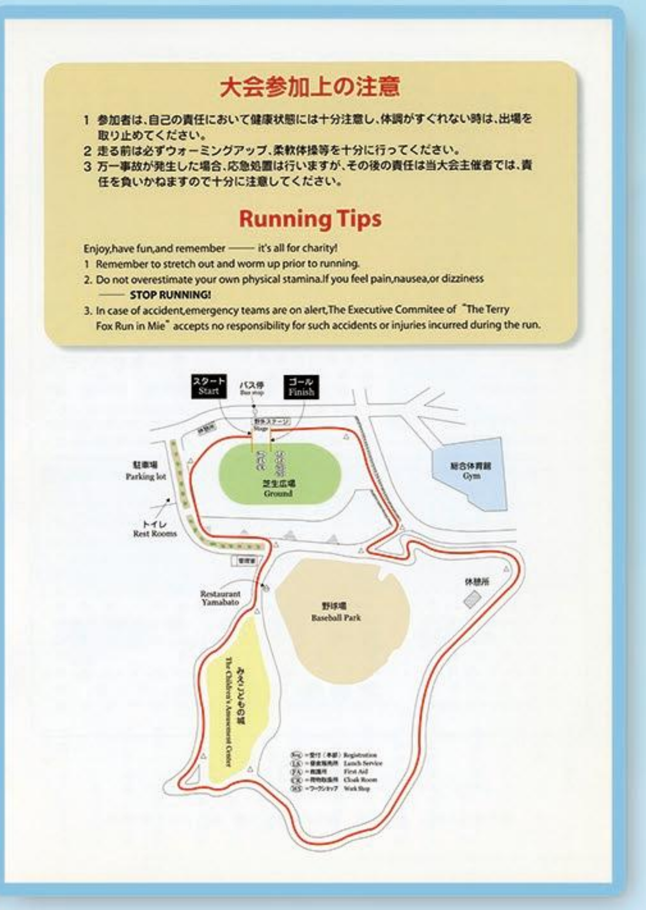

テリー フォックス・ランを支える会

㈱アイケーディ
青木開発㈱
青木医院
アジヤスポーツ
アポロ印刷㈱
石田クリニック
㈲伊勢丘商店
稲垣商会
イワサ小児科
上田木材生産㈱
上林歯科医院
㈱うおすけ
㈲栄青写真社
大久保クリニック
大瀬歯科医院
おおたクリニック
大谷薬局
おおはし小児科
大柳皮フ科クリニック
岡井ファーム
オリエント紙業
介護老人保健施設カトレア
カイバナ眼科クリニック
学園前歯科医院
割烹若松
河合内科クリニック
㈲川口自動車
北島医院
北村整形外科
㈱キハタトレーディング
日下産婦人科
くろい歯科クリニック
くろべ歯科医院
小西皮フ科
小林歯科医院
小林内科胃腸科
駒田整形外科
厚生連松阪中央総合病院
こむら内科
坂本昇税理士事務所
桜木記念病院
ささおこどもクリニック
佐藤歯科医院
サニー歯科森
歯科クリニック花
地主矯正歯科クリニック
司法書士加藤康之事務所
㈲清水商会
志村医院
私立南勢病院
人材創研
鈴定燃料㈱
㈱タキ
谷歯科医院
たるみ内科胃腸科
継松歯科医院
津田歯科医院
TAS設計事務所
つぼみ保育学園
デンタルクリニック駅前診療所
東進産業㈱
㈱直三衣装店
ながい歯科医院
中田整形外科
㈱長東商店
中村歯科医院
中村裕一
なかや薬局
㈱西村商店
日本土建㈱トラストホーム
㈱日本屋
㈱日本ユニバース観光
のせ産婦人科
野呂医院
野呂佛英堂
済生会松阪総合病院
橋本歯科医院
浜瀬歯科医院
林医院
林獣医科
東歯科医院
ファミリー動物病院みの
福田商店
藤井医院
㈲藤工業
藤田整形外科
富士土地
藤村歯科
㈱フレックスホテル
堀江クリニック
㈲前島食堂
前田病院
増田眼科
増山医院
松阪土建㈱
㈱まるよし
三重信用金庫
㈲三重電機商会
三鈴土木コンサルタント㈱
水井澄夫税理士事務所
みどり歯科
みどり薬局
南産婦人科
㈱宮園機工
村田歯科クリニック
㈱モリ工業
森田内科
㈲やく栄薬局
よいほの歯科診療所
吉田歯科医院
蘭亭
わきたに眼科
㈲和田金
松阪市民病院

協力

Support and Contributors

●うきさとむら　●脇田屋　●中部台運動公園　●ヤマモリ株式会社

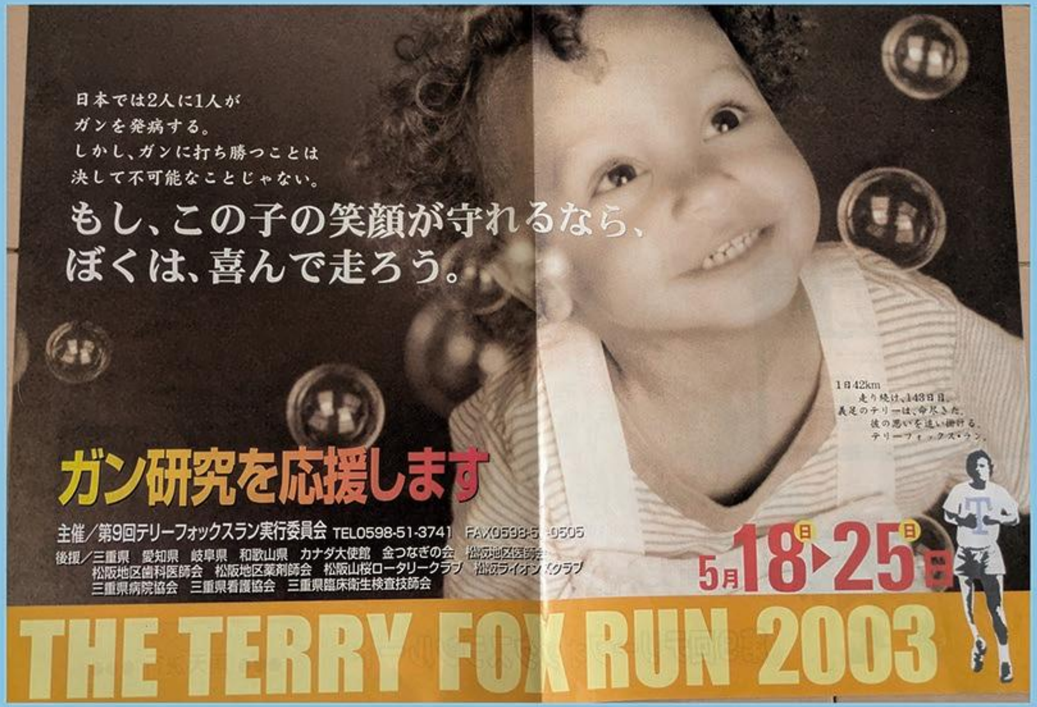

大会参加上の注意

1 参加者は、自己の責任において健康状態には十分注意し、体調がすぐれない時は、出場を取り止めてください。
2 走る前は必ずウォーミングアップ、柔軟体操等を十分に行ってください。
3 万一事故が発生した場合、応急処置は行いますが、その後の責任は当大会主催者では、責任を負いかねますので十分に注意してください。

Running Tips

Enjoy,have fun,and remember —— it's all for charity!
1 Remember to stretch out and worm up prior to running.
2. Do not overestimate your own physical stamina.If you feel pain,nausea,or dizziness —— **STOP RUNNING!**
3. In case of accident,emergency teams are on alert,The Executive Commitee of "The Terry Fox Run in Mie" accepts no responsibility for such accidents or injuries incurred during the run.

Poster


日本では2人に1人が
ガンを発病する。
しかし、ガンに打ち勝つことは
決して不可能なことじゃない。

もし、この子の笑顔が守れるなら、
ぼくは、喜んで走ろう。

1日42km
走り続け、143日目。
義足のテリーは、命尽きた。
彼の思いを走り継げる。
テリーフォックス・ラン。

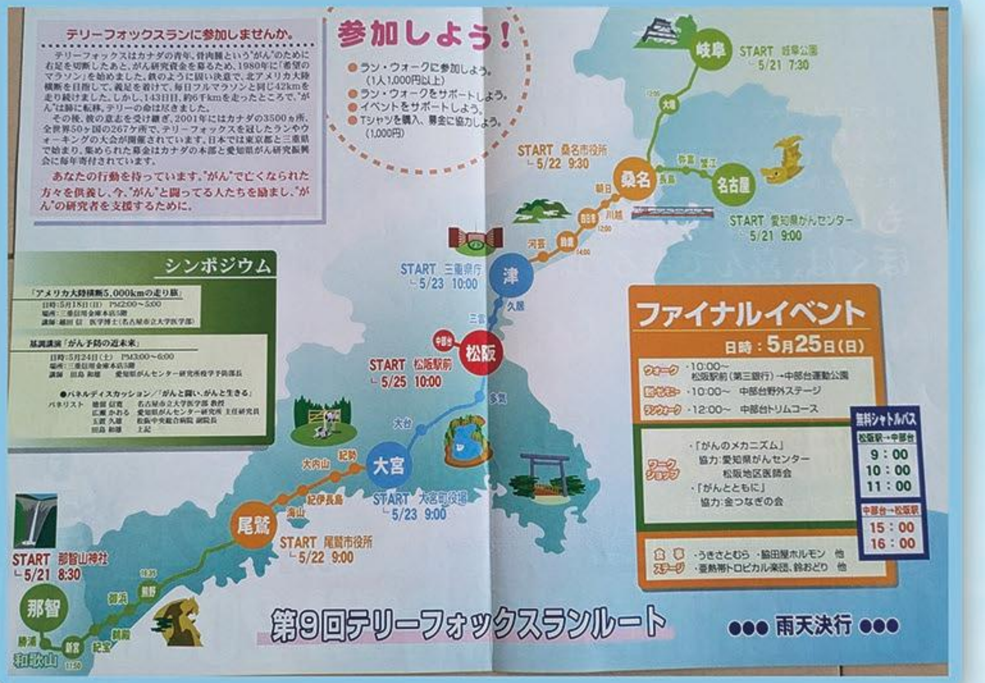
ガン研究を応援します

主催／第9回テリーフォックスラン実行委員会 TEL0598-51-3741　FAX0598-5[illegible]-0505
後援／三重県　愛知県　岐阜県　和歌山県　カナダ大使館　金つなぎの会　松阪地区医師会
松阪地区歯科医師会　松阪地区薬剤師会　松阪山桜ロータリークラブ　松阪ライオンズクラブ
三重県病院協会　三重県看護協会　三重県臨床衛生検査技師会

5月18日(日)▸25日(日)

THE TERRY FOX RUN 2003

Photograph


テリーフォックスランに参加しませんか。

テリーフォックスはカナダの青年。骨肉腫という"がん"のために右足を切断したあと、がん研究資金を募るため、1980年に「希望のマラソン」を始めました。鉄のように固い決意で、北アメリカ大陸横断を目指して、義足を着けて、毎日フルマラソンと同じ42kmを走り続けました。しかし、143日目、約6千kmを走ったところで、"がん"は肺に転移、テリーの命は尽きました。

その後、彼の意志を受け継ぎ、2001年にはカナダの3500ヵ所、全世界50ヶ国の267ケ所で、テリーフォックスを冠したランやウォーキングの大会が開催されています。日本では東京都と三重県で始まり、集められた募金はカナダの本部と愛知県がん研究振興会に毎年寄付されています。

あなたの行動を待っています。"がん"で亡くなられた方々を供養し、今、"がん"と闘ってる人たちを励まし、"がん"の研究者を支援するために。

参加しよう！

- ラン・ウォークに参加しよう。（1人1,000円以上）
- ラン・ウォークをサポートしよう。
- イベントをサポートしよう。
- Tシャツを購入、募金に協力しよう。（1,000円）

シンポジウム

「アメリカ大陸横断5,000kmの走り旅」
日時：5月18日(日)　PM2:00～5:00
場所：三重信用金庫本店5階
講師：細田 信　医学博士（名古屋市立大学医学部）

基調講演「がん予防の近未来」
日時：5月24日(土)　PM3:00～6:00
場所：三重信用金庫本店5階
講師　田島 和雄　愛知県がんセンター研究所疫学予防部長

●パネルディスカッション／「がんと闘い、がんと生きる」
パネリスト　徳留 信寛　名古屋市立大学医学部 教授
広瀬 かおる　愛知県がんセンター研究所 主任研究員
玉置 久雄　松阪中央総合病院 副院長
田島 和雄　上記

START 那智山神社 5/21 8:30
那智
勝浦
新宮
紀宝
御浜
熊野
和歌山
START 尾鷲市役所 5/22 9:00
尾鷲
海山
紀伊長島
紀勢
大内山
START 大宮町役場 5/23 9:00
大宮
大台
多気
START 松阪駅前 5/25 10:00
中部台
松阪
三雲
久居
START 三重県庁 5/23 10:00
津
芸濃
河芸
鈴鹿
四日市
川越
朝日
START 桑名市役所 5/22 9:30
桑名
長島
弥富
蟹江
名古屋
START 愛知県がんセンター 5/21 9:00
大垣
岐阜
START 岐阜公園 5/21 7:30

ファイナルイベント

日時：5月25日(日)

ウォーク　・10:00～ 松阪駅前（第三銀行）→中部台運動公園
セレモニー　・10:00～　中部台野外ステージ
ランウォーク　・12:00～　中部台トリムコース

ワークショップ
・「がんのメカニズム」
協力:愛知県がんセンター
松阪地区医師会
・「がんとともに」
協力:金つなぎの会

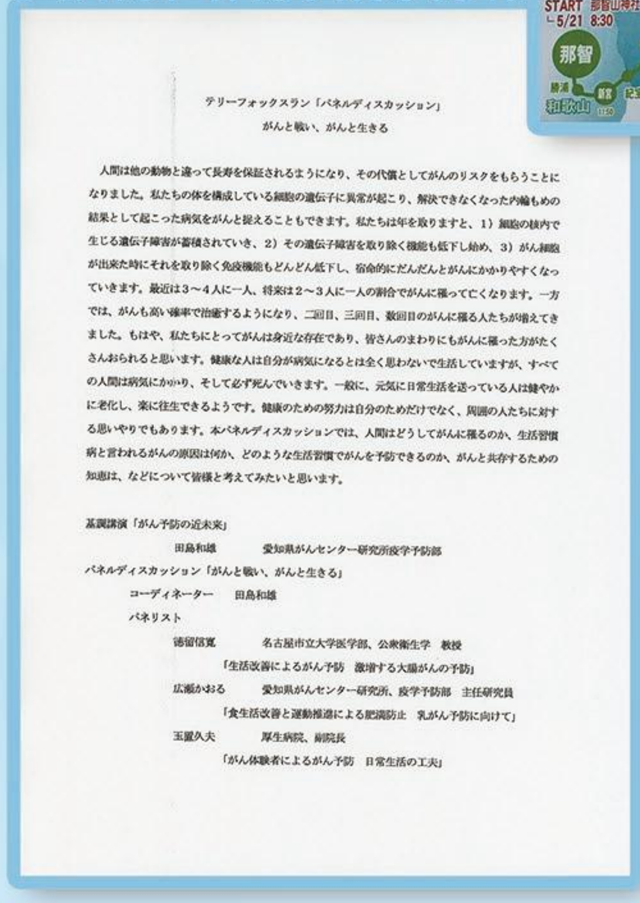
食事　・うきさとむら　・脇田屋ホルモン　他
ステージ　・亜熱帯トロピカル楽団、鈴おどり　他

無料シャトルバス
松阪駅→中部台　9：00　10：00　11：00
中部台→松阪駅　15：00　16：00

第9回テリーフォックスランルート

●●● 雨天決行 ●●●

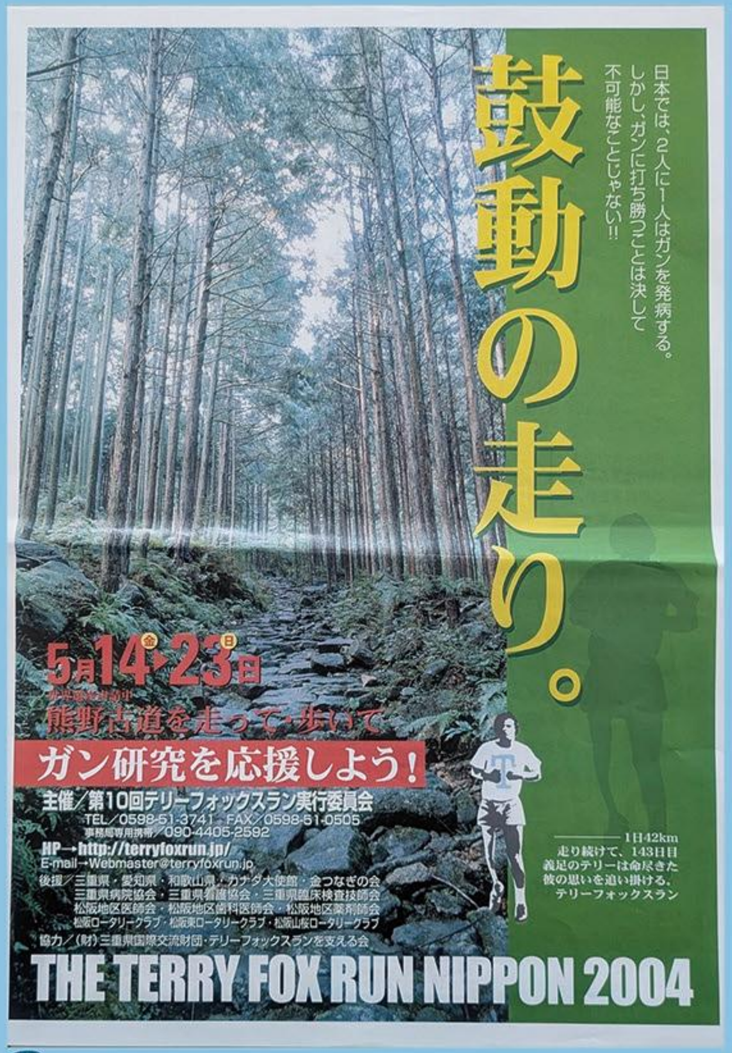
Panel discussion


テリーフォックスラン「パネルディスカッション」
がんと戦い、がんと生きる

人間は他の動物と違って長寿を保証されるようになり、その代償としてがんのリスクをもらうことになりました。私たちの体を構成している細胞の遺伝子に異常が起こり、解決できなくなった内輪もめの結果として起こった病気をがんと捉えることもできます。私たちは年を取りますと、1）細胞の核内で生じる遺伝子障害が蓄積されていき、2）その遺伝子障害を取り除く機能も低下し始め、3）がん細胞が出来た時にそれを取り除く免疫機能もどんどん低下し、宿命的にだんだんとがんにかかりやすくなっていきます。最近は３～４人に一人、将来は２～３人に一人の割合でがんに罹って亡くなります。一方では、がんも高い確率で治癒するようになり、二回目、三回目、数回目のがんに罹る人たちが増えてきました。もはや、私たちにとってがんは身近な存在であり、皆さんのまわりにもがんに罹った方がたくさんおられると思います。健康な人は自分が病気になるとは全く思わないで生活していますが、すべての人間は病気にかかり、そして必ず死んでいきます。一般に、元気に日常生活を送っている人は健やかに老化し、楽に往生できるようです。健康のための努力は自分のためだけでなく、周囲の人たちに対する思いやりでもあります。本パネルディスカッションでは、人間はどうしてがんに罹るのか、生活習慣病と言われるがんの原因は何か、どのような生活習慣でがんを予防できるのか、がんと共存するための知恵は、などについて皆様と考えてみたいと思います。

基調講演「がん予防の近未来」
田島和雄　愛知県がんセンター研究所疫学予防部
パネルディスカッション「がんと戦い、がんと生きる」
コーディネーター　田島和雄
パネリスト
徳留信寛　名古屋市立大学医学部、公衆衛生学　教授
「生活改善によるがん予防　激増する大腸がんの予防」
広瀬かおる　愛知県がんセンター研究所、疫学予防部　主任研究員
「食生活改善と運動推進による肥満防止　乳がん予防に向けて」
玉置久夫　厚生病院、副院長
「がん体験者によるがん予防　日常生活の工夫」

The Terry Fox Run



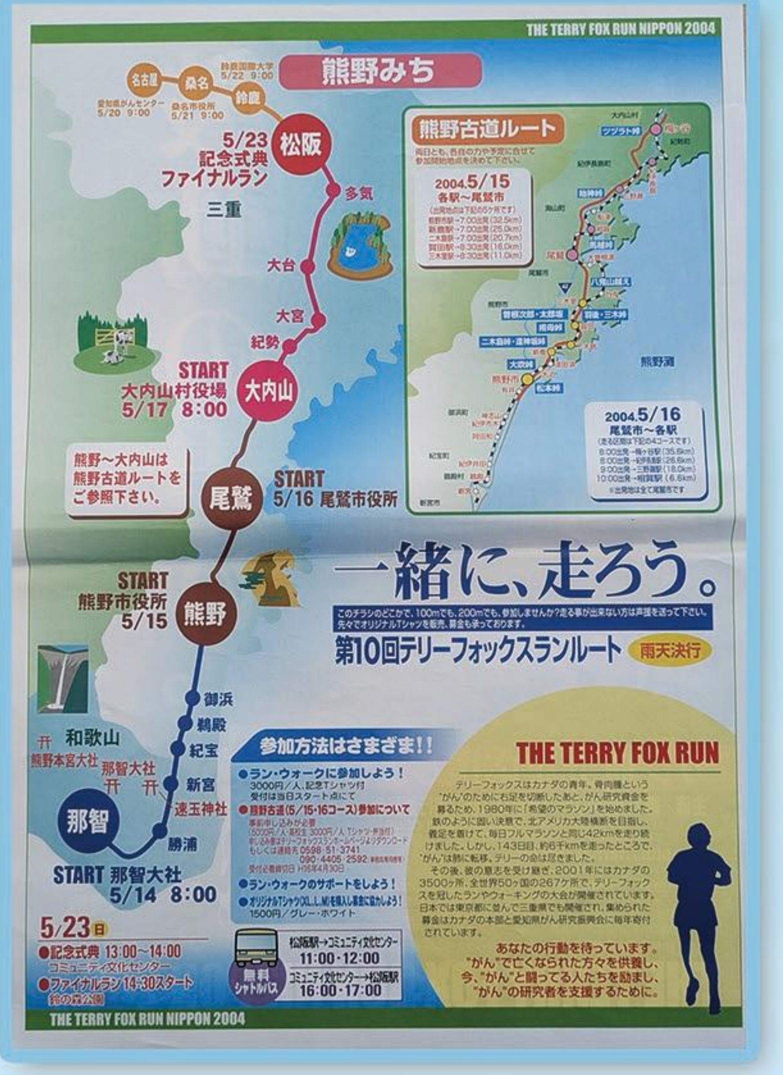
鼓動の走り。
日本では、2人に1人はガンを発病する。
しかし、ガンに打ち勝つことは決して
不可能なことじゃない!!
5月14日(金)▸23日(日)
熊野古道を走って・歩いて
ガン研究を応援しよう！
1日42km
走り続けて、143日目
義足のテリーは命尽きた
彼の思いを追い掛ける、
テリーフォックスラン
THE TERRY FOX RUN NIPPON 2004

主催／第10回テリーフォックスラン実行委員会
TEL／0598-51-3741　FAX／0598-51-0505
事務局専用携帯／090-4405-2592
HP→http://terryfoxrun.jp/
E-mail→Webmaster@terryfoxrun.jp
後援／三重県・愛知県・和歌山県・カナダ大使館・金つなぎの会
三重県病院協会・三重県看護協会・三重県臨床検査技師会
松阪地区医師会・松阪地区歯科医師会・松阪地区薬剤師会
松阪ロータリークラブ・松阪東ロータリークラブ・松阪山桜ロータリークラブ
協力／(財)三重県国際交流財団・テリーフォックスランを支える会

Program

TERRY FOX RUN

Photograph



THE TERRY FOX RUN NIPPON 2004
熊野みち
名古屋
桑名
鈴鹿
愛知県がんセンター 5/20 9:00
桑名市役所 5/21 9:00
鈴鹿国際大学 5/22 9:00
5/23 記念式典 ファイナルラン
松阪
多気
三重
大台
大宮
紀勢
START 大内山村役場 5/17 8:00
大内山
熊野〜大内山は熊野古道ルートをご参照下さい。
START 5/16 尾鷲市役所
尾鷲
START 熊野市役所 5/15
熊野
御浜
鵜殿
紀宝
新宮
和歌山
熊野本宮大社
那智大社
速玉神社
勝浦
那智
START 那智大社 5/14 8:00
熊野古道ルート
2004.5/15 各駅〜尾鷲市
2004.5/16 尾鷲市〜各駅
熊野灘
一緒に、走ろう。

このチラシのどこかで、100mでも、200mでも、参加しませんか?走る事が出来ない方は声援を送って下さい。
先々でオリジナルTシャツを販売、募金も承っております。

第10回テリーフォックスランルート　雨天決行

参加方法はさまざま!!

- ●ラン・ウォークに参加しよう！
  3000円／人、記念Tシャツ付
  受付は当日スタート点にて
- ●熊野古道(5/15・16コース)参加について
- ●ラン・ウォークのサポートをしよう！
- ●オリジナルTシャツ(XL、L、M)を購入し募金に協力しよう！
  1500円／グレー・ホワイト

5/23(日)
●記念式典 13:00〜14:00
コミュニティ文化センター
●ファイナルラン 14:30スタート

無料シャトルバス
松阪駅→コミュニティ文化センター 11:00・12:00
コミュニティ文化センター→松阪駅 16:00・17:00

THE TERRY FOX RUN

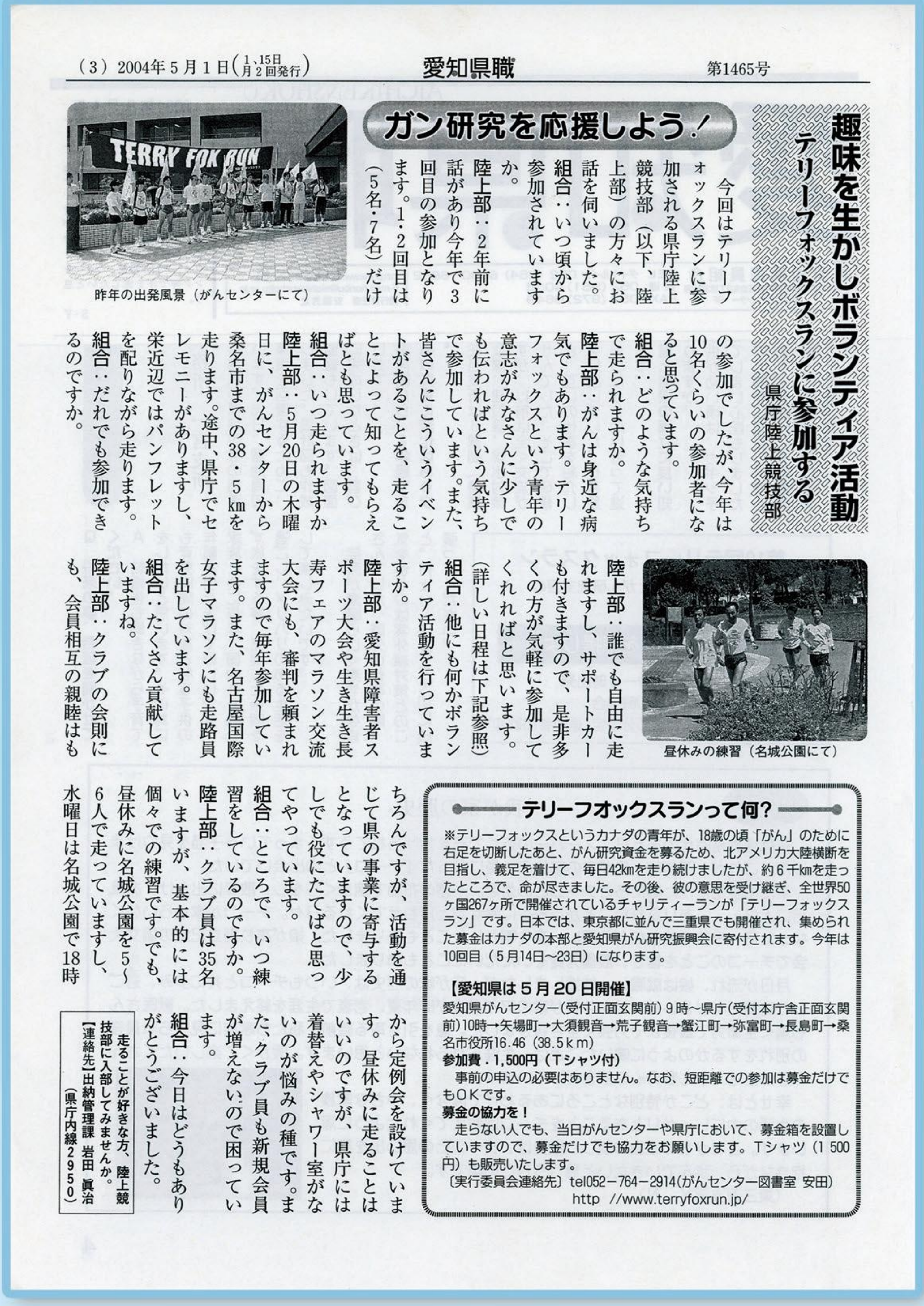
テリーフォックスはカナダの青年。骨肉腫という"がん"のために右足を切断したあと、がん研究資金を募るため、1980年に「希望のマラソン」を始めました。鉄のように固い決意で、北アメリカ大陸横断を目指し、義足を着けて、毎日フルマラソンと同じ42kmを走り続けました。しかし、143日目、約6千kmを走ったところで、"がん"は肺に転移、テリーの命は尽きました。
その後、彼の意志を受け継ぎ、2001年にはカナダの3500ヶ所、全世界50ヶ国の267ケ所で、テリーフォックスを冠したランやウォーキングの大会が開催されています。日本では東京都に並んで三重県でも開催され、集められた募金はカナダの本部と愛知県がん研究振興会に毎年寄付されています。

あなたの行動を待っています。
"がん"で亡くなられた方々を供養し、
今、"がん"と闘ってる人たちを励まし、
"がん"の研究者を支援するために。

THE TERRY FOX RUN NIPPON 2004

2004

Article



（3）2004年５月１日（1、15日 月２回発行）　愛知県職　第1465号

ガン研究を応援しよう！

趣味を生かしボランティア活動

テリーフォックスランに参加する

県庁陸上競技部

昨年の出発風景（がんセンターにて）

今回はテリーフォックスランに参加される県庁陸上競技部（以下、陸上部）の方々にお話を伺いました。

組合：いつ頃から参加されていますか。

陸上部：２年前に話があり今年で３回目の参加となります。１・２回目は（５名・７名）だけの参加でしたが、今年は10名くらいの参加者になると思っています。

組合：どのような気持ちで走られますか。

陸上部：がんは身近な病気でもあります。テリーフォックスという青年の意志がみなさんに少しでも伝わればという気持ちで参加しています。また、皆さんにこういうイベントがあることを、走ることによって知ってもらえばとも思っています。

組合：いつ走られますか

陸上部：５月20日の木曜日に、がんセンターから桑名市までの38・５kmを走ります。途中、県庁でセレモニーがありますし、栄近辺ではパンフレットを配りながら走ります。

組合：だれでも参加できるのですか。

陸上部：誰でも自由に走れますし、サポートカーも付きますので、是非多くの方が気軽に参加してくれればと思います。（詳しい日程は下記参照）

組合：他にも何かボランティア活動を行っていますか。

陸上部：愛知県障害者スポーツ大会や生き生き長寿フェアのマラソン交流大会にも、審判を頼まれますので毎年参加しています。また、名古屋国際女子マラソンにも走路員を出しています。

組合：たくさん貢献していますね。

陸上部：クラブの会則にも、会員相互の親睦はもちろんですが、活動を通じて県の事業に寄与するとなっていますので、少しでも役にたてばと思ってやっています。

組合：ところで、いつ練習をしているのですか。

陸上部：クラブ員は35名いますが、基本的には個々での練習です。でも、昼休みに名城公園を５～６人で走っていますし、水曜日は名城公園で18時から定例会を設けています。昼休みに走ることはいいのですが、県庁には着替えやシャワー室がないのが悩みの種です。また、クラブ員も新規会員が増えないので困っています。

組合：今日はどうもありがとうございました。

走ることが好きな方、陸上競技部に入部してみませんか。
【連絡先】出納管理課 岩田 眞治（県庁内線２９５０）

昼休みの練習（名城公園にて）

テリーフォックスランって何？

※テリーフォックスというカナダの青年が、18歳の頃「がん」のために右足を切断したあと、がん研究資金を募るため、北アメリカ大陸横断を目指し、義足を着けて、毎日42kmを走り続けましたが、約６千kmを走ったところで、命が尽きました。その後、彼の意思を受け継ぎ、全世界50ヶ国267ヶ所で開催されているチャリティーランが「テリーフォックスラン」です。日本では、東京都に並んで三重県でも開催され、集められた募金はカナダの本部と愛知県がん研究振興会に寄付されます。今年は10回目（５月14日～23日）になります。

【愛知県は５月20日開催】

愛知県がんセンター（受付正面玄関前）９時～県庁（受付本庁舎正面玄関前）10時→矢場町→大須観音→荒子観音→蟹江町→弥富町→長島町→桑名市役所16.46（38.5ｋｍ）

参加費．1,500円（Ｔシャツ付）

事前の申込の必要はありません。なお、短距離での参加は募金だけでもＯＫです。

募金の協力を！

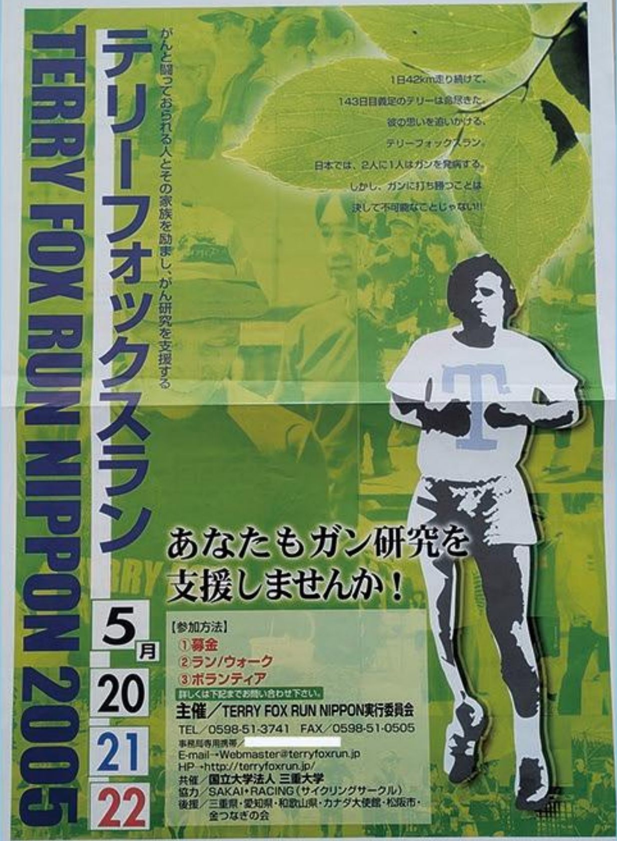
走らない人でも、当日がんセンターや県庁において、募金箱を設置していますので、募金だけでも協力をお願いします。Ｔシャツ（1 500円）も販売いたします。

〔実行委員会連絡先〕tel052－764－2914（がんセンター図書室 安田）
http //www.terryfoxrun.jp/

11

The Terry Fox Run

Poster

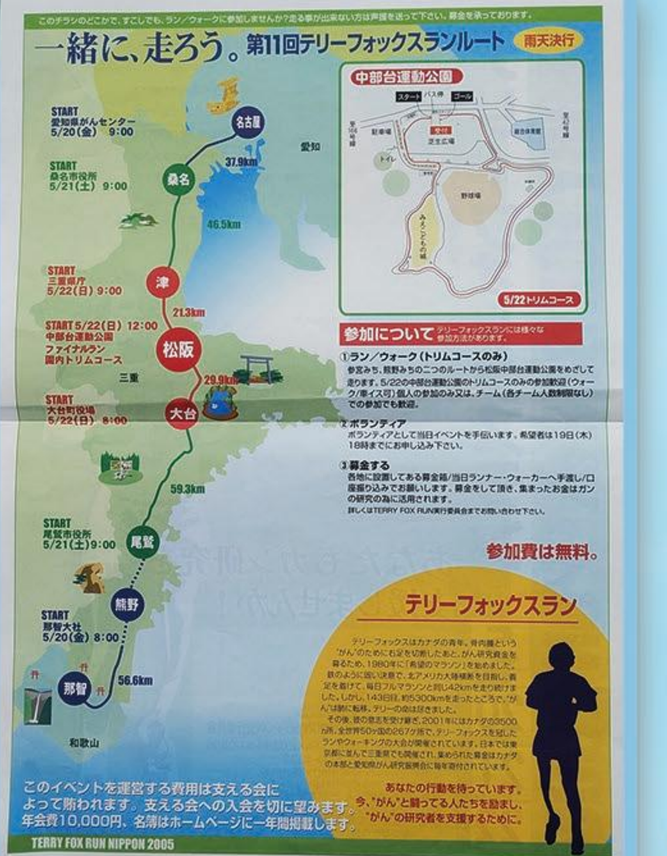

TERRY FOX RUN NIPPON 2005
テリーフォックスラン
がんと闘っておられる人とその家族を励まし、がん研究を支援する
5月 20 21 22

1日42km走り続けて、
143日目義足のテリーは息尽きた。
彼の思いを追いかける、
テリーフォックスラン。
日本では、2人に1人はガンを発病する。
しかし、ガンに打ち勝つことは
決して不可能なことじゃない!!

あなたもガン研究を
支援しませんか！

【参加方法】
①募金
②ラン/ウォーク
③ボランティア
詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

主催／TERRY FOX RUN NIPPON実行委員会
TEL／0598-51-3741　FAX／0598-51-0505
事務局専用携帯／[redacted]
E-mail→Webmaster@terryfoxrun.jp
HP→http://terryfoxrun.jp/
共催／国立大学法人 三重大学
協力／SAKAI・RACING（サイクリングサークル）
後援／三重県・愛知県・和歌山県・カナダ大使館・松阪市・金つなぎの会



このチラシのどこかで、すこしでも、ラン／ウォークに参加しませんか？走る事が出来ない方は声援を送って下さい。募金を承っております。

一緒に、走ろう。第11回テリーフォックスランルート　雨天決行

参加について テリーフォックスランには様々な参加方法があります。

①ラン／ウォーク（トリムコースのみ）
参宮みち、熊野みちの二つのルートから松阪中部台運動公園をめざして走ります。5/22の中部台運動公園のトリムコースのみの参加歓迎（ウォーク/車イス可）個人の参加のみ又は、チーム（各チーム人数制限なし）での参加でも歓迎。

②ボランティア
ボランティアとして当日イベントを手伝います。希望者は19日（木）18時までにお申し込み下さい。

③募金する
各地に設置してある募金箱/当日ランナー・ウォーカーへ手渡し/口座振り込みでお願いします。募金をして頂き、集まったお金はガンの研究の為に活用されます。
詳しくはTERRY FOX RUN実行委員会までお問い合わせ下さい。

参加費は無料。

テリーフォックスラン

テリーフォックスはカナダの青年。骨肉腫という"がん"のために右足を切断したあと、がん研究資金を募るため、1980年に「希望のマラソン」を始めました。鉄のように固い決意で、北アメリカ大陸横断を目指し、義足を着けて、毎日フルマラソンと同じ42kmを走り続けました。しかし、143日目、約5300kmを走ったところで、"がん"は肺に転移。テリーの命は尽きました。
その後、彼の意志を受け継ぎ、2001年にはカナダの3500カ所、全世界50ケ国の267ケ所で、テリーフォックスを冠したランやウォーキングの大会が開催されています。日本では東京都に並んで三重県でも開催され、集められた募金はカナダの本部と愛知県がん研究振興会に毎年寄付されています。

あなたの行動を待っています。
今、"がん"と闘ってる人たちを励まし、
"がん"の研究者を支援するために。

このイベントを運営する費用は支える会によって賄われます。支える会への入会を切に望みます。年会費10,000円、名簿はホームページに一年間掲載します。

TERRY FOX RUN NIPPON 2005

Participant report

第11回　『テリーフォックスラン』日本に参加して

額賀　信夫

５月１２日。新緑が鮮やかな那智山に佇む世界遺産那智大社。早朝の澄んだ空気が満ちたその場所は、テリーフォックスランの始まりに相応しい、荘厳で爽やかな雰囲気に包まれていました。

テリーフォックスラン　は、ガン患者とその家族を励まし、ガン研究と治療を援助する募金活動で、今回で１１回を迎えました。各所から、ゴールの松阪市中部台公園を目指し、その途中各市役所や村役場・学校にて募金を募ります。集まった募金は、カナダのテリーフォックス財団、そして愛知県がん研究振興会に寄付されることになっています。私は、今回初めて参加し、和歌山県那智勝浦の那智大社から中部台公園に向かう「くまの道」コースに随行することになりました。

那智から向かうメンバーは約２０人。三重大学陸上部の生徒、松阪中部中学校の生徒、一般参加の市民の皆さんです。那智大社で安全祈祷を行い、これから始まる長い道のりを前に、期待感にあふれた目が輝き、皆さん立派なランナーの風格を感じさせます。そして、いよいよスタート地点につき、テリーフォックスの姿が描かれた赤と白の旗を背に掲げると、皆、一段と責任感のある顔つきになりました。

スタート」。先導のサイクリング班に前後をサポートされ、ランナー達は走り出しました。旗を風になびかせて、一路国道４２号へと元気に走り続けます。すると、松阪の太鼓が沿道で応援に待ち受けていました。ランナーを鼓舞するような軽快なリズムにのって、層スピードがあがり、那智街道約 8km を一気に駆け抜けました。

国道４２号に出て新宮方面に走っていくと、右手に勝浦の美しい海が広がります。初夏の朝日が海面できらきらと輝き、ランナー達はその前をすがすがしい表情で走ってゆきます。国道は通行量が多いため、サポートする人々や通行者にとっては、苦労する面もありますが、必死で走るランナーの横顔を見ると、思わず応援の声をかけてくれる通りすがりの人も少なくありません。

新宮市に入り、スーパーセンターオークワの横で、光洋中学の生徒さん数十人がランに加わりました。若々しい声が　街に響き、黙々と走っていたランナー達にも一気に元気さがよみがえり、また足取り軽く学校へと走り続けます。

ほどなくして光洋中学に到着しました。校門を入ると、校長先生以下先生、生徒全員が拍手で出迎えてくれました。先生方と全校生徒、テリーフォックスランのスタッフ全員が運動場に整列して、校長先生から激励の言葉をいただき、募金を受け取りました。募金箱を受け取ると、又一段と気が引き締まり責任感が増します。その募金以上に嬉しかったのは、光洋中学校は毎年このような対応をしていただいている学校の生徒会長の心のこもった激励の言葉、それに対して返礼の挨拶をされた、中部中学校のラン参加者の代表の言葉、二人の心情に私は涙が出ました。

中部中学校の生徒は、「中間テストを３日後に控えていましたが、あえてランに加わりました。３日間 150km を完走することで、これからの自分に自信が持てる気がした」とのことです。

テリーフォックスランが、ガン研究資金のためだけではなく、それ以上の感動を与え続けていることを改めて感じさせました。私は、今回が初めての参加でしたが、毎年参加し支えてくださる光洋中学校の皆様にとって、このランはとても重要な青春の１ページとして定着しているのだということも、それもまた感動でした。

光洋中学校を後にし、新宮市役所へ立ち寄り、それから新宮大橋を渡ると三重県に入ります。紀宝町役場にて町長より募金を受け取り、鵜殿村へ向かいました。鵜殿村では保険衛生課長より募金を受け取り、紀宝町へ向かいます。

気が付けば出発した頃から太陽も遥か真上へと昇り、空はいよいよ青くなりました。新緑に彩られた防風林の間から紺碧の熊野灘の海が見え隠れする道を、ランナー達は強くなる日差しにも負けず進んでいきます。

井田の道を走っていくと、かわいらしい小さなランナー達が待ち構えていました。井田小学校の生徒、3・4 年生４７名がこれからランに参加し、道の駅「ウミガメ」までともに走っていくのです。さきほどの中学生以上に賑やかな道のりとなりました。赤と白の体操帽子をかぶった子供たちにテリーフォックスの旗を配ると、皆嬉しそうに旗を風になびかせてみました。子どもたちにとれば、かなり大きな旗です。「わあ、これを持って走るんだね。」皆、満面の笑顔で自慢げに旗を振りながら駆けていきます。我々スタッフにとって、子どもたちの嬉しそうな笑顔とともに進む時間は、何より疲れを忘れさせてくれる時でした。

道の駅ウミガメで、井田小学校の生徒と共に楽しい時を過ごしてから、全員揃って御浜町の役場へと向かいました。少し進むと海側の道沿いに続いていた防風林がなくなり、水平線までくっきりと見える七里ガ浜、爽快な眺めです。砂浜に打ち寄せる波、広がる青い海。その前を走っていくランナーたちの背負ったシンボルの旗が、広がる景色に堂々と浮かび上がっていました。

御浜町役場では中部中学校の生徒さんが御浜町長から募金箱を受け取り、励ましの言葉をいただきました。どの役場の皆様も、あたたかく迎えてくれて励まして見送っていただけることに、何度も感動します。そして私達は１日目の最終目的地、熊野市へと向かいました。

花の窟神社、獅子岩を過ぎ、羽市木階段堤防の広場にスタッフ全員が集まります。熊野市役所・紀南県民局から募金を受け取りました。この日の最後の受け取りです。

１日目の終着地ということで、スタッフの心も安堵して談笑しながら熊野市街地へ向かいました。駅前の記念通り・旧道のトンネルを抜け、鬼ガ城のパーキングに着いたところで、委員長のねぎらいの言葉がありました。１日目ということで、慣れない緊張感もありましたが、無事に終了したことで、満足感とともに明日への更なる意欲が沸いてきました。

２日目は、道が険しく長いトンネルのある矢の川峠を安全上、コースからはずしたため、尾鷲市役所から出発することになっています。明日は、どのような道のりになるだろう、そんな期待を感じつつ、熊野の夜が更けました。

午前９時、２日目が始まりました。今日も爽やかな空が広がっています。そして１日目の疲れをもろともせず、シンボルの旗を背負ったランナー達が集まってきました。尾鷲市庁舎の前に全員集合。市長から激励の言葉をいただき、私自身が募金箱を受け取りました。市民の皆様の御厚意がギッシリ詰まった募金箱はずっしり重かった！　午前９時１５分ランナー達は走り始めました。

尾鷲市内を通り、尾鷲港の東側を回ります。海の香りがしてきました。そこから、国道４２号を通らず古い海辺の道を通り、海山町の銚子橋の所へ向かうのですが、この道は途中道が狭くなり険しいので、ランナー達にとってなかなか過酷な道です。しかも前日も走り続けてきたランナー達です。私たちスタッフは一足早く車で橋詰で彼らの到着を待っていました。しばらくしてランナー達がやってきました。彼らの話によると、途中に悪路がありかなり足場が悪かったようで、ランナーより先導の自転車班にとって厳しい道のりだったようです。それでも彼らは弱音一つ出さず、先へと急ぎます。

銚子川の堤防を三重大陸上部の生徒さんを先頭に進み、海山町の役場へ到着しました。役場の福祉課長さんから募金を受け取り、そして市内を回って国道に出て長島町へと向かいます。途中、発電所の小公園で休憩。この公園から眺める三浦湾はなかなかの絶景です。そして、ここは世界遺産熊野古道の入り口でもあり、だからでしょうか、いにしえの奥深さを感じさせる自然豊かな環境でした。ランに参加し、いつもなら車で通り過ぎてしまう場所も、このようにランで巡ることで良い点を再発見でき、それは新鮮な経験でした。

全員で長島町役場へと向かいます。道瀬トンネルを抜けると大きく海が開けてきました。このランでは、様々な海の景色に出会いますが、どれもとても美しく映ります。丸山島・赤野島が美しい古里海岸を過ぎ、江ノ浦トンネルを抜けると、今度は長島港が見えます。長島町役場はもうすぐです。

長島町役場で募金を受け取り、東長島を通って全員が、道の駅マンボーで昼食と休憩をとります。ランナー達はしっかりと栄養をとり、体調を整えなくてはいけません。なぜなら、午後からこのコースで一番の難所「荷坂峠」がわたしたちを待ち構えているからです。

「荷坂峠　はランナーたちの前に、険しい坂道が立ちはだかります。これまで集団でペースを揃えて走ってきたランナーたちですが、この峠では、個人のペースを優先して昇りきれるように、個々に走っていくことになりました。トンネルの前で待ち合わせるため、私達スタッフはその場所へ先回りします。

２０分後、早くも一番早いランナーの姿が見えました。少し息はあがっていますが、余裕の表情が見えます。それから、１人また１人とランナーがやってきます。額に汗が光り、苦しそうな表情も見えました。それでも峠を走りきった達成感でしょうか、すがすがしい姿のランナーばかりです。最後の１人がやってくるまで、かなり時間がかかりましたが、皆しっかりとした足並みで全員が無事に峠を越えました。

難所を越えても、すぐに次の地点へと出発です。私達には、まだこの先に大きなゴールが待っているからです。

大内山小学校のそばの海洋センターで休憩。全員集まって大内山村・紀勢町・大宮町が合併して出来た、大紀町の役場へと向かいました。ところが、手違いがあり役員の人に任せて、私たちは大台町役場へと向かいました。この大台町が２日目の最終の地となります。全員集合して募金を受け取り、委員長の挨拶があった後、スタッフ、ランナー全員で拍手をし、２日目を終えました。一番の難所を越えた充実感と、いよいよゴールが近づき期待感が高まりました。

最終日の朝は、曇り空でした。しかし、この日を無事に迎えられた私達の心は晴れ晴れとして、元気に３日目をスタートさせました。３日目の最初の中継点は多気町役場です。町長さんから励ましの言葉を頂き、募金を受け取りました。この辺りまで来ると、見慣れた景色が広がってきます。もうじきだ。そんな思いが、ランナーの足取りを後押しします。多気町を過ぎれば、後はこの３日間の最後の地点、最終目的地の松阪市中部台公園に向かうのです。

ゴールが近づき、ランナー達はさらにペースを揃えたようで、一塊りになって走っているように見えました。心が一つになって走っている、そのような雰囲気が伝わってきます。中部台公園が近づきました。３日間走り続けた疲労があるでしょうが、ランナーたちは着実に走り、その足音は大変力強く感じられました。そして、いよいよ公園の入り口が見えてきました。青い大きな垂れ幕に、テリーフォックスランと書かれた文字が刻まれています。ついにゴール目前です。

公園に入場するのは、愛知県から来る参宮道のランナー達と一緒です。くまの道、参宮道、コースは違いますが、それぞれの道を乗り越えてたどり着いた気持ちは共通するものがあり、全員が爽やかな達成感に包まれた表情をしていました。そして、いよいよ揃って入場です。

そこには、大勢の人々の盛大な拍手がありました。この３日間、沿道や役場などで応援を受けてきましたが、このゴールの盛大な拍手は格別の迫力を感じました。金つなぎの会の人々や、多くの市民が、笑顔と温かい拍手で私達を迎えいれてくれます。そして、ランナー達は誇らしげに最後の公園内のコースを１周します。

公園内のコースは、多くの一般参加の方も走ります。それぞれが、それぞれの思いを持って、一生懸命に走る姿は感動的でした。私はゴール地点でカメラを持って、ランナー達の表情にシャッターを押し続けました。ゴールに入る時の人々の表情、それがどんなに素敵なものであるか、今回初めて知りました。どのランナーも本当に充実した素晴らしい笑顔でゴールを迎えます。３日間走り続けたランナー達も、疲労を感じさせない爽やかな表情です。そして全員に言えることですが、誰もが走りきった後、笑顔であると同時に、何かを成し遂げたという自信に満ち溢れた満足感のある表情をも見せるのです。とても意義深いものを見せてもらったという感動を私は味わいました。

皆が走り終えた後、大会実行委員長の鷲家智美さんのお話がありました。鷲家さんはガンで苦しんで亡くなった父の姿を見て、テリーフォックスランに参加する切っ掛けとなったというお話をしてくださいました。それは心打たれる言葉でした。

その後、１１年間、このテリーフォックスラン日本の松阪の発起人でもある上村委員長の挨拶があり、一同舞台に上がって、一言感想を述べました。参加した全員が、それぞれに感動を得て何かにつなげていく、そんな未来を感じさせつつ、大会は大成功のうちに終わりを迎えました。

ただ走るということ。それはまず自分自身との挑戦です。そして、それは人々の優しさ、強さ、思いやりに出会うためでもあります。今回３日間、スタッフとして参加させていただき、それを強く感じさせられました。とても貴重な経験でした。この素晴らしい行事が、今後も益々発展することをお祈り申し上げます。

Grant payment

ボランティアの風
三重から全国へ、そして世界へ

カナダのテレビ局が第１１回テリーフォックスラン日本を全国放映

がん研究を支援するための募金活動をするテリーフォックスランは 1982 年にカナダで始まり、世界に広がっていきました。カナダ各地で年間 3000 を越えるイベントが開催され、世界の 50 ヶ国で 3,791（2003 年）のテリーフォックスランが開催され、1,302,610 人が参加しました。

テリーフォックスラン が急速に世界に拡がった理由を考えると、
① がんに対する認識が拡がった。
② がん研究と言う目的は全人類の目的と合致する。（特定の地域、人たちにその恩恵を与えるのではない。）
③ 世界の異なった国々の人たちが同　目的で行動する喜びがある。

テリーフォックスラン日本の特徴

世界で、他の日本の地域（東京、神戸）行われているテリーフォックスランは、ある特定の日に特定の場所で走ったり、歩いたりして募金活動を行っている。

私たちが行っているテリーフォックスランは、地域と地域を繋ぐ、市民活動と行政活動を繋ぐ、癌を患っている人たちと健康を謳歌している人たちと医療関係者を繋ぐイベントです。それ故、何日もかけて（今回は延べ６日間）長い距離（今回は約 250 ㎞余）を走ります。

テリーフォックスラン日本の歴史

第１回	1995 年 11 月 19 日	松阪市中部台運動公園	
第２回	1996 年 11 月 10 日	〃	シンポジュウム
第３回	1997 年５月 10,11 日	〃	〃
第４回	1998 年５月 9,10 日	〃	〃
第５回	1999 年５月９日	〃	〃
第６回	2000 年５月 11,12,13,14 日	三重県全域	〃
第７回	2001 年５月 8,9,10,11,12,13 日	三重県、愛知県、和歌山県	〃
第８回	2002 年５月 8,9,10,11,12 日	三重県、愛知県、和歌山県、岐阜県	〃
第９回	2003 年５月 18,21,22,23,25 日	三重県、愛知県、和歌山県、岐阜県	〃
第 10 回	2004 年５月 14,15,16,17,20,21,22,23 日	三重県、愛知県、和歌山県	記念式

Information

事 務 連 絡
平成１７年１月２５日

Terry Fox Run NIPPON
会 長　上村 廣由　様

（財）三重県国際交流財団事務局長

MIEF国際化推進事業助成金の支払いについて

平成１７年１月２１日付けで請求のあったみだしの件について、助成金を次のとおり支払いします。

記

1　交付助成金額　　金　３００，０００円

2　交 付 日　　平成１７年１月２５日

＊　なお、手続きの関係上お振込させていただくのに２、３日かかる場合がありますのでご了承ください。

Implementation person

第 11 回 Terry Fox Run 実施担当表

参宮みち

ランナー	長谷　前田
サポート	鷲家　刀根　浜口　中村
自転車	前崎
記録	近藤
車	近藤　（ランナー、リュック、旗、幕、募金箱、個人参加の荷物　）
スピーカー	荒木車

熊野みち

ランナー	花本　上村
サポート	ペイペイ　鈴木　他２
自転車	森島
記録	額賀
車	土口　額賀
スピーカー	竹内　松阪市役所

中部台運動公園

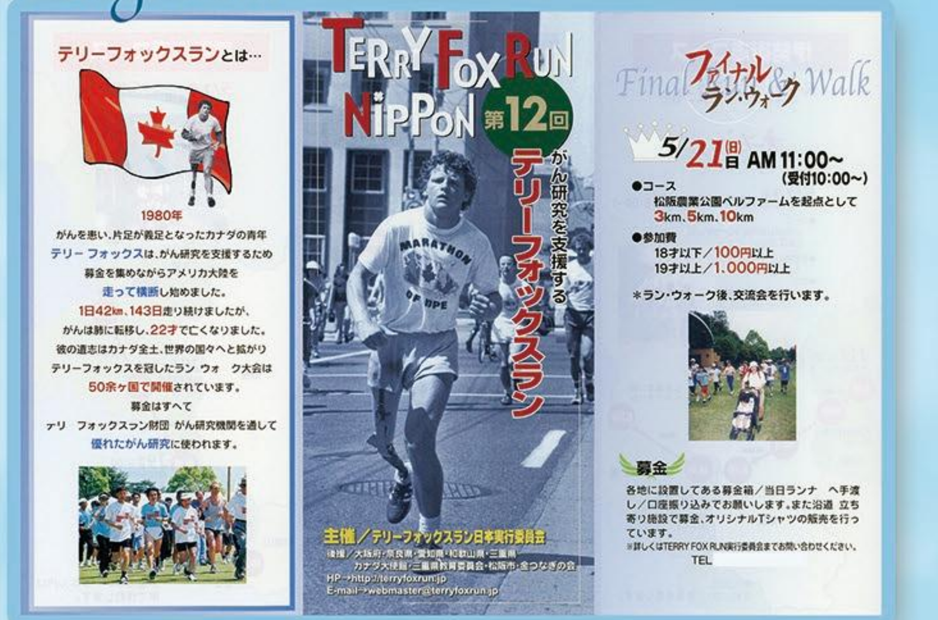
設営	上村幸
食事	西井
受付	太田　村田　上村泰

Photograph

2005

12 The Terry Fox Run

Program



テリーフォックスランとは…

1980年
がんを患い、片足が義足となったカナダの青年
テリー フォックスは、がん研究を支援するため
募金を集めながらアメリカ大陸を
走って横断し始めました。
1日42km、143日走り続けましたが、
がんは肺に転移し、22才で亡くなりました。
彼の遺志はカナダ全土、世界の国々へと拡がり
テリーフォックスを冠したラン ウォーク大会は
50余ヶ国で開催されています。
募金はすべて
テリー フォックスラン財団 がん研究機関を通して
優れたがん研究に使われます。

TERRY FOX RUN NIPPON 第12回
がん研究を支援する
テリーフォックスラン

主催／テリーフォックスラン日本実行委員会
後援／大阪府・奈良県・愛知県・和歌山県・三重県
カナダ大使館・三重県教育委員会・松阪市・金つなぎの会
HP→http://terryfoxrun.jp
E-mail→webmaster@terryfoxrun.jp

Final Run & Walk ファイナル ラン・ウォーク

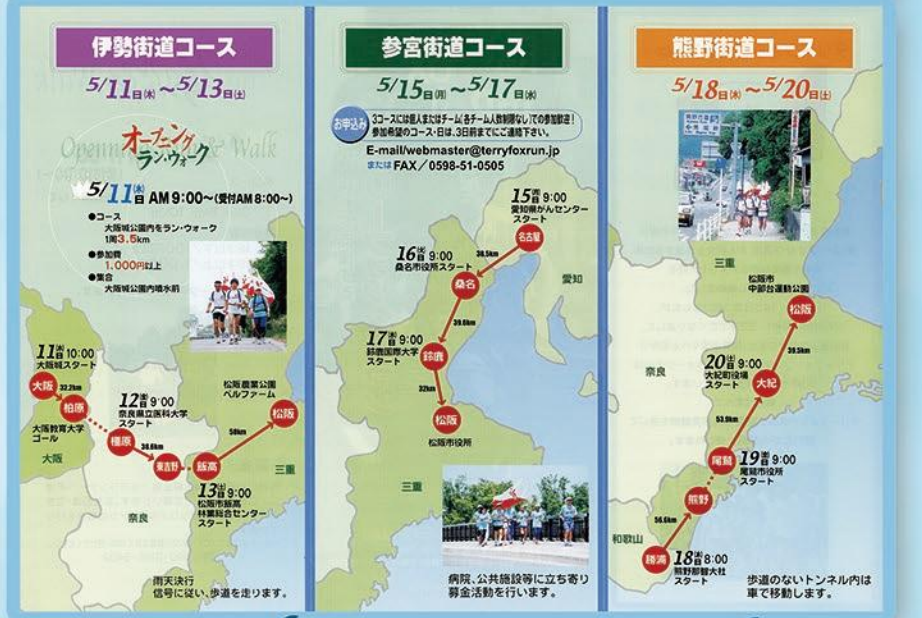
5/21(日) AM 11:00～（受付10:00～）

- ●コース
  松阪農業公園ベルファームを起点として 3km、5km、10km
- ●参加費
  18才以下／100円以上
  19才以上／1,000円以上

＊ラン・ウォーク後、交流会を行います。

募金

各地に設置してある募金箱／当日ランナーへ手渡し／口座振り込みでお願いします。また沿道立ち寄り施設で募金、オリジナルTシャツの販売を行っています。
※詳しくはTERRY FOX RUN実行委員会までお問い合わせください。
TEL



伊勢街道コース
5/11日(木)～5/13日(土)

Opening Run & Walk オープニング ラン・ウォーク

5/11(木) AM 9:00～（受付AM 8:00～）

- ●コース
  大阪城公園内をラン・ウォーク 1周3.5km
- ●参加費
  1,000円以上
- ●集合
  大阪城公園内噴水前

11日(木) 10:00 大阪城スタート
大阪
柏原
32.2km
大阪教育大学ゴール
12日(金) 9:00 奈良県立医科大学スタート
橿原
36.6km
東吉野
飯高
13日(土) 9:00 松阪市飯高林業総合センタースタート
58km
松阪
松阪農業公園ベルファーム
三重
奈良
大阪

雨天決行
信号に従い、歩道を走ります。

参宮街道コース
5/15日(月)～5/17日(水)

お申込み 3コースには個人またはチーム（各チーム人数制限なし）での参加歓迎！
参加希望のコース・日は、3日前までにご連絡下さい。
E-mail/webmaster@terryfoxrun.jp
またはFAX／0598-51-0505

15日(月) 9:00 愛知県がんセンタースタート
名古屋
38.5km
16日(火) 9:00 桑名市役所スタート
桑名
39.6km
17日(水) 9:00 鈴鹿国際大学スタート
鈴鹿
32km
松阪
松阪市役所
愛知
三重

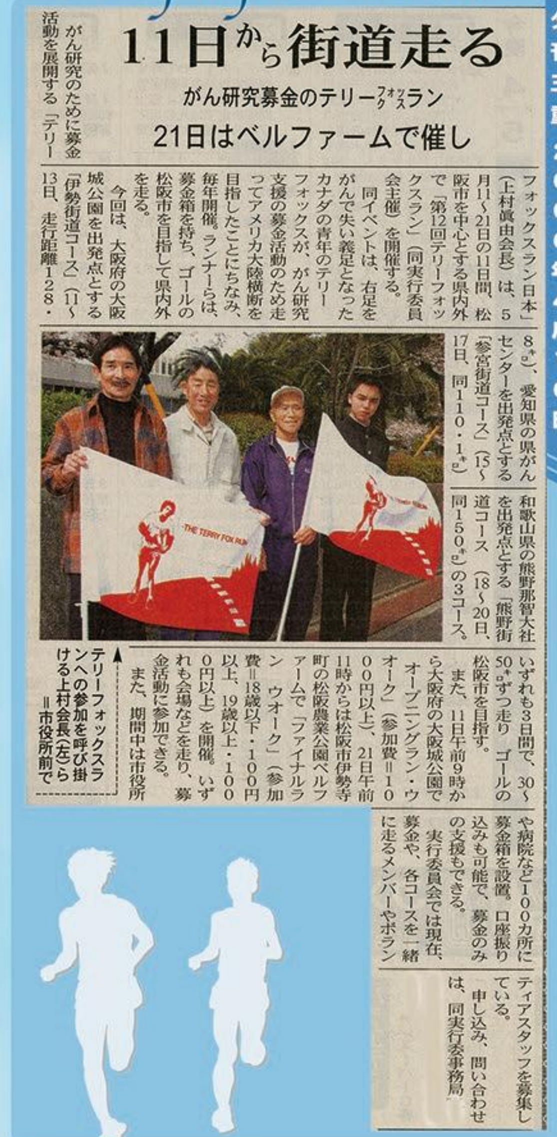
病院、公共施設等に立ち寄り募金活動を行います。

熊野街道コース
5/18日(木)～5/20日(土)

三重
松阪市中部台運動公園
松阪
39.5km
20日(土) 9:00 大紀町役場スタート
大紀
53.9km
尾鷲
19日(金) 9:00 尾鷲市役所スタート
熊野
56.6km
18日(木) 8:00 熊野那智大社スタート
奈良
和歌山

歩道のないトンネル内は車で移動します。

Newspaper article



夕刊三重 2006年4月10日

11日から街道走る

がん研究募金のテリーフォックスラン

21日はベルファームで催し

がん研究のために募金活動を展開する「テリーフォックスラン日本」（上村眞由会長）は、5月11～21日の11日間、松阪市を中心とする県内外で「第12回テリーフォックスラン」（同実行委員会主催）を開催する。

同イベントは、右足をがんで失い義足となったカナダの青年のテリーフォックスが、がん研究支援の募金活動のため走ってアメリカ大陸横断を目指したことにちなみ、毎年開催。ランナーらは、募金箱を持ち、ゴールの松阪市を目指して県内外を走る。

今回は、大阪府の大阪城公園を出発点とする「伊勢街道コース」（11～13日、走行距離128・8キロ）、愛知県の県がんセンターを出発点とする「参宮街道コース」（15～17日、同110・1キロ）和歌山県の熊野那智大社を出発点とする「熊野街道コース」（18～20日、同150キロ）の3コース。いずれも3日間で、30～50キロずつ走り ゴールの松阪市を目指す。

また、11日午前9時から大阪府の大阪城公園でオープニングラン・ウオーク」（参加費＝1000円以上）、21日午前11時からは松阪市伊勢寺町の松阪農業公園ベルファームで「ファイナルラン ウオーク」（参加費＝18歳以下・100円以上、19歳以上・1000円以上）を開催。いずれも会場などを走り、募金活動に参加できる。

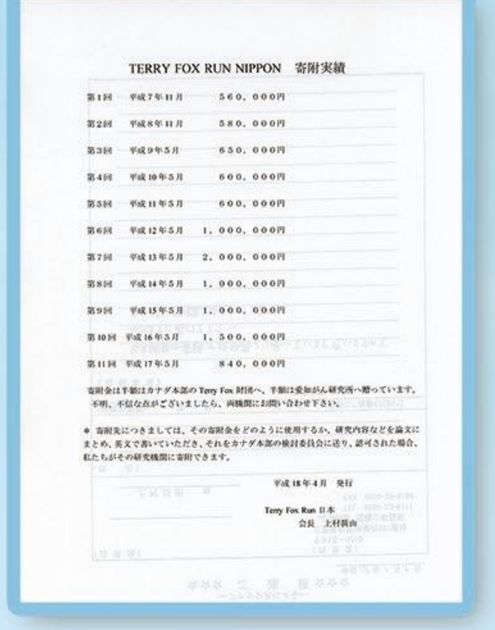
また、期間中は市役所や病院など100カ所に募金箱を設置。口座振り込みも可能で、募金のみの支援もできる。

実行委員会では現在、各コースを一緒に走るメンバーやボランティアスタッフを募集している。

申し込み、問い合わせは、同実行委事務局

↑テリーフォックスランへの参加を呼び掛ける上村会長（左）ら＝市役所前で

Donation record



TERRY FOX RUN NIPPON　寄附実績

第1回	平成7年11月	560,000円
第2回	平成8年11月	580,000円
第3回	平成9年5月	650,000円
第4回	平成10年5月	600,000円
第5回	平成11年5月	600,000円
第6回	平成12年5月	1,000,000円
第7回	平成13年5月	2,000,000円
第8回	平成14年5月	1,000,000円
第9回	平成15年5月	1,000,000円
第10回	平成16年5月	1,500,000円
第11回	平成17年5月	840,000円

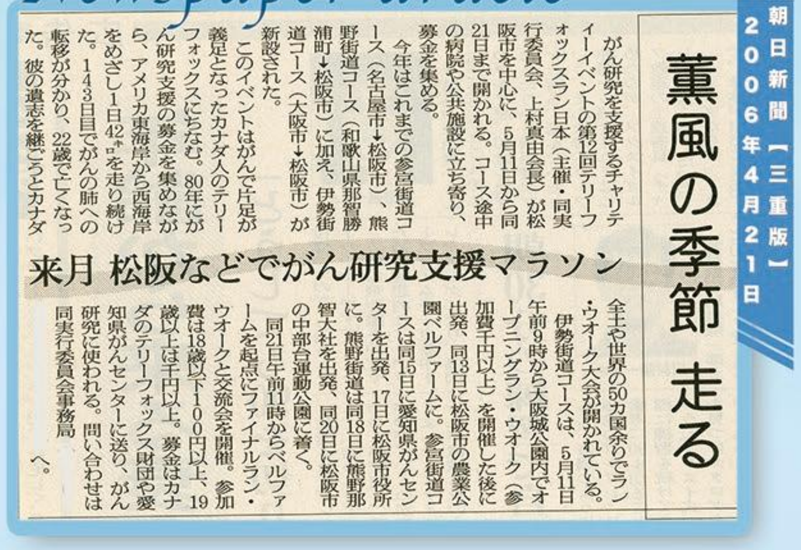
寄附金は半額はカナダ本部の Terry Fox 財団へ、半額は愛知がん研究所へ贈っています。
不明、不信な点がございましたら、両機関にお問い合わせ下さい。

＊ 寄附先につきましては、その寄附金をどのように使用するか、研究内容などを論文にまとめ、英文で書いていただき、それをカナダ本部の検討委員会に送り、認可された場合、私たちがその研究機関に寄附できます。

平成18年4月　発行

Terry Fox Run 日本
会長　上村眞由

Newspaper article



朝日新聞【三重版】2006年4月21日

薫風の季節 走る

来月 松阪などでがん研究支援マラソン

がん研究を支援するチャリティーイベントの第12回テリーフォックスラン日本（主催・同実行委員会、上村真由会長）が松阪市を中心に、5月11日から同21日まで開かれる。コース途中の病院や公共施設に立ち寄り、募金を集める。

今年はこれまでの参宮街道コース（名古屋市→松阪市）、熊野街道コース（和歌山県那智勝浦町→松阪市）に加え、伊勢街道コース（大阪市→松阪市）が新設された。

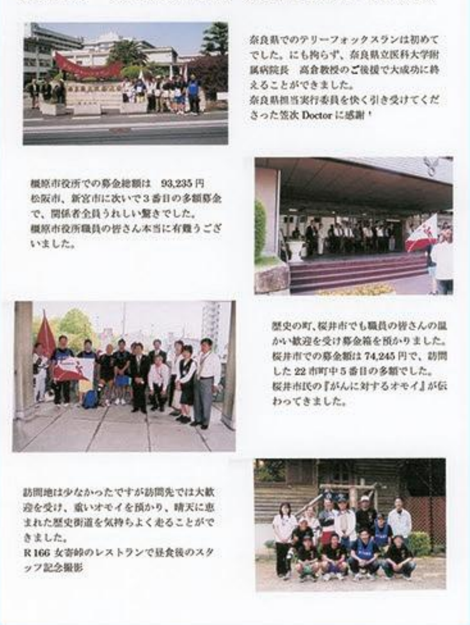
このイベントはがんで片足が義足となったカナダ人のテリーフォックスにちなむ。80年にがん研究支援の募金を集めながら、アメリカ東海岸から西海岸をめざし1日42キロを走り続けた。143日目でがんの肺への転移が分かり、22歳で亡くなった。彼の遺志を継ごうとカナダ全土や世界の50カ国余りでラン・ウオーク大会が開かれている。

伊勢街道コースは、5月11日午前9時から大阪城公園内でオープニングラン・ウオーク（参加費千円以上）を開催した後に出発、同13日に松阪市の農業公園ベルファームに。参宮街道コースは同15日に愛知県がんセンターを出発、17日に松阪市役所に。熊野街道は同18日に熊野那智大社を出発、同20日に松阪市の中部台運動公園に着く。

同21日午前11時からベルファームを起点にファイナルラン・ウオークと交流会を開催。参加費は18歳以下100円以上、19歳以上は千円以上。募金はカナダのテリーフォックス財団や愛知県がんセンターに送り、がん研究に使われる。問い合わせは同実行委員会事務局 へ。

2006

Report



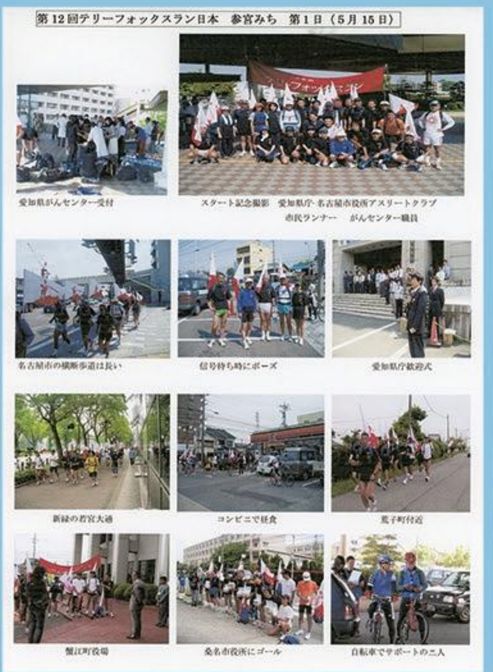
第12回テリーフォックスラン日本　伊勢街道　第2日（5月12日）

奈良県でのテリーフォックスランは初めてでした。にも拘らず、奈良県立医科大学附属病院長　高倉教授のご後援で大成功に終えることができました。
奈良県担当実行委員を快く引き受けてくださった笠次 Doctor に感謝！

橿原市役所での募金総額は　93,235円
松阪市、新宮市に次いで3番目の多額募金で、関係者全員うれしい驚きでした。
橿原市役所職員の皆さん本当に有難うございました。

歴史の町、桜井市でも職員の皆さんの温かい歓迎を受け募金箱を預かりました。
桜井市での募金額は74,245円で、訪問した22市町中5番目の多額でした。
桜井市民の『がんに対するオモイ』が伝わってきました。

訪問地は少なかったですが訪問先では大歓迎を受け、重いオモイを預かり、晴天に恵まれた歴史街道を気持ちよく走ることができました。
R166 女寄峠のレストランで昼食後のスタッフ記念撮影



第12回テリーフォックスラン日本　参宮みち　第1日（5月15日）

愛知県がんセンター受付
スタート記念撮影　愛知県庁・名古屋市役所アスリートクラブ
市民ランナー　がんセンター職員
名古屋市の横断歩道は長い
信号待ち時にポーズ
愛知県庁歓迎式
新緑の若宮大通
コンビニで昼食
荒子町付近
蟹江町役場
桑名市役所にゴール
自転車でサポートの二人

第12回テリーフォックスラン日本　参宮みち　第2日（5月16日）

桑名市役所での出陣式
1号線を四日市大学陸上部と共に
四日市社会保険病院での歓迎式
看護士チームも参加
R1号線　川越町付近
四日市市役所の歓迎式
県四日市庁舎
鈴鹿中央総合病院
鈴鹿国際大学にゴール

後記
スタートの桑名市役所では例年通り盛大に、そして温かくお見送りいただき一号線を川越町へ。
川越町から四日市大学陸上部、四日市社会保険病院からは看護士チームが参加し、大きなチームで楽しいRUNができました。
立ち寄らせていただいた役所、病院ではお預けさせていただいた募金箱を受け取り、職員、市民の温かい歓送を受けました。

第12回テリーフォックスラン日本　参宮みち　第3日（5月17日）

鈴鹿国際大学　スタート
参加した鈴鹿国際大学メンバー
三重大学病院
三重県庁
雨の参宮道
参宮道　お休み処で一休み
松阪中央総合病院　島袋さんと共に

後記
出発時に曇っていた空も午後には本降りとなり、R23 を南下、三重大学病院、アスト津、三重県庁、津市役所に立ち寄り、松阪市三雲町から参宮道を走りました。松阪中央総合病院で沖縄出身で両足義足でカナダのテリーフォックスランに参加した島袋さんに励まされ、松阪市役所にゴールしました。

第12回テリーフォックスラン日本　熊野道　第2日（5月19日）

尾鷲市市長出陣式の挨拶
尾鷲市役所チームとともに
尾鷲総合病院チームも加わって
尾鷲市市内 R42号線
三重県紀北庁舎にて
小雨に煙る便石山麓
合併後の紀北町を訪問
ゴールの大紀町にて
紀北町と大紀町のエースランナー

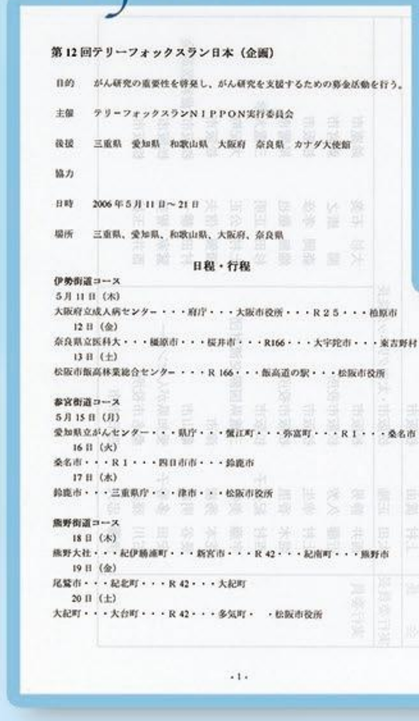
後記
終日雨の中を無事に走り終えました。
今回は尾鷲市役所の2チーム、尾鷲総合病院チームが加わっていただき楽しく走ることができました。
生憎の雨で予定していただいた大紀町の3中学が参加できなかったのは残念でした。
平成の合併により、海山町、紀伊長島町、大内山村、紀勢町、大宮町と言う町村名が無くなったのは寂しく感じましたが、新たな紀北町、大紀町が生まれ、いよいよ新しい町が誕生したのだと言う息吹を感じました。

第12回テリーフォクスラン日本　熊野みち　第3日（5月20日）

大紀町役場　創心太鼓に送られて
三重大学陸上部参加
おおだい道の駅訪問
R42を北上
R42から天啓公園へ
多気町 天啓公園歓迎式
新装なった南勢病院
中部台運動公園ゴール

後記
昨日からの雨も上がり、三重大学陸上部、市民ランナーも加わり総勢30人を超える集団が大紀町での創心太鼓の力強い見送りでスタートしました。途中、夕立に見舞われましたが午後からは晴天の下、5分/km以内のスピードでR42、又は和歌山街道を多気町を経て松阪中部台運動公園にゴールしました。
3コース（伊勢街道、参宮街道、熊野街道）を9日間無事に完走できました。感謝！感謝！

Proposal



第12回テリーフォックスラン日本（企画）

目的　がん研究の重要性を啓発し、がん研究を支援するための募金活動を行う。
主催　テリーフォックスランＮＩＰＰＯＮ実行委員会
後援　三重県　愛知県　和歌山県　大阪府　奈良県　カナダ大使館
協力
日時　2006年5月11日～21日
場所　三重県、愛知県、和歌山県、大阪府、奈良県

日程・行程

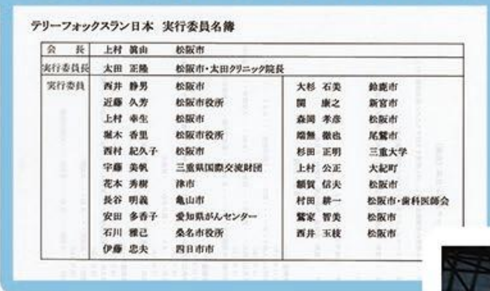
伊勢街道コース
5月11日（木）
大阪府立成人病センター・・・府庁・・・大阪市役所・・・R25・・・柏原市
12日（金）
奈良県立医科大・・・橿原市・・・桜井市・・・R166・・・大宇陀市・・・東吉野村
13日（土）
松阪市飯高林業総合センター・・・R166・・・飯高道の駅・・・松阪市役所

参宮街道コース
5月15日（月）
愛知県立がんセンター・・・県庁・・・蟹江町・・・弥富町・・・R1・・・桑名市
16日（火）
桑名市・・・R1・・・四日市市・・・鈴鹿市
17日（水）
鈴鹿市・・・三重県庁・・・津市・・・松阪市役所

熊野街道コース
18日（木）
熊野大社・・・紀伊勝浦町・・・新宮市・・・R42・・・紀南町・・・熊野市
19日（金）
尾鷲市・・・紀北町・・・R42・・・大紀町
20日（土）
大紀町・・・大台町・・・R42・・・多気町・　・松阪市役所

-1-

Executive committee list



テリーフォックスラン日本　実行委員名簿

会　長	上村 眞由	松阪市		
実行委員長	太田 正隆	松阪市・太田クリニック院長		
実行委員	西井 静男	松阪市	大杉 石美	鈴鹿市
	近藤 久芳	松阪市役所	関 康之	新宮市
	上村 幸生	松阪市	森岡 孝彦	松阪市
	堀木 香里	松阪市役所	端無 徹也	尾鷲市
	西村 紀久子	松阪市	杉田 正明	三重大学
	宇藤 美帆	三重県国際交流財団	上村 公正	大紀町
	花本 秀樹	津市	額賀 信夫	松阪市
	長谷 明義	亀山市	村田 耕一	松阪市・歯科医師会
	安田 多香子	愛知県がんセンター	鷲家 智美	松阪市
	石川 雅己	桑名市役所	西井 玉枝	松阪市
	伊藤 忠夫	四日市市		

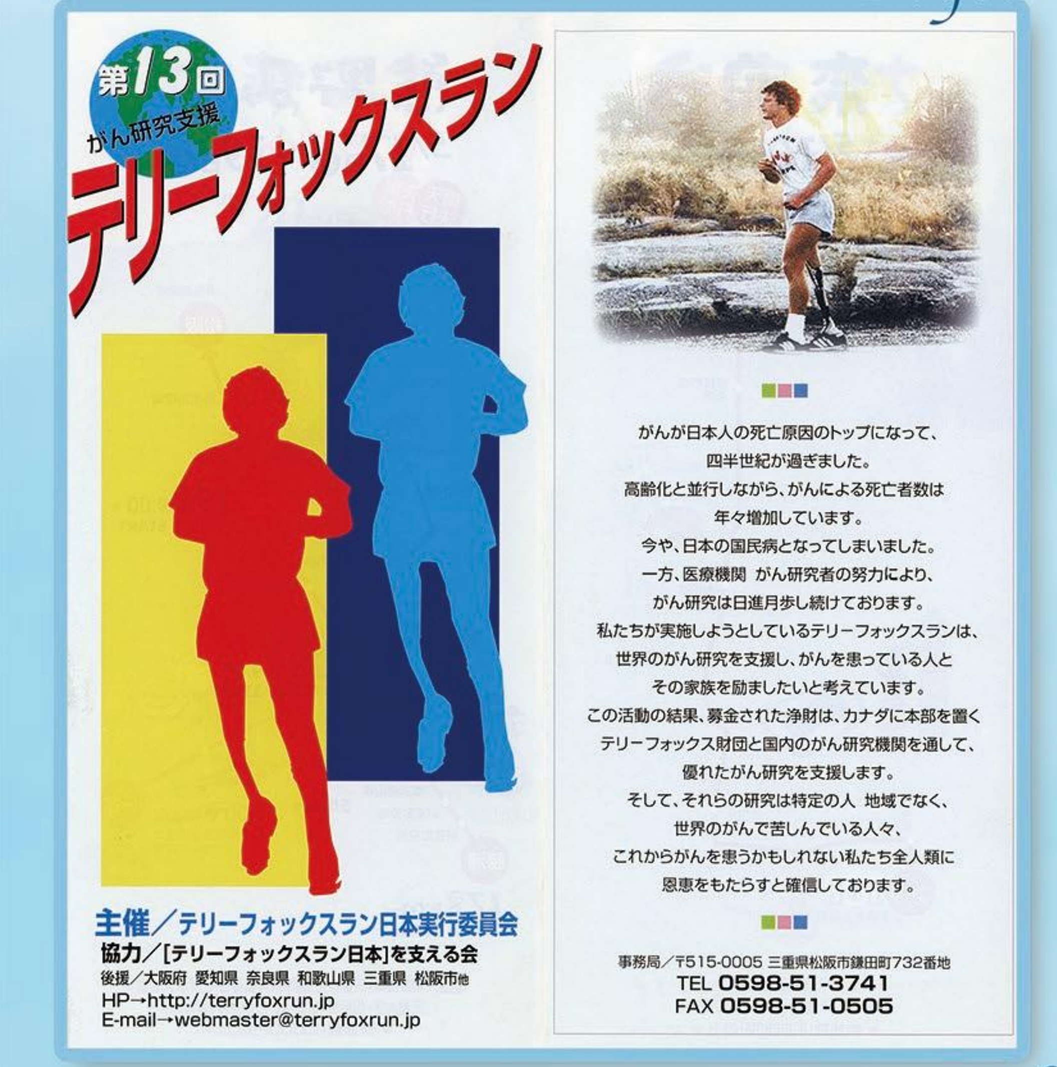
Photograph

テリー・フォックスラン

13 The Terry Fox Run

2007

Flyer

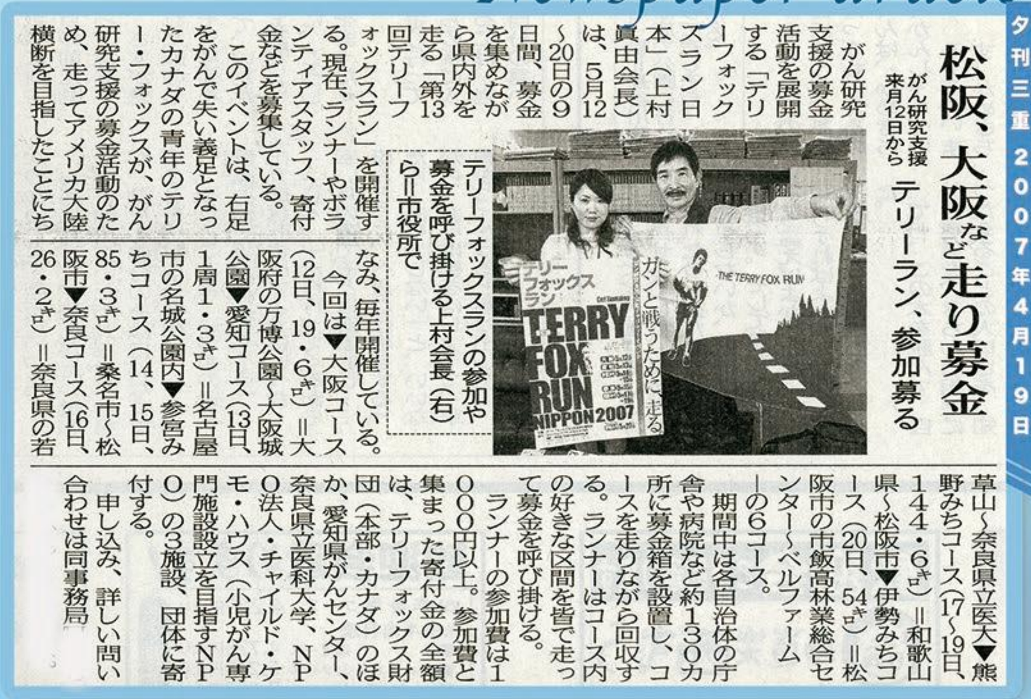

第13回
がん研究支援
テリーフォックスラン

がんが日本人の死亡原因のトップになって、
四半世紀が過ぎました。
高齢化と並行しながら、がんによる死亡者数は
年々増加しています。
今や、日本の国民病となってしまいました。
一方、医療機関 がん研究者の努力により、
がん研究は日進月歩し続けております。
私たちが実施しようとしているテリーフォックスランは、
世界のがん研究を支援し、がんを患っている人と
その家族を励ましたいと考えています。
この活動の結果、募金された浄財は、カナダに本部を置く
テリーフォックス財団と国内のがん研究機関を通して、
優れたがん研究を支援します。
そして、それらの研究は特定の人 地域でなく、
世界のがんで苦しんでいる人々、
これからがんを患うかもしれない私たち全人類に
恩恵をもたらすと確信しております。

主催／テリーフォックスラン日本実行委員会
協力／[テリーフォックスラン日本]を支える会
後援／大阪府 愛知県 奈良県 和歌山県 三重県 松阪市他
HP→http://terryfoxrun.jp
E-mail→webmaster@terryfoxrun.jp

事務局／〒515-0005 三重県松阪市鎌田町732番地
TEL 0598-51-3741
FAX 0598-51-0505

Newspaper article



夕刊三重 2007年4月19日

松阪、大阪など走り募金

がん研究支援 来月12日から

テリーラン、参加募る

がん研究支援の募金活動を展開する「テリーフォックスラン日本」（上村眞由会長）は、5月12～20日の9日間、募金を集めながら県内外を走る「第13回テリーフォックスラン」を開催する。現在、ランナーやボランティアスタッフ、寄付金などを募集している。

このイベントは、右足をがんで失い義足となったカナダの青年のテリー・フォックスが、がん研究支援の募金活動のため、走ってアメリカ大陸横断を目指したことにちなみ、毎年開催している。

今回は▼大阪コース（12日、19・6㌔）＝大阪府の万博公園～大阪城公園▼愛知コース（13日、1周1・3㌔）＝名古屋市の名城公園内▼参宮みちコース（14、15日、85・3㌔）＝桑名市～松阪市▼奈良コース（16日、26・2㌔）＝奈良県の若草山～奈良県立医大▼熊野みちコース（17～19日、144・6㌔）＝和歌山県～松阪市▼伊勢みちコース（20日、54㌔）＝松阪市の市飯高林業総合センター～ベルファーム―の6コース。

期間中は各自治体の庁舎や病院など約130カ所に募金箱を設置し、コースを走りながら回収する。ランナーはコース内の好きな区間を皆で走って募金を呼び掛ける。

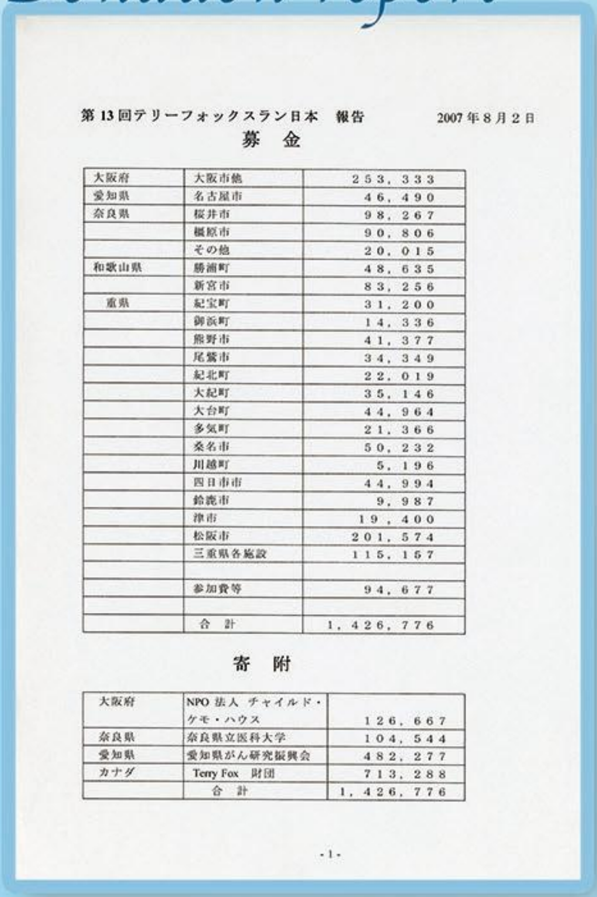
ランナーの参加費は1000円以上。参加費と集まった寄付金の全額は、テリーフォックス財団（本部・カナダ）のほか、愛知県がんセンター、奈良県立医科大学、NPO法人・チャイルド・ケモ・ハウス（小児がん専門施設設立を目指すNPO）の3施設、団体に寄付する。

申し込み、詳しい問い合わせは同事務局

テリーフォックスランの参加や募金を呼び掛ける上村会長（右）ら＝市役所で

Photograph

Donation report



第13回テリーフォックスラン日本　報告　　2007年8月2日

募　金

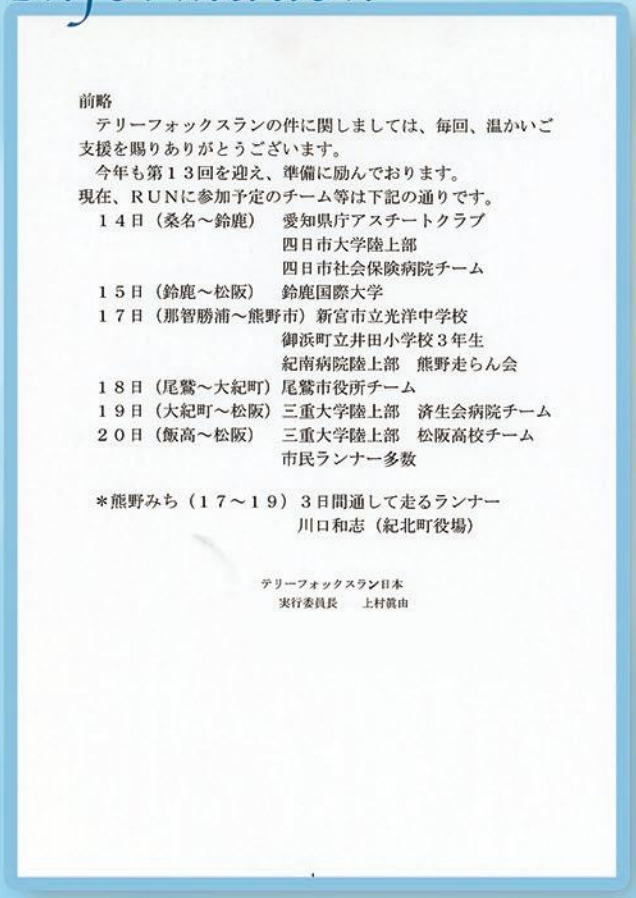
大阪府	大阪市他	253,333
愛知県	名古屋市	46,490
奈良県	桜井市	98,267
	橿原市	90,806
	その他	20,015
和歌山県	勝浦町	48,635
	新宮市	83,256
重県	紀宝町	31,200
	御浜町	14,336
	熊野市	41,377
	尾鷲市	34,349
	紀北町	22,019
	大紀町	35,146
	大台町	44,964
	多気町	21,366
	桑名市	50,232
	川越町	5,196
	四日市市	44,994
	鈴鹿市	9,987
	津市	19,400
	松阪市	201,574
	三重県各施設	115,157
	参加費等	94,677
	合　計	1,426,776

寄　附

大阪府	NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウス	126,667
奈良県	奈良県立医科大学	104,544
愛知県	愛知県がん研究振興会	482,277
カナダ	Terry Fox 財団	713,288
	合　計	1,426,776

-1-

Information



前略

テリーフォックスランの件に関しましては、毎回、温かいご支援を賜りありがとうございます。

今年も第13回を迎え、準備に励んでおります。
現在、RUNに参加予定のチーム等は下記の通りです。

14日（桑名～鈴鹿）　愛知県庁アスチートクラブ
　　　　　　　　　　四日市大学陸上部
　　　　　　　　　　四日市社会保険病院チーム
15日（鈴鹿～松阪）　鈴鹿国際大学
17日（那智勝浦～熊野市）新宮市立光洋中学校
　　　　　　　　　　御浜町立井田小学校3年生
　　　　　　　　　　紀南病院陸上部　熊野走らん会
18日（尾鷲～大紀町）尾鷲市役所チーム
19日（大紀町～松阪）三重大学陸上部　済生会病院チーム
20日（飯高～松阪）　三重大学陸上部　松阪高校チーム
　　　　　　　　　　市民ランナー多数

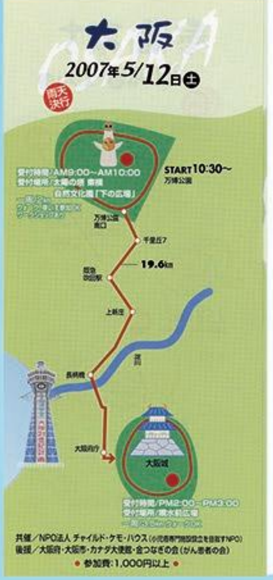
＊熊野みち（17～19）3日間通して走るランナー
　　　　　　　　　　川口和志（紀北町役場）

テリーフォックスラン日本
実行委員長　上村眞由

大阪→愛知→参宮→奈良→熊野→伊勢

The Terry Fox Run 6 courses

2007


大阪
2007年5/12日㊏
雨天決行
START10:30~
万博公園
受付時間/AM9:00~AM10:00
受付場所/太陽の塔 裏側
自然文化園「下の広場」
万博公園東口
千里丘7
19.6km
上新庄
長柄橋
大阪府庁
大阪城
受付時間/PM2:00~PM3:00
受付場所/噴水前広場
共催/NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウス（小児患者専門施設設立を目指すNPO）
後援/大阪府・大阪市・カナダ大使館・金つなぎの会（がん患者の会）
● 参加費:1,000円以上 ●

12日（土）　大阪

田村亜紀子	チャイルド　ケモ　ハウス			
上村泰子	荷物車			
西井静男	サポート車			
前川　仁	自転車			
田中麻美	指導者			

タイムスケジュール

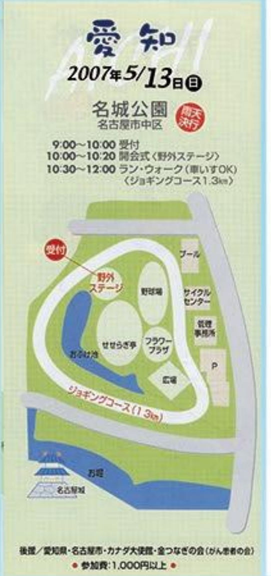
6　００　松阪（事務局）　出発
8　４５　万博公園　着　ランナー受付、グッズ販売準備
9　３０　公園内から退車
10　００　開会式　（司会　田村太郎　挨拶　上村、橘木）
10　３０　スタート　サポート車、サポート自転車も出発　（12:00～12:30　昼食）
11　００　荷物車出発
13　３０　荷物車―大阪城公園着　受付、グッズ販売準備
14　３０　ランナー到着、大阪城公園外周ランウオーク
15　３０　閉会式
16・００　大阪城公園　出発　松阪へ

ランナー
伊藤文雄
梅田育夫
西井光道
西井大直
橘木
上村眞由
吉岡康男

天候などのコンディション

その他（感想）

大阪コース
万博公園～大阪城公園


愛知
2007年5/13日㊐
名城公園
名古屋市中区
雨天決行
9:00～10:00 受付
10:00～10:20 開会式〈野外ステージ〉
10:30～12:00 ラン・ウォーク（車いすOK）
〈ジョギングコース1.3km〉
受付
野外ステージ
野球場
プール
サイクルセンター
管理事務所
せせらぎ亭
フラワープラザ
おふけ池
広場
P
ジョギングコース（1.3km）
お堀
名古屋城
後援/愛知県・名古屋市・カナダ大使館・金つなぎの会（がん患者の会）
● 参加費:1,000円以上 ●

13日（日）愛知

清水康弘	愛知県福祉部健康対策課		
上村泰子	荷物車		
田中麻美	指導者		

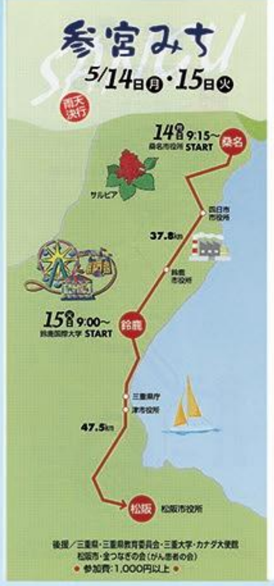
タイムスケジュール

7　００　松阪（事務局）出発
9　００　名城公園（野外ステージ）受付、グッズ販売
10:00~10:20　開会式（司会　清水康弘　挨拶　上村、愛知県代表）
10:３０　ラン、ウオーク開始
12:００　終了　松阪へ

天候などのコンディション

その他感想

愛知コース
名城公園内


参宮みち
5/14日㊊・15日㊋
雨天決行
14日 9:15~
桑名市役所 START
桑名
サルビア
四日市市役所
37.8km
鈴鹿市役所
15日 9:00~
鈴鹿国際大学 START
鈴鹿
三重県庁
津市役所
47.5km
松阪
松阪市役所
後援/三重県・三重県教育委員会・三重大学・カナダ大使館
松阪市・金つなぎの会（がん患者の会）
● 参加費:1,000円以上 ●

14日（月）参宮みち　第１日

	桑名市役所保険福祉部福祉総務課	
伊藤忠夫		
	川越町役場	
	四日市社会保険病院	
	四日市市役所保険福祉部	
	鈴鹿市役所保険福祉部　健康づくり課	
渡邊　裕	鈴鹿中央総合病院　事務長	
堤	鈴鹿国際大学総務課	
田中麻美	指導車	

タイムスケジュール

７．００　松阪（事務局）出発
８　３０　桑名市役所　受付、グッズ販売
9:00~9:15　出発式　（司会　山口京子　挨拶　伊藤）
川越町役場　→　四日市社会保険病院　→　四日市市役所
→県四日市庁舎（昼食）→　鈴鹿市役所　→
鈴鹿中央総合病院　→　鈴鹿国際大学

ランナー
前田良夫
長谷
愛知県庁アスリートクラブ
小林

天候などのコンディション

その他感想

１５日（月）参宮みち　第２日

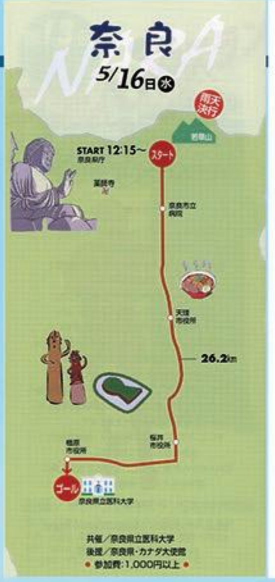
堤	鈴鹿国際大学		
白石泰三	三重大学医学部教授　病理学第二講座		
宇藤　美帆	アスト津　三重県国際交流財団		
伊藤　泰士	三重県健康福祉部健康づくり室地域保険Ｇ		
今村　義正	津市社会保険部福祉課障害福祉担当		
田中　智	三重中央医療センター　管理課長		
	松阪市嬉野振興局		
前田　正義	松阪中央総合病院　事務次長		
	松阪市民病院		
	松阪市役所		

タイムスケジュール

８　３０　松阪（事務局）出発　　受付、グッズ販売
９　３０　出発式（鈴鹿国際大学学長、実行委員）
９．４５　スタート
11　１５　三重大学病院
11　３５　アスト津
11・４５　三重県庁（副知事合流）
12　００　津市役所
12　４５　三重中央医療センター
15　００　松阪市嬉野地域振興局
16　３０　松阪中央総合病院
16　４５　松阪市民病院
16　５０　松阪市役所

ランナー
鈴鹿国際大学職員、学生
小林
上村

参宮コース
桑名市～松阪市


奈良
5/16日㊌
雨天決行
若草山
START 12:15~
奈良県庁
スタート
薬師寺
奈良市立病院
天理市役所
26.2km
桜井市役所
橿原市役所
ゴール
奈良県立医科大学
共催/奈良県立医科大学
後援/奈良県・カナダ大使館
● 参加費:1,000円以上 ●

１６日（水）奈良県

笠次　良爾	奈良県立医科大学　整形外科		
杉本　和也	済生会奈良病院　整形外科部長		
沢　　潤一	桜井市　社会福祉事務所		
酒井　常也	橿原市　健康福祉部　健康増進課		

タイムスケジュール

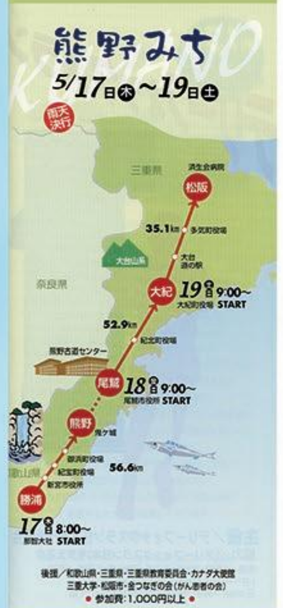
８　３０　松阪（事務局）出発
11　３０　奈良県庁前　受付　グッズ販売
12　００　出発
12　１５　奈良市立病院
12　４５　済生会奈良病院
15．３０　桜井市役所
16・１５　橿原市役所
16．３０　奈良県立医科大学

ランナー
西井光道
西井大直
笠次良爾
奥山郁子
上村眞由

天候などのコンディション

その他

奈良コース
若草山～奈良県立医大


熊野みち
KUMANO
5/17日㊍~19日㊏
雨天決行
三重県
済生会病院
松阪
35.1km
多気町役場
大台山系
大台道の駅
奈良県
大紀
19日 9:00~
大紀町役場 START
52.9km
紀北町役場
熊野古道センター
尾鷲
18日 9:00~
尾鷲市役所 START
熊野
鬼ヶ城
御浜町役場
紀宝町役場
56.6km
新宮市役所
和歌山県
勝浦
17日 8:00~
那智大社 START
後援/和歌山県・三重県・三重県教育委員会・カナダ大使館
三重大学・松阪市・金つなぎの会（がん患者の会）
● 参加費:1,000円以上 ●

１７日（木）熊野みち　第１日

関　　康之	関　三吉商店　社長	
藪根　敏夫	那智勝浦町役場福祉課	
中野　良太	紀宝町役場　福祉課	
三石　貴之	紀南病院　総務課　庶務係長	
大畑　覚	御浜町役場　総務課　課長	
若尾　典子	三重県熊野保険福祉事務所健康増進課　課長	
清嶺地　利夫	熊野市役所　健康長寿課	
	御浜町立　井田小学校	
九鬼　俊明	熊野走らん会　会長	
石川　八州男	新宮市立　光洋中学校　校長	

タイムスケジュール

７　１５　那智大社　駐車場　集合
７　３０　御祓い
８　００　那智大社　出発

１８日（金）熊野みち　第２日

川口　拓也	尾鷲市福祉保健課		
高橋　浩也	三重県尾鷲保健福祉事務所		
上野　弘明	紀北町福祉保健課		
岡本　浩一郎	大紀町健康福祉課		

タイムスケジュール

８　００　尾鷲市役所集合　受付　グッズ販売
８　４５　出発式（市長、実行委員）
９　００　スタート
９　１５　尾鷲総合病院
９　３５　三重県紀北庁舎　　途中　乗車してトンネルを通過
10　３５　紀北町役場
13　００　紀北町紀伊長島庁舎
16　４５　大紀町役場

ランナー
川口和志
尾鷲市役所チーム

気候などコンディション

その他

１９日（土）熊野みち　第３日

岡本　浩一郎	大紀町役場健康福祉課	
松田　隆広	多気町健康福祉課	
	南勢病院	
	桜木記念病院	
岩城　秀治	済生会松阪総合病院	

タイムスケジュール

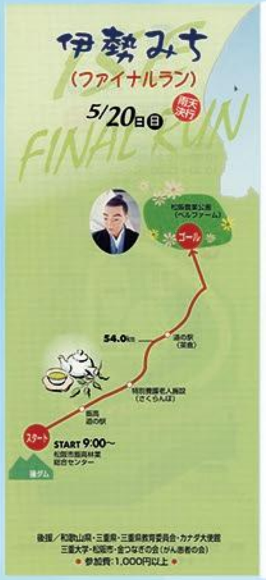
７　３０　松阪（事務局）出発
８　３０　大紀町役場　受付　グッズ販売
９　００　スタート
９　４５　大台道の駅
13　３０　多気町
14　３０　南勢病院
15　００　桜木記念病院
15　３０　済生会松阪総合病院

ランナー
三重大学陸上部
済生会病院チーム
松阪市役所チーム

天候などのコンディション

その他

熊野コース
和歌山県～松阪市


伊勢みち
（ファイナルラン）
FINAL RUN
5/20日㊐
雨天決行
松阪農業公園（ベルファーム）
ゴール
54.0km
道の駅（茶倉）
特別養護老人施設（さくらんぼ）
飯高道の駅
スタート
START 9:00~
松阪市飯高林業総合センター
蓮ダム
後援/和歌山県・三重県・三重県教育委員会・カナダ大使館
三重大学・松阪市・金つなぎの会（がん患者の会）
● 参加費:1,000円以上 ●

２０日（日）伊勢みち（ファイナルラン）

山本　斎	リバーサイド茶倉組合		
田中　正一	株式会社　飯高道の駅		
久野　美文	さくらんぼ理事長		
西井　静男			
上村　泰子			

タイムスケジュール

７　００　松阪（事務局）出発　→　松阪駅西口
８　３０　飯高林業総合センター　受付　グッズ販売
９　００　スタート
12　００　飯高道の駅
13　００　さくらんぼ
13　２０　道の駅　茶倉
17　００　ベルファーム

ランナー
三重大学陸上部
松阪高校
田島和雄
白石泰三
山本 Dr.
下村　誠
伊藤文雄
奥山郁子
上山雅士

天候などのコンディション

その他

伊勢コース
飯高林業総合センター～ベルファーム

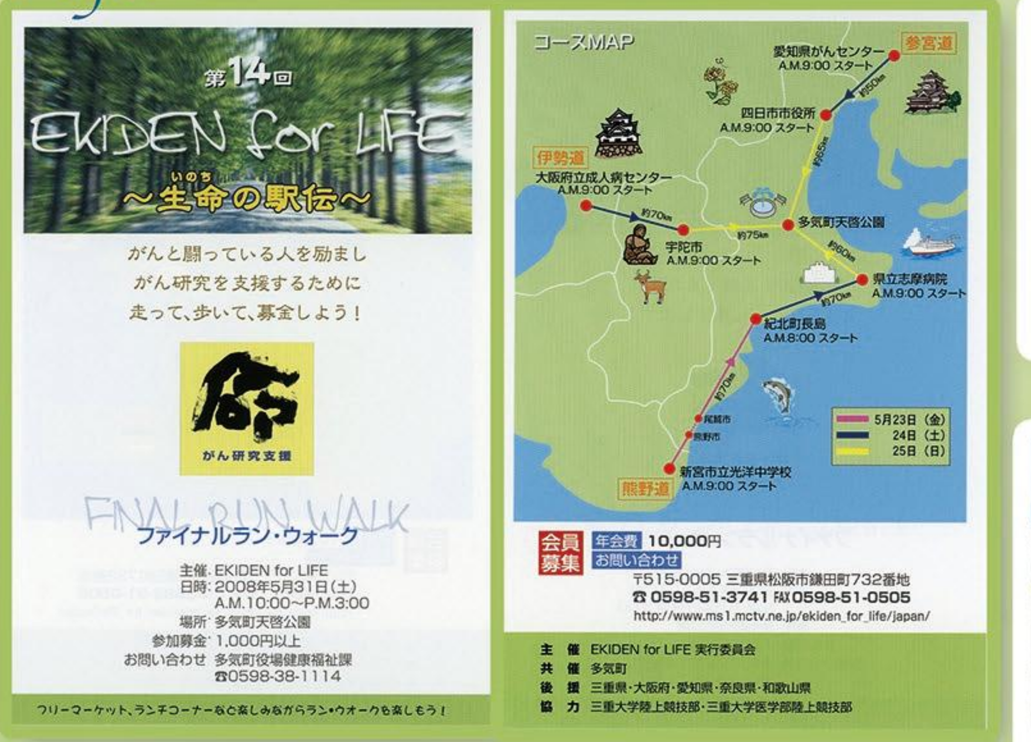
14

～生命（いのち）の駅伝～

EKIDEN FOR LIFE

2008

Flyer


第14回
EKIDEN for LIFE
～生命（いのち）の駅伝～
コースMAP
参宮道
愛知県がんセンター A.M.9:00 スタート
約50km
四日市市役所 A.M.9:00 スタート
約65km
伊勢道
大阪府立成人病センター A.M.9:00 スタート
約70km
宇陀市 A.M.9:00 スタート
約75km
多気町天啓公園
約60km
県立志摩病院 A.M.9:00 スタート
約70km
紀北町長島 A.M.8:00 スタート
約70km
尾鷲市
熊野市
新宮市立光洋中学校 A.M.9:00 スタート
熊野道
5月23日（金）
24日（土）
25日（日）

がんと闘っている人を励まし
がん研究を支援するために
走って、歩いて、募金しよう！

がん研究支援

FINAL RUN WALK
ファイナルラン・ウォーク

主催：EKIDEN for LIFE
日時：2008年5月31日（土）
A.M.10:00～P.M.3:00
場所：多気町天啓公園
参加募金：1,000円以上
お問い合わせ 多気町役場健康福祉課
☎0598-38-1114

フリーマーケット、ランチコーナーなど楽しみながらラン・ウオークを楽しもう！

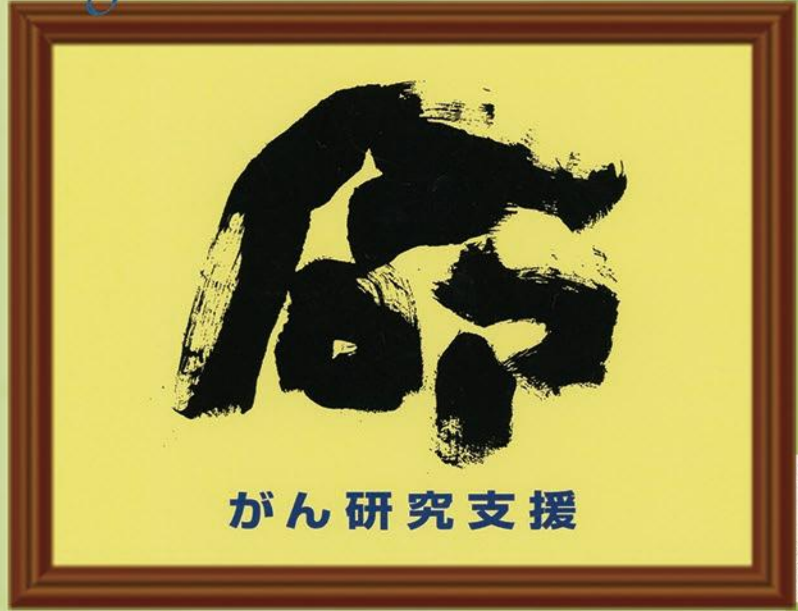
会員募集 年会費 10,000円
お問い合わせ
〒515-0005 三重県松阪市鎌田町732番地
☎ 0598-51-3741 FAX 0598-51-0505
http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/japan/

主　催	EKIDEN for LIFE 実行委員会
共　催	多気町
後　援	三重県・大阪府・愛知県・奈良県・和歌山県
協　力	三重大学陸上競技部・三重大学医学部陸上競技部

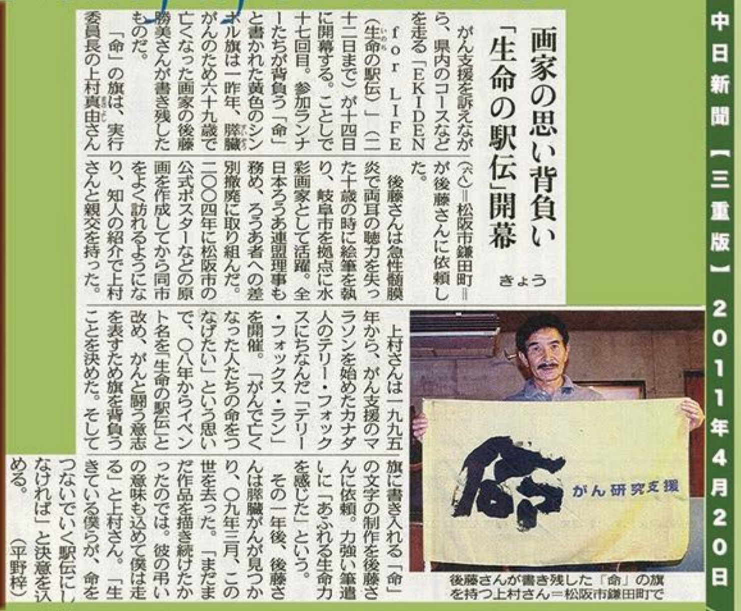
EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）ファイナルラン・ウォーク

Photograph

Logo



Newspaper article



中日新聞【三重版】2011年4月20日

画家の思い背負い「生命の駅伝」開幕

きょう

がん支援を訴えながら、県内のコースなどを走る「EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）」（二十二日まで）が十四日に開幕する。ことしで十七回目。参加ランナーたちが背負う「命」と書かれた黄色のシンボル旗は一昨年、膵臓がんのため六十九歳で亡くなった画家の後藤勝美さんが書き残したものだ。

「命」の旗は、実行委員長の上村眞由さん（六〇）＝松阪市鎌田町＝が後藤さんに依頼した。

後藤さんは急性髄膜炎で両耳の聴力を失った十歳の時に絵筆を執り、岐阜市を拠点に水彩画家として活躍。全日本ろうあ連盟理事も務め、ろうあ者への差別撤廃に取り組んだ。二〇〇四年に松阪市の公式ポスターなどの原画を作成してから同市をよく訪れるようになり、知人の紹介で上村さんと親交を持った。

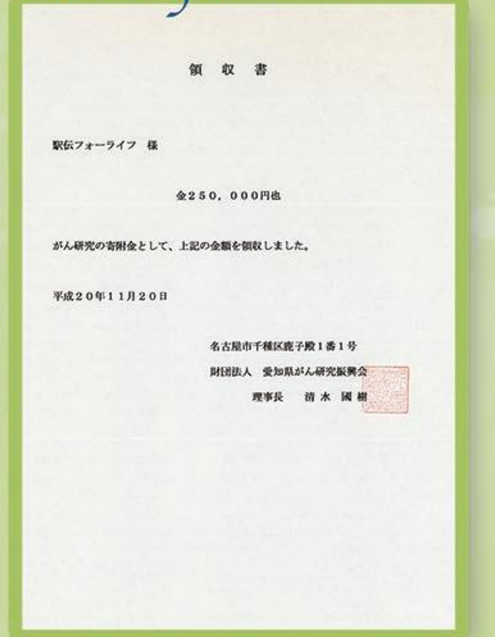
上村さんは一九九五年から、がん支援のマラソンを始めたカナダ人のテリー・フォックスにちなんだ「テリー・フォックス・ラン」を開催。「がんで亡くなった人たちの命をつなげたい」という思いで、〇八年からイベント名を「生命の駅伝」と改め、がんと闘う意志を表すため旗を背負うことを決めた。そして旗に書き入れる「命」の文字の制作を後藤さんに依頼。力強い筆遣いに「あふれる生命力を感じた」という。

その一年後、後藤さんは膵臓がんが見つかり、〇九年三月、この世を去った。「まだまだ作品を描き続けたかったのでは。彼の弔いの意味も込めて僕は走る」と上村さん。「生きている僕らが、命をつないでいく駅伝にしなければ」と決意を込める。

（平野梓）

後藤さんが書き残した「命」の旗を持つ上村さん＝松阪市鎌田町で

Receipt



領　収　書

駅伝フォーライフ　様

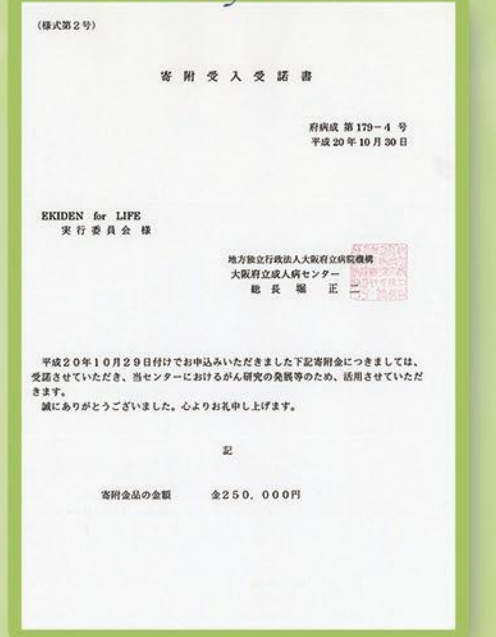
金２５０，０００円也

がん研究の寄附金として、上記の金額を領収しました。

平成２０年１１月２０日

名古屋市千種区鹿子殿１番１号
財団法人　愛知県がん研究振興会
理事長　清 水 國 樹

Donation acceptance letter



（様式第２号）

寄 附 受 入 受 諾 書

府病成 第179－4 号
平成 20 年 10 月 30 日

EKIDEN for LIFE
実行委員会 様

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立成人病センター
総 長　堀　正 二

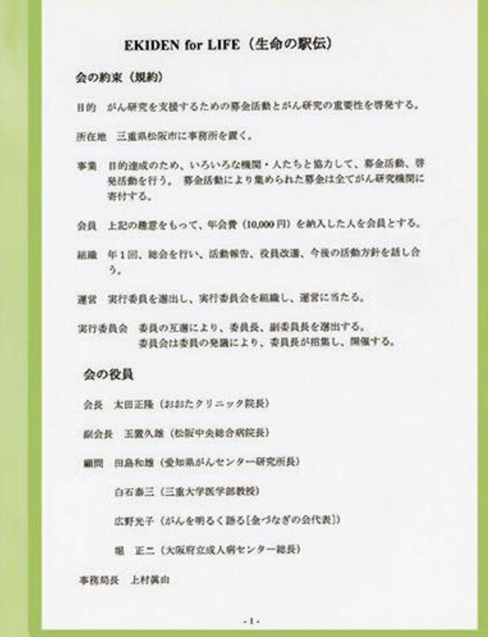
平成２０年１０月２９日付けでお申込みいただきました下記寄附金につきましては、受諾させていただき、当センターにおけるがん研究の発展等のため、活用させていただきます。

誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

記

寄附金品の金額　　金２５０，０００円

Terms and conditions



EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）

会の約束（規約）

目的　がん研究を支援するための募金活動とがん研究の重要性を啓発する。

所在地　三重県松阪市に事務所を置く。

事業　目的達成のため、いろいろな機関・人たちと協力して、募金活動、啓発活動を行う。募金活動により集められた募金は全てがん研究機関に寄付する。

会員　上記の趣意をもって、年会費（10,000円）を納入した人を会員とする。

組織　年１回、総会を行い、活動報告、役員改選、今後の活動方針を話し合う。

運営　実行委員を選出し、実行委員会を組織し、運営に当たる。

実行委員会　委員の互選により、委員長、副委員長を選出する。
委員会は委員の発議により、委員長が招集し、開催する。

会の役員

会長　太田正隆（おおたクリニック院長）

副会長　玉置久雄（松阪中央総合病院長）

顧問　田島和雄（愛知県がんセンター研究所長）

白石泰三（三重大学医学部教授）

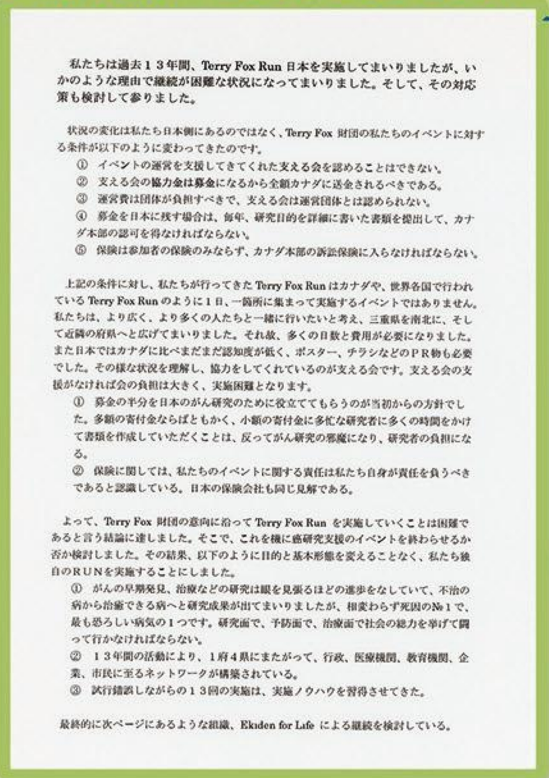
広野光子（がんを明るく語る[金づなぎの会代表]）

堀　正二（大阪府立成人病センター総長）

事務局長　上村眞由

-1-

About EKIDEN for LIFE



私たちは過去１３年間、Terry Fox Run 日本を実施してまいりましたが、いかのような理由で継続が困難な状況になってまいりました。そして、その対応策も検討して参りました。

状況の変化は私たち日本側にあるのではなく、Terry Fox 財団の私たちのイベントに対する条件が以下のように変わってきたのです。

① イベントの運営を支援してきてくれた支える会を認めることはできない。
② 支える会の協力金は募金になるから全額カナダに送金されるべきである。
③ 運営費は団体が負担すべきで、支える会は運営団体とは認められない。
④ 募金を日本に残す場合は、毎年、研究目的を詳細に書いた書類を提出して、カナダ本部の認可を得なければならない。
⑤ 保険は参加者の保険のみならず、カナダ本部の訴訟保険に入らなければならない。

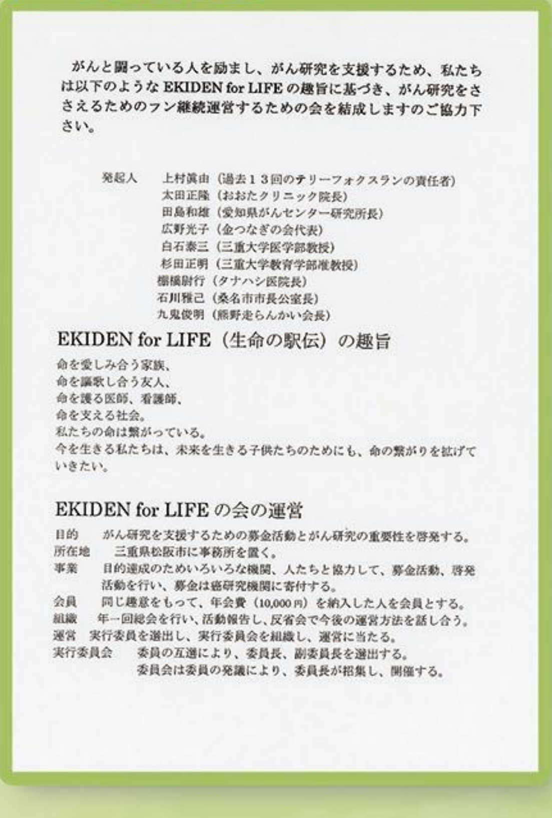
上記の条件に対し、私たちが行ってきた Terry Fox Run はカナダや、世界各国で行われている Terry Fox Run のように１日、一箇所に集まって実施するイベントではありません。私たちは、より広く、より多くの人たちと一緒に行いたいと考え、三重県を南北に、そして近隣の府県へと広げてまいりました。それ故、多くの日数と費用が必要になりました。また日本ではカナダに比べまだまだ認知度が低く、ポスター、チラシなどのＰＲ物も必要でした。その様な状況を理解し、協力をしてくれているのが支える会です。支える会の支援がなければ会の負担は大きく、実施困難となります。

① 募金の半分を日本のがん研究のために役立ててもらうのが当初からの方針でした。多額の寄付金ならばともかく、小額の寄付金に多忙な研究者に多くの時間をかけて書類を作成していただくことは、反ってがん研究の邪魔になり、研究者の負担になる。
② 保険に関しては、私たちのイベントに関する責任は私たち自身が責任を負うべきであると認識している。日本の保険会社も同じ見解である。

よって、Terry Fox 財団の意向に沿って Terry Fox Run を実施していくことは困難であると言う結論に達しました。そこで、これを機に癌研究支援のイベントを終わらせるか否か検討しました。その結果、以下のように目的と基本形態を変えることなく、私たち独自のＲＵＮを実施することにしました。

① がんの早期発見、治療などの研究は眼を見張るほどの進歩をなしていて、不治の病から治癒できる病へと研究成果が出てまいりましたが、相変わらず死因の№１で、最も恐ろしい病気の１つです。研究面で、予防面で、治療面で社会の総力を挙げて闘って行かなければならない。
② １３年間の活動により、１府４県にまたがって、行政、医療機関、教育機関、企業、市民に至るネットワークが構築されている。
③ 試行錯誤しながらの１３回の実施は、実施ノウハウを習得させてきた。

最終的に次ページにあるような組織、Ekiden for Life による継続を検討している。



がんと闘っている人を励まし、がん研究を支援するため、私たちは以下のような EKIDEN for LIFE の趣旨に基づき、がん研究をささえるためのフン継続運営するための会を結成しますのご協力下さい。

発起人　上村眞由（過去１３回のテリーフォクスランの責任者）
太田正隆（おおたクリニック院長）
田島和雄（愛知県がんセンター研究所長）
広野光子（金つなぎの会代表）
白石泰三（三重大学医学部教授）
杉田正明（三重大学教育学部准教授）
棚橋尉行（タナハシ医院長）
石川雅己（桑名市市長公室長）
九鬼俊明（熊野走らんかい会長）

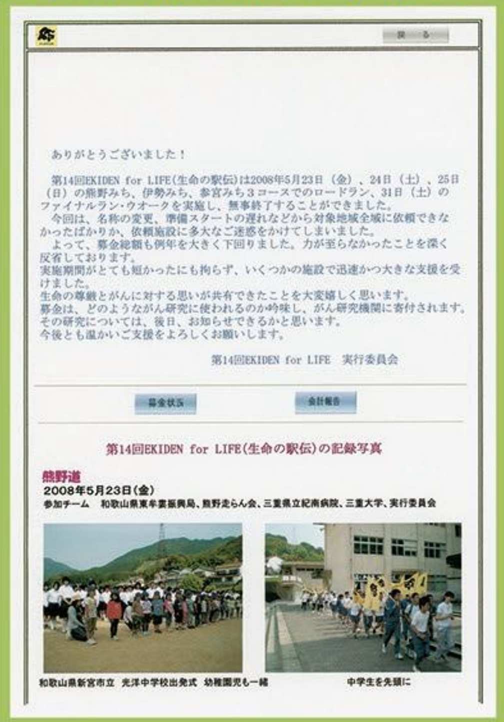
EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）の趣旨

命を愛しみ合う家族、
命を謳歌し合う友人、
命を護る医師、看護師、
命を支える社会。
私たちの命は繋がっている。
今を生きる私たちは、未来を生きる子供たちのためにも、命の繋がりを拡げていきたい。

EKIDEN for LIFE の会の運営

目的　がん研究を支援するための募金活動とがん研究の重要性を啓発する。
所在地　三重県松阪市に事務所を置く。
事業　目的達成のためいろいろな機関、人たちと協力して、募金活動、啓発活動を行い、募金は癌研究機関に寄付する。
会員　同じ趣意をもって、年会費（10,000円）を納入した人を会員とする。
組織　年一回総会を行い、活動報告し、反省会で今後の運営方法を話し合う。
運営　実行委員を選出し、実行委員会を組織し、運営に当たる。
実行委員会　委員の互選により、委員長、副委員長を選出する。
委員会は委員の発議により、委員長が招集し、開催する。

Commemorative booklet



ありがとうございました！

第14回EKIDEN for LIFE(生命の駅伝)は2008年5月23日（金）、24日（土）、25日（日）の熊野みち、伊勢みち、参宮みち３コースでのロードラン、31日（土）のファイナルラン・ウオークを実施し、無事終了することができました。
今回は、名称の変更、準備スタートの遅れなどから対象地域全域に依頼できなかったばかりか、依頼施設に多大なご迷惑をかけてしまいました。
よって、募金総額も例年を大きく下回りました。力が至らなかったことを深く反省しております。
実施期間がとても短かったにも拘らず、いくつかの施設で迅速かつ大きな支援を受けました。
生命の尊厳とがんに対する思いが共有できたことを大変嬉しく思います。
募金は、どのようながん研究に使われるのか吟味し、がん研究機関に寄付されます。
その研究については、後日、お知らせできるかと思います。
今後とも温かいご支援をよろしくお願いします。

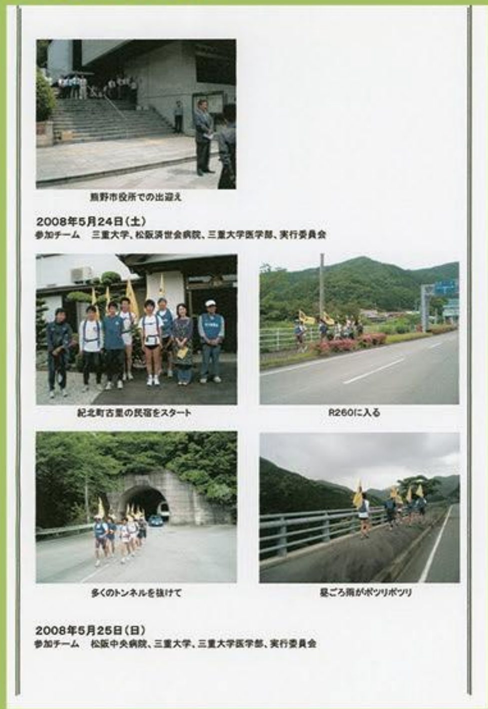
第14回EKIDEN for LIFE　実行委員会

第14回EKIDEN for LIFE(生命の駅伝)の記録写真

熊野道
2008年5月23日（金）
参加チーム　和歌山県東牟婁振興局、熊野走らん会、三重県立紀南病院、三重大学、実行委員会

和歌山県新宮市立　光洋中学校出発式　幼稚園児も一緒

中学生を先頭に



熊野市役所での出迎え

2008年5月24日（土）
参加チーム　三重大学、松阪済世会病院、三重大学医学部、実行委員会

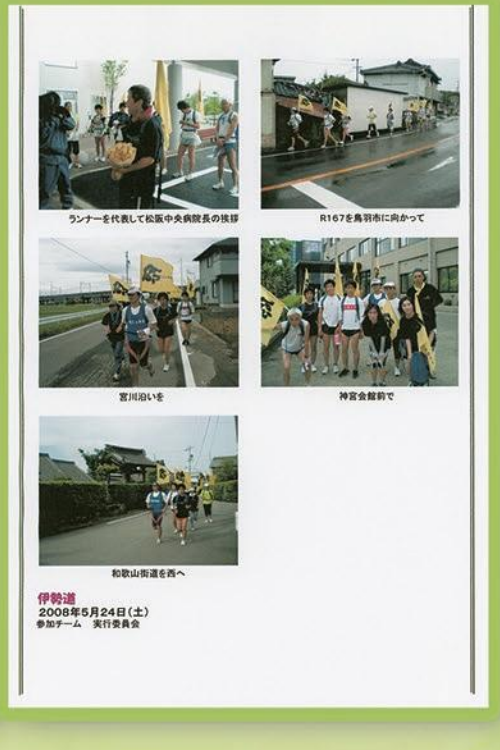
紀北町古里の民宿をスタート

R260に入る

多くのトンネルを抜けて

昼ごろ雨がポツリポツリ

2008年5月25日（日）
参加チーム　松阪中央病院、三重大学、三重大学医学部、実行委員会



ランナーを代表して松阪中央病院長の挨拶

R167を鳥羽市に向かって

宮川沿いを

神宮会館前で

和歌山街道を西へ

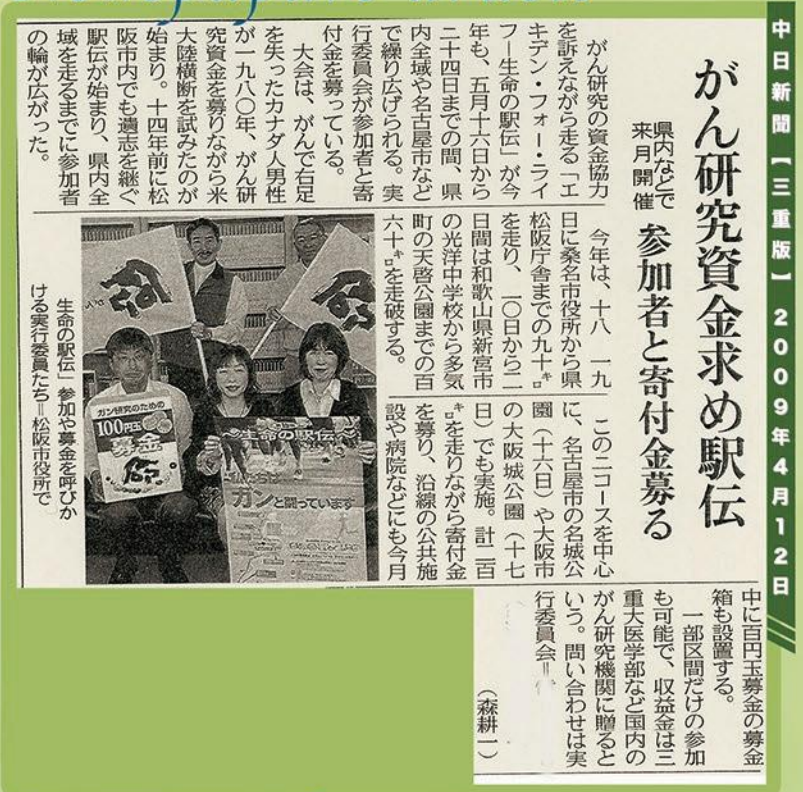
伊勢道
2008年5月24日（土）
参加チーム　実行委員会

15

～生命（いのち）の駅伝～

EKIDEN FOR LIFE

Newspapare article



中日新聞【三重版】2009年4月12日

がん研究資金求め駅伝

県内などで来月開催

参加者と寄付金募る

がん研究の資金協力を訴えながら走る「エキデン・フォー・ライフ－生命の駅伝」が今年も、五月十六日から二十四日までの間、県内全域や名古屋市などで繰り広げられる。実行委員会が参加者と寄付金を募っている。

大会は、がんで右足を失ったカナダ人男性が一九八〇年、がん研究資金を募りながら米大陸横断を試みたのが始まり。十四年前に松阪市内でも遺志を継ぐ駅伝が始まり、県内全域を走るまでに参加者の輪が広がった。

今年は、十八－一九日に桑名市役所から県松阪庁舎までの九十㌔を走り、二〇日から二日間は和歌山県新宮市の光洋中学校から多気町の天啓公園までの百六十㌔を走破する。

このニコースを中心に、名古屋市の名城公園（十六日）や大阪市の大阪城公園（十七日）でも実施。計二百㌔を走りながら寄付金を募り、沿線の公共施設や病院などにも今月中に百円玉募金の募金箱も設置する。

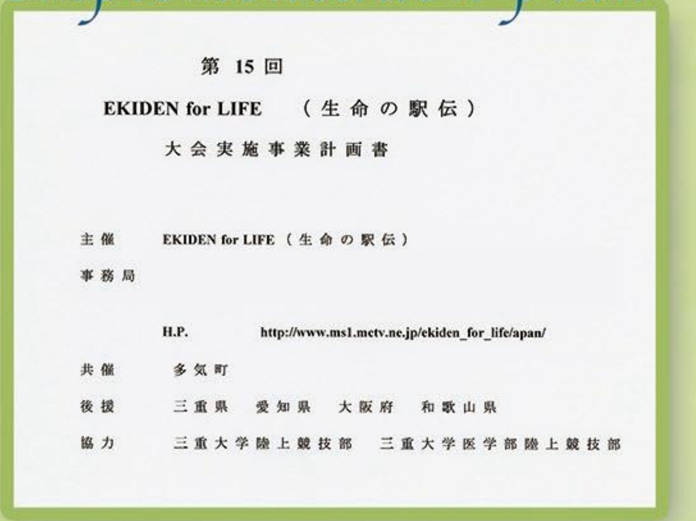
一部区間だけの参加も可能で、収益金は三重大医学部など国内のがん研究機関に贈るという。問い合わせは実行委員会＝

（森耕一）

生命の駅伝」参加や募金を呼びかける実行委員たち＝松阪市役所で

Photograph

Implementation plan



第 15 回

EKIDEN for LIFE　（生命の駅伝）

大会実施事業計画書

主催　EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）

事務局

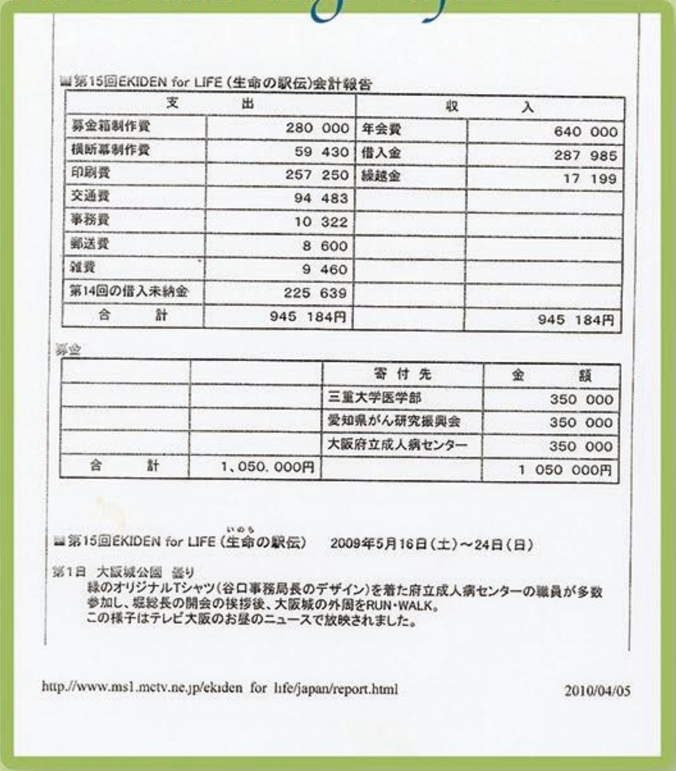
H.P.　http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/apan/

共催　多気町

後援　三重県　愛知県　大阪府　和歌山県

協力　三重大学陸上競技部　三重大学医学部陸上競技部

Accounting report



■第15回EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）会計報告

支出		収入	
募金箱制作費	280 000	年会費	640 000
横断幕制作費	59 430	借入金	287 985
印刷費	257 250	繰越金	17 199
交通費	94 483		
事務費	10 322		
郵送費	8 600		
雑費	9 460		
第14回の借入未納金	225 639		
合計	945 184円		945 184円

募金

		寄付先	金額
		三重大学医学部	350 000
		愛知県がん研究振興会	350 000
		大阪府立成人病センター	350 000
合計	1,050,000円		1 050 000円

■第15回EKIDEN for LIFE（生命（いのち）の駅伝）　2009年5月16日（土）～24日（日）

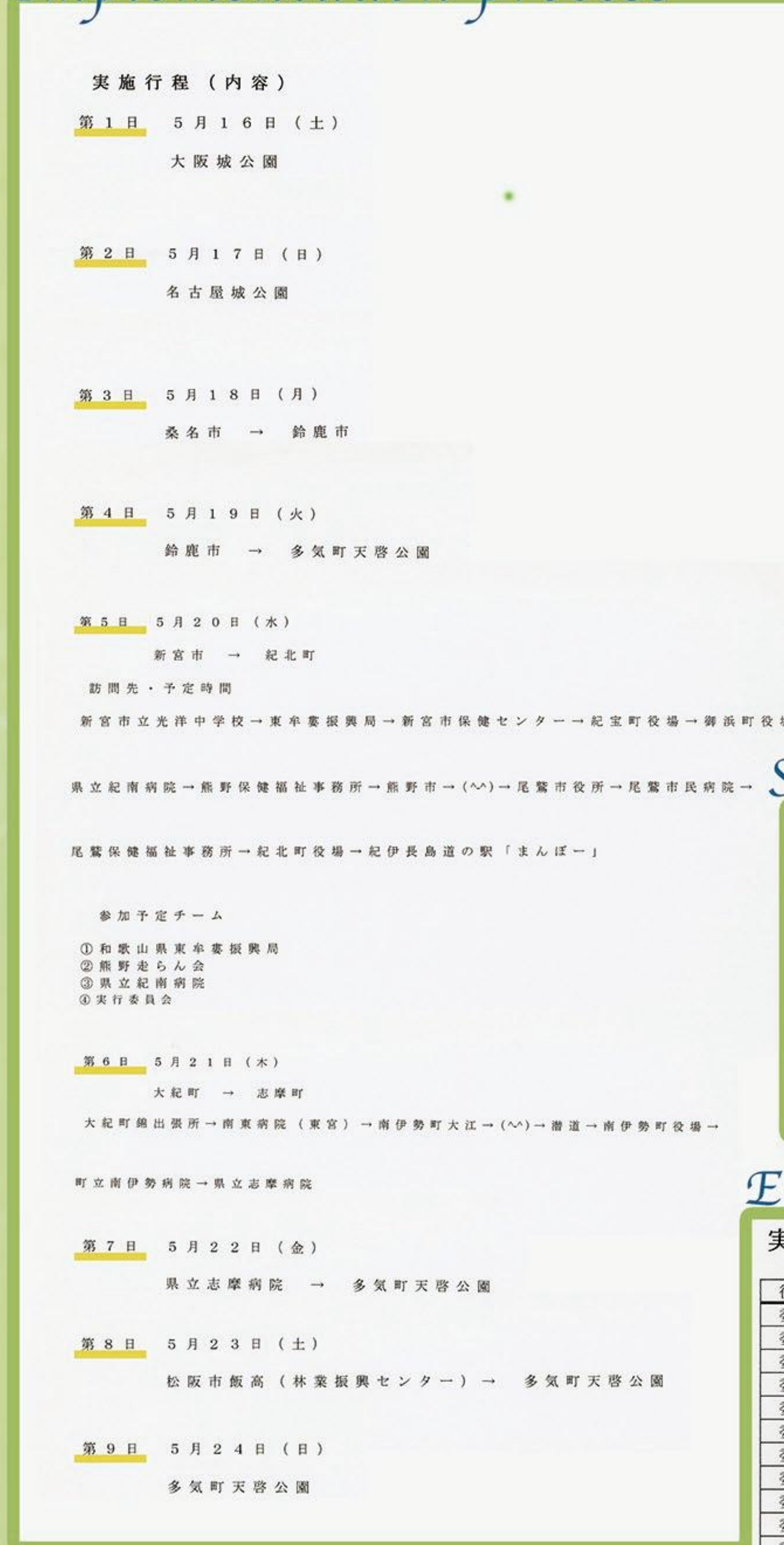
第1日　大阪城公園　曇り

緑のオリジナルTシャツ（谷口事務局長のデザイン）を着た府立成人病センターの職員が多数参加し、堀総長の開会の挨拶後、大阪城の外周をRUN・WALK。
この様子はテレビ大阪のお昼のニュースで放映されました。

http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden for life/japan/report.html　2010/04/05

2009

Implementation process



実施行程（内容）

第1日　5月16日（土）
大阪城公園

第2日　5月17日（日）
名古屋城公園

第3日　5月18日（月）
桑名市　→　鈴鹿市

第4日　5月19日（火）
鈴鹿市　→　多気町天啓公園

第5日　5月20日（水）
新宮市　→　紀北町

訪問先・予定時間

新宮市立光洋中学校→東牟婁振興局→新宮市保健センター→紀宝町役場→御浜町役場→

県立紀南病院→熊野保健福祉事務所→熊野市→(^^)→尾鷲市役所→尾鷲市民病院→

尾鷲保健福祉事務所→紀北町役場→紀伊長島道の駅「まんぼー」

参加予定チーム

①和歌山県東牟婁振興局
②熊野走らん会
③県立紀南病院
④実行委員会

第6日　5月21日（木）
大紀町　→　志摩町

大紀町錦出張所→南東病院（東宮）→南伊勢町大江→(^^)→潜道→南伊勢町役場→

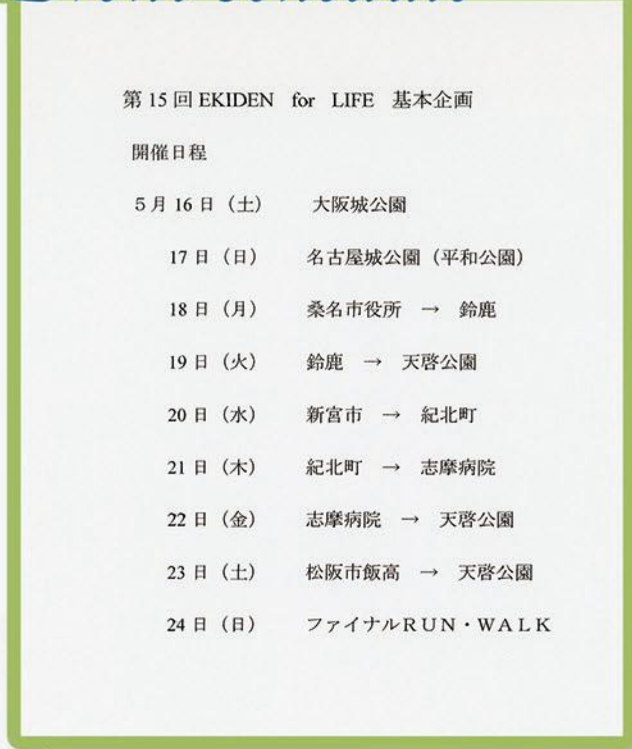
町立南伊勢病院→県立志摩病院

第7日　5月22日（金）
県立志摩病院　→　多気町天啓公園

第8日　5月23日（土）
松阪市飯高（林業振興センター）→　多気町天啓公園

第9日　5月24日（日）
多気町天啓公園

Event schedule

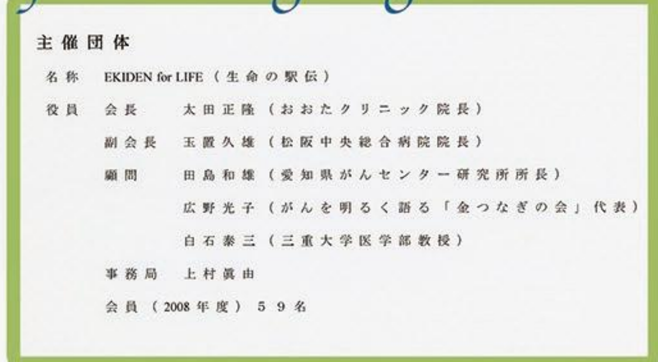


第15回 EKIDEN　for　LIFE　基本企画

開催日程

5月16日（土）	大阪城公園
17日（日）	名古屋城公園（平和公園）
18日（月）	桑名市役所　→　鈴鹿
19日（火）	鈴鹿　→　天啓公園
20日（水）	新宮市　→　紀北町
21日（木）	紀北町　→　志摩病院
22日（金）	志摩病院　→　天啓公園
23日（土）	松阪市飯高　→　天啓公園
24日（日）	ファイナルRUN・WALK

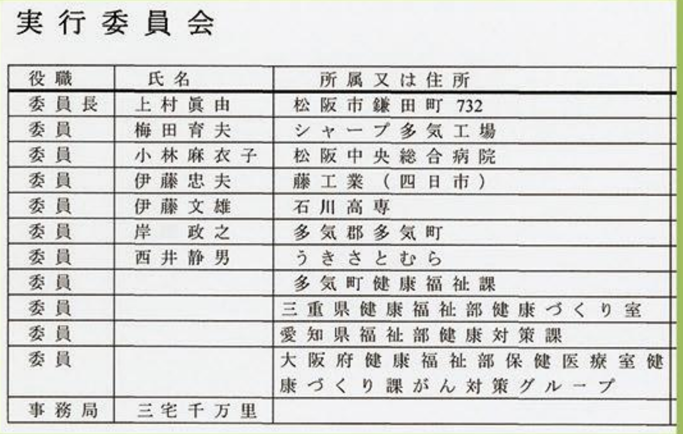
Sponsoring organization



主催団体

名称	EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）	
役員	会長	太田正隆（おおたクリニック院長）
	副会長	玉置久雄（松阪中央総合病院院長）
	顧問	田島和雄（愛知県がんセンター研究所所長）
		広野光子（がんを明るく語る「金つなぎの会」代表）
		白石泰三（三重大学医学部教授）
	事務局	上村眞由
	会員（2008年度）	59名

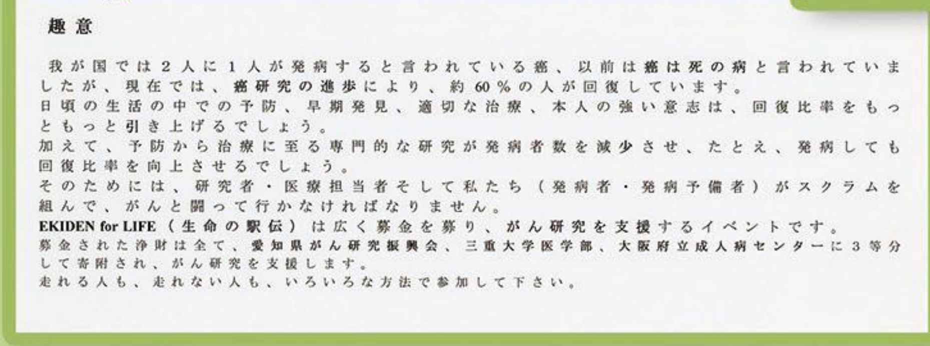
Executive committee



実行委員会

役職	氏名	所属又は住所
委員長	上村眞由	松阪市鎌田町 732
委員	梅田育夫	シャープ多気工場
委員	小林麻衣子	松阪中央総合病院
委員	伊藤忠夫	藤工業（四日市）
委員	伊藤文雄	石川高専
委員	岸　政之	多気郡多気町
委員	西井静男	うきさとむら
委員		多気町健康福祉課
委員		三重県健康福祉部健康づくり室
委員		愛知県福祉部健康対策課
委員		大阪府健康福祉部保健医療室健康づくり課がん対策グループ
事務局	三宅千万里	

Purpose



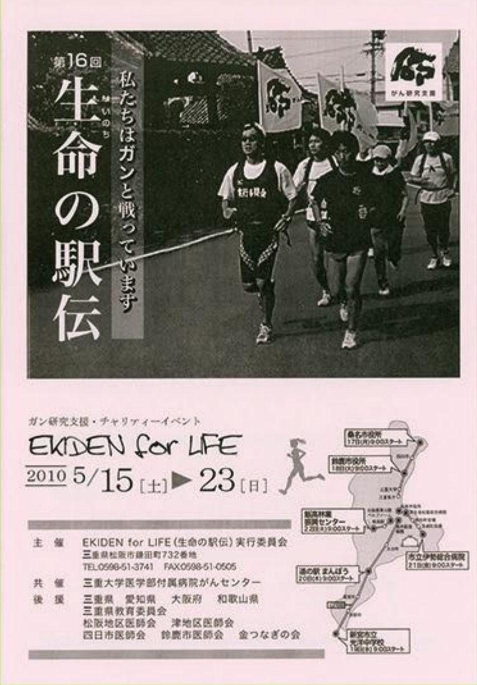
趣意

我が国では2人に1人が発病すると言われている癌、以前は癌は死の病と言われていましたが、現在では、癌研究の進歩により、約60％の人が回復しています。
日頃の生活の中での予防、早期発見、適切な治療、本人の強い意志は、回復比率をもっともっと引き上げるでしょう。
加えて、予防から治療に至る専門的な研究が発病者数を減少させ、たとえ、発病しても回復比率を向上させるでしょう。
そのためには、研究者・医療担当者そして私たち（発病者・発病予備者）がスクラムを組んで、がんと闘って行かなければなりません。
EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）は広く募金を募り、がん研究を支援するイベントです。
募金された浄財は全て、愛知県がん研究振興会、三重大学医学部、大阪府立成人病センターに3等分して寄附され、がん研究を支援します。
走れる人も、走れない人も、いろいろな方法で参加して下さい。

～生命（いのち）の駅伝～

EKIDEN FOR LIFE

Program

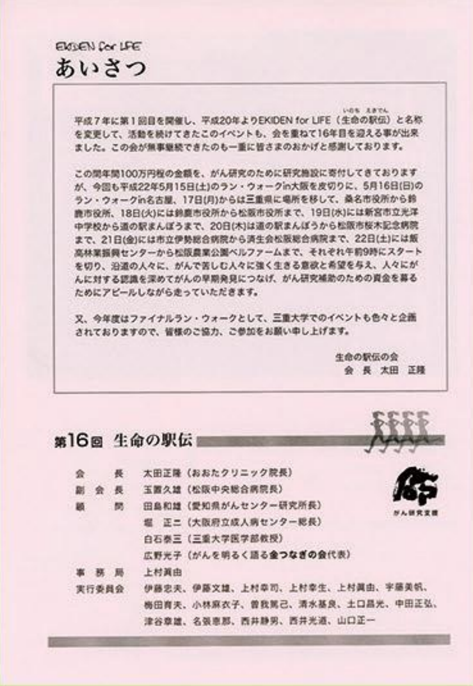


第16回
生命（いのち）の駅伝
私たちはガンと戦っています

がん研究支援

ガン研究支援・チャリティーイベント
EKIDEN for LIFE
2010 5/15［土］▶23［日］

主　催　EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）実行委員会
三重県松阪市鎌田町732番地
TEL:0598-51-3741　FAX:0598-51-0505
共　催　三重大学医学部付属病院がんセンター
後　援　三重県　愛知県　大阪府　和歌山県
三重県教育委員会
松阪地区医師会　津地区医師会
四日市医師会　鈴鹿市医師会　金つなぎの会



EKIDEN for LIFE
あいさつ

平成7年に第1回目を開催し、平成20年よりEKIDEN for LIFE（生命（いのち）の駅伝（えきでん））と名称を変更して、活動を続けてきたこのイベントも、会を重ねて16年目を迎える事が出来ました。この会が無事継続できたのも一重に皆さまのおかげと感謝しております。

この間年間100万円程の金額を、がん研究のために研究施設に寄付してきておりますが、今回も平成22年5月15日(土)のラン・ウォークin大阪を皮切りに、5月16日(日)のラン・ウォークin名古屋、17日(月)からは三重県に場所を移して、桑名市役所から鈴鹿市役所、18日(火)には鈴鹿市役所から松阪市役所まで、19日(水)には新宮市立光洋中学校から道の駅まんぼうまで、20日(木)は道の駅まんぼうから松阪市桜木記念病院まで、21日(金)には市立伊勢総合病院から済生会松阪総合病院まで、22日(土)には飯高林業振興センターから松阪農業公園ベルファームまで、それぞれ午前9時にスタートを切り、沿道の人々に、がんで苦しむ人々に強く生きる意欲と希望を与え、人々にがんに対する認識を深めてがんの早期発見につなげ、がん研究補助のための資金を募るためにアピールしながら走っていただきます。

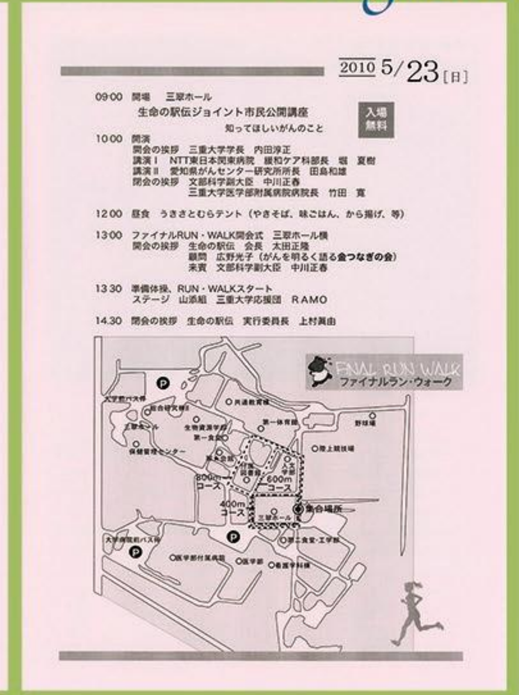
又、今年度はファイナルラン・ウォークとして、三重大学でのイベントも色々と企画されておりますので、皆様のご協力、ご参加をお願い申し上げます。

生命の駅伝の会
会　長　太田　正隆

第16回　生命の駅伝

会　　長　太田正隆（おおたクリニック院長）
副 会 長　玉置久雄（松阪中央総合病院長）
顧　　問　田島和雄（愛知県がんセンター研究所長）
堀　正二（大阪府立成人病センター総長）
白石泰三（三重大学医学部教授）
広野光子（がんを明るく語る金つなぎの会代表）
事 務 局　上村眞由
実行委員会　伊藤忠夫、伊藤文雄、上村幸司、上村幸生、上村眞由、宇藤美帆、梅田育夫、小林麻衣子、曽我篤己、清水基良、土口昌光、中田正弘、津谷章雄、名張恵那、西井静男、西井光道、山口正一

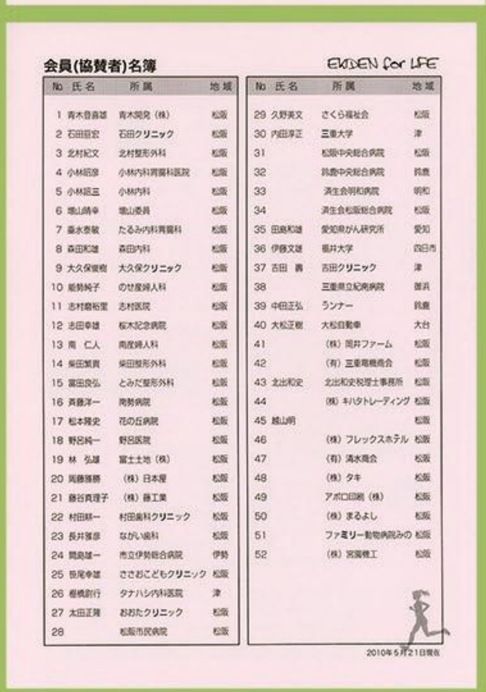
がん研究支援



2010 5/23［日］

09:00　開場　三翠ホール
生命の駅伝ジョイント市民公開講座
知ってほしいがんのこと
入場無料
10:00　開演
開会の挨拶　三重大学学長　内田淳正
講演Ⅰ　NTT東日本関東病院　緩和ケア科部長　堀　夏樹
講演Ⅱ　愛知県がんセンター研究所所長　田島和雄
閉会の挨拶　文部科学副大臣　中川正春
三重大学医学部附属病院病院長　竹田　寛
12:00　昼食　うきさとむらテント（やきそば、味ごはん、から揚げ、等）
13:00　ファイナルRUN・WALK開会式　三翠ホール横
開会の挨拶　生命の駅伝　会長　太田正隆
顧問　広野光子（がんを明るく語る金つなぎの会）
来賓　文部科学副大臣　中川正春
13:30　準備体操、RUN・WALKスタート
ステージ　山添組　三重大学応援団　RAMO
14:30　閉会の挨拶　生命の駅伝　実行委員長　上村眞由

FINAL RUN WALK
ファイナルラン・ウォーク
共通教育棟
総合研究棟Ⅱ
三翠ホール
生物資源学部
第一食堂
第一体育館
野球場
保健管理センター
附属図書館
人文学部
陸上競技場
800mコース
600mコース
400mコース
集合場所
三翠ホール
大学病院前バス停
第二食堂・工学部
医学部付属病院
医学部
看護学科棟

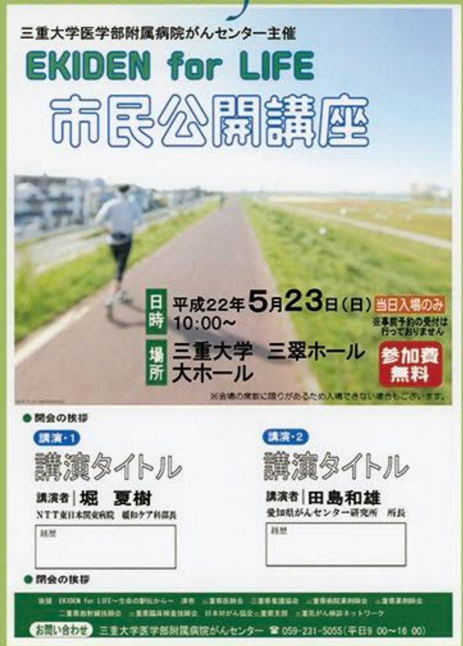


会員（協賛者）名簿　EKIDEN for LIFE

No	氏名	所属	地域
1	青木登喜雄	青木開発（株）	松阪
2	石田国宏	石田クリニック	松阪
3	北村紀文	北村整形外科	松阪
4	小林昭彦	小林内科胃腸科医院	松阪
5	小林昭三	小林内科	松阪
6	増山晴幸	増山医院	松阪
7	垂水泰敏	たるみ内科胃腸科	松阪
8	森田和雄	森田内科	松阪
9	大久保俊樹	大久保クリニック	松阪
10	能勢純子	のせ産婦人科	松阪
11	志村喜裕里	志村医院	松阪
12	池田幸雄	桜木記念病院	松阪
13	南　仁人	南産婦人科	松阪
14	柴田繁貴	柴田整形外科	松阪
15	冨田良弘	とみだ整形外科	松阪
16	斉藤洋一	南勢病院	松阪
17	松本隆史	花の丘病院	松阪
18	野呂純一	野呂医院	松阪
19	林　弘雄	富士土地（株）	松阪
20	岡藤雅勝	（株）日本屋	松阪
21	藤谷真理子	（株）藤工業	松阪
22	村田耕一	村田歯科クリニック	松阪
23	長井雅彦	ながい歯科	松阪
24	岡島雄一	市立伊勢総合病院	伊勢
25	笹尾幸雄	ささおこどもクリニック	松阪
26	棚橋釈行	タナハシ内科医院	津
27	太田正隆	おおたクリニック	松阪
28		松阪市民病院	松阪
29	久野美文	さくら福祉会	松阪
30	内田淳正	三重大学	津
31		松阪中央総合病院	松阪
32		鈴鹿中央総合病院	鈴鹿
33		済生会明和病院	明和
34		済生会松阪総合病院	松阪
35	田島和雄	愛知県がん研究所	愛知
36	伊藤文雄	福井大学	四日市
37	吉田　勇	吉田クリニック	津
38		三重県立紀南病院	御浜
39	中田正弘	ランナー	鈴鹿
40	大松正樹	大松自動車	大台
41		（株）岡井ファーム	松阪
42		（有）三重電機商会	松阪
43	北出和史	北出和史税理士事務所	松阪
44		（株）キハタトレーディング	松阪
45	越山明		松阪
46		（株）フレックスホテル	松阪
47		（有）清水商会	松阪
48		（株）タキ	松阪
49		アポロ印刷（株）	松阪
50		（株）まるよし	松阪
51		ファミリー動物病院みの	松阪
52		（株）宮園精工	松阪

2010年5月21日現在

Citizen public lecture



三重大学医学部附属病院がんセンター主催
EKIDEN for LIFE
市民公開講座

日時　平成22年5月23日（日）10:00～　当日入場のみ
※事前予約の受付は行っておりません
場所　三重大学　三翠ホール　大ホール
参加費無料
※会場の席数に限りがあるため入場できない場合もございます。

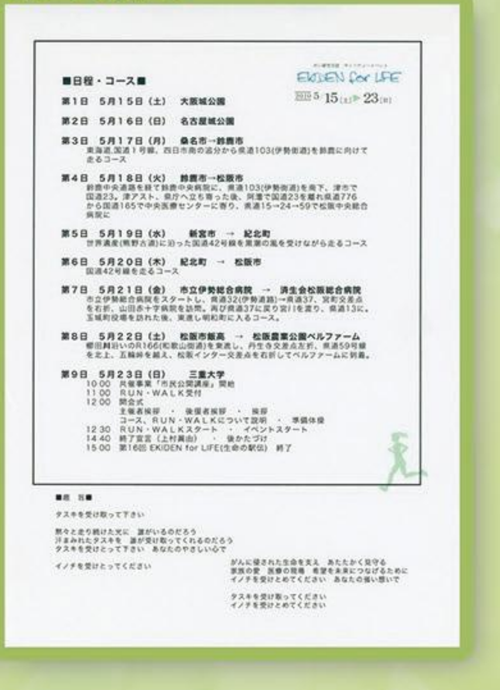
●開会の挨拶
講演・1
講演タイトル
講演者｜堀　夏樹
NTT東日本関東病院　緩和ケア科部長
経歴

講演・2
講演タイトル
講演者｜田島和雄
愛知県がんセンター研究所　所長
経歴

●閉会の挨拶

後援　EKIDEN for LIFE～生命の駅伝から～　津市　三重県医師会　三重県看護協会　三重県病院薬剤師会　三重県薬剤師会　二重県放射線技師会　三重県臨床検査技師会　日本対がん協会三重県支部　三重乳がん検診ネットワーク

お問い合わせ　三重大学医学部附属病院がんセンター　☎ 059-231-5055（平日9:00～16:00）



EKIDEN for LIFE
2010 5/15［土］▶23［日］

■日程・コース■

第1日　5月15日（土）　大阪城公園

第2日　5月16日（日）　名古屋城公園

第3日　5月17日（月）　桑名市→鈴鹿市
東海道,国道1号線，四日市南の追分から県道103(伊勢街道)を鈴鹿に向けて走るコース

第4日　5月18日（火）　鈴鹿市→松阪市
鈴鹿中央通路を経て鈴鹿中央病院に，県道103(伊勢街道)を南下，津市で国道23，津アスト，県庁へ立ち寄った後，阿漕で国道23を離れ県道776から国道165で中央医療センターに寄り，県道15→24→59で松阪中央総合病院に

第5日　5月19日（水）　新宮市　→　紀北町
世界遺産(熊野古道)に沿った国道42号線を黒潮の風を受けながら走るコース

第6日　5月20日（木）　紀北町　→　松阪市
国道42号線を走るコース

第7日　5月21日（金）　市立伊勢総合病院　→　済生会松阪総合病院
市立伊勢総合病院をスタートし，県道32(伊勢道路)→県道37，宮町交差点を右折，山田赤十字病院を訪問。再び県道37に戻り宮川を渡り，県道13に。玉城町役場を訪れた後，東進し明和町に入るコース。

第8日　5月22日（土）　松阪市飯高　→　松阪農業公園ベルファーム
櫛田川沿いのR166(和歌山街道)を東進し，丹生寺交差点左折，県道59号線を北上，五輪峠を越え，松阪インター交差点を右折してベルファームに到着。

第9日　5月23日（日）　三重大学
10:00　共催事業「市民公開講座」開始
11:00　RUN・WALK受付
12:00　開会式
主催者挨拶　・　後援者挨拶　・　挨拶
コース、RUN・WALKについて説明　・　準備体操
12:30　RUN・WALKスタート　・　イベントスタート
14:40　終了宣言（上村眞由）　・　後かたづけ
15:00　第16回 EKIDEN for LIFE(生命の駅伝)　終了

■趣　旨■

タスキを受け取って下さい

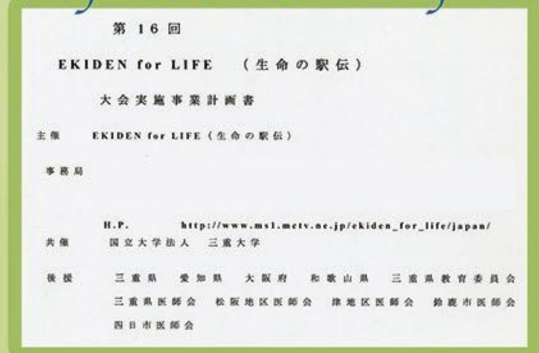
黙々と走り続けた先に　誰がいるのだろう
汗まみれたタスキを　誰が受け取ってくれるのだろう
タスキを受けとって下さい　あなたのやさしい心で

イノチを受けとってください

がんに侵された生命を支え　あたたかく見守る
家族の愛　医療の現場　希望を未来につなげるために
イノチを受けとめてください　あなたの強い想いで

タスキを受け取ってください
イノチを受けとめてください

Implementation plan



第16回

EKIDEN for LIFE　（生命の駅伝）

大会実施事業計画書

主催　EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）

事務局

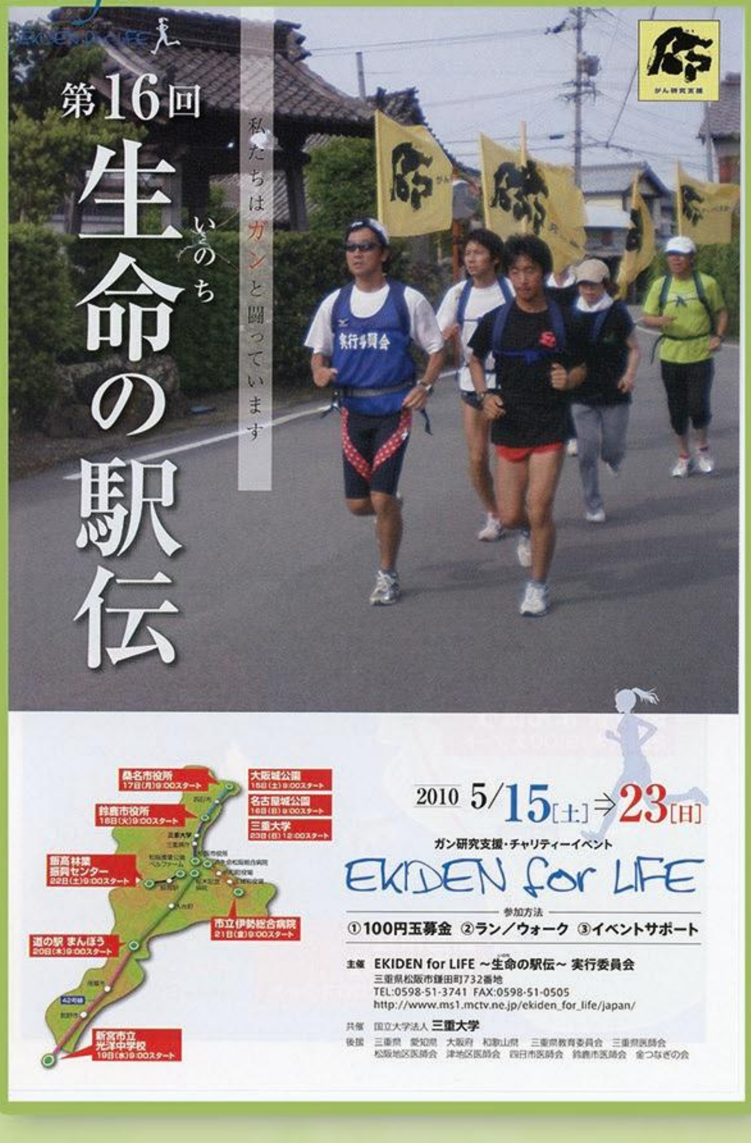
H.P.　http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/japan/

共催　国立大学法人　三重大学

後援　三重県　愛知県　大阪府　和歌山県　三重県教育委員会
三重県医師会　松阪地区医師会　津地区医師会　鈴鹿市医師会
四日市医師会

2010

Flyer



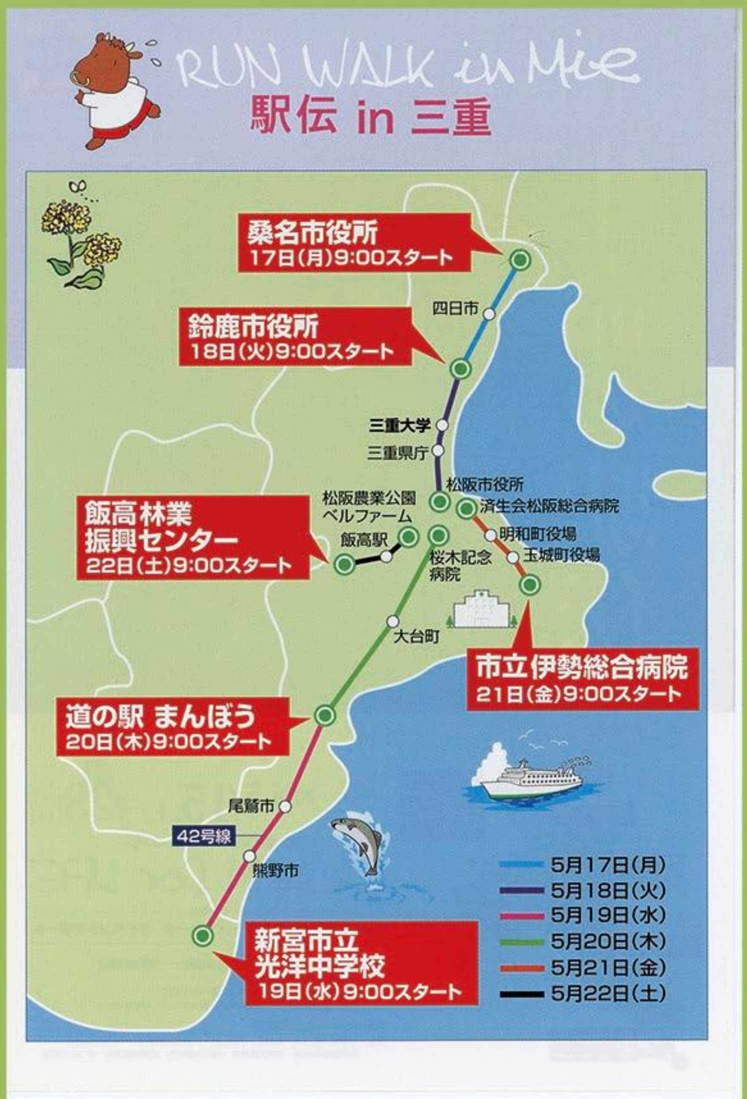
第16回
生命（いのち）の駅伝
私たちはガンと闘っています

がん研究支援

桑名市役所 17日(月)9:00スタート
大阪城公園 15日(土)9:00スタート
名古屋城公園 16日(日)9:00スタート
三重大学 23日(日)12:00スタート
鈴鹿市役所 18日(火)9:00スタート
飯高林業振興センター 22日(土)9:00スタート
市立伊勢総合病院 21日(金)9:00スタート
道の駅 まんぼう 20日(木)9:00スタート
新宮市立光洋中学校 19日(水)9:00スタート
42号線

2010 5/15［土］⇒23［日］
ガン研究支援・チャリティーイベント
EKIDEN for LIFE
参加方法
①100円玉募金　②ラン／ウォーク　③イベントサポート

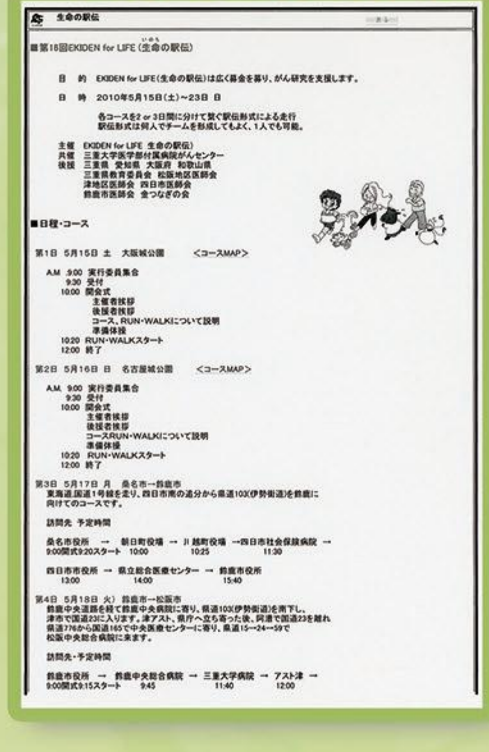
主催　EKIDEN for LIFE ～生命（いのち）の駅伝～ 実行委員会
三重県松阪市鎌田町732番地
TEL:0598-51-3741　FAX:0598-51-0505
http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/japan/
共催　国立大学法人 三重大学
後援　三重県　愛知県　大阪府　和歌山県　三重県教育委員会　三重県医師会
松阪地区医師会　津地区医師会　四日市医師会　鈴鹿市医師会　金つなぎの会



RUN WALK in Mie
駅伝 in 三重

桑名市役所 17日(月)9:00スタート
四日市
鈴鹿市役所 18日(火)9:00スタート
三重大学
三重県庁
松阪市役所
松阪農業公園ベルファーム
済生会松阪総合病院
飯高林業振興センター 22日(土)9:00スタート
飯高駅
明和町役場
玉城町役場
桜木記念病院
大台町
市立伊勢総合病院 21日(金)9:00スタート
道の駅 まんぼう 20日(木)9:00スタート
尾鷲市
42号線
熊野市
新宮市立光洋中学校 19日(水)9:00スタート
5月17日(月)
5月18日(火)
5月19日(水)
5月20日(木)
5月21日(金)
5月22日(土)

Dates and courses



生命の駅伝

■第16回EKIDEN for LIFE（生命（いのち）の駅伝）

目　的　EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）は広く募金を募り、がん研究を支援します。

日　時　2010年5月15日（土）～23日 日

各コースを2 or 3日間に分けて繋ぐ駅伝形式による走行
駅伝形式は何人でチームを形成してもよく、1人でも可能。

主催　EKIDEN for LIFE 生命の駅伝）
共催　三重大学医学部付属病院がんセンター
後援　三重県　愛知県　大阪府　和歌山県
三重県教育委員会　松阪地区医師会
津地区医師会　四日市医師会
鈴鹿市医師会　金つなぎの会

■日程・コース

第1日　5月15日　土　大阪城公園　＜コースMAP＞

A.M. 9:00　実行委員集合
9:30　受付
10:00　開会式
主催者挨拶
後援者挨拶
コース、RUN・WALKについて説明
準備体操
10:20　RUN・WALKスタート
12:00　終了

第2日　5月16日　日　名古屋城公園　＜コースMAP＞

A.M. 9:00　実行委員集合
9:30　受付
10:00　開会式
主催者挨拶
後援者挨拶
コースRUN・WALKについて説明
準備体操
10:20　RUN・WALKスタート
12:00　終了

第3日　5月17日　月　桑名市→鈴鹿市
東海道,国道1号線を走り、四日市南の追分から県道103(伊勢街道)を鈴鹿に向けてのコースです。

訪問先　予定時間

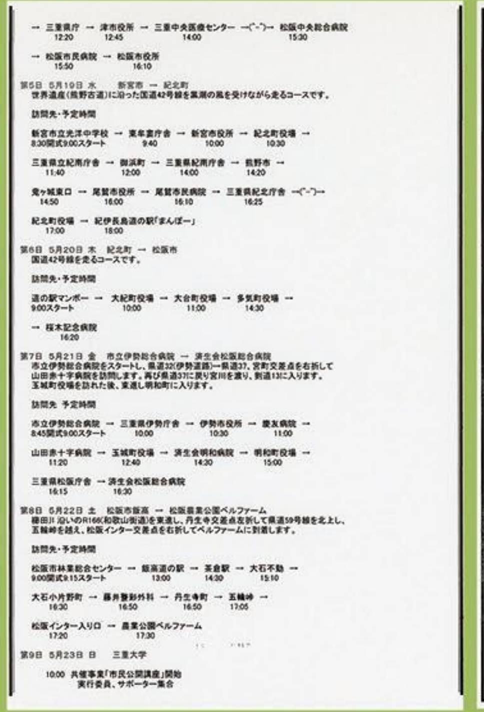
桑名市役所 → 朝日町役場 → 川越町役場 →四日市社会保険病院 →
9:00開式9:20スタート　10:00　10:25　11:30

四日市市役所 → 県立総合医療センター → 鈴鹿市役所
13:00　14:00　15:40

第4日　5月18日　火）鈴鹿市→松阪市
鈴鹿中央通路を経て鈴鹿中央病院に寄り、県道103(伊勢街道)を南下し、津市で国道23に入ります。津アスト、県庁へ立ち寄った後、阿漕で国道23を離れ県道776から国道165で中央医療センターに寄り、県道15→24→59で松阪中央総合病院に来ます。

訪問先・予定時間

鈴鹿市役所 → 鈴鹿中央総合病院 → 三重大学病院 → アスト津 →
9:00開式9:15スタート　9:45　11:40　12:00



→ 三重県庁 → 津市役所 → 三重中央医療センター →(¨-¨)→ 松阪中央総合病院
12:20　12:45　14:00　15:30

→ 松阪市民病院 → 松阪市役所
15:50　16:10

第5日　5月19日　水　新宮市 → 紀北町
世界遺産(熊野古道)に沿った国道42号線を黒潮の風を受けながら走るコースです。

訪問先・予定時間

新宮市立光洋中学校 → 東牟婁庁舎 → 新宮市役所 → 紀北町役場 →
8:30開式9:00スタート　9:40　10:00　10:30

三重県立紀南庁舎 → 御浜町 → 三重県紀南庁舎 → 熊野市 →
11:40　12:00　14:00　14:20

鬼ヶ城東口 → 尾鷲市役所 → 尾鷲市民病院 → 三重県紀北庁舎 →(¨-¨)→
14:50　16:00　16:10　16:25

紀北町役場 → 紀伊長島道の駅「まんぼー」
17:00　18:00

第6日　5月20日　木　紀北町 → 松阪市
国道42号線を走るコースです。

訪問先・予定時間

道の駅マンボー → 大紀町役場 → 大台町役場 → 多気町役場 →
9:00スタート　10:00　11:00　14:30

→ 桜木記念病院
16:20

第7日　5月21日　金　市立伊勢総合病院 → 済生会松阪総合病院
市立伊勢総合病院をスタートし、県道32(伊勢道路)→県道37、宮町交差点を右折して山田赤十字病院を訪問します。再び県道37に戻り宮川を渡り、県道13に入ります。玉城町役場を訪れた後、東進し明和町に入ります。

訪問先　予定時間

市立伊勢総合病院 → 三重県伊勢庁舎 → 伊勢市役所 → 慶友病院 →
8:45開式9:00スタート　10:00　10:30　11:00

山田赤十字病院 → 玉城町役場 → 済生会明和病院 → 明和町役場 →
11:20　12:40　14:30　15:00

三重県松阪庁舎 → 済生会松阪総合病院
16:15　16:30

第8日　5月22日　土　松阪市飯高 → 松阪農業公園ベルファーム
櫛田川沿いのR166(和歌山街道)を東進し、丹生寺交差点左折して県道59号線を北上し、五輪峠を越え、松阪インター交差点を右折してベルファームに到着します。

訪問先・予定時間

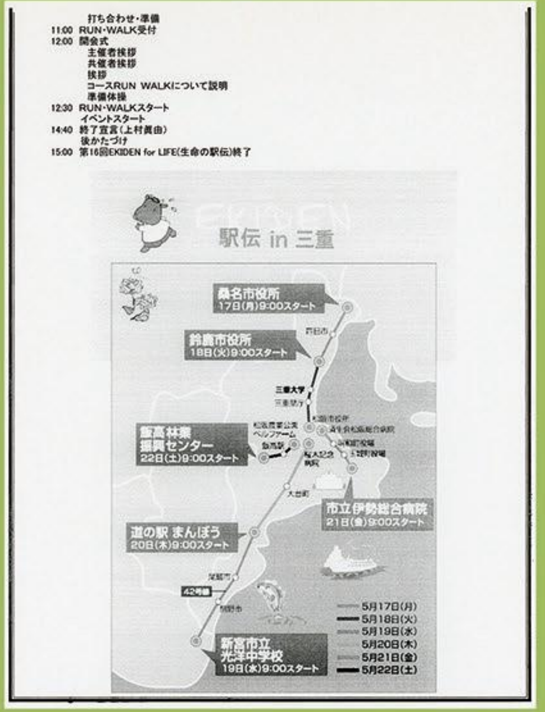
松阪市林業総合センター → 飯高道の駅 → 茶倉駅 → 大石不動 →
9:00開式9:15スタート　13:00　14:30　15:10

大石小片野町 → 藤井整形外科 → 丹生寺町 → 五輪峠 →
16:30　16:50　16:50　17:05

松阪インター入り口 → 農業公園ベルファーム
17:20　17:30

第9日　5月23日　日　三重大学

10:00　共催事業「市民公開講座」開始
実行委員、サポーター集合



打ち合わせ・準備
11:00　RUN・WALK受付
12:00　開会式
主催者挨拶
共催者挨拶
挨拶
コースRUN WALKについて説明
準備体操
12:30　RUN・WALKスタート
イベントスタート
14:40　終了宣言（上村眞由）
後かたづけ
15:00　第16回EKIDEN for LIFE(生命の駅伝)終了

駅伝 in 三重

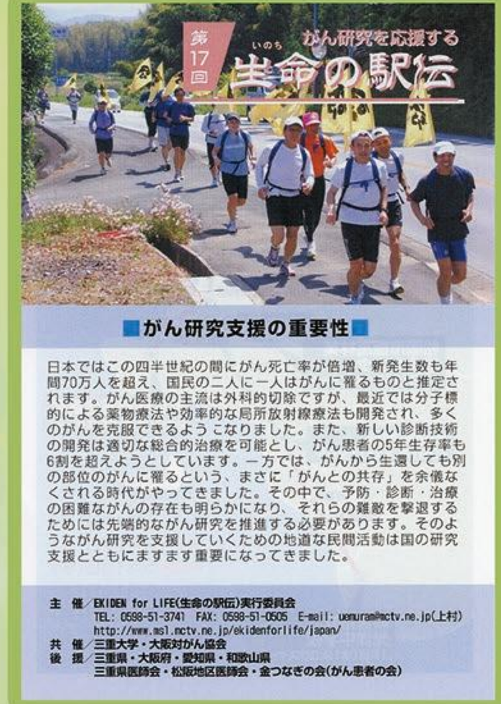
桑名市役所 17日(月)9:00スタート
鈴鹿市役所 18日(火)9:00スタート
三重大学
飯高林業振興センター 22日(土)9:00スタート
市立伊勢総合病院 21日(金)9:00スタート
道の駅 まんぼう 20日(木)9:00スタート
42号線
新宮市立光洋中学校 19日(水)9:00スタート
5月17日(月)
5月18日(火)
5月19日(水)
5月20日(木)
5月21日(金)
5月22日(土)

17

〜生命の駅伝〜

EKIDEN FOR LIFE

Program



第17回

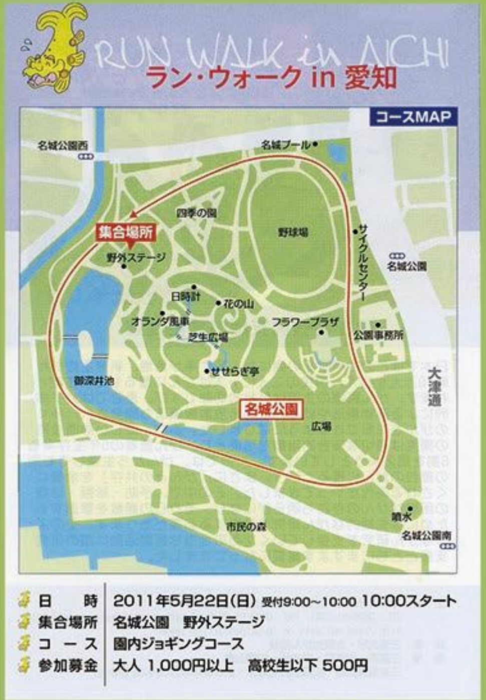
がん研究を応援する

生命（いのち）の駅伝

■がん研究支援の重要性■

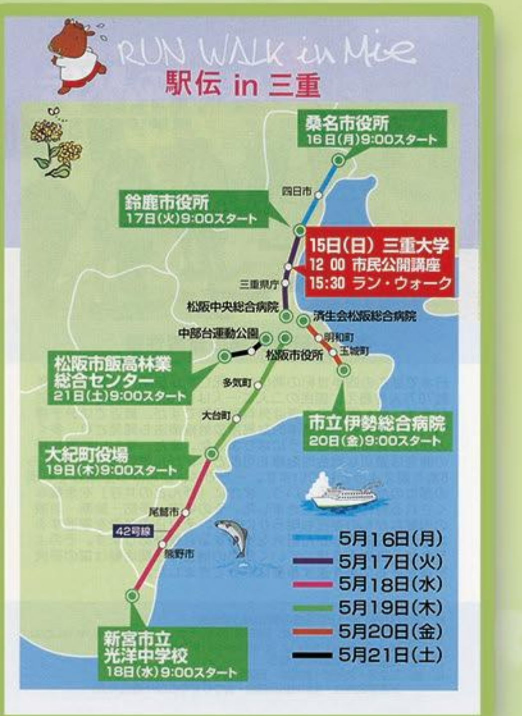
日本ではこの四半世紀の間にがん死亡率が倍増、新発生数も年間70万人を超え、国民の二人に一人はがんに罹るものと推定されます。がん医療の主流は外科的切除ですが、最近では分子標的による薬物療法や効率的な局所放射線療法も開発され、多くのがんを克服できるようになりました。また、新しい診断技術の開発は適切な総合的治療を可能とし、がん患者の5年生存率も6割を超えようとしています。一方では、がんから生還しても別の部位のがんに罹るという、まさに「がんとの共存」を余儀なくされる時代がやってきました。その中で、予防・診断・治療の困難ながんの存在も明らかになり、それらの難敵を撃退するためには先端的ながん研究を推進する必要があります。そのようながん研究を支援していくための地道な民間活動は国の研究支援とともにますます重要になってきました。

主　催／EKIDEN for LIFE(生命の駅伝)実行委員会
TEL：0598-51-3741　FAX：0598-51-0505　E-mail：uemuram@mctv.ne.jp(上村)
http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekidenforlife/japan/
共　催／三重大学・大阪対がん協会
後　援／三重県・大阪府・愛知県・和歌山県
三重県医師会・松阪地区医師会・金つなぎの会(がん患者の会)

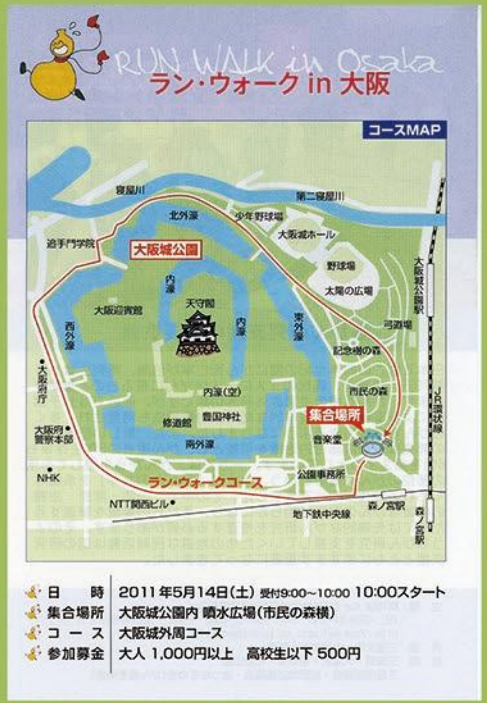

RUN WALK in AICHI
コースMAP
名城公園西
名城プール
四季の園
野球場
集合場所
野外ステージ
サイクルセンター
名城公園
日時計
花の山
オランダ風車
フラワープラザ
公園事務所
芝生広場
せせらぎ亭
御深井池
名城公園
広場
大津通
噴水
市民の森
名城公園南

ラン・ウォーク in 愛知

日　時	2011年5月22日(日) 受付9:00〜10:00 10:00スタート
集合場所	名城公園　野外ステージ
コース	園内ジョギングコース
参加募金	大人 1,000円以上　高校生以下 500円


RUN WALK in Mie
桑名市役所
16日(月)9:00スタート
四日市
鈴鹿市役所
17日(火)9:00スタート
15日(日) 三重大学
12 00 市民公開講座
15:30 ラン・ウォーク
三重県庁
松阪中央総合病院
済生会松阪総合病院
中部台運動公園
明和町
玉城町
松阪市役所
松阪市飯高林業総合センター
21日(土)9:00スタート
多気町
大台町
市立伊勢総合病院
20日(金)9:00スタート
大紀町役場
19日(木)9:00スタート
尾鷲市
42号線
熊野市
新宮市立光洋中学校
18日(水)9:00スタート
5月16日(月)
5月17日(火)
5月18日(水)
5月19日(木)
5月20日(金)
5月21日(土)

駅伝 in 三重


RUN WALK in Osaka
コースMAP
寝屋川
第二寝屋川
北外濠
少年野球場
大阪城ホール
追手門学院
大阪城公園
野球場
太陽の広場
内濠
天守閣
大阪迎賓館
西外濠
東外濠
弓道場
記念樹の森
大阪城公園駅
大阪府庁
内濠(空)
市民の森
豊国神社
修道館
集合場所
大阪府警察本部
南外濠
音楽堂
JR環状線
NHK
公園事務所
ラン・ウォークコース
NTT関西ビル
森ノ宮駅
地下鉄中央線
森ノ宮駅

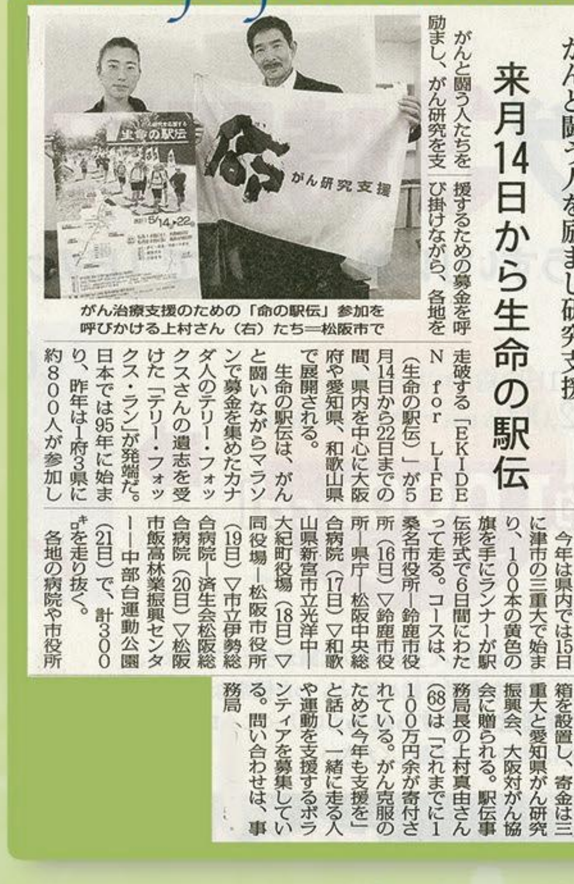
ラン・ウォーク in 大阪

日　時	2011年5月14日(土) 受付9:00〜10:00 10:00スタート
集合場所	大阪城公園内 噴水広場(市民の森横)
コース	大阪城外周コース
参加募金	大人 1,000円以上　高校生以下 500円

Photograph

Newspaper article

毎日新聞【三重版】2011年4月13日



がんと闘う人を励まし研究支援

来月14日から生命の駅伝

がんと闘う人たちを励まし、がん研究を支援するための募金を呼び掛けながら、各地を走破する「EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）」が5月14日から22日までの間、県内を中心に大阪府や愛知県、和歌山県で展開される。

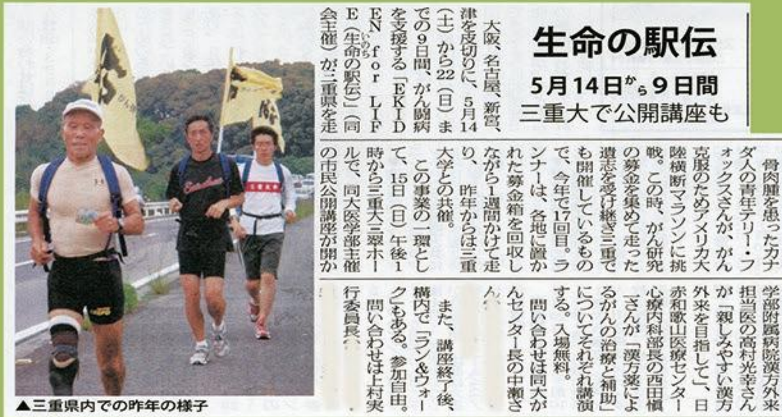
生命の駅伝は、がんと闘いながらマラソンで募金を集めたカナダ人のテリー・フォックスさんの遺志を受けた「テリー・フォックス・ラン」が発端だ。日本では95年に始まり、昨年は1府3県に約800人が参加した。

今年は県内では15日に津市の三重大で始まり、100本の黄色の旗を手にランナーが駅伝形式で6日間にわたって走る。コースは、桑名市役所—鈴鹿市役所（16日）▽鈴鹿市役所—県庁—松阪中央総合病院（17日）▽和歌山県新宮市立光洋中—大紀町役場（18日）▽同役場—松阪市役所（19日）▽市立伊勢総合病院—済生会松阪総合病院（20日）▽松阪市飯高林業振興センター—中部台運動公園（21日）で、計300キロを走り抜く。

各地の病院や市役所など120カ所に募金箱を設置し、寄金は三重大と愛知県がん研究振興会、大阪対がん協会に贈られる。駅伝事務局長の上村真由さん（68）は「これまでに1100万円余が寄付されている。がん克服のために今年も支援を」と話し、一緒に走る人や運動を支援するボランティアを募集している。問い合わせは、事務局

がん治療支援のための「命の駅伝」参加を呼びかける上村さん（右）たち＝松阪市で

中日新聞【三重版】2011年5月18日



生命の駅伝

5月14日から9日間

三重大で公開講座も

大阪、名古屋、新宮、津を皮切りに、5月14日（土）から22日（日）までの9日間、がん闘病を支援する「EKIDEN for LIFE（生命（いのち）の駅伝）」（同会主催）が三重県を走り抜ける。

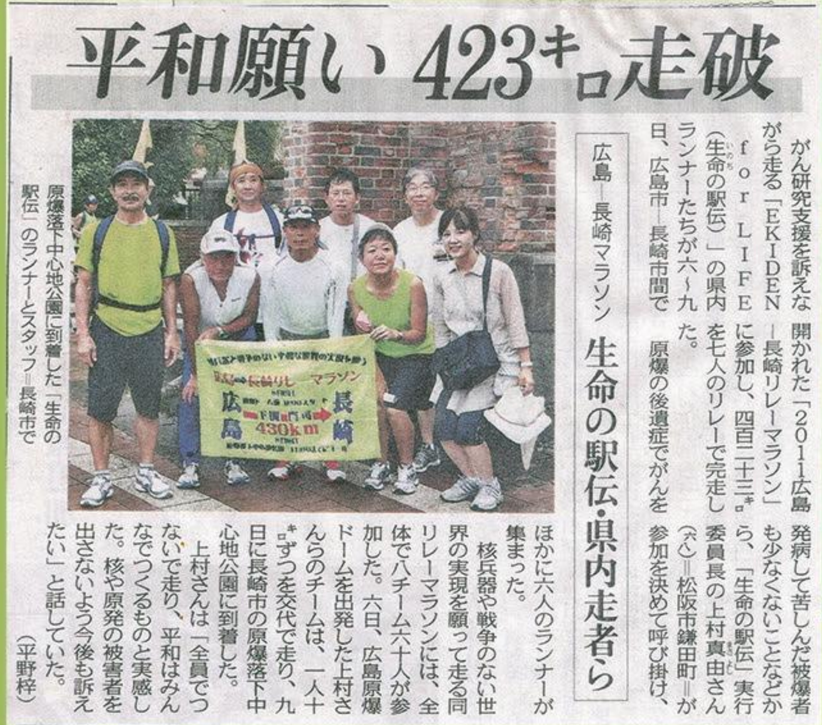
骨肉腫を患ったカナダ人の青年テリー・フォックスさんが、がん克服のためアメリカ大陸横断マラソンに挑戦。この時、がん研究の募金を集めて走った遺志を受け継ぎ三重でも開催しているもので、今年で17回目。ランナーは、各地に置かれた募金箱を回収しながら1週間かけて走り、昨年からは三重大学との共催。

この事業の一環として、15日（日）午後1時から三重大三翠ホールで、同大医学部主催の市民公開講座が開かれる。内容は三重大医学部附属病院漢方外来担当医の高村光幸さんが「親しみやすい漢方外来を目指して」、日赤和歌山医療センター心療内科部長の西田愼二さんが「漢方薬によるがんの治療と補助」についてそれぞれ講演する。入場無料。問い合わせは同大がんセンター長の中瀬さん

また、講座終了後、構内で「ラン&ウォーク」もある。参加自由。問い合わせは上村実行委員長

▲三重県内での昨年の様子

中日新聞【三重版】2011年8月18日



平和願い 423キロ走破

広島—長崎マラソン

生命の駅伝・県内走者ら

がん研究支援を訴えながら走る「EKIDEN for LIFE（生命（いのち）の駅伝）」の県内ランナーたちが六〜九日、広島市—長崎市間で開かれた「2011広島—長崎リレーマラソン」に参加し、四百二十三キロを七人のリレーで完走した。

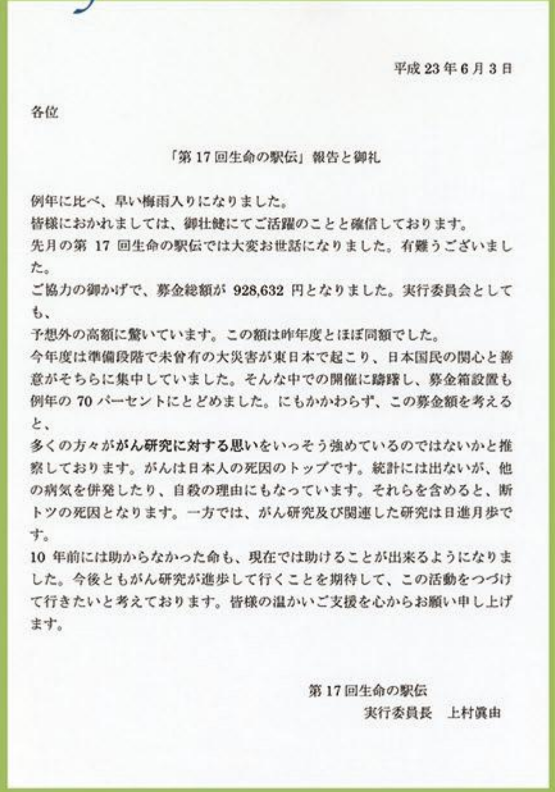
原爆の後遺症でがんを発病して苦しんだ被爆者も少なくないことなどから、「生命の駅伝」実行委員長の上村真由さん（六八）＝松阪市鎌田町＝が参加を決めて呼び掛け、ほかに六人のランナーが集まった。

核兵器や戦争のない世界の実現を願って走る同リレーマラソンには、全体で八チーム六十人が参加した。六日、広島原爆ドームを出発した上村さんらのチームは、一人十キロずつを交代で走り、九日に長崎市の原爆落下中心地公園に到着した。

上村さんは「全員でつないで走り、平和はみんなでつくるものと実感した。核や原発の被害者を出さないよう今後も訴えたい」と話していた。（平野梓）

原爆落下中心地公園に到着した「生命の駅伝」のランナーとスタッフ＝長崎市で

Report and thanks



平成23年6月3日

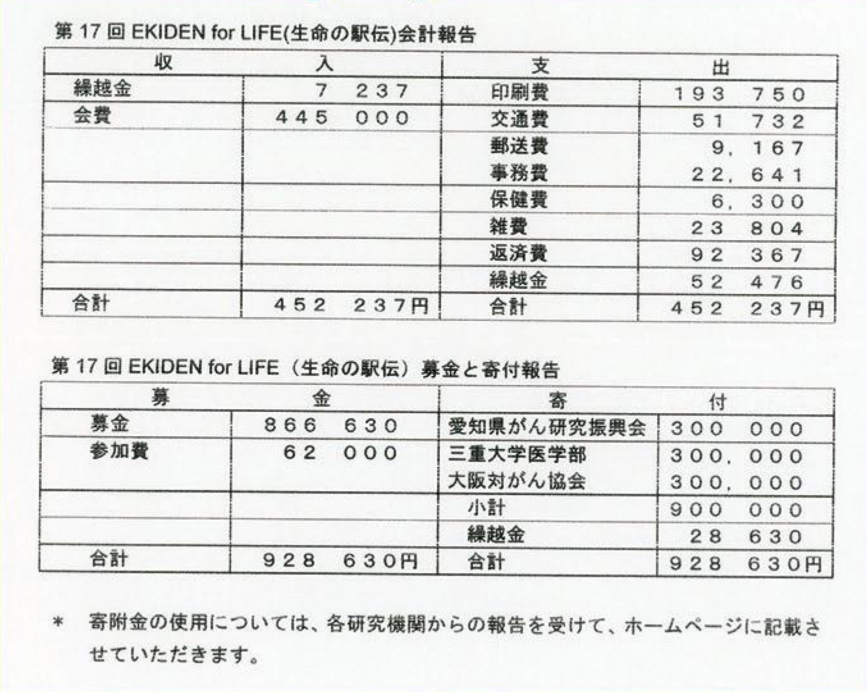
各位

「第17回生命の駅伝」報告と御礼

例年に比べ、早い梅雨入りになりました。
皆様におかれましては、御壮健にてご活躍のことと確信しております。
先月の第17回生命の駅伝では大変お世話になりました。有難うございました。
ご協力の御かげで、募金総額が 928,632 円となりました。実行委員会としても、
予想外の高額に驚いています。この額は昨年度とほぼ同額でした。
今年度は準備段階で未曾有の大災害が東日本で起こり、日本国民の関心と善意がそちらに集中していました。そんな中での開催に躊躇し、募金箱設置も例年の 70 パーセントにとどめました。にもかかわらず、この募金額を考えると、
多くの方々ががん研究に対する思いをいっそう強めているのではないかと推察しております。がんは日本人の死因のトップです。統計には出ないが、他の病気を併発したり、自殺の理由にもなっています。それらを含めると、断トツの死因となります。一方では、がん研究及び関連した研究は日進月歩です。
10 年前には助からなかった命も、現在では助けることが出来るようになりました。今後ともがん研究が進歩して行くことを期待して、この活動をつづけて行きたいと考えております。皆様の温かいご支援を心からお願い申し上げます。

第17回生命の駅伝
実行委員長　上村眞由

Accounting report



第17回 EKIDEN for LIFE(生命の駅伝)会計報告

収	入	支	出
繰越金	7 237	印刷費	193 750
会費	445 000	交通費	51 732
		郵送費	9，167
		事務費	22，641
		保健費	6，300
		雑費	23 804
		返済費	92 367
		繰越金	52 476
合計	452 237円	合計	452 237円

第17回 EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）募金と寄付報告

募	金	寄	付
募金	866 630	愛知県がん研究振興会	300 000
参加費	62 000	三重大学医学部	300，000
		大阪対がん協会	300，000
		小計	900 000
		繰越金	28 630
合計	928 630円	合計	928 630円

＊　寄附金の使用については、各研究機関からの報告を受けて、ホームページに記載させていただきます。

2011

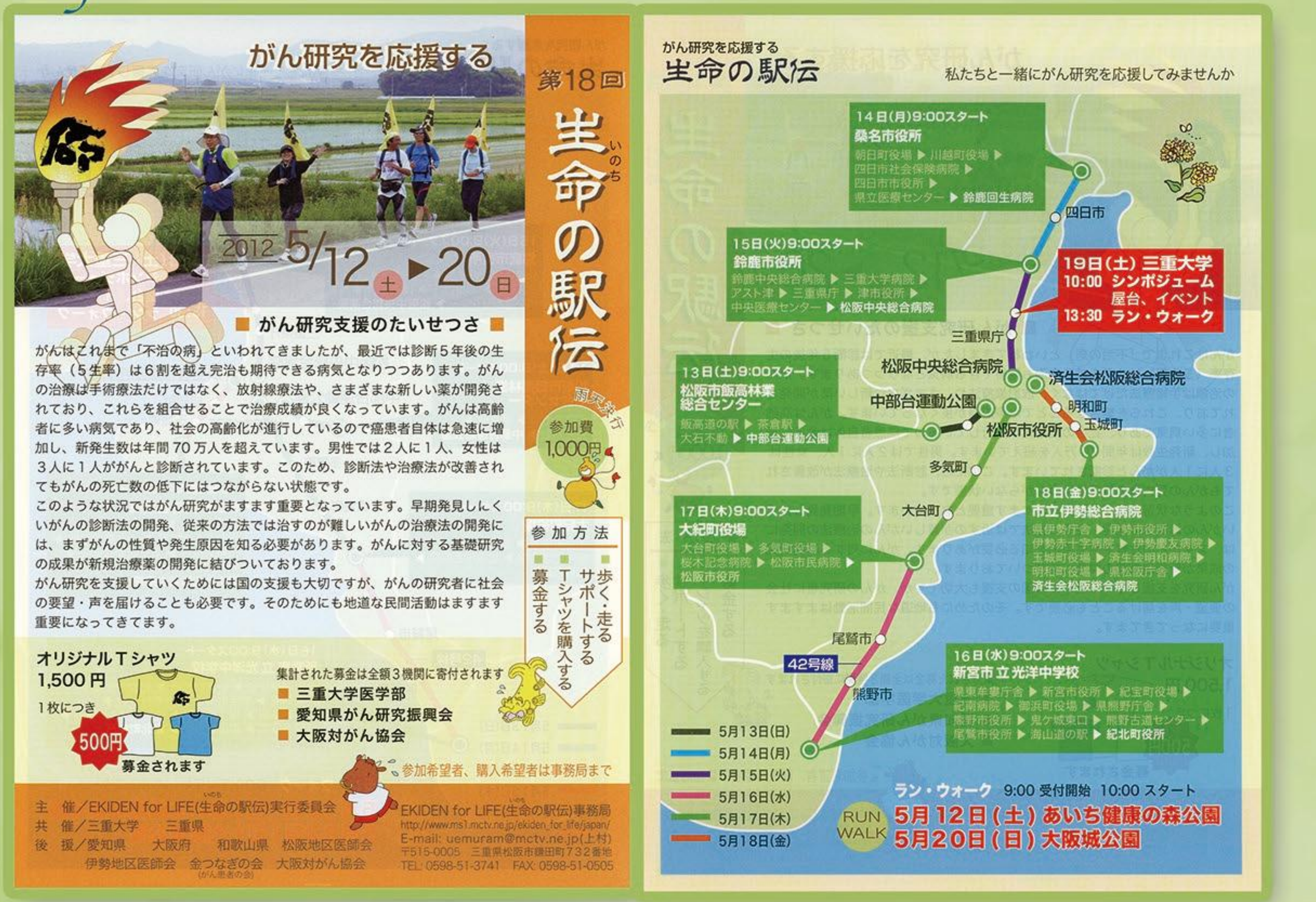
18

～生命の駅伝～

EKIDEN FOR LIFE

2012

Flyer



がん研究を応援する

第18回

生命の駅伝

2012 5/12（土）▶20（日）

■ がん研究支援のたいせつさ ■

がんはこれまで「不治の病」といわれてきましたが、最近では診断5年後の生存率（5生率）は6割を越え完治も期待できる病気となりつつあります。がんの治療は手術療法だけではなく、放射線療法や、さまざまな新しい薬が開発されており、これらを組合せることで治療成績が良くなっています。がんは高齢者に多い病気であり、社会の高齢化が進行しているので癌患者自体は急速に増加し、新発生数は年間70万人を超えています。男性では2人に1人、女性は3人に1人ががんと診断されています。このため、診断法や治療法が改善されてもがんの死亡数の低下にはつながらない状態です。

このような状況ではがん研究がますます重要となっています。早期発見しにくいがんの診断法の開発、従来の方法では治すのが難しいがんの治療法の開発には、まずがんの性質や発生原因を知る必要があります。がんに対する基礎研究の成果が新規治療薬の開発に結びついております。

がん研究を支援していくためには国の支援も大切ですが、がんの研究者に社会の要望・声を届けることも必要です。そのためにも地道な民間活動はますます重要になってきてます。

雨天決行

参加費 1,000円

参加方法

- 歩く・走る
- サポートする
- Tシャツを購入する
- 募金する

オリジナルTシャツ

1,500円

1枚につき 500円 募金されます

集計された募金は全額3機関に寄付されます

- 三重大学医学部
- 愛知県がん研究振興会
- 大阪対がん協会

参加希望者、購入希望者は事務局まで

主　催／EKIDEN for LIFE(生命の駅伝)実行委員会
共　催／三重大学　三重県
後　援／愛知県　大阪府　和歌山県　松阪地区医師会
伊勢地区医師会　金つなぎの会（がん患者の会）　大阪対がん協会

EKIDEN for LIFE(生命の駅伝)事務局
http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/japan/
E-mail: uemuram@mctv.ne.jp(上村)
〒515-0005　三重県松阪市鎌田町732番地
TEL: 0598-51-3741　FAX: 0598-51-0505

がん研究を応援する

生命の駅伝

私たちと一緒にがん研究を応援してみませんか

14日(月)9:00スタート
桑名市役所
朝日町役場 ▶ 川越町役場 ▶ 四日市社会保険病院 ▶ 四日市市役所 ▶ 県立医療センター ▶ 鈴鹿回生病院

15日(火)9:00スタート
鈴鹿市役所
鈴鹿中央総合病院 ▶ 三重大学病院 ▶ アスト津 ▶ 三重県庁 ▶ 津市役所 ▶ 中央医療センター ▶ 松阪中央総合病院

19日(土) 三重大学
10:00 シンポジューム 屋台、イベント
13:30 ラン・ウォーク

13日(土)9:00スタート
松阪市飯高林業総合センター
飯高道の駅 ▶ 茶倉駅 ▶ 大石不動 ▶ 中部台運動公園

17日(木)9:00スタート
大紀町役場
大台町役場 ▶ 多気町役場 ▶ 桜木記念病院 ▶ 松阪市民病院 ▶ 松阪市役所

18日(金)9:00スタート
市立伊勢総合病院
県伊勢庁舎 ▶ 伊勢市役所 ▶ 伊勢赤十字病院 ▶ 伊勢慶友病院 ▶ 玉城町役場 ▶ 済生会明和病院 ▶ 明和町役場 ▶ 県松阪庁舎 ▶ 済生会松阪総合病院

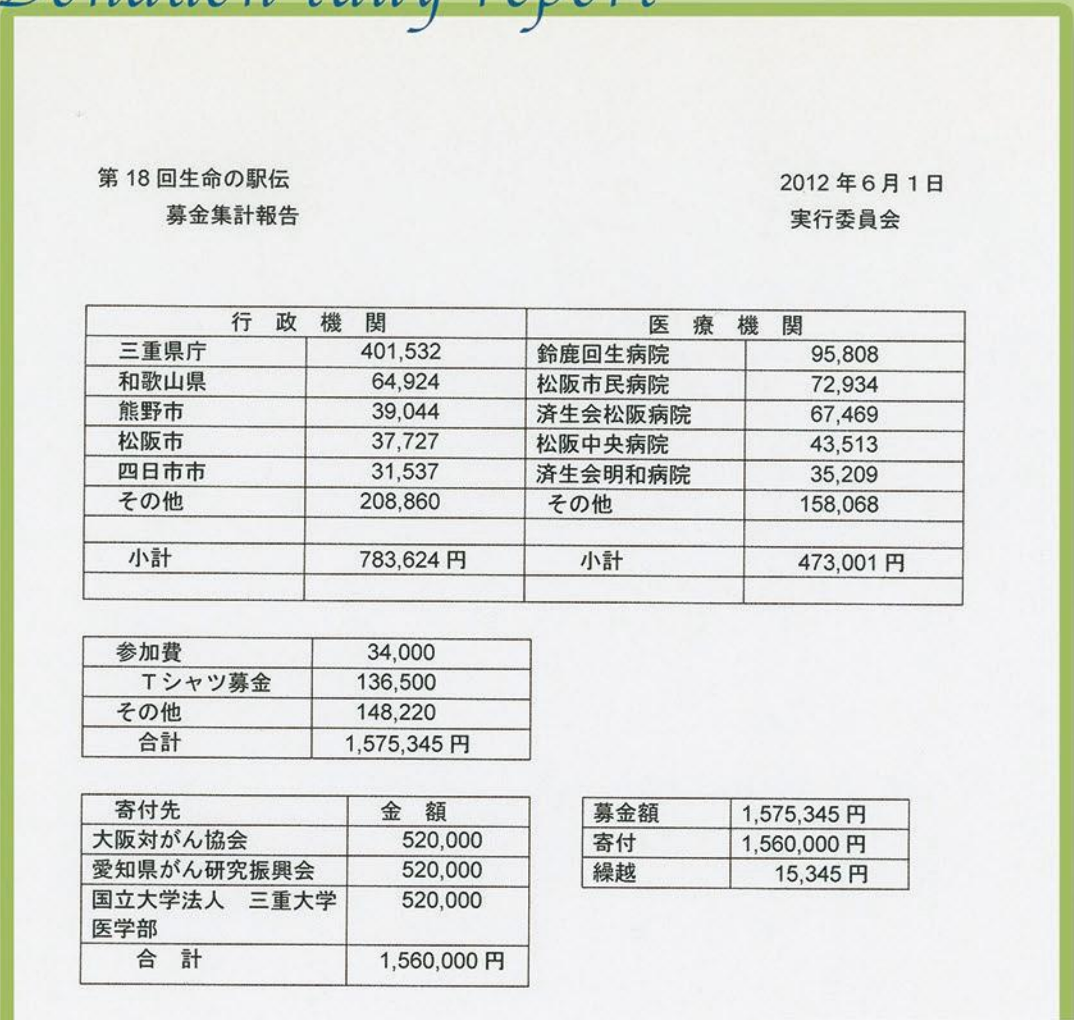
16日(水)9:00スタート
新宮市立光洋中学校
県東牟婁庁舎 ▶ 新宮市役所 ▶ 紀宝町役場 ▶ 紀南病院 ▶ 御浜町役場 ▶ 県熊野庁舎 ▶ 熊野市役所 ▶ 鬼ケ城東口 ▶ 熊野古道センター ▶ 尾鷲市役所 ▶ 海山道の駅 ▶ 紀北町役所

ラン・ウォーク　9:00 受付開始　10:00 スタート

RUN WALK

5月12日(土) あいち健康の森公園
5月20日(日) 大阪城公園

Donation tally report



第18回生命の駅伝　　　　2012年6月1日
募金集計報告　　　　実行委員会

行政機関		医療機関	
三重県庁	401,532	鈴鹿回生病院	95,808
和歌山県	64,924	松阪市民病院	72,934
熊野市	39,044	済生会松阪病院	67,469
松阪市	37,727	松阪中央病院	43,513
四日市市	31,537	済生会明和病院	35,209
その他	208,860	その他	158,068
小計	783,624円	小計	473,001円

参加費	34,000
Tシャツ募金	136,500
その他	148,220
合計	1,575,345円

寄付先	金額
大阪対がん協会	520,000
愛知県がん研究振興会	520,000
国立大学法人　三重大学医学部	520,000
合計	1,560,000円

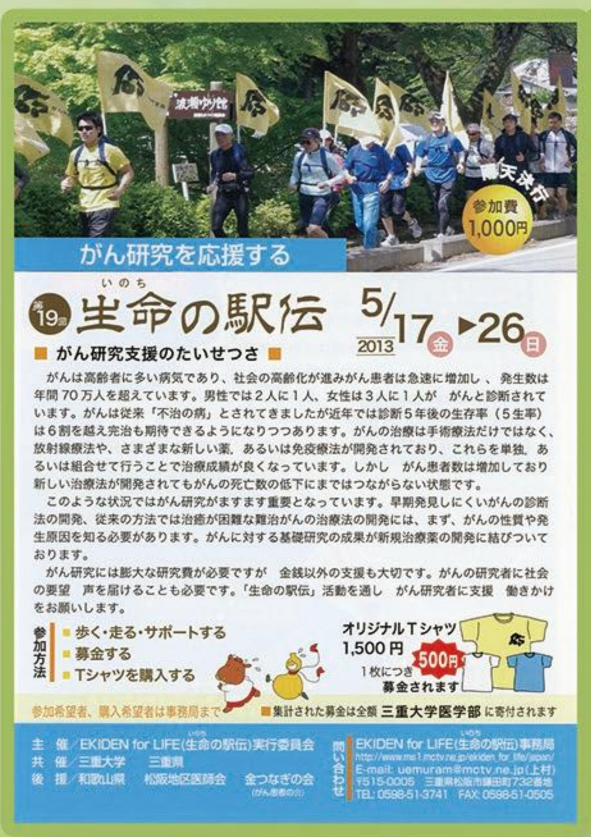
募金額	1,575,345円
寄付	1,560,000円
繰越	15,345円

Photograph

～生命（いのち）の駅伝～

EKIDEN FOR LIFE

Flyer


雨天決行
参加費 1,000円

がん研究を応援する

第19回 生命（いのち）の駅伝 5/17（金）▶26（日） 2013

■ がん研究支援のたいせつさ ■

がんは高齢者に多い病気であり、社会の高齢化が進みがん患者は急速に増加し 、発生数は年間 70 万人を超えています。男性では２人に１人、女性は３人に１人が　がんと診断されています。がんは従来「不治の病」とされてきましたが近年では診断５年後の生存率（５生率）は６割を越え完治も期待できるようになりつつあります。がんの治療は手術療法だけではなく、放射線療法や、さまざまな新しい薬、あるいは免疫療法が開発されており、これらを単独、あるいは組合せて行うことで治療成績が良くなっています。しかし　がん患者数は増加しており新しい治療法が開発されてもがんの死亡数の低下にまではつながらない状態です。

このような状況ではがん研究がますます重要となっています。早期発見しにくいがんの診断法の開発、従来の方法では治癒が困難な難治がんの治療法の開発には、まず、がんの性質や発生原因を知る必要があります。がんに対する基礎研究の成果が新規治療薬の開発に結びついております。

がん研究には膨大な研究費が必要ですが　金銭以外の支援も大切です。がんの研究者に社会の要望　声を届けることも必要です。「生命の駅伝」活動を通し　がん研究者に支援　働きかけをお願いします。

参加方法
- 歩く・走る・サポートする
- 募金する
- Tシャツを購入する

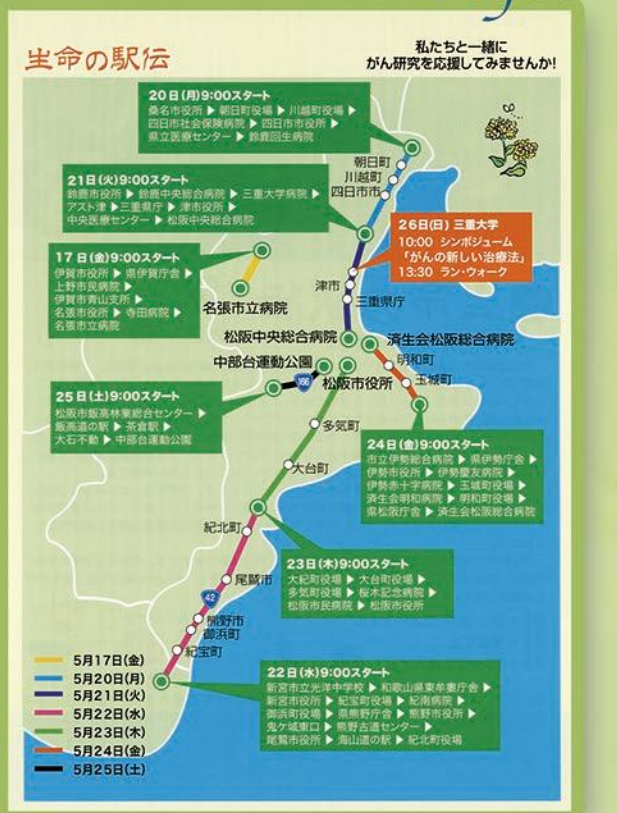
オリジナルＴシャツ 1,500 円
1 枚につき 500円 募金されます

参加希望者、購入希望者は事務局まで

■集計された募金は全額 **三重大学医学部** に寄付されます

主　催／EKIDEN for LIFE(生命（いのち）の駅伝)実行委員会
共　催／三重大学　　三重県
後　援／和歌山県　　松阪地区医師会　　金つなぎの会（がん患者の会）

問い合わせ
EKIDEN for LIFE(生命（いのち）の駅伝)事務局
http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/japan/
E-mail: uemuram@mctv.ne.jp(上村)
〒515-0005　三重県松阪市鎌田町732番地
TEL: 0598-51-3741　FAX: 0598-51-0505



生命の駅伝

私たちと一緒に
がん研究を応援してみませんか!

20日(月)9:00スタート
桑名市役所 ▶ 朝日町役場 ▶ 川越町役場 ▶
四日市社会保険病院 ▶ 四日市市役所 ▶
県立医療センター ▶ 鈴鹿回生病院

21日(火)9:00スタート
鈴鹿市役所 ▶ 鈴鹿中央総合病院 ▶ 三重大学病院 ▶
アスト津 ▶三重県庁 ▶ 津市役所 ▶
中央医療センター ▶ 松阪中央総合病院

17日(金)9:00スタート
伊賀市役所 ▶ 県伊賀庁舎 ▶
上野市民病院 ▶
伊賀市青山支所 ▶
名張市役所 ▶ 寺田病院 ▶
名張市立病院

26日(日) 三重大学
10:00 シンポジューム
「がんの新しい治療法」
13:30 ラン・ウォーク

25日(土)9:00スタート
松阪市飯高林業総合センター ▶
飯高道の駅 ▶ 茶倉駅 ▶
大石不動 ▶ 中部台運動公園

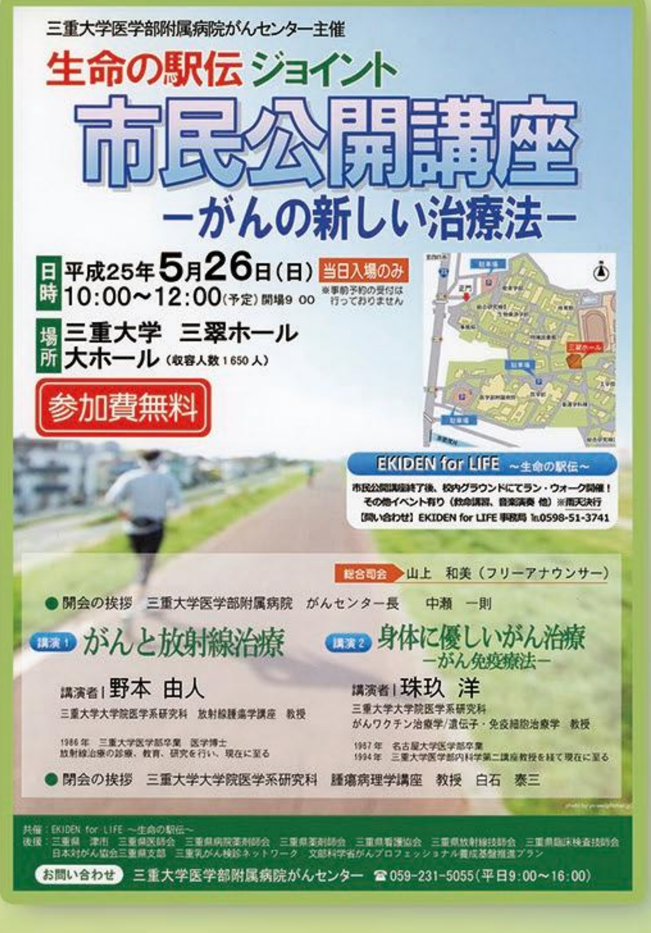
24日(金)9:00スタート
市立伊勢総合病院 ▶ 県伊勢庁舎 ▶
伊勢市役所 ▶ 伊勢慶友病院 ▶
伊勢赤十字病院 ▶ 玉城町役場 ▶
済生会明和病院 ▶ 明和町役場 ▶
県松阪庁舎 ▶ 済生会松阪総合病院

23日(木)9:00スタート
大紀町役場 ▶ 大台町役場 ▶
多気町役場 ▶ 桜木記念病院 ▶
松阪市民病院 ▶ 松阪市役所

22日(水)9:00スタート
新宮市立光洋中学校 ▶ 和歌山県東牟婁庁舎 ▶
新宮市役所 ▶ 紀宝町役場 ▶ 紀南病院 ▶
御浜町役場 ▶ 県熊野庁舎 ▶ 熊野市役所 ▶
鬼ケ城東口 ▶ 熊野古道センター ▶
尾鷲市役所 ▶ 海山道の駅 ▶ 紀北町役場

🟨	5月17日(金)
🟦	5月20日(月)
🟪	5月21日(火)
🟥	5月22日(水)
🟩	5月23日(木)
🟧	5月24日(金)
⬛	5月25日(土)

Public lecture



三重大学医学部附属病院がんセンター主催

生命の駅伝 ジョイント

市民公開講座
－がんの新しい治療法－

日時　平成25年5月26日(日)　当日入場のみ
10:00～12:00(予定) 開場9 00　※事前予約の受付は行っておりません

場所　三重大学　三翠ホール
大ホール（収容人数 1 650 人）

参加費無料

EKIDEN for LIFE ～生命の駅伝～
市民公開講座終了後、校内グラウンドにてラン・ウォーク開催！
その他イベント有り（救命講習、音楽演奏 他）※雨天決行
【問い合わせ】EKIDEN for LIFE 事務局 ℡0598-51-3741

総合司会　山上　和美（フリーアナウンサー）

● 開会の挨拶　三重大学医学部附属病院　がんセンター長　　中瀬　一則

講演１ がんと放射線治療
講演者｜野本　由人
三重大学大学院医学系研究科　放射線腫瘍学講座　教授
1986 年　三重大学医学部卒業　医学博士
放射線治療の診療、教育、研究を行い、現在に至る

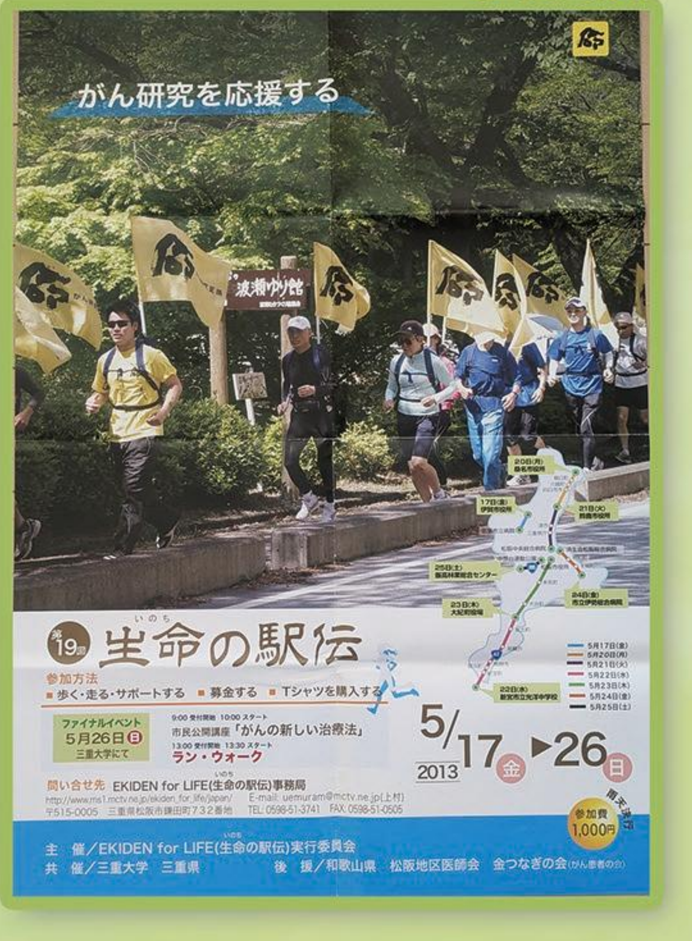
講演２ 身体に優しいがん治療 －がん免疫療法－
講演者｜珠玖　洋
三重大学大学院医学系研究科
がんワクチン治療学/遺伝子・免疫細胞治療学　教授
1967 年　名古屋大学医学部卒業
1994 年　三重大学医学部内科学第二講座教授を経て現在に至る

● 閉会の挨拶　三重大学大学院医学系研究科　腫瘍病理学講座　教授　白石　泰三

共催：EKIDEN for LIFE ～生命の駅伝～
後援：三重県　津市　三重県医師会　三重県病院薬剤師会　三重県薬剤師会　三重県看護協会　三重県放射線技師会　三重県臨床検査技師会
日本対がん協会三重県支部　三重乳がん検診ネットワーク　文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

お問い合わせ　三重大学医学部附属病院がんセンター　☎059-231-5055（平日9:00～16:00）

Poster


17日(金) 伊賀市役所
21日(火) 鈴鹿市役所
25日(土) 飯高林業総合センター
24日(金) 市立伊勢総合病院
23日(木) 大紀町役場
22日(水) 新宮市立光洋中学校
5月17日(金)
5月20日(月)
5月21日(火)
5月22日(水)
5月23日(木)
5月24日(金)
5月25日(土)
雨天決行
参加費 1,000円

がん研究を応援する

第19回 生命（いのち）の駅伝

参加方法
■ 歩く・走る・サポートする　■ 募金する　■ Tシャツを購入する

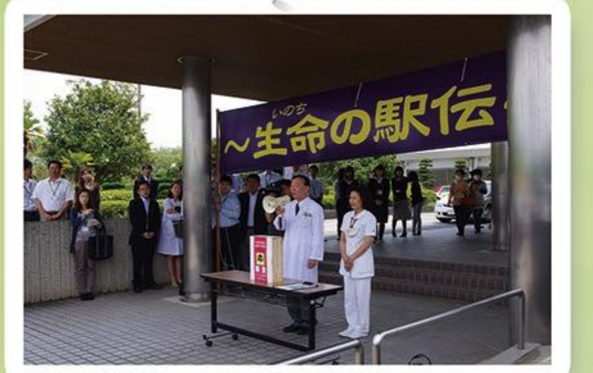
ファイナルイベント 5月26日（日） 三重大学にて
9:00 受付開始 10:00 スタート
市民公開講座「がんの新しい治療法」
13:00 受付開始 13:30 スタート
ラン・ウォーク

5/17（金）▶26（日） 2013

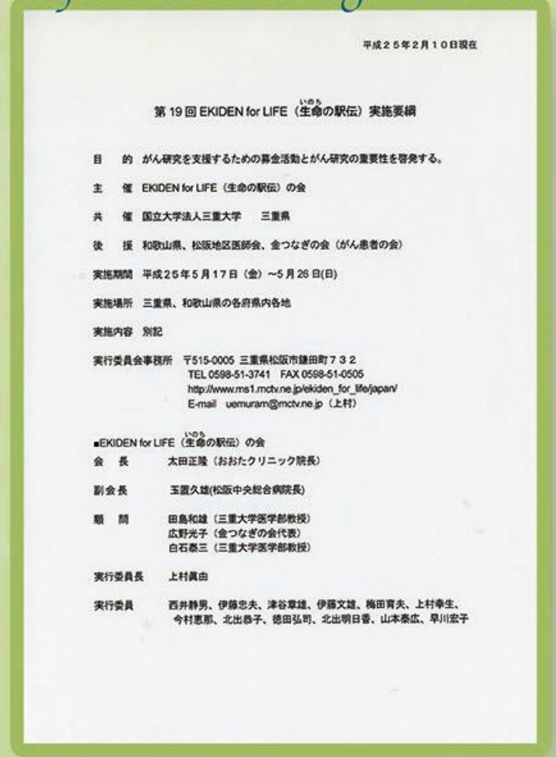
問い合せ先　EKIDEN for LIFE(生命（いのち）の駅伝)事務局
http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/japan/　E-mail: uemuram@mctv.ne.jp(上村)
〒515-0005　三重県松阪市鎌田町732番地　TEL: 0598-51-3741　FAX: 0598-51-0505

主　催／EKIDEN for LIFE(生命（いのち）の駅伝)実行委員会
共　催／三重大学　三重県
後　援／和歌山県　松阪地区医師会　金つなぎの会（がん患者の会）

Photograph



Implementation guidelines



平成２５年２月１０日現在

第 19 回 EKIDEN for LIFE（生命（いのち）の駅伝）実施要綱

目　　的　がん研究を支援するための募金活動とがん研究の重要性を啓発する。

主　　催　EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）の会

共　　催　国立大学法人三重大学　　三重県

後　　援　和歌山県、松阪地区医師会、金つなぎの会（がん患者の会）

実施期間　平成２５年５月１７日（金）～5 月 26 日(日)

実施場所　三重県、和歌山県の各府県内各地

実施内容　別記

実行委員会事務所　〒515-0005 三重県松阪市鎌田町７３２
TEL 0598-51-3741　FAX 0598-51-0505
http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/japan/
E-mail　uemuram@mctv.ne.jp（上村）

■EKIDEN for LIFE（生命（いのち）の駅伝）の会

会　　長　太田正隆（おおたクリニック院長）

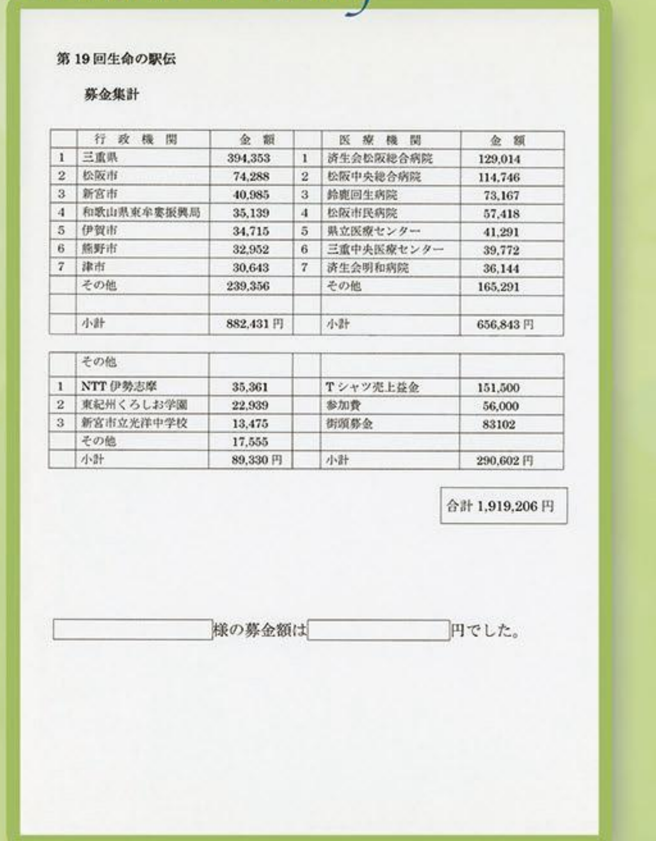
副 会 長　玉置久雄(松阪中央総合病院長)

顧　　問　田島和雄（三重大学医学部教授）
広野光子（金つなぎの会代表）
白石泰三（三重大学医学部教授）

実行委員長　上村眞由

実行委員　西井静男、伊藤忠夫、津谷章雄、伊藤文雄、梅田育夫、上村幸生、今村恵那、北出恭子、徳田弘司、北出明日香、山本泰広、早川宏子

Donation tally



第 19 回生命の駅伝

募金集計

	行　政　機　関	金　額		医　療　機　関	金　額
1	三重県	394,353	1	済生会松阪総合病院	129,014
2	松阪市	74,288	2	松阪中央総合病院	114,746
3	新宮市	40,985	3	鈴鹿回生病院	73,167
4	和歌山県東牟婁振興局	35,139	4	松阪市民病院	57,418
5	伊賀市	34,715	5	県立医療センター	41,291
6	熊野市	32,952	6	三重中央医療センター	39,772
7	津市	30,643	7	済生会明和病院	36,144
	その他	239,356		その他	165,291
	小計	882,431 円		小計	656,843 円

	その他				
1	NTT 伊勢志摩	35,361		T シャツ売上益金	151,500
2	東紀州くろしお学園	22,939		参加費	56,000
3	新宮市立光洋中学校	13,475		街頭募金	83102
	その他	17,555			
	小計	89,330 円		小計	290,602 円

合計 1,919,206 円

＿＿＿＿様の募金額は＿＿＿＿円でした。

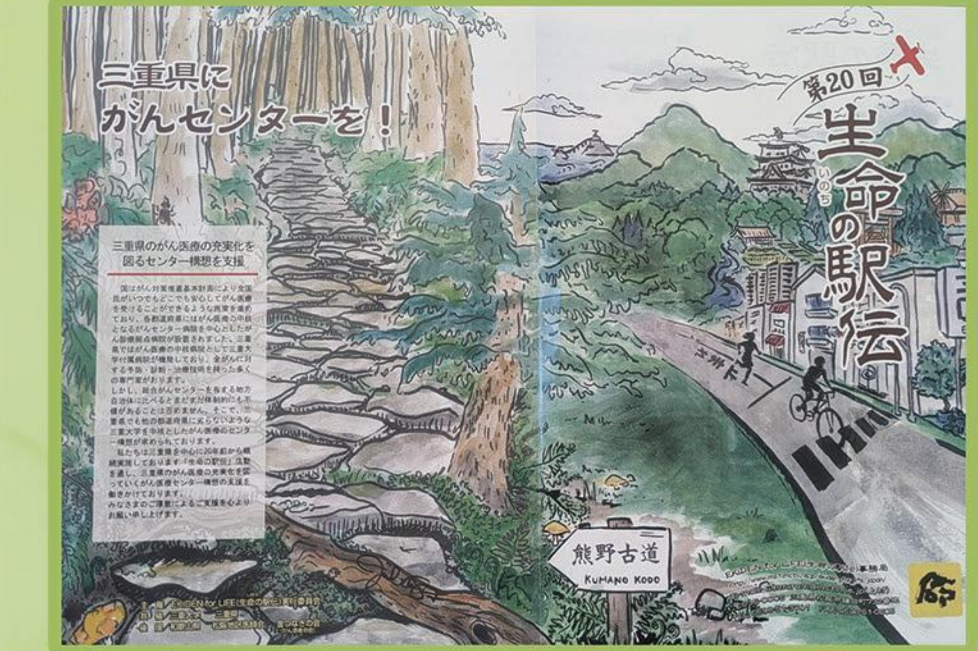
2013

20

～生命（いのち）の駅伝～

EKIDEN FOR LIFE

Flyer


三重県に
がんセンターを！
第20回
生命（いのち）の駅伝
熊野古道
KUMANO KODO

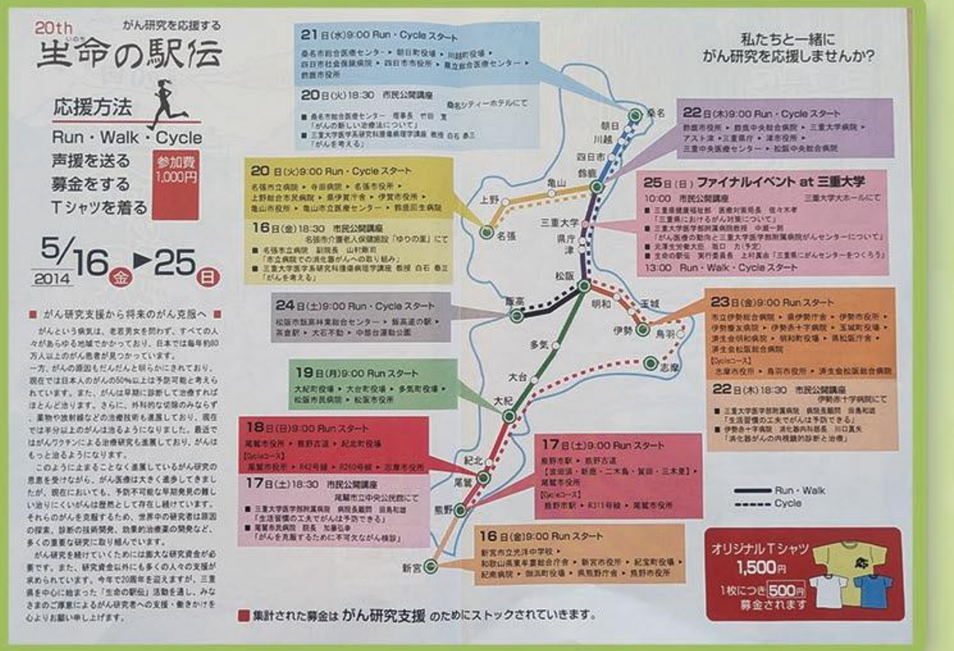
三重県のがん医療の充実化を図るセンター構想を支援

国はがん対策推進基本計画により全国民がいつでもどこでも安心してがん医療を受けることができるような政策を進めており、各都道府県にはがん医療の中核となるがんセンター病院を中心としたがん診療拠点病院が設置されました。三重県ではがん医療の中核病院として三重大学付属病院が機能しており、全がんに対する予防・診断・治療技術を持った多くの専門家がおります。

しかし、総合がんセンターを有する地方自治体に比べるとまだまだ体制的にも不備があることは否めません。そこで、三重県でも他の都道府県に劣らないような三重大学を中核としたがん医療のセンター構想が求められております。

私たちは三重県を中心に20年前から継続実施しております「生命の駅伝」活動を通し、三重県のがん医療の充実化を図っていくがん医療センター構想の支援を働きかけております。

みなさまのご厚意によるご支援を心よりお願い申し上げます。



20th がん研究を応援する

生命の駅伝

応援方法

Run・Walk・Cycle
声援を送る
募金をする
Tシャツを着る

参加費 1,000円

5/16（金）▶25（日） 2014

■ がん研究支援から将来のがん克服へ ■

がんという病気は、老若男女を問わず、すべての人々があらゆる地域でかかっており、日本では毎年約80万人以上のがん患者が見つかっています。

一方、がんの原因もだんだんと明らかにされており、現在では日本人のがんの50%以上は予防可能と考えられています。また、がんは早期に診断して治療すればほとんど治ります。さらに、外科的な切除のみならず、薬物や放射線などの治療技術も進展しており、現在では半分以上のがんは治るようになりました。最近ではがんワクチンによる治療研究も進展しており、がんはもっと治るようになります。

このように止まることなく進展しているがん研究の恩恵を受けながら、がん医療は大きく進歩してきましたが、現在においても、予防不可能な早期発見の難しい治りにくいがんは依然として存在し続けています。それらのがんを克服するため、世界中の研究者は原因の探索、診断の技術開発、効果的治療薬の開発など、多くの重要な研究に取り組んでいます。

がん研究を続けていくためには膨大な研究資金が必要です。また、研究資金以外にも多くの人々の支援が求められています。今年で20周年を迎えますが、三重県を中心に始まった「生命の駅伝」活動を通し、みなさまのご厚意によるがん研究者への支援・働きかけを心よりお願い申し上げます。

21日（水）9:00 Run・Cycle スタート
桑名市総合医療センター・朝日町役場・川越町役場・四日市社会保険病院・四日市市役所・県立総合医療センター・鈴鹿市役所

20日（火）18:30 市民公開講座 桑名シティーホテルにて
■ 桑名市総合医療センター 理事長 竹田 寛「がんの新しい治療法について」
■ 三重大学医学系研究科腫瘍病理学講座 教授 白石泰三「がんを考える」

20日（火）9:00 Run・Cycle スタート
名張市立病院・寺田病院・名張市役所・上野総合市民病院・県伊賀庁舎・伊賀市役所・亀山市役所・亀山市立医療センター・鈴鹿回生病院

16日（金）18:30 市民公開講座 名張市介護老人保健施設「ゆりの里」にて
■ 名張市立病院 副院長 山村[illegible]「市立病院での消化器がんへの取り組み」
■ 三重大学医学系研究科腫瘍病理学講座 教授 白石泰三「がんを考える」

24日（土）9:00 Run・Cycle スタート
松阪市飯高林業総合センター・飯高道の駅・茶倉駅・大石不動・中部台運動公園

19日（月）9:00 Run スタート
大紀町役場・大台町役場・多気町役場・松阪市民病院・松阪市役所

18日（日）9:00 Run スタート
尾鷲市役所・熊野古道・紀北町役場
【Cycleコース】
尾鷲市役所・R42号線・R260号線・志摩市役所

17日（土）18:30 市民公開講座 尾鷲市立中央公民館にて
■ 三重大学医学部附属病院 病院長顧問 田島和雄「生活習慣の工夫でがんは予防できる」
■ 尾鷲市民病院 院長 [illegible]「がんを克服するために不可欠ながん検診」

私たちと一緒に
がん研究を応援しませんか？

22日（木）9:00 Run・Cycle スタート
鈴鹿市役所・鈴鹿中央総合病院・三重大学病院・アスト津・三重県庁・津市役所・三重中央医療センター・松阪中央総合病院

25日（日）ファイナルイベント at 三重大学
10:00 市民公開講座 三重大学大ホールにて
■ 三重県健康福祉部 医療対策局長 佐々木孝「三重県におけるがん対策について」
■ 三重大学医学部附属病院教授 中瀬一則「がん医療の動向と三重大学医学部附属病院がんセンターについて」
■ 元厚生労働大臣 坂口 力（予定）
■ 生命の駅伝 実行委員長 上村眞由「三重県にがんセンターをつくろう」
13:00 Run・Walk・Cycle スタート

23日（金）9:00 Run スタート
市立伊勢総合病院・県伊勢庁舎・伊勢市役所・伊勢慶友病院・伊勢赤十字病院・玉城町役場・済生会明和病院・明和町役場・県松阪庁舎・済生会松阪総合病院
【Cycleコース】
志摩市役所・鳥羽市役所・済生会松阪総合病院

22日（木）18:30 市民公開講座 伊勢赤十字病院にて
■ 三重大学医学部附属病院 病院長顧問 田島和雄「生活習慣の工夫でがんは予防できる」
■ 伊勢赤十字病院 消化器内科部長 川口真矢「消化器がんの内視鏡的診断と治療」

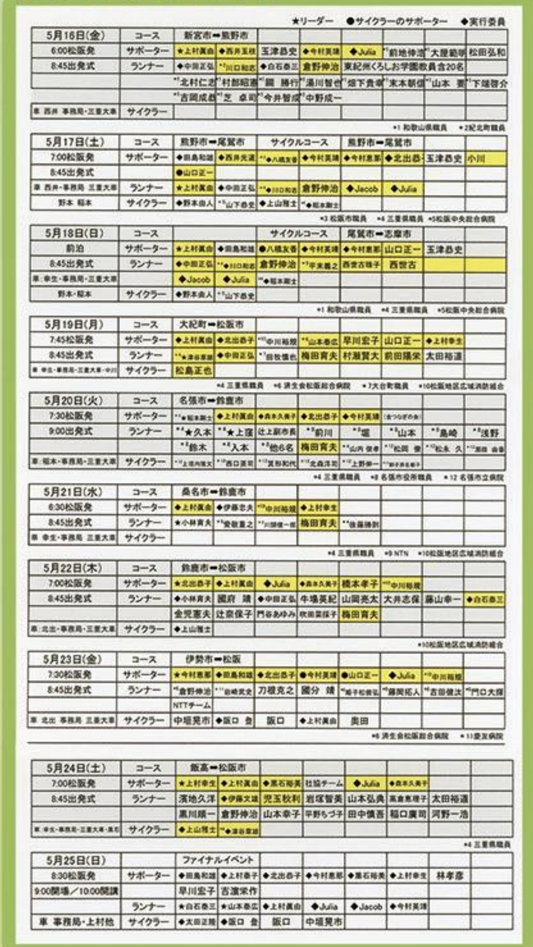
17日（土）9:00 Run スタート
熊野市駅・熊野古道【波田須・新鹿・二木島・賀田・三木里】・尾鷲市役所
【Cycleコース】
熊野市駅・R311号線・尾鷲市役所

16日（金）9:00 Run スタート
新宮市立光洋中学校・和歌山県東牟婁総合庁舎・新宮市役所・紀宝町役場・紀南病院・御浜町役場・県熊野庁舎・熊野市役所

オリジナルTシャツ 1,500円
1枚につき 500円 募金されます

■ 集計された募金は がん研究支援 のためにストックされていきます。

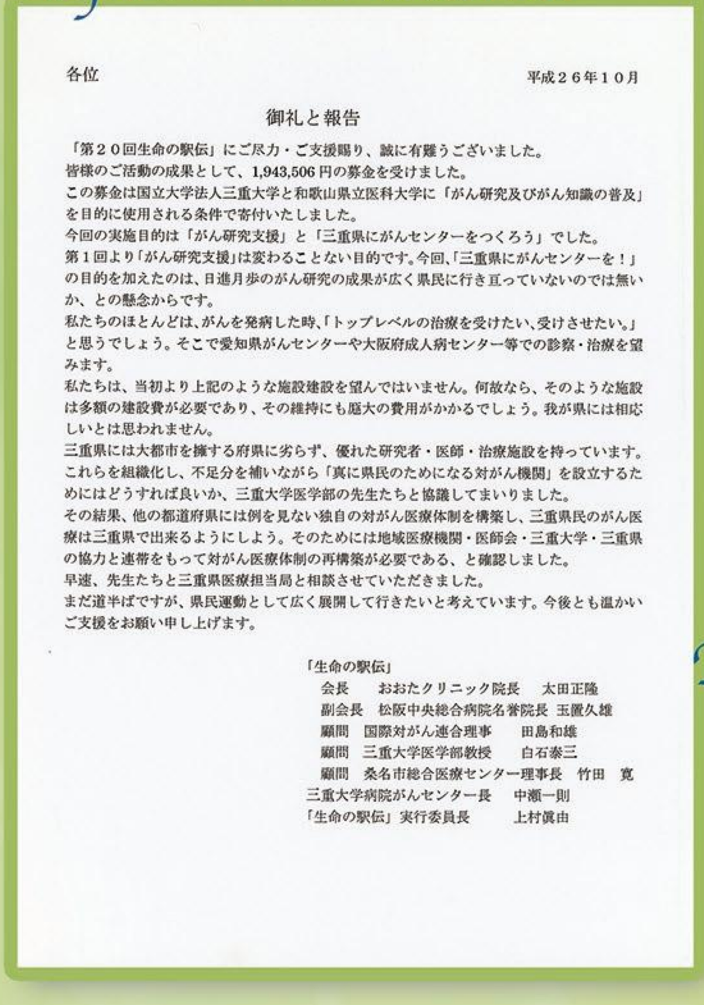
Schedule



★リーダー　●サイクラーのサポーター　◆実行委員

2014

Report and thanks



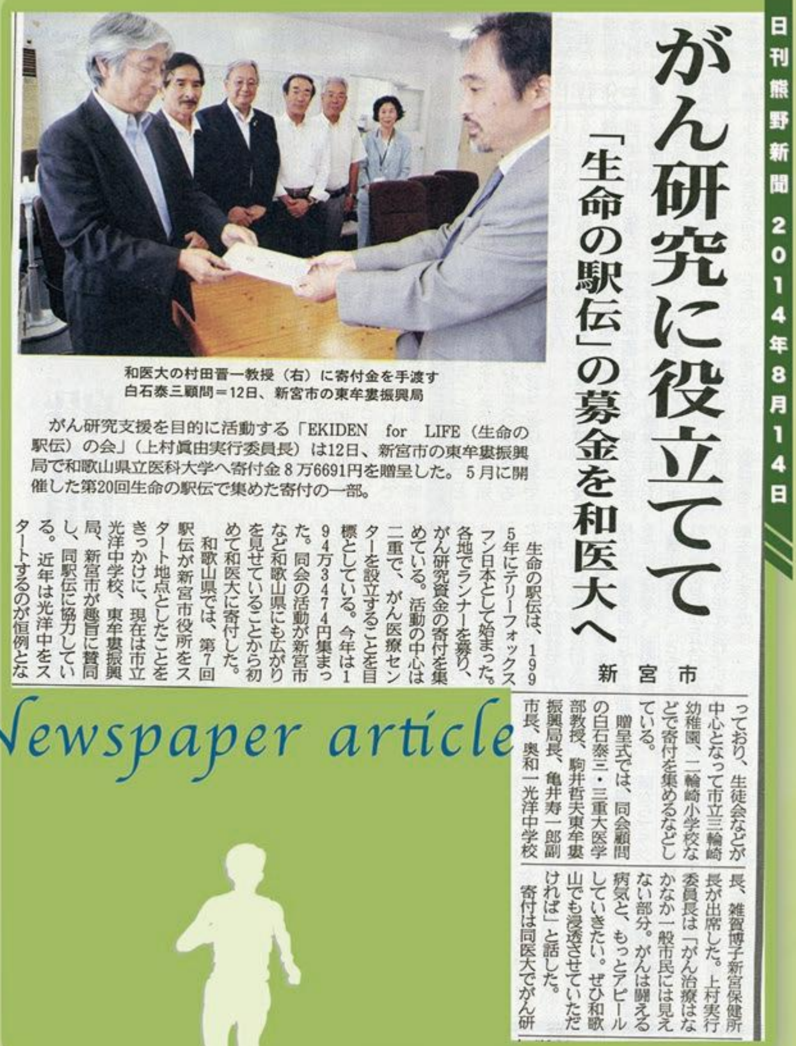
各位　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成２６年１０月

御礼と報告

「第２０回生命の駅伝」にご尽力・ご支援賜り、誠に有難うございました。
皆様のご活動の成果として、1,943,506円の募金を受けました。
この募金は国立大学法人三重大学と和歌山県立医科大学に「がん研究及びがん知識の普及」を目的に使用される条件で寄付いたしました。
今回の実施目的は「がん研究支援」と「三重県にがんセンターをつくろう」でした。
第１回より「がん研究支援」は変わることない目的です。今回、「三重県にがんセンターを！」の目的を加えたのは、日進月歩のがん研究の成果が広く県民に行き亘っていないのでは無いか、との懸念からです。
私たちのほとんどは、がんを発病した時、「トップレベルの治療を受けたい、受けさせたい。」と思うでしょう。そこで愛知県がんセンターや大阪府成人病センター等での診察・治療を望みます。
私たちは、当初より上記のような施設建設を望んではいません。何故なら、そのような施設は多額の建設費が必要であり、その維持にも膨大の費用がかかるでしょう。我が県には相応しいとは思われません。
三重県には大都市を擁する府県に劣らず、優れた研究者・医師・治療施設を持っています。これらを組織化し、不足分を補いながら「真に県民のためになる対がん機関」を設立するためにはどうすれば良いか、三重大学医学部の先生たちと協議してまいりました。
その結果、他の都道府県には例を見ない独自の対がん医療体制を構築し、三重県民のがん医療は三重県で出来るようにしよう。そのためには地域医療機関・医師会・三重大学・三重県の協力と連帯をもって対がん医療体制の再構築が必要である、と確認しました。
早速、先生たちと三重県医療担当局と相談させていただきました。
まだ道半ばですが、県民運動として広く展開して行きたいと考えています。今後とも温かいご支援をお願い申し上げます。

「生命の駅伝」
　会長　おおたクリニック院長　太田正隆
　副会長　松阪中央総合病院名誉院長　玉置久雄
　顧問　国際対がん連合理事　田島和雄
　顧問　三重大学医学部教授　白石泰三
　顧問　桑名市総合医療センター理事長　竹田　寛
三重大学病院がんセンター長　中瀬一則
「生命の駅伝」実行委員長　上村眞由

Newspaper article



日刊熊野新聞 2014年8月14日

がん研究に役立てて

「生命の駅伝」の募金を和医大へ

新宮市

和医大の村田晋一教授（右）に寄付金を手渡す白石泰三顧問＝12日、新宮市の東牟婁振興局

がん研究支援を目的に活動する「EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）の会」（上村眞由実行委員長）は12日、新宮市の東牟婁振興局で和歌山県立医科大学へ寄付金８万6691円を贈呈した。５月に開催した第20回生命の駅伝で集めた寄付の一部。

生命の駅伝は、1995年にテリーフォックスラン日本として始まった。各地でランナーを募り、がん研究資金の寄付を集めている。活動の中心は三重で、がん医療センターを設立することを目標としている。今年は194万3474円集まった。同会の活動が新宮市など和歌山県にも広がりを見せていることから初めて和医大に寄付した。

和歌山県では、第７回駅伝が新宮市役所をスタート地点としたことをきっかけに、現在は市立光洋中学校、東牟婁振興局、新宮市が趣旨に賛同し、同駅伝に協力している。近年は光洋中をスタートするのが恒例となっており、生徒会などが中心となって市立三輪崎幼稚園、三輪崎小学校などで寄付を集めるなどしている。

贈呈式では、同会顧問の白石泰三・三重大医学部教授、駒井哲夫東牟婁振興局長、亀井寿一郎副市長、奥和一光洋中学校長、雑賀博子新宮保健所長が出席した。上村実行委員長は「がん治療はなかなか一般市民には見えない部分。がんは闘える病気と、もっとアピールしていきたい。ぜひ和歌山でも浸透させていただければ」と話した。

寄付は同医大でがん研

Photograph

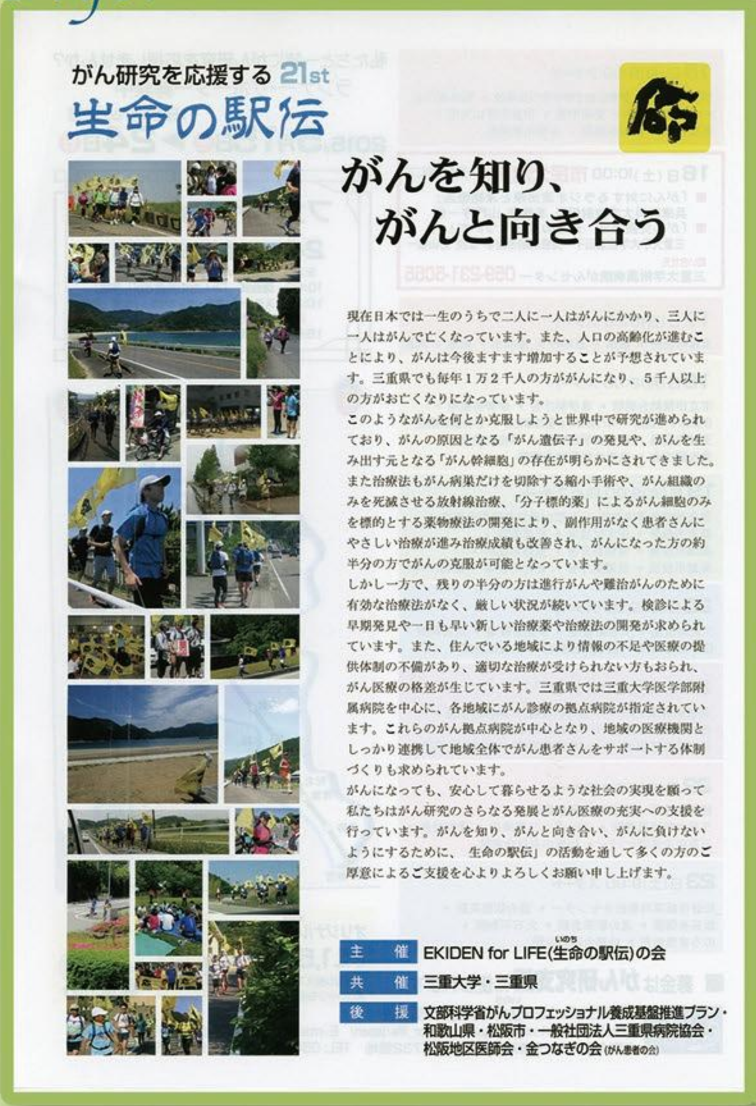
ワイドビュー南紀
JR
熊野市駅
KUMANOSHI STATION

21

～生命（いのち）の駅伝～

EKIDEN FOR LIFE

Flyer



がん研究を応援する 21st

生命の駅伝

がんを知り、がんと向き合う

現在日本では一生のうちで二人に一人はがんにかかり、三人に一人はがんで亡くなっています。また、人口の高齢化が進むことにより、がんは今後ますます増加することが予想されています。三重県でも毎年1万2千人の方ががんになり、5千人以上の方がお亡くなりになっています。

このようながんを何とか克服しようと世界中で研究が進められており、がんの原因となる「がん遺伝子」の発見や、がんを生み出す元となる「がん幹細胞」の存在が明らかにされてきました。また治療法もがん病巣だけを切除する縮小手術や、がん組織のみを死滅させる放射線治療、「分子標的薬」によるがん細胞のみを標的とする薬物療法の開発により、副作用がなく患者さんにやさしい治療が進み治療成績も改善され、がんになった方の約半分の方でがんの克服が可能となっています。

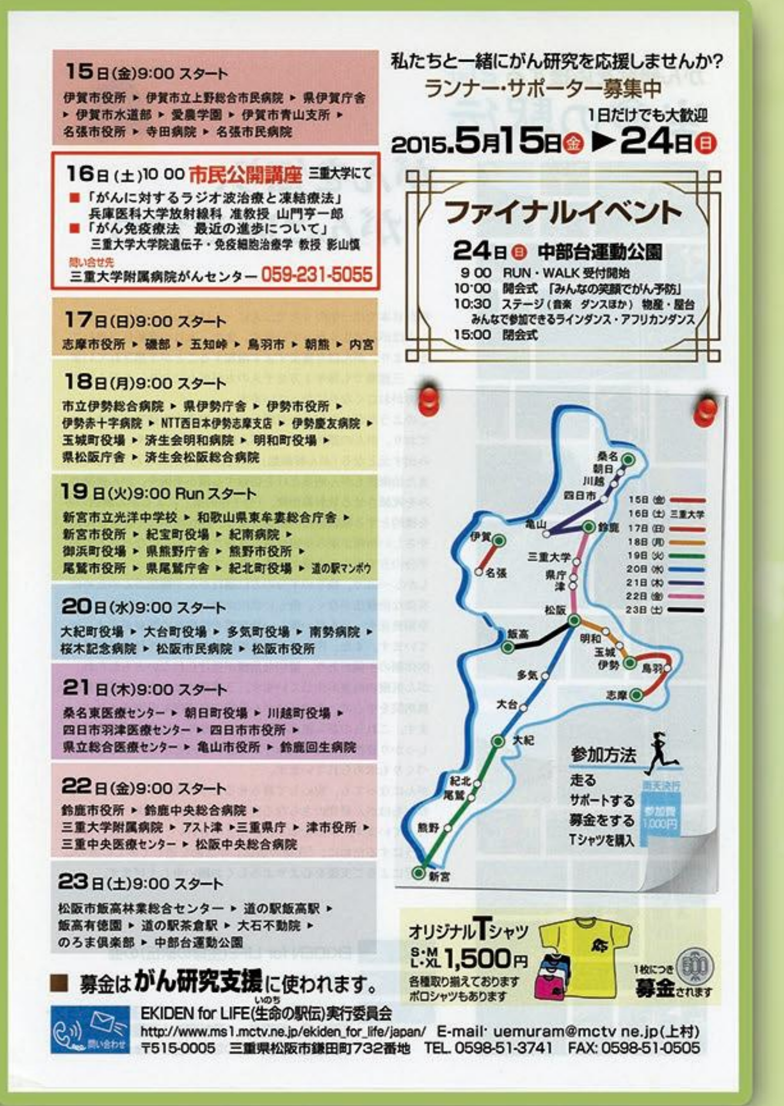
しかし一方で、残りの半分の方は進行がんや難治がんのために有効な治療法がなく、厳しい状況が続いています。検診による早期発見や一日も早い新しい治療薬や治療法の開発が求められています。また、住んでいる地域により情報の不足や医療の提供体制の不備があり、適切な治療が受けられない方もおられ、がん医療の格差が生じています。三重県では三重大学医学部附属病院を中心に、各地域にがん診療の拠点病院が指定されています。これらのがん拠点病院が中心となり、地域の医療機関としっかり連携して地域全体でがん患者さんをサポートする体制づくりも求められています。

がんになっても、安心して暮らせるような社会の実現を願って私たちはがん研究のさらなる発展とがん医療の充実への支援を行っています。がんを知り、がんと向き合い、がんに負けないようにするために、 生命の駅伝」の活動を通して多くの方のご厚意によるご支援を心よりよろしくお願い申し上げます。

主　催 EKIDEN for LIFE(生命（いのち）の駅伝)の会

共　催 三重大学・三重県

後　援 文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン・和歌山県・松阪市・一般社団法人三重県病院協会・松阪地区医師会・金つなぎの会（がん患者の会）



私たちと一緒にがん研究を応援しませんか?

ランナー・サポーター募集中

1日だけでも大歓迎

2015.5月15日(金) ▶ 24日(日)

15日(金)9:00 スタート
伊賀市役所 ▸ 伊賀市立上野総合市民病院 ▸ 県伊賀庁舎 ▸ 伊賀市水道部 ▸ 愛農学園 ▸ 伊賀市青山支所 ▸ 名張市役所 ▸ 寺田病院 ▸ 名張市民病院

16日(土)10 00 市民公開講座 三重大学にて
- ■「がんに対するラジオ波治療と凍結療法」兵庫医科大学放射線科 准教授 山門亨一郎
- ■「がん免疫療法　最近の進歩について」三重大学大学院遺伝子・免疫細胞治療学 教授 影山慎一

問い合せ先
三重大学附属病院がんセンター 059-231-5055

17日(日)9:00 スタート
志摩市役所 ▸ 磯部 ▸ 五知峠 ▸ 鳥羽市 ▸ 朝熊 ▸ 内宮

18日(月)9:00 スタート
市立伊勢総合病院 ▸ 県伊勢庁舎 ▸ 伊勢市役所 ▸ 伊勢赤十字病院 ▸ NTT西日本伊勢志摩支店 ▸ 伊勢慶友病院 ▸ 玉城町役場 ▸ 済生会明和病院 ▸ 明和町役場 ▸ 県松阪庁舎 ▸ 済生会松阪総合病院

19日(火)9:00 Run スタート
新宮市立光洋中学校 ▸ 和歌山県東牟婁総合庁舎 ▸ 新宮市役所 ▸ 紀宝町役場 ▸ 紀南病院 ▸ 御浜町役場 ▸ 県熊野庁舎 ▸ 熊野市役所 ▸ 尾鷲市役所 ▸ 県尾鷲庁舎 ▸ 紀北町役場 ▸ 道の駅マンボウ

20日(水)9:00 スタート
大紀町役場 ▸ 大台町役場 ▸ 多気町役場 ▸ 南勢病院 ▸ 桜木記念病院 ▸ 松阪市民病院 ▸ 松阪市役所

21日(木)9:00 スタート
桑名東医療センター ▸ 朝日町役場 ▸ 川越町役場 ▸ 四日市羽津医療センター ▸ 四日市市役所 ▸ 県立総合医療センター ▸ 亀山市役所 ▸ 鈴鹿回生病院

22日(金)9:00 スタート
鈴鹿市役所 ▸ 鈴鹿中央総合病院 ▸ 三重大学附属病院 ▸ アスト津 ▸三重県庁 ▸ 津市役所 ▸ 三重中央医療センター ▸ 松阪中央総合病院

23日(土)9:00 スタート
松阪市飯高林業総合センター ▸ 道の駅飯高駅 ▸ 飯高有徳園 ▸ 道の駅茶倉駅 ▸ 大石不動院 ▸ のろま倶楽部 ▸ 中部台運動公園

ファイナルイベント

24日(日) 中部台運動公園
9 00 RUN・WALK 受付開始
10 00 開会式 「みんなの笑顔でがん予防」
10:30 ステージ(音楽 ダンスほか) 物産・屋台
みんなで参加できるラインダンス・アフリカンダンス
15:00 閉会式

参加方法
走る
サポートする
募金をする
Tシャツを購入

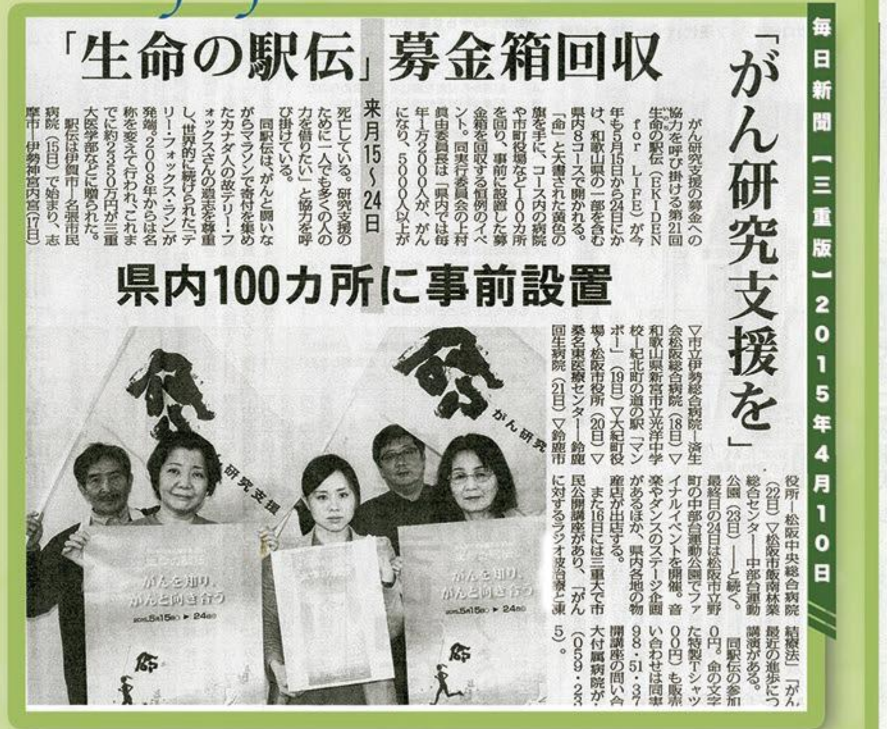
雨天決行
参加費1,000円

オリジナルTシャツ
S・M・L・XL 1,500円
各種取り揃えております
ポロシャツもあります
1枚につき500 募金されます

■ 募金は**がん研究支援**に使われます。

EKIDEN for LIFE(生命（いのち）の駅伝)実行委員会
http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/japan/ E-mail: uemuram@mctv.ne.jp(上村)
〒515-0005 三重県松阪市鎌田町732番地 TEL. 0598-51-3741 FAX: 0598-51-0505

Newspaper article



毎日新聞【三重版】2015年4月10日

「がん研究支援を」

「生命の駅伝」募金箱回収

県内100カ所に事前設置

来月15～24日

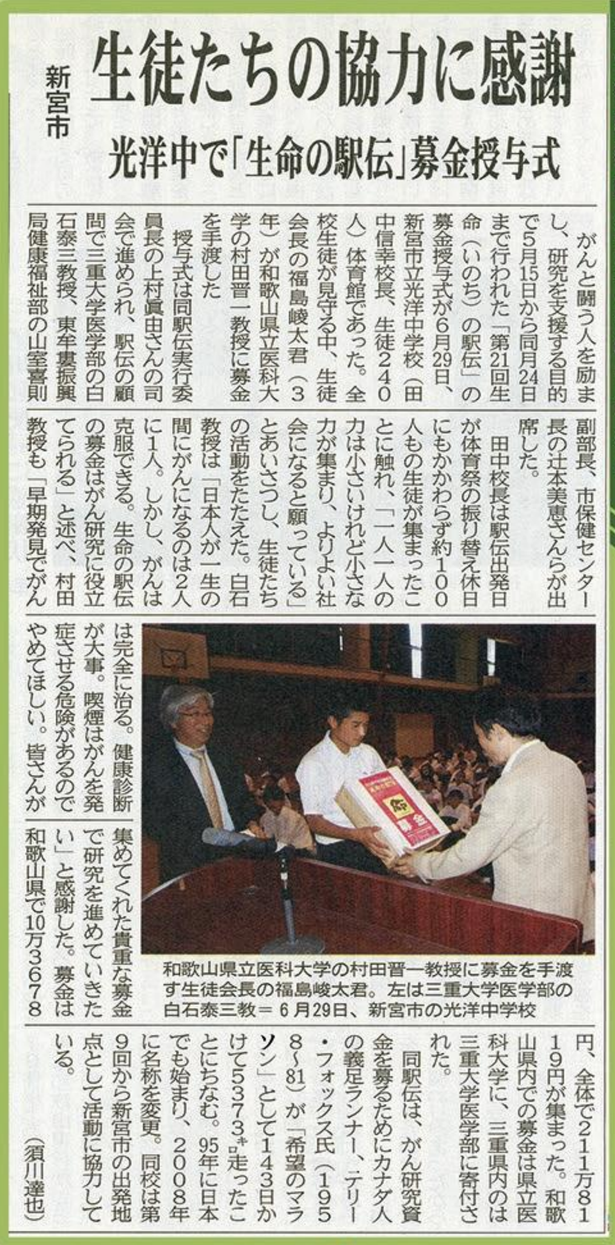
がん研究支援の募金への協力を呼び掛ける第21回生命の駅伝（EKIDEN for LIFE）が今年も5月15日から24日にかけ、和歌山県の一部を含む県内8コースで開かれる。「命」と大書された黄色の旗を手に、コース内の病院や市町役場などを回り、事前に設置した募金箱を回収する恒例のイベント。同実行委員会の上村眞由委員長は「県内では毎年1万2000人が、がんになり、5000人以上が死亡している。研究支援のために一人でも多くの人の力を借りたい」と協力を呼び掛けている。

同駅伝は、がんと闘いながらマラソンで寄付を集めたカナダ人の故テリー・フォックスさんの遺志を尊重し、世界的に続けられた「テリー・フォックス・ラン」が発端。2008年からは名称を変えて行われ、これまでに約2350万円が三重大医学部などに贈られた。

駅伝は伊賀市―名張市民病院（15日）で始まり、志摩市―伊勢神宮内宮（17日）▽市立伊勢総合病院―済生会松阪総合病院（18日）▽和歌山県新宮市立光洋中学校―紀北町の道の駅「マンボー」（19日）▽大紀町役場～松阪市役所（20日）▽桑名東医療センター―鈴鹿回生病院（21日）▽鈴鹿市役所―松阪中央総合病院（22日）▽松阪市飯南林業総合センター―中部台運動公園（23日）――と続く。

最終日の24日は松阪市立野町の中部台運動公園でファイナルイベントを開催。音楽やダンスのステージ企画があるほか、県内各地の物産店が出店する。

また16日には三重大で市民公開講座があり、「がんに対するラジオ波治療と凍
結療法」「がん
最近の進歩につ
講演がある。
同駅伝の参加
0円。命の文字
た特製Tシャツ
00円）も販売
い合わせは同実
98・51・37
開講座の問い合
大付属病院が
（059・23
5）。



日刊熊野新聞 2015年7月3日

新宮市

生徒たちの協力に感謝

光洋中で「生命の駅伝」募金授与式

がんと闘う人を励まし、研究を支援する目的で5月15日から同月24日まで行われた「第21回生命（いのち）の駅伝」の募金授与式が6月29日、新宮市立光洋中学校（田中信幸校長、生徒240人）体育館であった。全校生徒が見守る中、生徒会長の福島峻太君（3年）が和歌山県立医科大学の村田晋一教授に募金を手渡した

授与式は同駅伝実行委員長の上村眞由さんの司会で進められ、駅伝の顧問で三重大学医学部の白石泰三教授、東牟婁振興局健康福祉部の山室喜則副部長、市保健センター長の辻本美恵さんらが出席した。

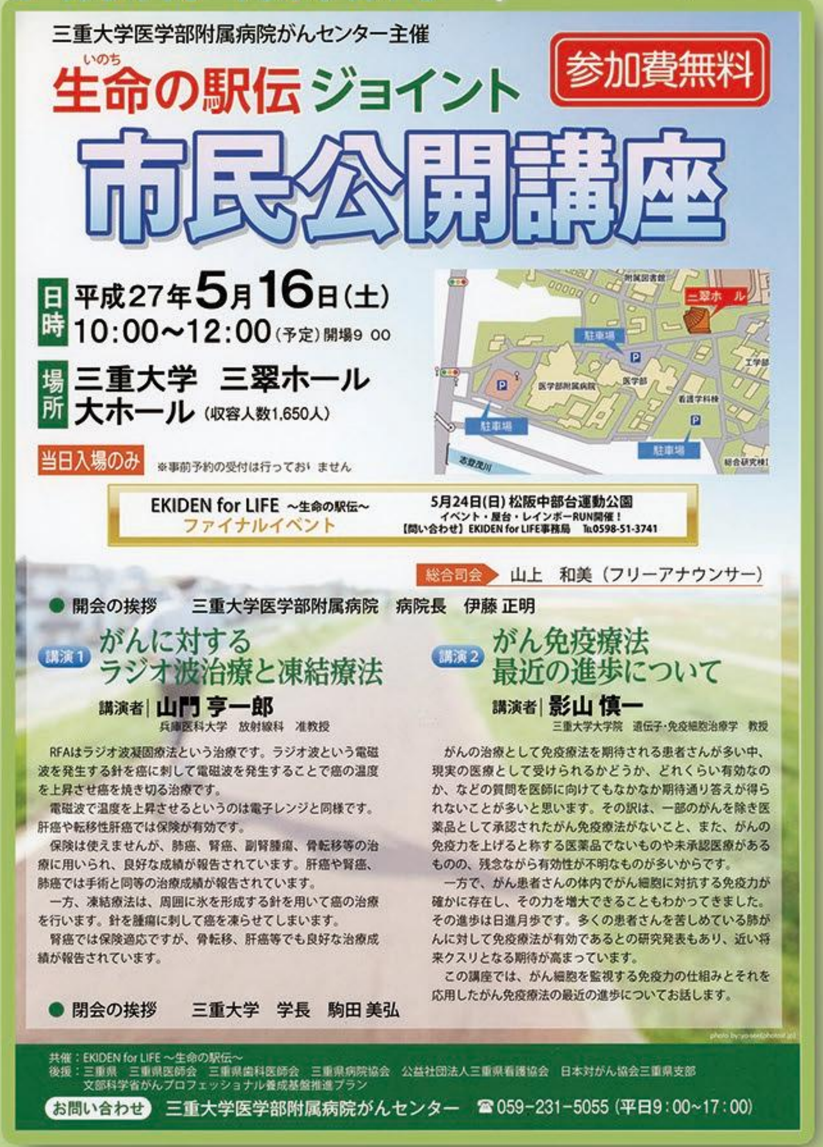
田中校長は駅伝出発日が体育祭の振り替え休日にもかかわらず約100人もの生徒が集まったことに触れ、「一人一人の力は小さいけれど小さな力が集まり、よりよい社会になると願っている」とあいさつし、生徒たちの活動をたたえた。白石教授は「日本人が一生の間にがんになるのは2人に1人。しかし、がんは克服できる。生命の駅伝の募金はがん研究に役立てられる」と述べ、村田教授も「早期発見でがんは完全に治る。健康診断が大事。喫煙はがんを発症させる危険があるのでやめてほしい。皆さんが集めてくれた貴重な募金で研究を進めていきたい」と感謝した。募金は和歌山県で10万3678円、全体で211万819円が集まった。和歌山県内での募金は県立医科大学に、三重県内のは三重大学医学部に寄付された。

和歌山県立医科大学の村田晋一教授に募金を手渡す生徒会長の福島峻太君。左は三重大学医学部の白石泰三教＝6月29日、新宮市の光洋中学校

同駅伝は、がん研究資金を募るためにカナダ人の義足ランナー、テリー・フォックス氏（1958～81）が「希望のマラソン」として143日かけて5373㌔走ったことにちなむ。95年に日本でも始まり、2008年に名称を変更。同校は第9回から新宮市の出発地点として活動に協力している。

（須川達也）

Public lecture



三重大学医学部附属病院がんセンター主催

生命（いのち）の駅伝ジョイント

参加費無料

市民公開講座

日時 平成27年5月16日（土）
10:00～12:00（予定）開場9 00

場所 三重大学　三翠ホール
大ホール（収容人数1,650人）

当日入場のみ　※事前予約の受付は行っておりません

EKIDEN for LIFE ～生命の駅伝～
ファイナルイベント
5月24日(日) 松阪中部台運動公園
イベント・屋台・レインボーRUN開催！
【問い合わせ】EKIDEN for LIFE事務局　TEL0598-51-3741

総合司会　山上　和美（フリーアナウンサー）

● 開会の挨拶　三重大学医学部附属病院　病院長　伊藤 正明

講演1　がんに対する ラジオ波治療と凍結療法

講演者｜**山門 亨一郎**
兵庫医科大学　放射線科　准教授

RFAはラジオ波凝固療法という治療です。ラジオ波という電磁波を発生する針を癌に刺して電磁波を発生することで癌の温度を上昇させ癌を焼き切る治療です。

電磁波で温度を上昇させるというのは電子レンジと同様です。肝癌や転移性肝癌では保険が有効です。

保険は使えませんが、肺癌、腎癌、副腎腫瘍、骨転移等の治療に用いられ、良好な成績が報告されています。肝癌や腎癌、肺癌では手術と同等の治療成績が報告されています。

一方、凍結療法は、周囲に氷を形成する針を用いて癌の治療を行います。針を腫瘍に刺して癌を凍らせてしまいます。

腎癌では保険適応ですが、骨転移、肝癌等でも良好な治療成績が報告されています。

講演2　がん免疫療法 最近の進歩について

講演者｜**影山 慎一**
三重大学大学院　遺伝子・免疫細胞治療学　教授

がんの治療として免疫療法を期待される患者さんが多い中、現実の医療として受けられるかどうか、どれくらい有効なのか、などの質問を医師に向けてもなかなか期待通り答えが得られないことが多いと思います。その訳は、一部のがんを除き医薬品として承認されたがん免疫療法がないこと、また、がんの免疫力を上げると称する医薬品でないものや未承認医療があるものの、残念ながら有効性が不明なものが多いからです。

一方で、がん患者さんの体内でがん細胞に対抗する免疫力が確かに存在し、その力を増大できることもわかってきました。その進歩は日進月歩です。多くの患者さんを苦しめている肺がんに対して免疫療法が有効であるとの研究発表もあり、近い将来クスリとなる期待が高まっています。

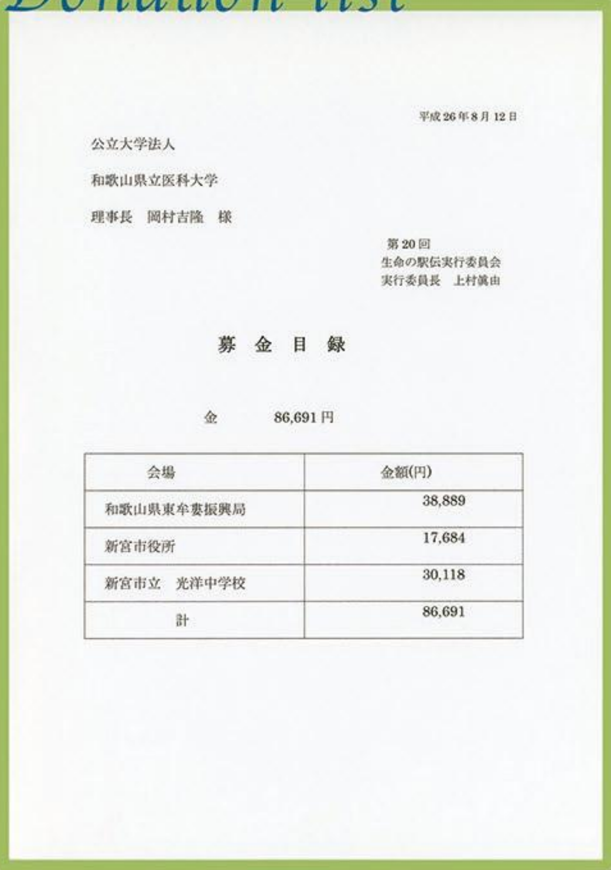
この講座では、がん細胞を監視する免疫力の仕組みとそれを応用したがん免疫療法の最近の進歩についてお話します。

● 閉会の挨拶　三重大学　学長　駒田 美弘

共催：EKIDEN for LIFE ～生命の駅伝～
後援：三重県　三重県医師会　三重県歯科医師会　三重県病院協会　公益社団法人三重県看護協会　日本対がん協会三重県支部
文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

お問い合わせ　三重大学医学部附属病院がんセンター　☎059-231-5055（平日9:00~17:00）

Donation list



平成26年8月12日

公立大学法人
和歌山県立医科大学
理事長　岡村吉隆　様

第20回
生命の駅伝実行委員会
実行委員長　上村眞由

募　金　目　録

金　86,691円

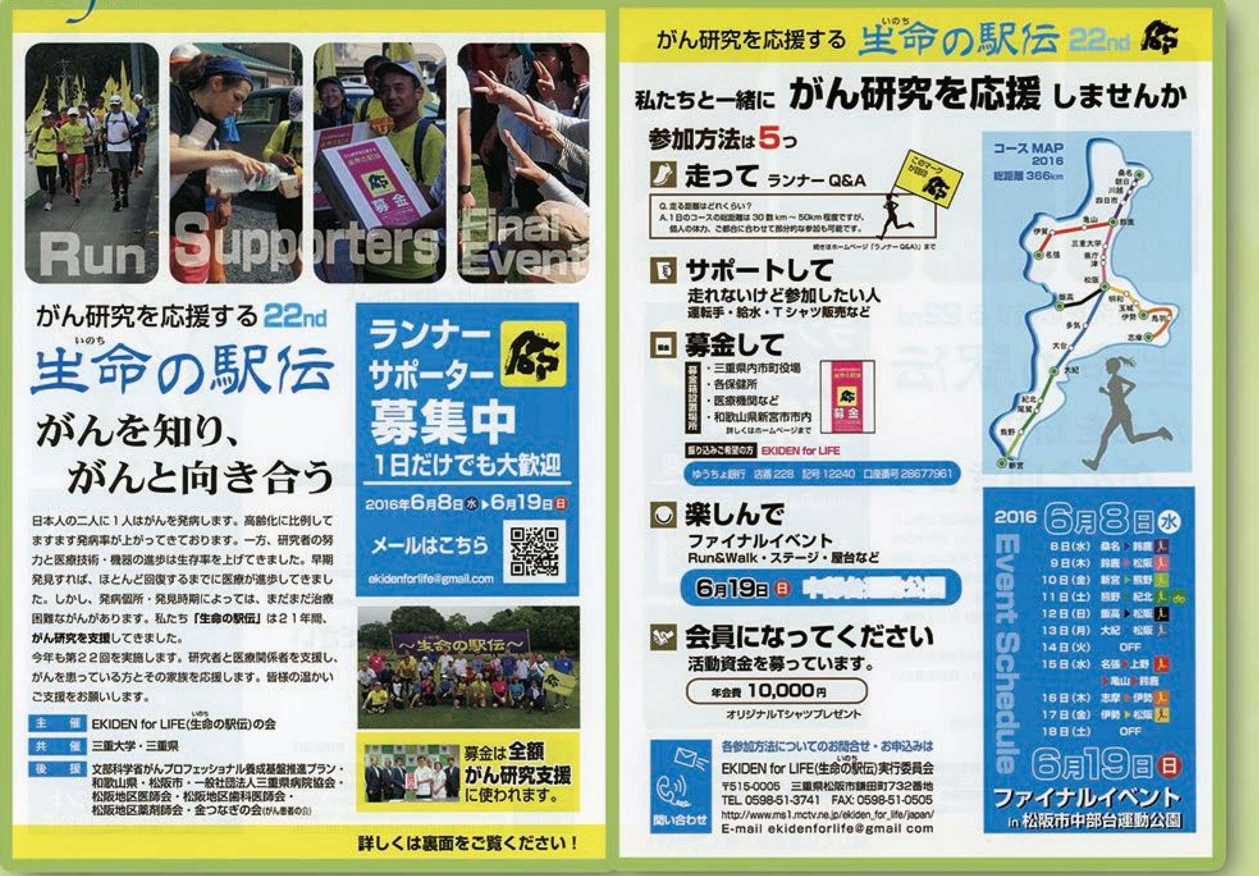
会場	金額(円)
和歌山県東牟婁振興局	38,889
新宮市役所	17,684
新宮市立　光洋中学校	30,118
計	86,691

2015

～生命（いのち）の駅伝～

EKIDEN FOR LIFE

Flyer



Run Supporters Final Event

がん研究を応援する 22nd

生命（いのち）の駅伝

がんを知り、がんと向き合う

日本人の二人に１人はがんを発病します。高齢化に比例してますます発病率が上がってきております。一方、研究者の努力と医療技術・機器の進歩は生存率を上げてきました。早期発見すれば、ほとんど回復するまでに医療が進歩してきました。しかし、発病個所・発見時期によっては、まだまだ治療困難ながんがあります。私たち**「生命の駅伝」**は２１年間、**がん研究を支援**してきました。

今年も第２２回を実施します。研究者と医療関係者を支援し、がんを患っている方とその家族を応援します。皆様の温かいご支援をお願いします。

主催 EKIDEN for LIFE(生命（いのち）の駅伝)の会
共催 三重大学・三重県
後援 文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン・和歌山県・松阪市・一般社団法人三重県病院協会・松阪地区医師会・松阪地区歯科医師会・松阪地区薬剤師会・金つなぎの会（がん患者の会）

ランナー サポーター 募集中
1日だけでも大歓迎
2016年6月8日(水)▶6月19日(日)
メールはこちら
ekidenforlife@gmail.com

～生命の駅伝～

募金は**全額がん研究支援**に使われます。

詳しくは裏面をご覧ください！

がん研究を応援する 生命（いのち）の駅伝 22nd

私たちと一緒に がん研究を応援 しませんか

参加方法は5つ

走って ランナー Q&A

Q.走る距離はどれくらい？
A.１日のコースの総距離は30数km～50km程度ですが、個人の体力、ご都合に合わせて部分的な参加も可能です。

続きはホームページ「ランナーQ&A」まで

サポートして
走れないけど参加したい人
運転手・給水・Tシャツ販売など

募金して
募金箱設置場所
- 三重県内市町役場
- 各保健所
- 医療機関など
- 和歌山県新宮市市内

詳しくはホームページまで

振り込みご希望の方 EKIDEN for LIFE
ゆうちょ銀行 店番228 記号12240 口座番号28677961

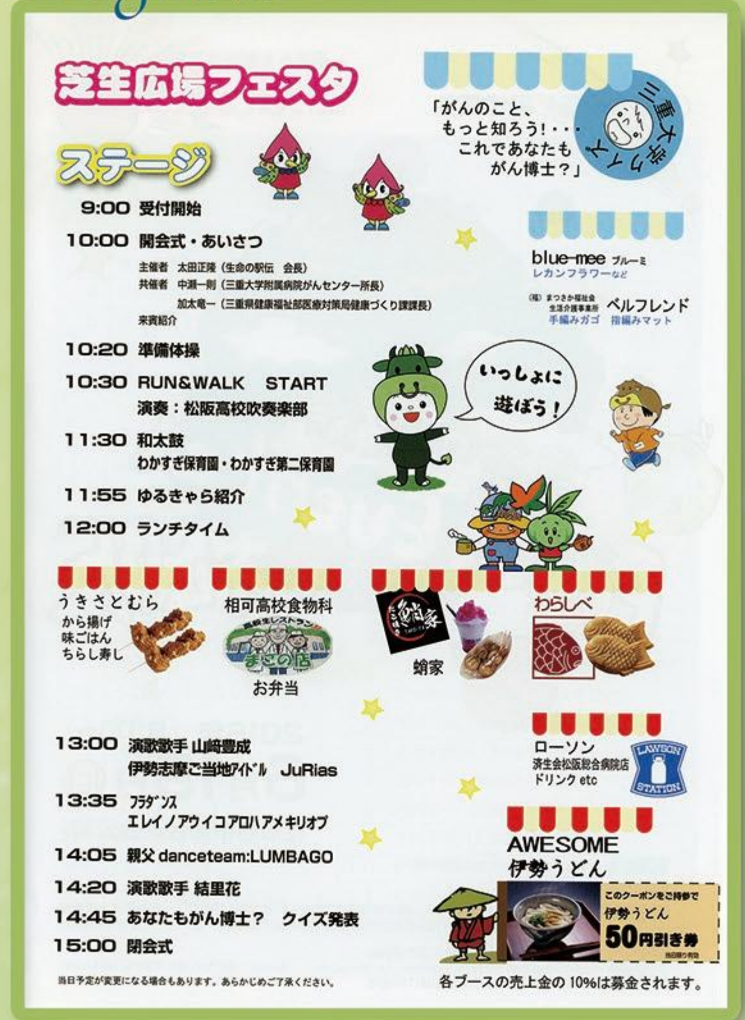
楽しんで
ファイナルイベント
Run&Walk・ステージ・屋台など
6月19日(日) 中部台運動公園

会員になってください
活動資金を募っています。
年会費 10,000円
オリジナルTシャツプレゼント

問い合わせ
各参加方法についてのお問合せ・お申込みは
EKIDEN for LIFE(生命（いのち）の駅伝)実行委員会
〒515-0005 三重県松阪市鎌田町732番地
TEL 0598-51-3741 FAX: 0598-51-0505
http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/japan/
E-mail ekidenforlife@gmail com

2016 6月8日(水)
Event Schedule
8日(水) 桑名▶鈴鹿
9日(木) 鈴鹿▶松阪
10日(金) 新宮▶熊野
11日(土) 熊野▶紀北
12日(日) 飯高▶松阪
13日(月) 大紀 松阪
14日(火) OFF
15日(水) 名張▶上野▶亀山▶鈴鹿
16日(木) 志摩▶伊勢
17日(金) 伊勢▶松阪
18日(土) OFF
6月19日(日)
ファイナルイベント
in 松阪市中部台運動公園

Program



芝生広場フェスタ

ステージ

9:00 受付開始
10:00 開会式・あいさつ
主催者 太田正隆（生命の駅伝 会長）
共催者 中瀬一則（三重大学附属病院がんセンター所長）
加太竜一（三重県健康福祉部医療対策局健康づくり課課長）
来賓紹介
10:20 準備体操
10:30 RUN&WALK START
演奏：松阪高校吹奏楽部
11:30 和太鼓
わかすぎ保育園・わかすぎ第二保育園
11:55 ゆるきゃら紹介
12:00 ランチタイム
13:00 演歌歌手 山崎豊成
伊勢志摩ご当地ｱｲﾄﾞﾙ JuRias
13:35 ﾌﾗﾀﾞﾝｽ
エレイノアウイコアロハアメキリオブ
14:05 親父 danceteam:LUMBAGO
14:20 演歌歌手 結里花
14:45 あなたもがん博士？ クイズ発表
15:00 閉会式

三重大学ブース
「がんのこと、もっと知ろう！・・・これであなたもがん博士？」

blue-mee ブルーミ
レカンフラワーなど

(福)まつさか福祉会 生活介護事業所 ベルフレンド
手編みカゴ 指編みマット

うきさとむら
から揚げ
味ごはん
ちらし寿し

相可高校食物科
お弁当

蛸家

わらしべ

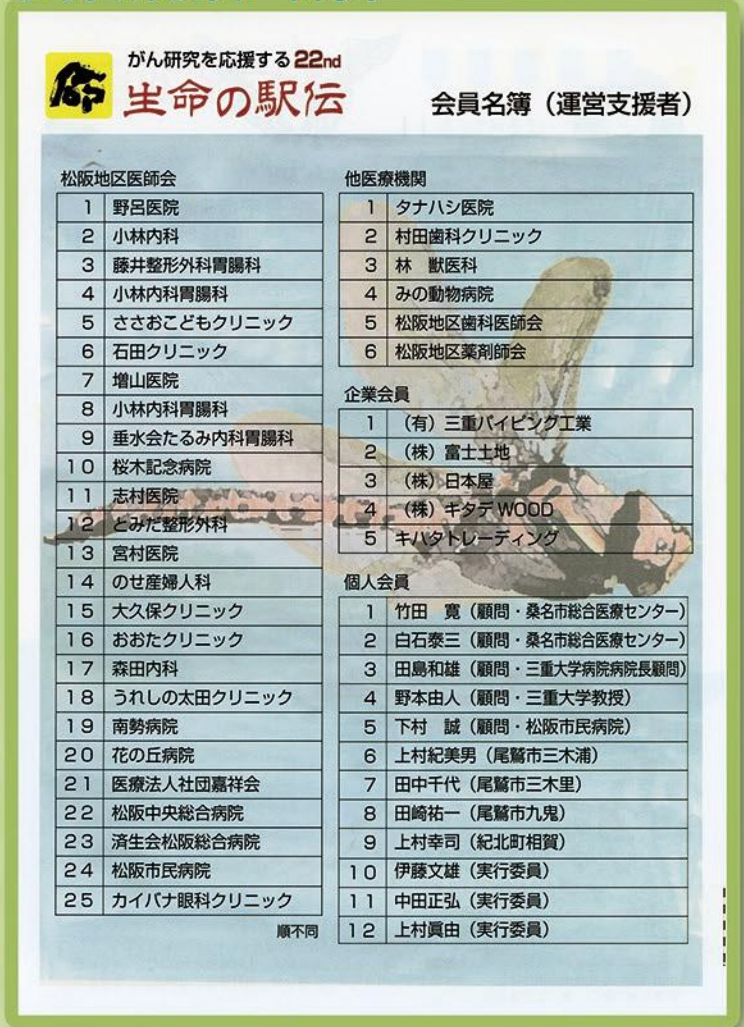
ローソン
済生会松阪総合病院店
ドリンク etc

AWESOME
伊勢うどん
このクーポンをご持参で
伊勢うどん
50円引き券
当日限り有効

当日予定が変更になる場合もあります。あらかじめご了承ください。

各ブースの売上金の 10%は募金されます。

Member list



がん研究を応援する 22nd 生命の駅伝

会員名簿（運営支援者）

松阪地区医師会

1	野呂医院
2	小林内科
3	藤井整形外科胃腸科
4	小林内科胃腸科
5	ささおこどもクリニック
6	石田クリニック
7	増山医院
8	小林内科胃腸科
9	垂水会たるみ内科胃腸科
10	桜木記念病院
11	志村医院
12	とみだ整形外科
13	宮村医院
14	のせ産婦人科
15	大久保クリニック
16	おおたクリニック
17	森田内科
18	うれしの太田クリニック
19	南勢病院
20	花の丘病院
21	医療法人社団嘉祥会
22	松阪中央総合病院
23	済生会松阪総合病院
24	松阪市民病院
25	カイバナ眼科クリニック

順不同

他医療機関

1	タナハシ医院
2	村田歯科クリニック
3	林　獣医科
4	みの動物病院
5	松阪地区歯科医師会
6	松阪地区薬剤師会

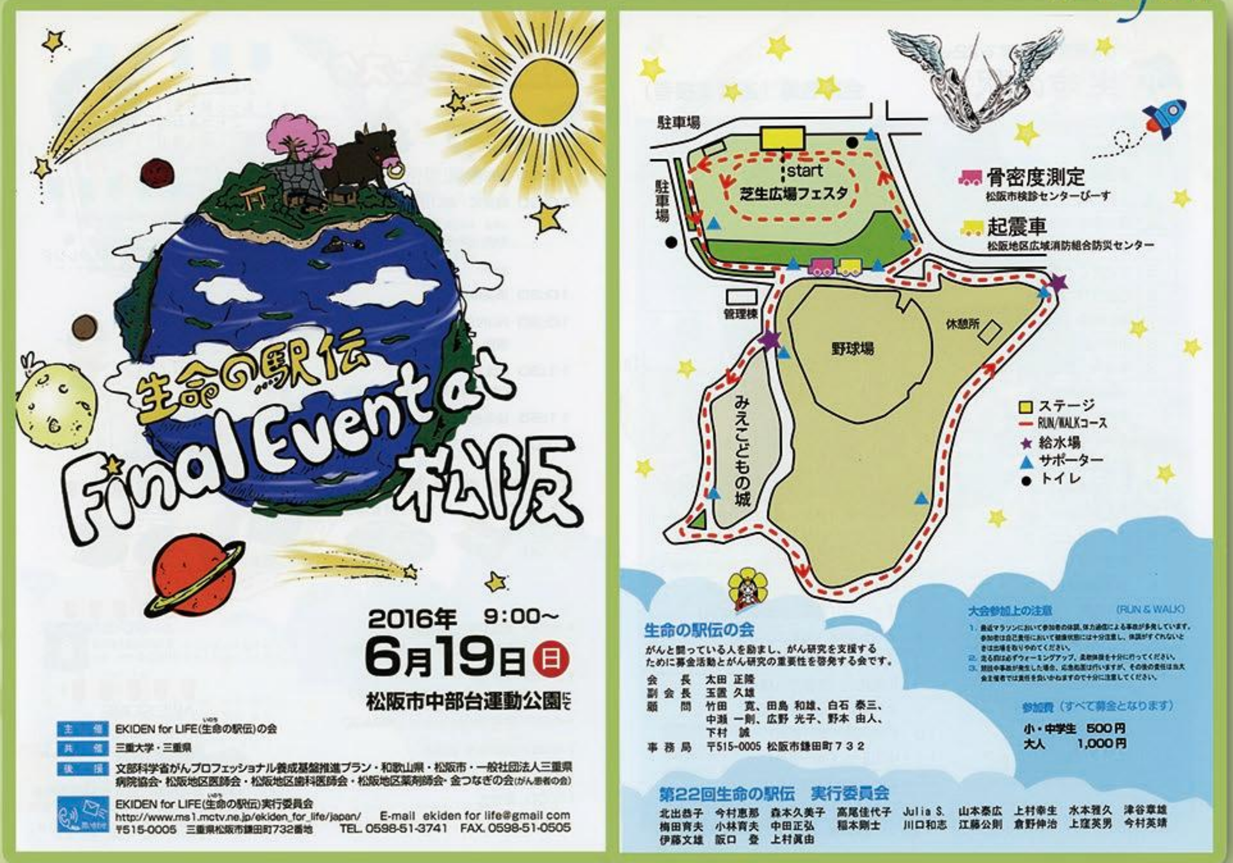
企業会員

1	（有）三重パイピング工業
2	（株）富士土地
3	（株）日本屋
4	（株）キタデWOOD
5	キハタトレーディング

個人会員

1	竹田　寛（顧問・桑名市総合医療センター）
2	白石泰三（顧問・桑名市総合医療センター）
3	田島和雄（顧問・三重大学病院病院長顧問）
4	野本由人（顧問・三重大学教授）
5	下村　誠（顧問・松阪市民病院）
6	上村紀美男（尾鷲市三木浦）
7	田中千代（尾鷲市三木里）
8	田崎祐一（尾鷲市九鬼）
9	上村幸司（紀北町相賀）
10	伊藤文雄（実行委員）
11	中田正弘（実行委員）
12	上村眞由（実行委員）

Flyer



生命の駅伝 Final Event at 松阪

2016年 9:00～
6月19日(日)
松阪市中部台運動公園にて

主催 EKIDEN for LIFE(生命（いのち）の駅伝)の会
共催 三重大学・三重県
後援 文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン・和歌山県・松阪市・一般社団法人三重県病院協会・松阪地区医師会・松阪地区歯科医師会・松阪地区薬剤師会・金つなぎの会（がん患者の会）

問い合わせ
EKIDEN for LIFE(生命（いのち）の駅伝)実行委員会
http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/japan/ E-mail ekiden for life@gmail com
〒515-0005 三重県松阪市鎌田町732番地 TEL 0598-51-3741 FAX 0598-51-0505

駐車場
駐車場
start
芝生広場フェスタ
管理棟
野球場
休憩所
みえこどもの城

骨密度測定
松阪市検診センターぴーす

起震車
松阪地区広域消防組合防災センター

□ ステージ
― RUN/WALKコース
★ 給水場
▲ サポーター
● トイレ

生命の駅伝の会

がんと闘っている人を励まし、がん研究を支援するために募金活動とがん研究の重要性を啓発する会です。

会長 太田 正隆
副会長 玉置 久雄
顧問 竹田 寛、田島 和雄、白石 泰三、中瀬 一則、広野 光子、野本 由人、下村 誠
事務局 〒515-0005 松阪市鎌田町７３２

大会参加上の注意 (RUN & WALK)

1. 最近マラソンにおいて参加者の体調、体力過信による事故が多発しています。参加者は自己責任において健康状態には十分注意し、体調がすぐれないときは出場を取りやめてください。
2. 走る前は必ずウォーミングアップ、柔軟体操を十分に行ってください。
3. 競技中事故が発生した場合、応急処置は行いますが、その後の責任は当大会主催者では責任を負いかねますので十分に注意してください。

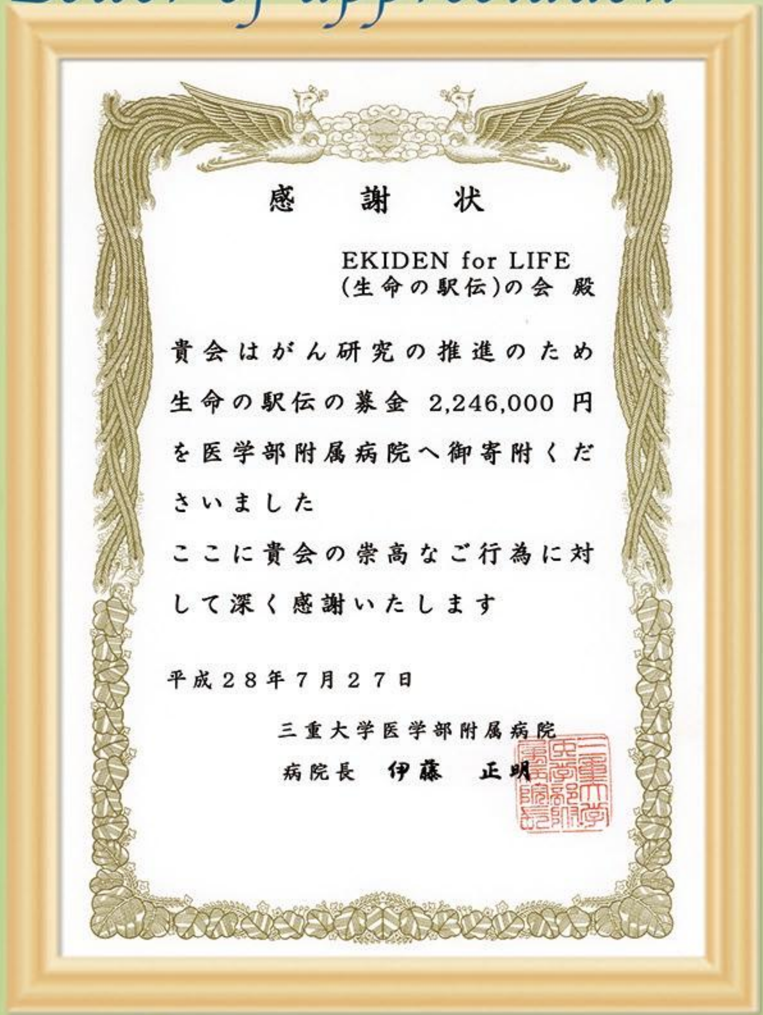
参加費（すべて募金となります）

小・中学生	500円
大人	1,000円

第22回生命の駅伝 実行委員会

北出恭子 今村恵那 森本久美子 高尾佳代子 Julia S. 山本泰広 上村幸生 水本雅久 津谷章雄
梅田育夫 小林育夫 中田正弘 稲本剛士 川口和志 江藤公則 倉野伸治 上窪英男 今村英靖
伊藤文雄 阪口 登 上村眞由

Letter of appreciation



感謝状

EKIDEN for LIFE
(生命の駅伝)の会 殿

貴会はがん研究の推進のため
生命の駅伝の募金 2,246,000 円
を医学部附属病院へ御寄附くだ
さいました
ここに貴会の崇高なご行為に対
して深く感謝いたします

平成２８年７月２７日

三重大学医学部附属病院
病院長 伊藤 正明

2016

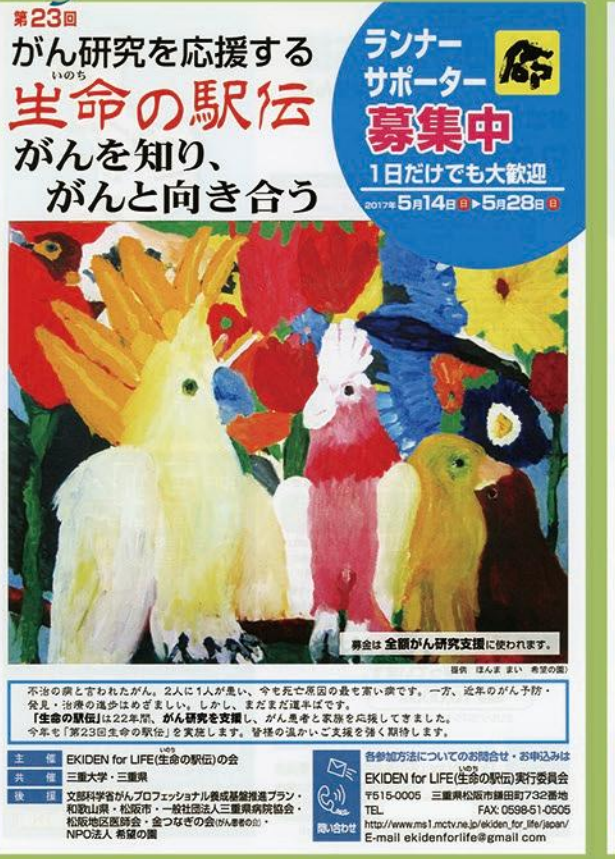
23

〜生命（いのち）の駅伝〜

EKIDEN FOR LIFE

2017

Flyer


第23回

がん研究を応援する

生命（いのち）の駅伝

がんを知り、
がんと向き合う

ランナー
サポーター
募集中

1日だけでも大歓迎

2017年5月14日㊐▶5月28日㊐

募金は **全額がん研究支援**に使われます。

提供　ほんま まい　希望の園）

不治の病と言われたがん。2人に1人が患い、今も死亡原因の最も高い病です。一方、近年のがん予防・発見・治療の進歩はめざましい。しかし、まだまだ道半ばです。
「生命の駅伝」は22年間、**がん研究を支援**し、がん患者と家族を応援してきました。
今年も「第23回生命の駅伝」を実施します。皆様の温かいご支援を強く期待します。

主　催	EKIDEN for LIFE（生命（いのち）の駅伝）の会
共　催	三重大学・三重県
後　援	文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン・和歌山県・松阪市・一般社団法人三重県病院協会・松阪地区医師会・金つなぎの会（がん患者の会）・NPO法人 希望の園

問い合わせ

各参加方法についてのお問合せ・お申込みは

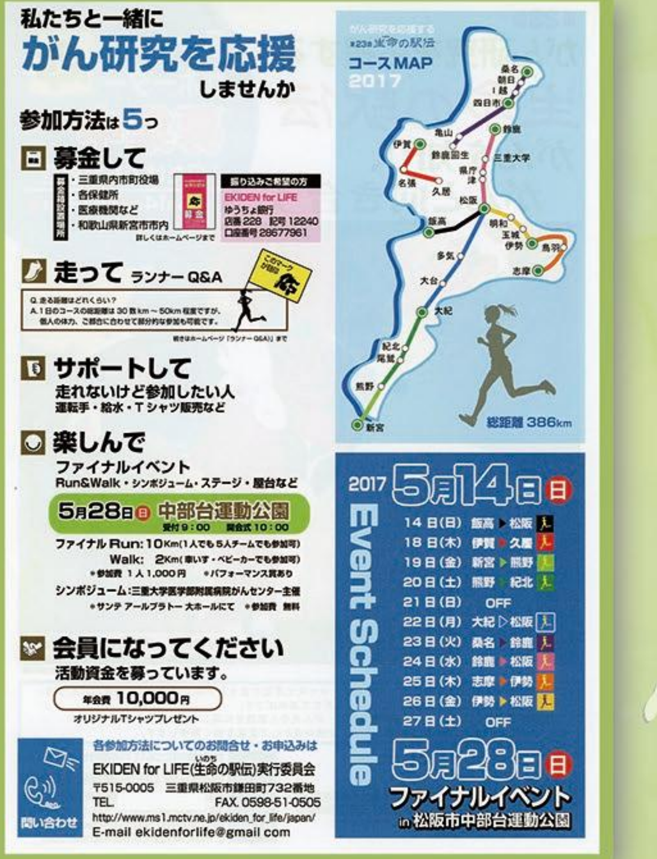
EKIDEN for LIFE（生命（いのち）の駅伝）実行委員会

〒515-0005　三重県松阪市鎌田町732番地

TEL.　FAX: 0598-51-0505

http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/japan/

E-mail ekidenforlife@gmail com


私たちと一緒に

がん研究を応援しませんか

参加方法は5つ

募金して

募金箱設置場所
- 三重県内市町役場
- 各保健所
- 医療機関など
- 和歌山県新宮市市内

詳しくはホームページまで

振り込みご希望の方
EKIDEN for LIFE
ゆうちょ銀行
店番228　記号12240
口座番号28677961

走って　ランナー Q&A

Q.走る距離はどれくらい？
A.1日のコースの総距離は30数km〜50km程度ですが、個人の体力、ご都合に合わせて部分的な参加も可能です。

続きはホームページ「ランナー Q&A」まで

サポートして

走れないけど参加したい人
運転手・給水・Tシャツ販売など

楽しんで

ファイナルイベント
Run&Walk・シンポジューム・ステージ・屋台など

5月28日㊐ 中部台運動公園
受付9:00　開会式10:00

ファイナル Run: 10Km（1人でも5人チームでも参加可）
Walk: 2Km（車いす・ベビーカーでも参加可）
＊参加費 1人1,000円　＊パフォーマンス賞あり

シンポジューム：三重大学医学部附属病院がんセンター主催
＊サンテ アールプラトー 大ホールにて　＊参加費 無料

会員になってください

活動資金を募っています。

年会費 10,000円

オリジナルTシャツプレゼント

問い合わせ

各参加方法についてのお問合せ・お申込みは

EKIDEN for LIFE（生命（いのち）の駅伝）実行委員会

〒515-0005　三重県松阪市鎌田町732番地

TEL.　FAX. 0598-51-0505

http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/japan/

E-mail ekidenforlife@gmail com

Event Schedule

2017 5月14日㊐

14日（日）	飯高 ▶ 松阪
18日（木）	伊賀 ▶ 久居
19日（金）	新宮 ▶ 熊野
20日（土）	熊野 ▶ 紀北
21日（日）	OFF
22日（月）	大紀 ▷ 松阪
23日（火）	桑名 ▶ 鈴鹿
24日（水）	鈴鹿 ▶ 松阪
25日（木）	志摩 ▶ 伊勢
26日（金）	伊勢 ▶ 松阪
27日（土）	OFF

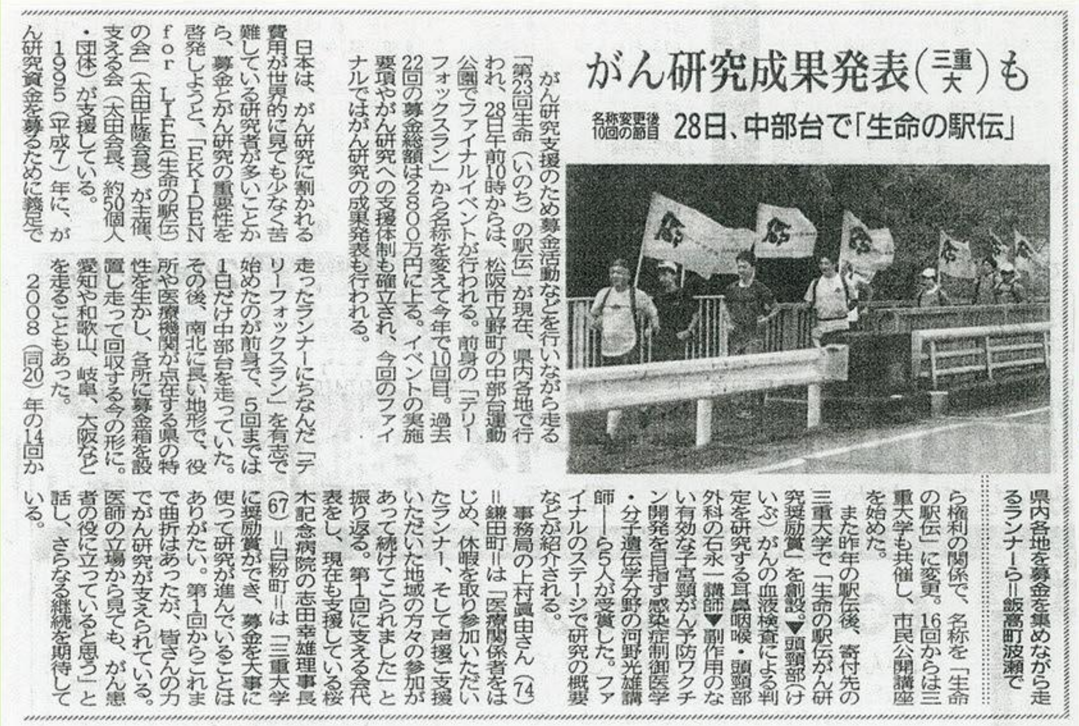
5月28日㊐

ファイナルイベント

in 松阪市中部台運動公園

Newspaper article

夕刊三重　2017年5月15日


がん研究成果発表（三重大）も

名称変更後10回の節目　28日、中部台で「生命の駅伝」

がん研究支援のため募金活動などを行いながら走る「第23回生命（いのち）の駅伝」が現在、県内各地で行われ、28日午前10時からは、松阪市立野町の中部台運動公園でファイナルイベントが行われる。前身の「テリーフォックスラン」から名称を変えて今年で10回目。過去22回の募金総額は2800万円に上る。イベントの実施要項やがん研究への支援体制も確立され、今回のファイナルではがん研究の成果発表も行われる。

日本は、がん研究に割かれる費用が世界的に見ても少なく苦難している研究者が多いことから、募金とがん研究の重要性を啓発しようと、「EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）の会」（大田正隆会長）が主催、支える会（大田会長、約50個人・団体）が支援している。

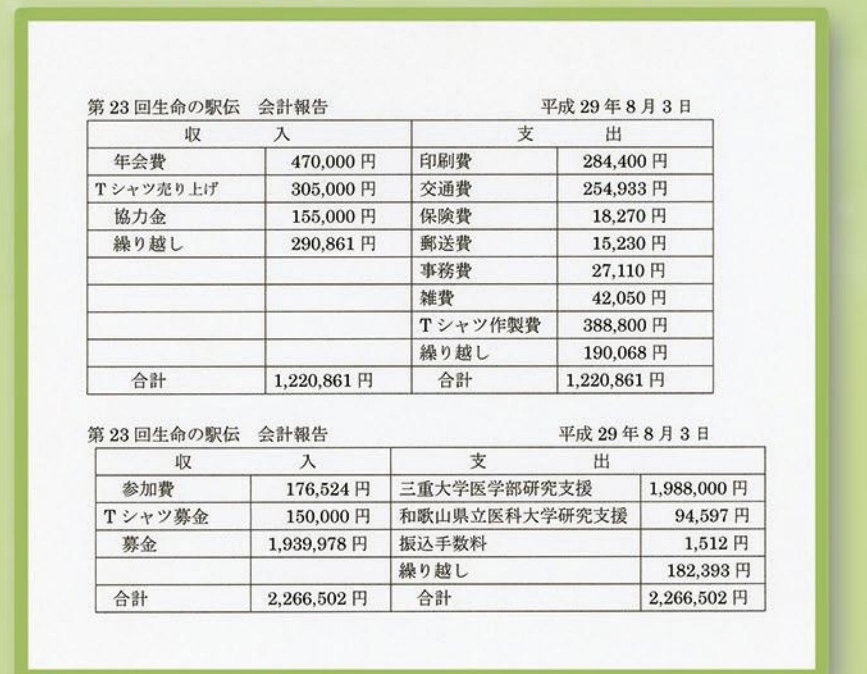
1995（平成7）年に、がん研究資金を募るために義足で走ったランナーにちなんだ「テリーフォックスラン」を有志で始めたのが前身で、5回までは1日だけ中部台を走っていた。その後、南北に長い地形で、役所や医療機関が点在する県の特性を生かし、各所に募金箱を設置し走って回収する今の形に。愛知や和歌山、岐阜、大阪などを走ることもあった。

2008（同20）年の14回から権利の関係で、名称を「生命の駅伝」に変更。16回からは三重大学も共催し、市民公開講座を始めた。

また昨年の駅伝後、寄付先の三重大学で「生命の駅伝がん研究奨励賞」を創設。▼頭頸部（けいぶ）がんの血液検査による判定を研究する耳鼻咽喉・頭頸部外科の石永一講師▼副作用のない有効な子宮頸がん予防ワクチン開発を目指す感染症制御医学・分子遺伝学分野の河野光雄講師――ら5人が受賞した。ファイナルのステージで研究の概要などが紹介される。

事務局の上村眞由さん（74）＝鎌田町＝は「医療関係者をはじめ、休暇を取り参加いただいたランナー、そして声援ご支援いただいた地域の方々の参加があって続けてこられました」と振り返る。第1回に支える会代表をし、現在も支援している桜木記念病院の志田幸雄理事長（67）＝白粉町＝は「三重大学に奨励賞ができ、募金を大事に使って研究が進んでいることはありがたい。第1回からこれまで曲折はあったが、皆さんの力でがん研究が支えられている。医師の立場から見ても、がん患者の役に立っていると思う」と話し、さらなる継続を期待している。

県内各地を募金を集めながら走るランナーら＝飯高町波瀬で


第23回生命の駅伝　会計報告　　平成29年8月3日

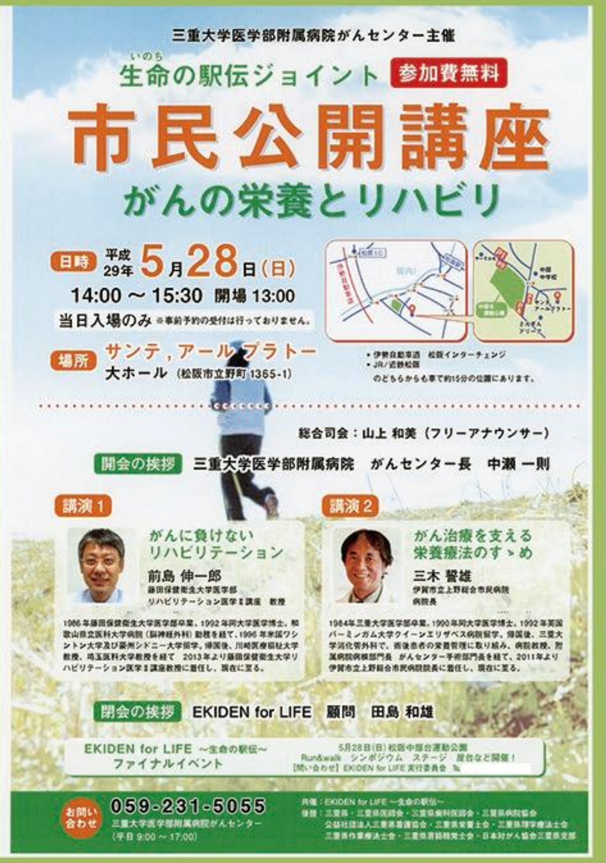
収	入	支	出
年会費	470,000円	印刷費	284,400円
Tシャツ売り上げ	305,000円	交通費	254,933円
協力金	155,000円	保険費	18,270円
繰り越し	290,861円	郵送費	15,230円
		事務費	27,110円
		雑費	42,050円
		Tシャツ作製費	388,800円
		繰り越し	190,068円
合計	1,220,861円	合計	1,220,861円

第23回生命の駅伝　会計報告　　平成29年8月3日

収	入	支	出
参加費	176,524円	三重大学医学部研究支援	1,988,000円
Tシャツ募金	150,000円	和歌山県立医科大学研究支援	94,597円
募金	1,939,978円	振込手数料	1,512円
		繰り越し	182,393円
合計	2,266,502円	合計	2,266,502円

Accounting report

Public lecture


三重大学医学部附属病院がんセンター主催

生命（いのち）の駅伝ジョイント　参加費無料

市民公開講座

がんの栄養とリハビリ

日時　平成29年5月28日（日）
14:00 〜 15:30　開場 13:00
当日入場のみ ※事前予約の受付は行っておりません。

場所　サンテ，アール プラトー
大ホール（松阪市立野町 1365-1）

- 伊勢自動車道　松阪インターチェンジ
- JR/近鉄松阪

のどちらからも車で約15分の位置にあります。

総合司会：山上 和美（フリーアナウンサー）

開会の挨拶　三重大学医学部附属病院　がんセンター長　中瀬 一則

講演1

がんに負けないリハビリテーション

前島 伸一郎
藤田保健衛生大学医学部
リハビリテーション医学Ⅱ講座　教授

1986年藤田保健衛生大学医学部卒業。1992年同大学医学博士。和歌山県立医科大学病院（脳神経外科）勤務を経て、1996年米国ワシントン大学及び豪州シドニー大学留学。帰国後、川崎医療福祉大学教授、埼玉医科大学教授を経て　2013年より藤田保健衛生大学リハビリテーション医学Ⅱ講座教授に着任し、現在に至る。

講演2

がん治療を支える栄養療法のすゝめ

三木 誓雄
伊賀市立上野総合市民病院
病院長

1984年三重大学医学部卒業。1990年同大学医学博士。1992年英国バーミンガム大学クイーンエリザベス病院留学。帰国後、三重大学消化管外科で、術後患者の栄養管理に取り組み、病院教授、附属病院病棟部門長　がんセンター手術部門長を経て、2011年より伊賀市立上野総合市民病院院長に着任し、現在に至る。

閉会の挨拶　EKIDEN for LIFE　顧問　田島 和雄

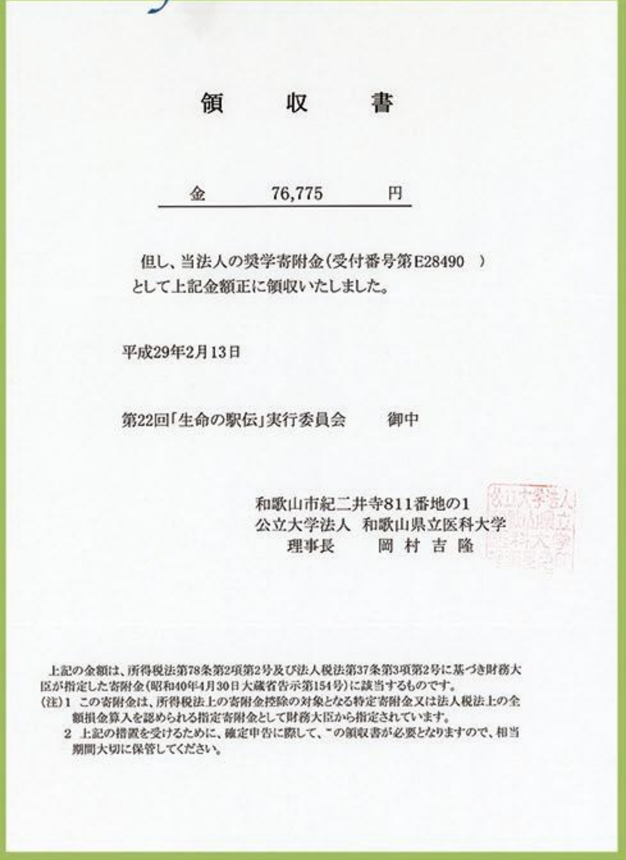
EKIDEN for LIFE 〜生命の駅伝〜
ファイナルイベント

5月28日（日）松阪中部台運動公園
Run&walk　シンポジウム　ステージ　屋台など開催！
【問い合わせ】EKIDEN for LIFE 実行委員会 ℡ [redacted]

お問い合わせ　059-231-5055
三重大学医学部附属病院がんセンター
（平日 9:00 〜 17:00）

共催：EKIDEN for LIFE 〜生命の駅伝〜
後援：三重県・三重県医師会・三重県歯科医師会・三重県病院協会
公益社団法人三重県看護協会・三重県栄養士会・三重県理学療法士会
三重県作業療法士会・三重県言語聴覚士会・日本対がん協会三重県支部

Receipt


領　収　書

金　76,775　円

但し、当法人の奨学寄附金（受付番号第E28490　）
として上記金額正に領収いたしました。

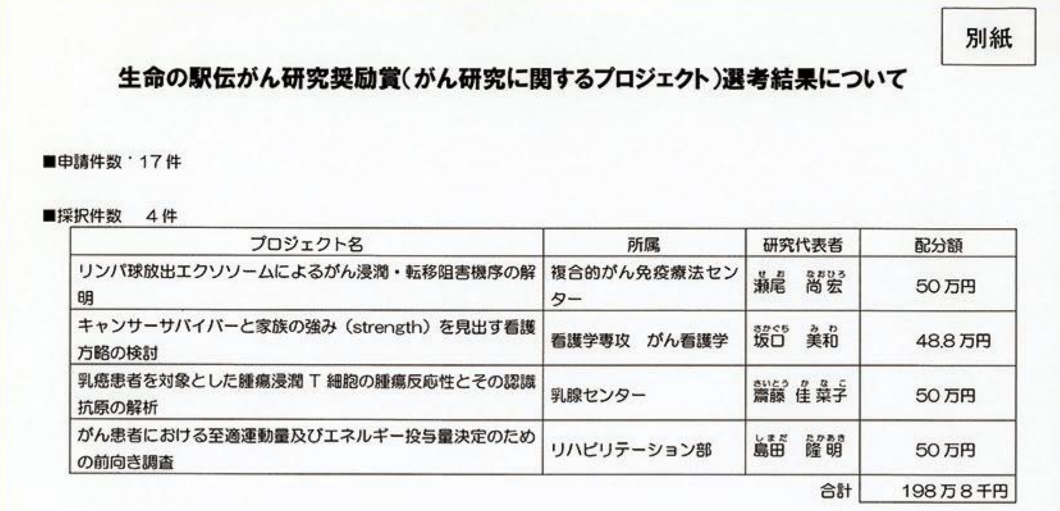
平成29年2月13日

第22回「生命の駅伝」実行委員会　御中

和歌山市紀三井寺811番地の1
公立大学法人　和歌山県立医科大学
理事長　岡 村 吉 隆

上記の金額は、所得税法第78条第2項第2号及び法人税法第37条第3項第2号に基づき財務大臣が指定した寄附金（昭和40年4月30日大蔵省告示第154号）に該当するものです。
（注）1　この寄附金は、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金又は法人税法上の全額損金算入を認められる指定寄附金として財務大臣から指定されています。
2　上記の措置を受けるために、確定申告に際して、"の領収書が必要となりますので、相当期間大切に保管してください。

Selection results


別紙

生命の駅伝がん研究奨励賞（がん研究に関するプロジェクト）選考結果について

■申請件数 ' 17件

■採択件数　4件

プロジェクト名	所属	研究代表者	配分額
リンパ球放出エクソソームによるがん浸潤・転移阻害機序の解明	複合的がん免疫療法センター	瀬尾（せお）　尚宏（なおひろ）	50万円
キャンサーサバイバーと家族の強み（strength）を見出す看護方略の検討	看護学専攻　がん看護学	坂口（さかぐち）　美和（みわ）	48.8万円
乳癌患者を対象とした腫瘍浸潤T細胞の腫瘍反応性とその認識抗原の解析	乳腺センター	齋藤（さいとう）　佳菜子（かなこ）	50万円
がん患者における至適運動量及びエネルギー投与量決定のための前向き調査	リハビリテーション部	島田（しまだ）　隆明（たかあき）	50万円
		合計	198万8千円

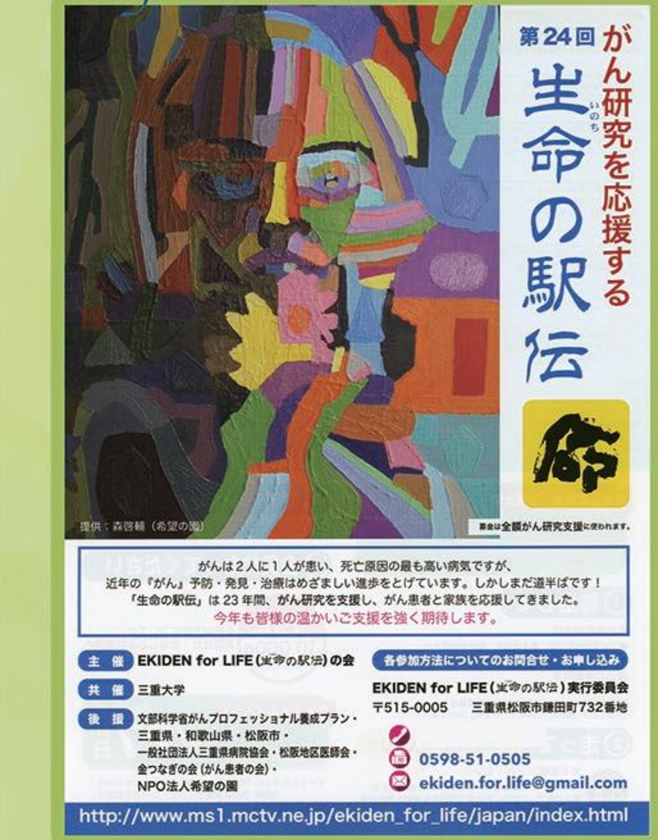
24

～生命（いのち）の駅伝～

EKIDEN FOR LIFE

2018

Flyer



第24回 がん研究を応援する

生命（いのち）の駅伝

提供：森啓輔（希望の園）

募金は全額がん研究支援に使われます。

がんは２人に１人が患い、死亡原因の最も高い病気ですが、
近年の『がん』予防・発見・治療はめざましい進歩をとげています。しかしまだ道半ばです！
「生命の駅伝」は 23 年間、がん研究を支援し、がん患者と家族を応援してきました。
今年も皆様の温かいご支援を強く期待します。

主催 EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）の会

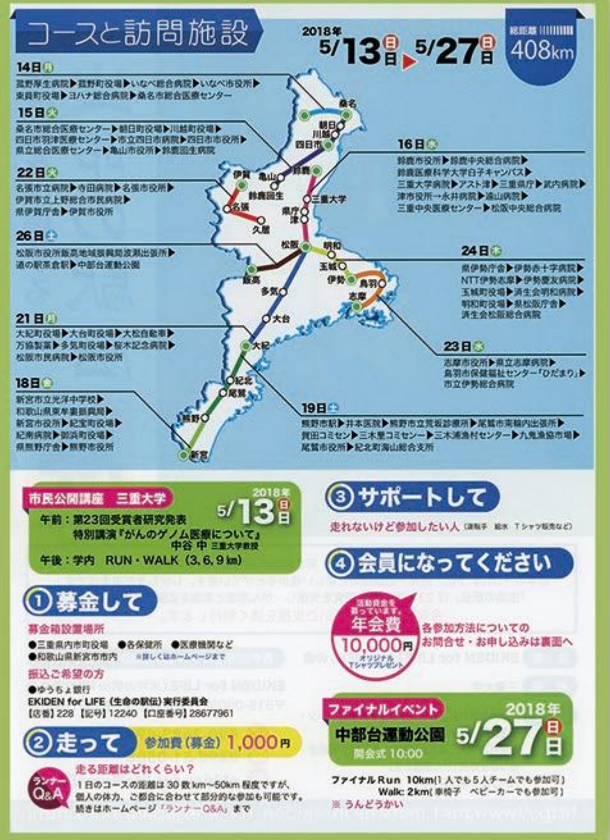
共催 三重大学

後援 文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン・三重県・和歌山県・松阪市・一般社団法人三重県病院協会・松阪地区医師会・金つなぎの会（がん患者の会）・NPO法人希望の園

各参加方法についてのお問合せ・お申し込み

EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）実行委員会
〒515-0005　三重県松阪市鎌田町732番地
0598-51-0505
ekiden.for.life@gmail.com

http://www.ms1.mctv.ne.jp/ekiden_for_life/japan/index.html



コースと訪問施設

2018年 5/13（日）▶5/27（日）

総距離 408km

14日（月）
菰野厚生病院▶菰野町役場▶いなべ総合病院▶いなべ市役所▶東員町役場▶ヨナハ総合病院▶桑名市総合医療センター

15日（火）
桑名市総合医療センター▶朝日町役場▶川越町役場▶四日市羽津医療センター▶市立四日市病院▶四日市市役所▶県立総合医療センター▶亀山市役所▶鈴鹿回生病院

16日（水）
鈴鹿市役所▶鈴鹿中央総合病院▶鈴鹿医療科学大学白子キャンパス▶三重大学病院▶アスト津▶三重県庁▶武内病院▶津市役所→永井病院▶遠山病院▶三重中央医療センター▶松阪中央総合病院

18日（金）
新宮市立光洋中学校▶和歌山県東牟婁振興局▶新宮市役所▶紀宝町役場▶紀南病院▶御浜町役場▶県熊野庁舎▶熊野市役所

19日（土）
熊野市駅▶井本医院▶熊野市立荒坂診療所▶尾鷲市南輪内出張所▶賀田コミセン▶三木里コミセン▶三木浦漁村センター▶九鬼漁協市場▶尾鷲市役所▶紀北町海山総合支所

21日（月）
大紀町役場▶大台町役場▶大台自動車▶万協製薬▶多気町役場▶桜木記念病院▶松阪市民病院▶松阪市役所

22日（火）
名張市立病院▶寺田病院▶名張市役所▶伊賀市立上野総合市民病院▶県伊賀庁舎▶伊賀市役所

23日（水）
志摩市役所▶県立志摩病院▶鳥羽市保健福祉センター「ひだまり」▶市立伊勢総合病院

24日（木）
県伊勢庁舎▶伊勢赤十字病院▶NTT伊勢志摩▶伊勢慶友病院▶玉城町役場▶済生会明和病院▶明和町役場▶県松阪庁舎▶済生会松阪総合病院

26日（土）
松阪市役所飯高地域振興局波瀬出張所▶道の駅茶倉駅▶中部台運動公園

市民公開講座　三重大学　2018年 5/13（日）
午前：第23回受賞者研究発表
特別講演『がんのゲノム医療について』
中谷 中 三重大学教授
午後：学内　RUN・WALK（3, 6, 9 km）

①募金して
募金箱設置場所
●三重県内市町役場　●各保健所　●医療機関など
●和歌山県新宮市市内　※詳しくはホームページまで
振込ご希望の方
●ゆうちょ銀行
EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）実行委員会
【店番】228 【記号】12240 【口座番号】28677961

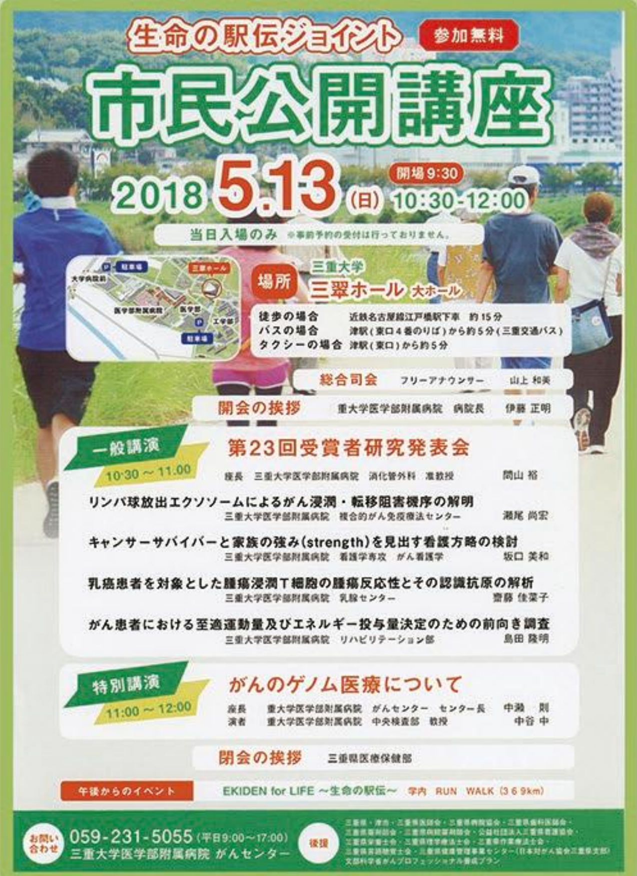
②走って　参加費（募金）1,000円
ランナーQ&A
走る距離はどれくらい？
1日のコースの距離は 30 数 km～50km 程度ですが、個人の体力、ご都合に合わせて部分的な参加も可能です。
続きはホームページ「ランナーQ&A」まで

③サポートして
走れないけど参加したい人（運転手　給水　Tシャツ販売など）

④会員になってください
活動資金を募っています。
年会費 10,000円
オリジナルTシャツプレゼント
各参加方法についてのお問合せ・お申し込みは裏面へ

ファイナルイベント　2018年
中部台運動公園　5/27（日）
開会式 10:00
ファイナルRun 10km（1人でも5人チームでも参加可）
Walk: 2km（車椅子　ベビーカーでも参加可）
※ うんどうかい

Public lecture



生命の駅伝ジョイント　参加無料

市民公開講座

2018 5.13（日）10:30-12:00　開場 9:30

当日入場のみ　※事前予約の受付は行っておりません。

駐車場
大学病院前
三翠ホール
医学部附属病院
医学部
工学部
駐車場

場所　三重大学　三翠ホール 大ホール

徒歩の場合　近鉄名古屋線江戸橋駅下車　約15分
バスの場合　津駅（東口４番のりば）から約５分（三重交通バス）
タクシーの場合　津駅（東口）から約５分

総合司会　フリーアナウンサー　山上 和美

開会の挨拶　重大学医学部附属病院　病院長　伊藤 正明

一般講演 10:30 ～ 11:00
第23回受賞者研究発表会
座長　三重大学医学部附属病院　消化管外科　准教授　問山 裕

リンパ球放出エクソソームによるがん浸潤・転移阻害機序の解明
三重大学医学部附属病院　複合的がん免疫療法センター　瀬尾 尚宏

キャンサーサバイバーと家族の強み(strength)を見出す看護方略の検討
三重大学医学部附属病院　看護学専攻　がん看護学　坂口 美和

乳癌患者を対象とした腫瘍浸潤T細胞の腫瘍反応性とその認識抗原の解析
三重大学医学部附属病院　乳腺センター　齋藤 佳菜子

がん患者における至適運動量及びエネルギー投与量決定のための前向き調査
三重大学医学部附属病院　リハビリテーション部　島田 隆明

特別講演 11:00 ～ 12:00
がんのゲノム医療について
座長　重大学医学部附属病院　がんセンター　センター長　中瀬 則
演者　重大学医学部附属病院　中央検査部　教授　中谷 中

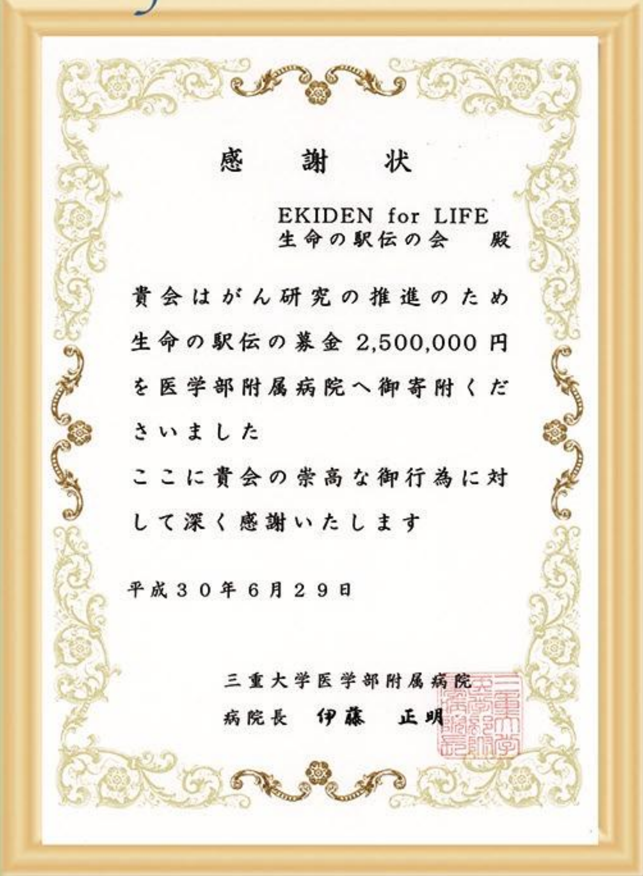
閉会の挨拶　三重県医療保健部

午後からのイベント　EKIDEN for LIFE ～生命の駅伝～　学内　RUN　WALK（3 6 9km）

お問い合わせ　059-231-5055（平日9:00～17:00）
三重大学医学部附属病院 がんセンター

後援　三重県・津市・三重県医師会・三重県病院協会・三重県歯科医師会・三重県薬剤師会・三重県病院薬剤師会・公益社団法人三重県看護協会・三重県栄養士会・三重県理学療法士会・三重県作業療法士会・三重県言語聴覚士会・三重県健康管理事業センター（日本対がん協会三重県支部）・文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン

Certificate



感　謝　状

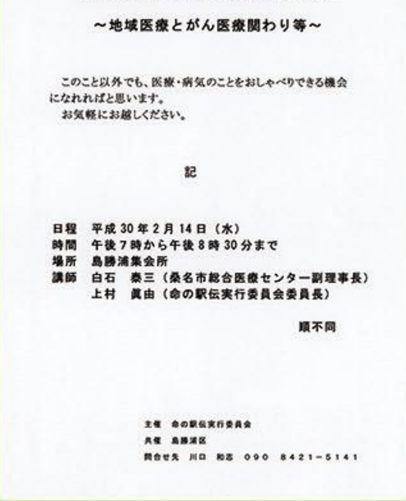
EKIDEN for LIFE
生命の駅伝の会　殿

貴会はがん研究の推進のため
生命の駅伝の募金 2,500,000 円
を医学部附属病院へ御寄附くだ
さいました
ここに貴会の崇高な御行為に対
して深く感謝いたします

平成３０年６月２９日

三重大学医学部附属病院
病院長　伊藤　正明

Information



医療従事者とのひざ詰め談義について

～地域医療とがん医療関わり等～

このこと以外でも、医療・病気のことをおしゃべりできる機会になれればと思います。
お気軽にお越しください。

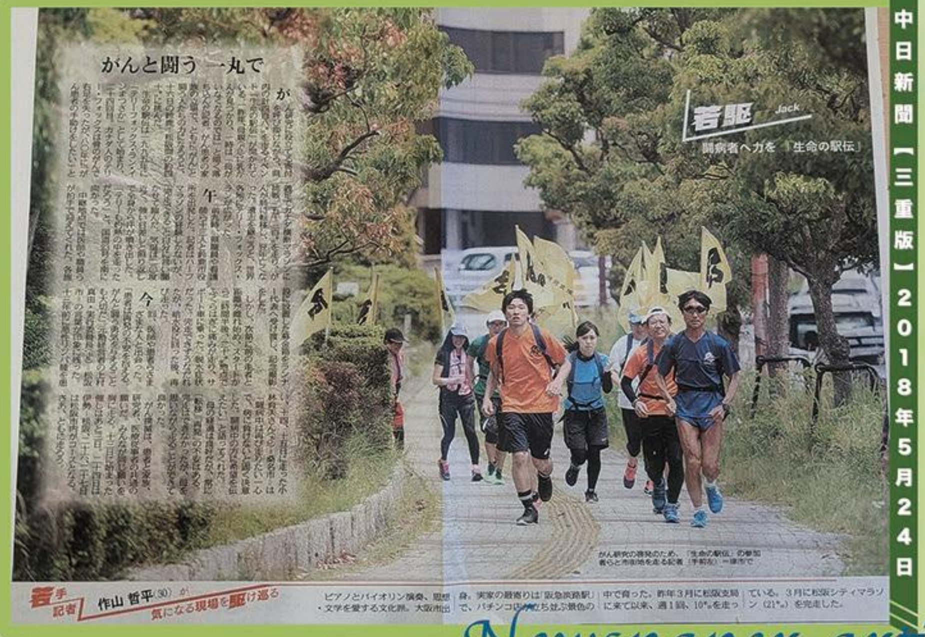
記

日程　平成 30 年 2 月 14 日（水）
時間　午後７時から午後８時 30 分まで
場所　島勝浦集会所
講師　白石　泰三（桑名市総合医療センター副理事長）
　　　上村　眞由（命の駅伝実行委員会委員長）

順不同

主催　命の駅伝実行委員会
共催　島勝浦区
問合せ先　川口　和志　090　8421－5141

Newspaper article



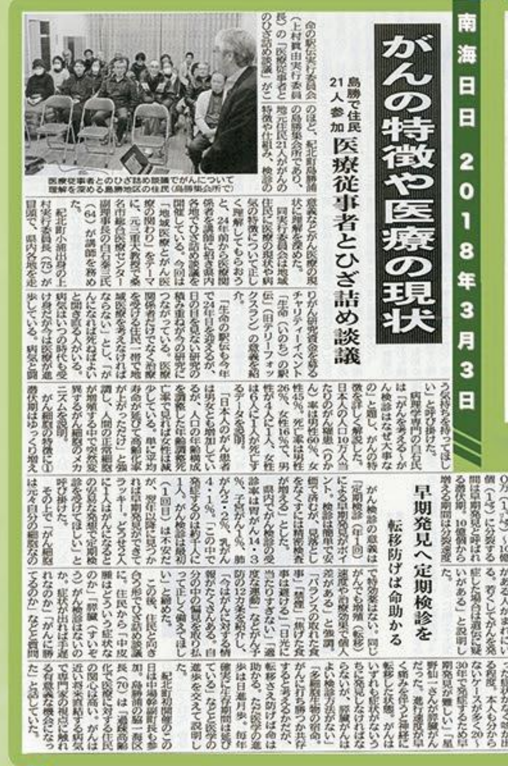
中日新聞【三重版】2018年5月24日

がんと闘う 一丸で

若駆 Jack
闘病者へ力を「生命の駅伝」

若手記者 作山 哲平(30) が 気になる現場を駆け巡る

ピアノとバイオリン演奏、思想・文学を愛する文化系。大阪市出身。実家の最寄りは「阪急淡路駅」で、パチンコ店が立ち並ぶ景色の中で育った。昨年3月に松阪支局に来て以来、週1回、10キロを走っている。3月に松阪シティマラソン（21キロ）を完走した。



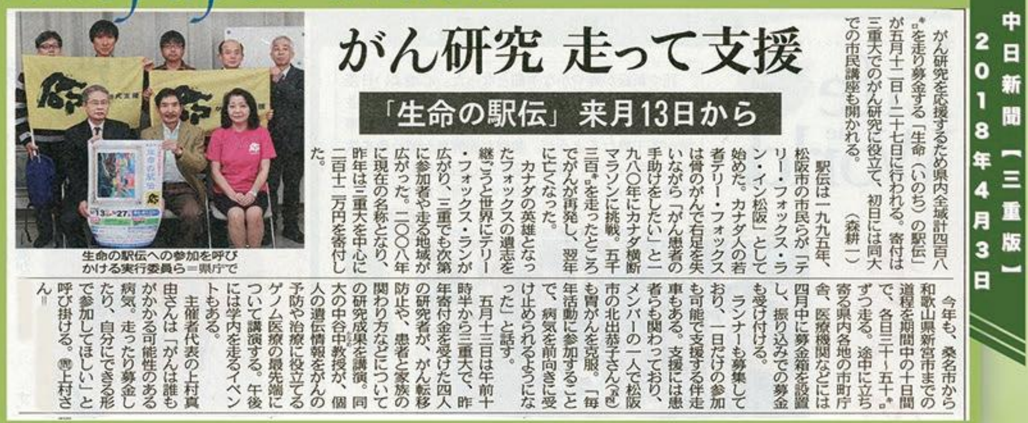
南海日日 2018年3月3日

がんの特徴や医療の現状

島勝で住民21人参加　医療従事者とひざ詰め談議

医療従事者とのひざ詰め談議でがんについて理解を深める島勝地区の住民（島勝集会所で）

早期発見へ定期検診を　転移防げば命助かる



中日新聞【三重版】2018年4月3日

がん研究 走って支援

「生命の駅伝」来月13日から

がん研究を応援するため県内全域計四百八キロを走り募金する「生命（いのち）の駅伝」が五月十三日～二十七日に行われる。寄付は三重大でのがん研究に役立て、初日には同大での市民講座も開かれる。（森耕一）

駅伝は一九九五年、松阪市の市民らが「テリー・フォックス・ラン・イン松阪」として始めた。カナダ人の若者テリー・フォックスは骨のがんで右足を失いながら「がん患者の手助けをしたい」と一九八〇年にカナダ横断マラソンに挑戦。五千三百キロを走ったところでがんが再発し、翌年に亡くなった。

カナダの英雄となったフォックスの遺志を継ごうと世界にテリー・フォックス・ランが広がり、三重でも次第に参加者や走る地域が広がった。二〇〇八年に現在の名称となり、昨年は三重大を中心に二百十二万円を寄付した。

今年も、桑名市から和歌山県新宮市までの道程を期間中の十日間で、各日三十～五十キロずつ走る。途中に立ち寄る県内各地の市町庁舎、医療機関などには四月中に募金箱を設置し、振り込みでの募金も受け付ける。

ランナーも募集しており、一日だけの参加も可能で支援する伴走車もある。支援には患者らも関わっており、メンバーの一人で松阪市の北出恭子さん（[illegible]）も胃がんを克服。「毎年活動に参加することで、病気を前向きに受け止められるようになった」と話す。

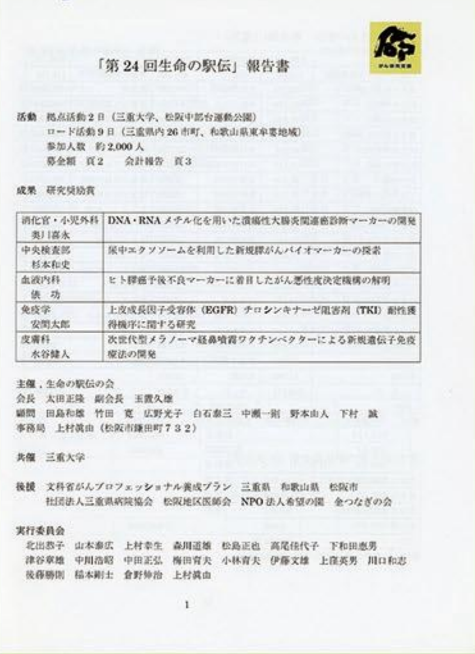
五月十三日は午前十時半から三重大で、昨年寄付金を受けた四人の研究者が、がん転移の防止や、患者と家族の関わり方などについての研究成果を講演。同大の中谷中教授が、個人の遺伝情報をがんの予防や治療に役立てるゲノム医療の最先端について講演する。午後には学内を走るイベントもある。

主催者代表の上村真由さんは「がんは誰もがかかる可能性のある病気。走ったり募金したり、自分にできる形で参加してほしい」と呼び掛ける。問上村さん＝

生命の駅伝への参加を呼びかける実行委員ら＝県庁で

Photograph

Report



「第 24 回生命の駅伝」報告書

活動　拠点活動２日（三重大学、松阪中部台運動公園）
　　　ロード活動９日（三重県内 26 市町、和歌山県東牟婁地域）
　　　参加人数　約 2,000 人
　　　募金額　頁２　　会計報告　頁３

成果　研究奨励賞

消化管・小児外科 奥川喜永	DNA・RNA メチル化を用いた潰瘍性大腸炎関連癌診断マーカーの開発
中央検査部 杉本和史	尿中エクソソームを利用した新規膵がんバイオマーカーの探索
血液内科 俵　功	ヒト膵癌予後不良マーカーに着目したがん悪性度決定機構の解明
免疫学 安間太郎	上皮成長因子受容体（EGFR）チロシンキナーゼ阻害剤（TKI）耐性獲得機序に関する研究
皮膚科 水谷健人	次世代型メラノーマ経鼻噴霧ワクチンベクターによる新規遺伝子免疫療法の開発

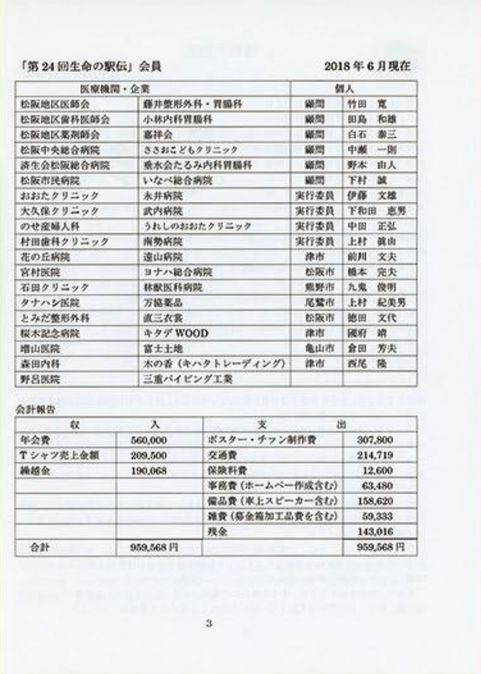
主催．生命の駅伝の会
会長　太田正隆　副会長　玉置久雄
顧問　田島和雄　竹田　寛　広野光子　白石泰三　中瀬一則　野本由人　下村　誠
事務局　上村眞由（松阪市鎌田町７３２）

共催　三重大学

後援　文科省がんプロフェッショナル養成プラン　三重県　和歌山県　松阪市
　　　社団法人三重県病院協会　松阪地区医師会　NPO 法人希望の園　金つなぎの会

実行委員会
北出恭子　山本泰広　上村幸生　森川道雄　松島正也　高尾佳代子　下和田恵男
津谷康雄　中川浩昭　中田正弘　梅田育夫　小林育夫　伊藤文雄　上窪英男　川口和志
後藤勝則　稲本剛士　倉野伸治　上村眞由

1



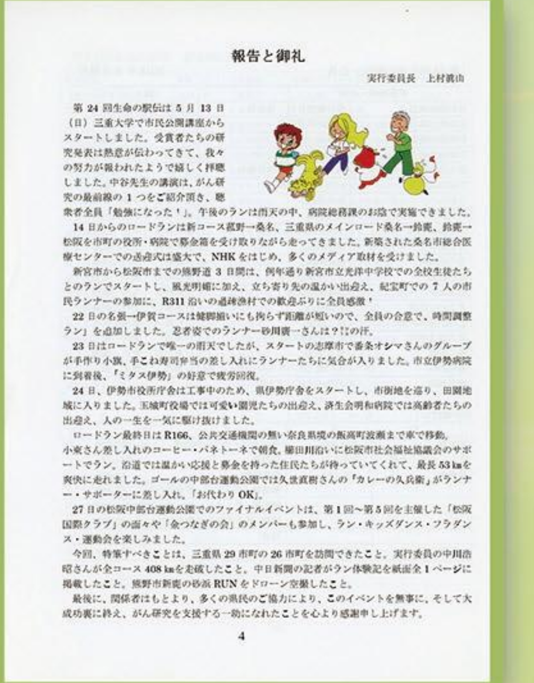
「第 24 回生命の駅伝」会員　　2018 年 6 月現在

医療機関・企業		個人	
松阪地区医師会	藤井整形外科・胃腸科	顧問	竹田　寛
松阪地区歯科医師会	小林内科胃腸科	顧問	田島　和雄
松阪地区薬剤師会	嘉祥会	顧問	白石　泰三
松阪中央総合病院	ささおこどもクリニック	顧問	中瀬　一則
済生会松阪総合病院	垂水会たるみ内科胃腸科	顧問	野本　由人
松阪市民病院	いなべ総合病院	顧問	下村　誠
おおたクリニック	永井病院	実行委員	伊藤　文雄
大久保クリニック	武内病院	実行委員	下和田　恵男
のせ産婦人科	うれしのおおたクリニック	実行委員	中田　正弘
村田歯科クリニック	南勢病院	実行委員	上村　眞由
花の丘病院	遠山病院	津市	前川　文夫
宮村医院	ヨナハ総合病院	松阪市	橋本　完夫
石田クリニック	林獣医科病院	熊野市	九鬼　俊明
タナハシ医院	万協薬品	尾鷲市	上村　紀美男
とみだ整形外科	直三衣裳	松阪市	徳田　文代
桜木記念病院	キタデ WOOD	津市	國府　靖
増山医院	富士土地	亀山市	倉田　芳夫
森田内科	木の香（キハタトレーディング）	津市	西尾　隆
野呂医院	三重パイピング工業		

会計報告

収	入	支	出
年会費	560,000	ポスター・チラシ制作費	307,800
T シャツ売上金額	209,500	交通費	214,719
繰越金	190,068	保険料費	12,600
		事務費（ホームペー作成含む）	63,480
		備品費（車上スピーカー含む）	158,620
		雑費（募金箱加工品費を含む）	59,333
		残金	143,016
合計	959,568 円		959,568 円

3



報告と御礼

実行委員長　上村眞由

第 24 回生命の駅伝は 5 月 13 日（日）三重大学で市民公開講座からスタートしました。受賞者たちの研究発表は熱意が伝わってきて、我々の努力が報われたようで嬉しく拝聴しました。中谷先生の講演は、がん研究の最前線の 1 つをご紹介頂き、聴衆者全員「勉強になった！」。午後のランは雨天の中、病院総務課のお陰で実施できました。

14 日からのロードランは新コース菰野→桑名、三重県のメインロード桑名→鈴鹿、鈴鹿→松阪を市町の役所・病院で募金箱を受け取りながら走ってきました。新築された桑名市総合医療センターでの送迎式は盛大で、NHK をはじめ、多くのメディア取材を受けました。

新宮市から松阪市までの熊野道 3 日間は、例年通り新宮市立光洋中学校での全校生徒たちとのランでスタートし、風光明媚に加え、立ち寄り先の温かい出迎え、紀宝町での 7 人の市民ランナーの参加に、R311 沿いの過疎漁村での歓迎ぶりに全員感激！

22 日の名張→伊賀コースは健脚揃いにも拘らず距離が短いので、全員の合意で、時間調整ラン」を追加しました。忍者姿でのランナー砂川廣一さんは？!!の汗。

23 日はロードランで唯一の雨天でしたが、スタートの志摩市で番条オシマさんのグループが手作り小旗、手こね寿司弁当の差し入れにランナーたちに気合が入りました。市立伊勢病院に到着後、「ミタス伊勢」の好意で疲労回復。

24 日、伊勢市役所庁舎は工事中のため、県伊勢庁舎をスタートし、市街地を巡り、田園地域に入りました。玉城町役場では可愛い園児たちの出迎え、済生会明和病院では高齢者たちの出迎え、人の一生を一気に駆け抜けました。

ロードラン最終日は R166、公共交通機関の無い奈良県境の飯高町波瀬まで車で移動。小東さん差し入れのコーヒー・パネトーネで朝食。櫛田川沿いに松阪市社会福祉協議会のサポートでラン。沿道では温かい応援と募金を持った住民たちが待っていてくれて、最長 53 km を爽快に走れました。ゴールの中部台運動公園では久世直樹さんの「カレーの久兵衛」がランナー・サポーターに差し入れ、「お代わり OK」。

27 日の松阪中部台運動公園でのファイナルイベントは、第 1 回～第 5 回を主催した「松阪国際クラブ」の面々や「金つなぎの会」のメンバーも参加し、ラン・キッズダンス・フラダンス・運動会を楽しみました。

今回、特筆すべきことは、三重県 29 市町の 26 市町を訪問できたこと。実行委員の中川浩昭さんが全コース 408 km を走破したこと。中日新聞の記者がラン体験記を紙面全 1 ページに掲載したこと。熊野市新鹿の砂浜 RUN をドローン空撮したこと。

最後に、関係者はもとより、多くの県民のご協力により、このイベントを無事に、そして大成功裏に終え、がん研究を支援する一助になれたことを心より感謝申し上げます。

4

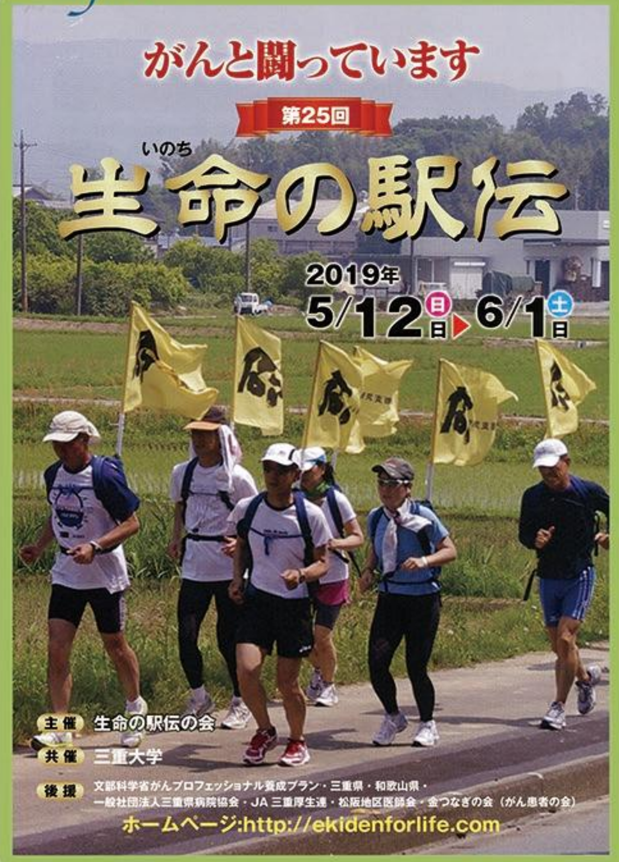
25

～生命（いのち）の駅伝～

EKIDEN FOR LIFE

2019

Flyer



がんと闘っています

第25回

生命（いのち）の駅伝

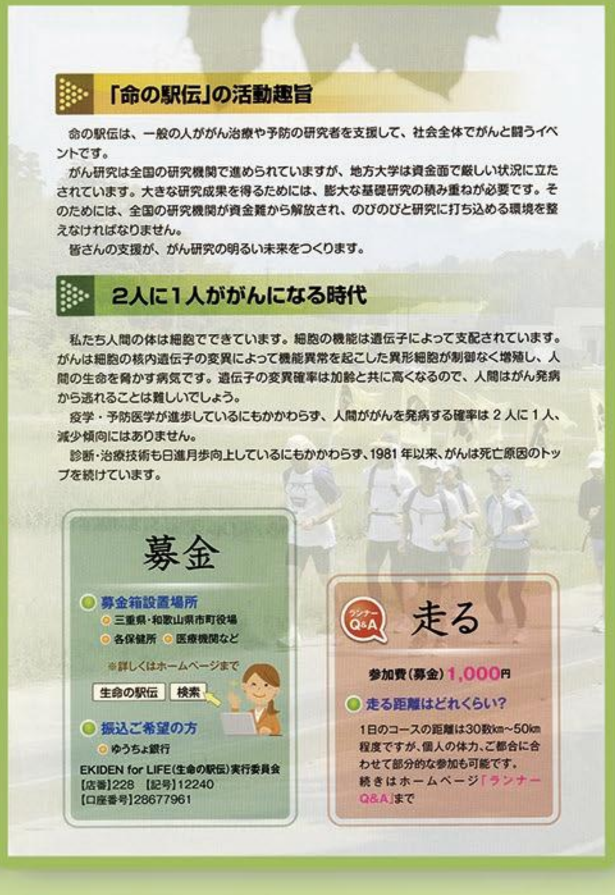
2019年 5/12（日）▶6/1（土）

主催 生命の駅伝の会

共催 三重大学

後援 文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン・三重県・和歌山県・一般社団法人三重県病院協会・JA三重厚生連・松阪地区医師会・金つなぎの会（がん患者の会）

ホームページ:http://ekidenforlife.com



「命の駅伝」の活動趣旨

命の駅伝は、一般の人ががん治療や予防の研究者を支援して、社会全体でがんと闘うイベントです。

がん研究は全国の研究機関で進められていますが、地方大学は資金面で厳しい状況に立たされています。大きな研究成果を得るためには、膨大な基礎研究の積み重ねが必要です。そのためには、全国の研究機関が資金難から解放され、のびのびと研究に打ち込める環境を整えなければなりません。

皆さんの支援が、がん研究の明るい未来をつくります。

2人に1人ががんになる時代

私たち人間の体は細胞でできています。細胞の機能は遺伝子によって支配されています。がんは細胞の核内遺伝子の変異によって機能異常を起こした異形細胞が制御なく増殖し、人間の生命を脅かす病気です。遺伝子の変異確率は加齢と共に高くなるので、人間はがん発病から逃れることは難しいでしょう。

疫学・予防医学が進歩しているにもかかわらず、人間ががんを発病する確率は2人に1人、減少傾向にはありません。

診断・治療技術も日進月歩向上しているにもかかわらず、1981年以来、がんは死亡原因のトップを続けています。

募金

- 募金箱設置場所
  - 三重県・和歌山県市町役場
  - 各保健所
  - 医療機関など

※詳しくはホームページまで

生命の駅伝　検索

- 振込ご希望の方
  - ゆうちょ銀行

EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）実行委員会
【店番】228　【記号】12240
【口座番号】28677961

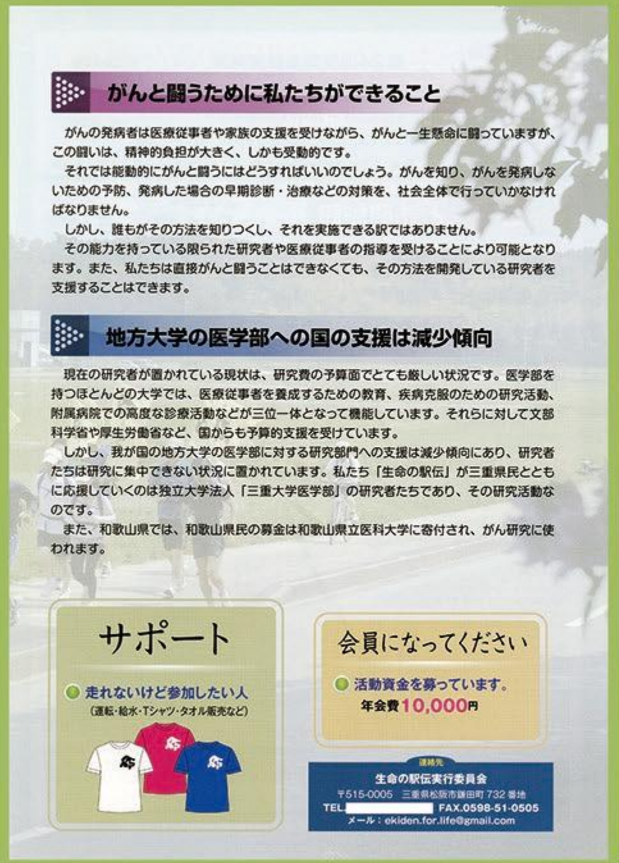
走る

ランナーQ&A

参加費（募金）1,000円

- 走る距離はどれくらい？

1日のコースの距離は30数km～50km程度ですが、個人の体力、ご都合に合わせて部分的な参加も可能です。
続きはホームページ「ランナーQ&A」まで



がんと闘うために私たちができること

がんの発病者は医療従事者や家族の支援を受けながら、がんと一生懸命に闘っていますが、この闘いは、精神的負担が大きく、しかも受動的です。

それでは能動的にがんと闘うにはどうすればいいのでしょう。がんを知り、がんを発病しないための予防、発病した場合の早期診断・治療などの対策を、社会全体で行っていかなければなりません。

しかし、誰もがその方法を知りつくし、それを実施できる訳ではありません。

その能力を持っている限られた研究者や医療従事者の指導を受けることにより可能となります。また、私たちは直接がんと闘うことはできなくても、その方法を開発している研究者を支援することはできます。

地方大学の医学部への国の支援は減少傾向

現在の研究者が置かれている現状は、研究費の予算面でとても厳しい状況です。医学部を持つほとんどの大学では、医療従事者を養成するための教育、疾病克服のための研究活動、附属病院での高度な診療活動などが三位一体となって機能しています。それらに対して文部科学省や厚生労働省など、国からも予算的支援を受けています。

しかし、我が国の地方大学の医学部に対する研究部門への支援は減少傾向にあり、研究者たちは研究に集中できない状況に置かれています。私たち「生命の駅伝」が三重県民とともに応援していくのは独立大学法人「三重大学医学部」の研究者たちであり、その研究活動なのです。

また、和歌山県では、和歌山県民の募金は和歌山県立医科大学に寄付され、がん研究に使われます。

サポート

- 走れないけど参加したい人

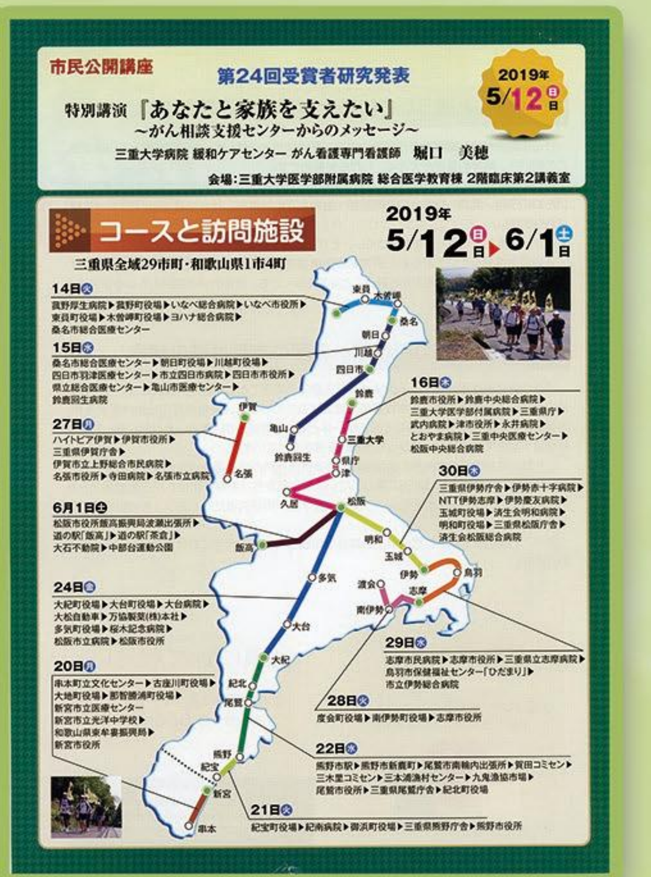
（運転・給水・Tシャツ・タオル販売など）

会員になってください

- 活動資金を募っています。

年会費10,000円

連絡先
生命の駅伝実行委員会
〒515-0005　三重県松阪市鎌田町732番地
TEL.[redacted]　FAX.0598-51-0505
メール：ekiden.for.life@gmail.com



市民公開講座

第24回受賞者研究発表

2019年 5/12（日）

特別講演『あなたと家族を支えたい』
～がん相談支援センターからのメッセージ～
三重大学病院 緩和ケアセンター がん看護専門看護師　堀口　美穂

会場：三重大学医学部附属病院 総合医学教育棟 2階臨床第2講義室

コースと訪問施設

2019年 5/12（日）▶6/1（土）

三重県全域29市町・和歌山県1市4町

14日（火）
菰野厚生病院▶菰野町役場▶いなべ総合病院▶いなべ市役所▶東員町役場▶木曽岬町役場▶ヨハナ総合病院▶桑名市総合医療センター

15日（水）
桑名市総合医療センター▶朝日町役場▶川越町役場▶四日市羽津医療センター▶市立四日市病院▶四日市市役所▶県立総合医療センター▶亀山市医療センター▶鈴鹿回生病院

16日（木）
鈴鹿市役所▶鈴鹿中央総合病院▶三重大学医学部付属病院▶三重県庁▶武内病院▶津市役所▶永井病院▶とおやま病院▶三重中央医療センター▶松阪中央総合病院

27日（月）
ハイトピア伊賀▶伊賀市役所▶三重県伊賀庁舎▶伊賀市立上野総合市民病院▶名張市役所▶寺田病院▶名張市立病院

30日（木）
三重県伊勢庁舎▶伊勢赤十字病院▶NTT伊勢志摩▶伊勢慶友病院▶玉城町役場▶済生会明和病院▶明和町役場▶三重県松阪庁舎▶済生会松阪総合病院

6月1日（土）
松阪市役所飯高振興局波瀬出張所▶道の駅「飯高」▶道の駅「茶倉」▶大石不動院▶中部台運動公園

24日（金）
大紀町役場▶大台町役場▶大台病院▶大松自動車▶万協製薬(株)本社▶多気町役場▶桜木記念病院▶松阪市立病院▶松阪市役所

29日（水）
志摩市民病院▶志摩市役所▶三重県立志摩病院▶鳥羽市保健福祉センター「ひだまり」▶市立伊勢総合病院

28日（火）
度会町役場▶南伊勢町役場▶志摩市役所

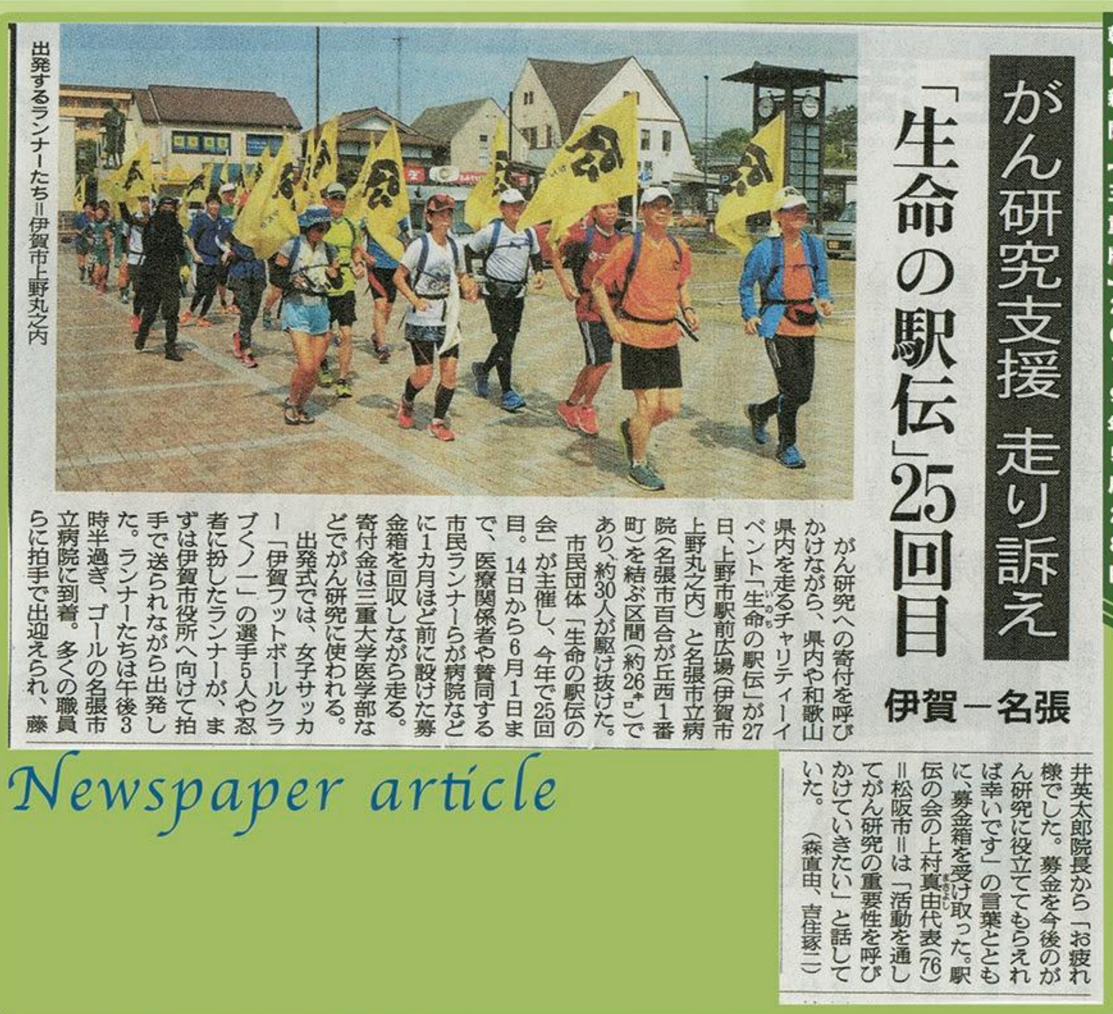
20日（月）
串本町立文化センター▶古座川町役場▶大地町役場▶那智勝浦町役場▶新宮市立医療センター▶新宮市立光洋中学校▶和歌山県東牟婁振興局▶新宮市役所

22日（水）
熊野市駅▶熊野市新鹿町▶尾鷲市南輪内出張所▶賀田コミセン▶三木里コミセン▶三木浦漁村センター▶九鬼漁協市場▶尾鷲市役所▶三重県尾鷲庁舎▶紀北町役場

21日（火）
紀宝町役場▶紀南病院▶御浜町役場▶三重県熊野庁舎▶熊野市役所

東員
木曽岬
桑名
朝日
川越
四日市
鈴鹿
亀山
鈴鹿回生
三重大学
県庁
津
伊賀
名張
久居
松阪
飯高
明和
玉城
伊勢
鳥羽
度会
志摩
南伊勢
多気
大台
大紀
紀北
尾鷲
熊野
紀宝
新宮
串本

Newspaper article



朝日新聞【三重版】2019年5月28日

がん研究支援 走り訴え

「生命の駅伝」25回目

伊賀―名張

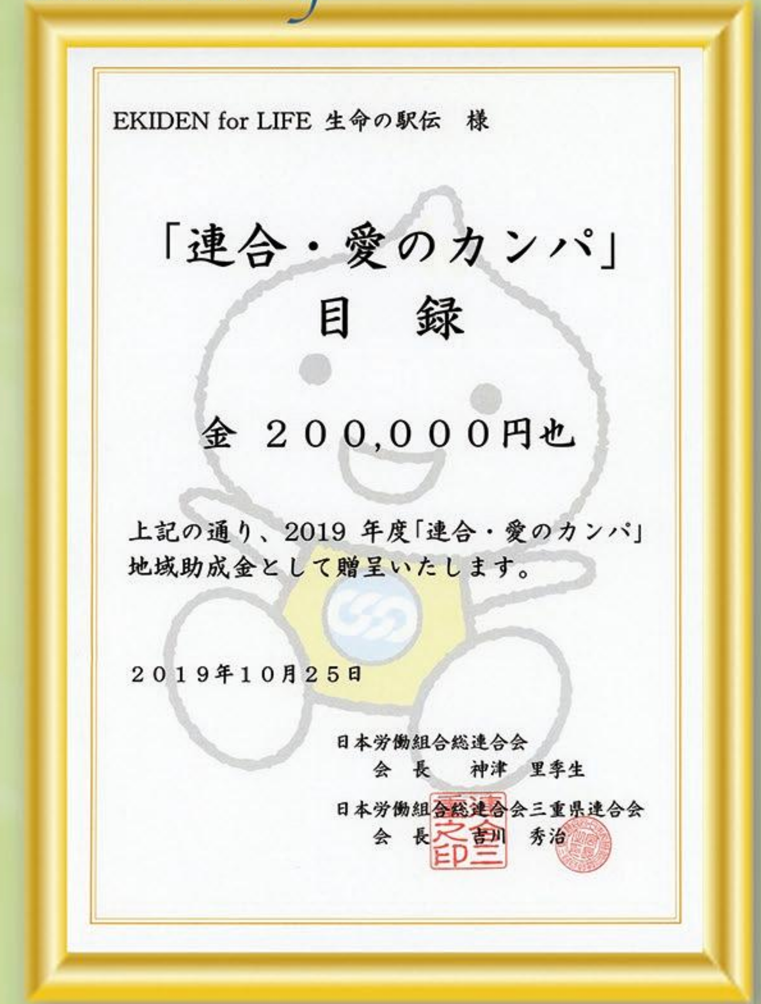
出発するランナーたち＝伊賀市上野丸之内

がん研究への寄付を呼びかけながら、県内や和歌山県内を走るチャリティーイベント「生命（いのち）の駅伝」が27日、上野市駅前広場（伊賀市上野丸之内）と名張市立病院（名張市百合が丘西1番町）を結ぶ区間（約26㌔）であり、約30人が駆け抜けた。

市民団体「生命の駅伝の会」が主催し、今年で25回目。14日から6月1日まで、医療関係者や賛同する市民ランナーらが病院などに1カ月ほど前に設けた募金箱を回収しながら走る。寄付金は三重大学医学部などでがん研究に使われる。

出発式では、女子サッカー「伊賀フットボールクラブくノ一」の選手5人や忍者に扮したランナーが、まずは伊賀市役所へ向けて拍手で送られながら出発した。ランナーたちは午後3時半過ぎ、ゴールの名張市立病院に到着。多くの職員らに拍手で出迎えられ、藤井英太郎院長から「お疲れ様でした。募金を今後のがん研究に役立ててもらえれば幸いです」の言葉とともに、募金箱を受け取った。駅伝の会の上村真由代表(76)＝松阪市＝は「活動を通してがん研究の重要性を呼びかけていきたい」と話していた。（森直由、吉住琢二）

Inventory



EKIDEN for LIFE 生命の駅伝　様

「連合・愛のカンパ」

目　録

金　２００,０００円也

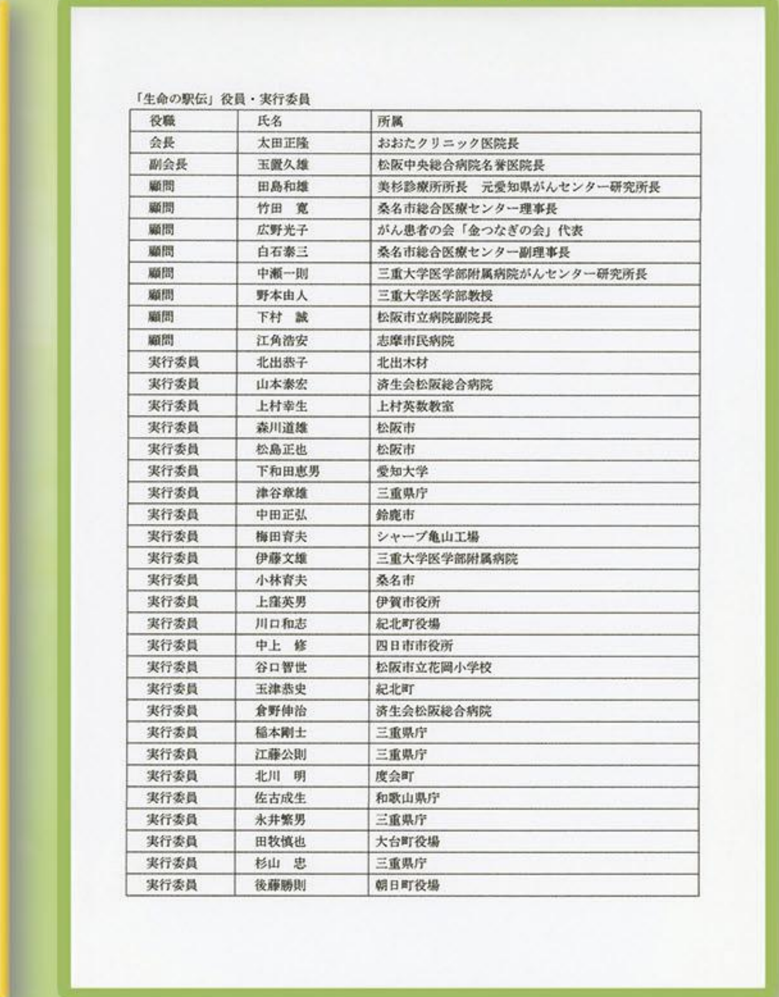
上記の通り、2019 年度「連合・愛のカンパ」地域助成金として贈呈いたします。

２０１９年１０月２５日

日本労働組合総連合会
会　長　　神津　里季生

日本労働組合総連合会三重県連合会
会　長　　吉川　秀治

Executive committee

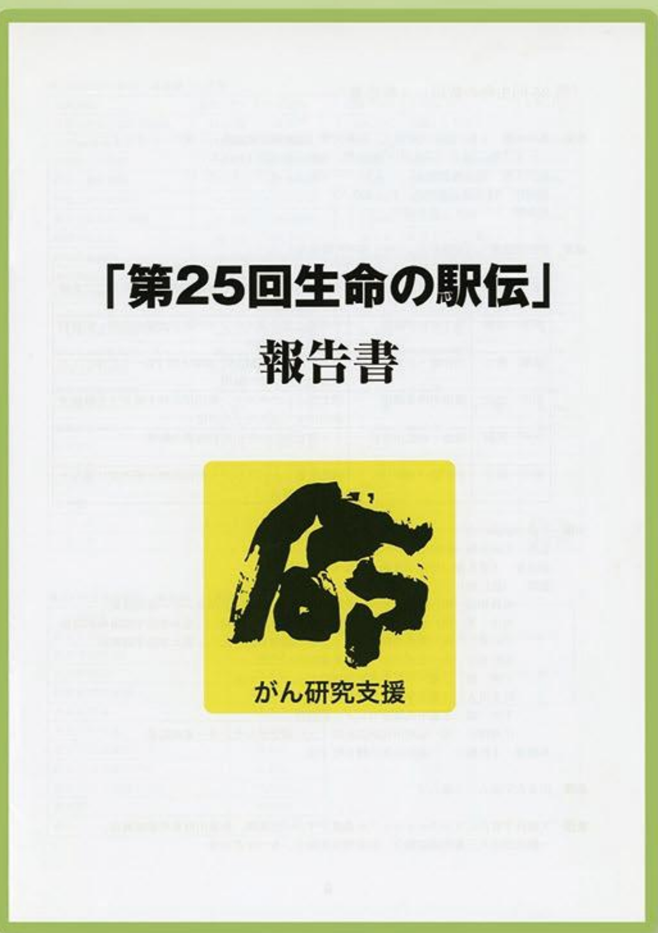


「生命の駅伝」役員・実行委員

役職	氏名	所属
会長	太田正隆	おおたクリニック医院長
副会長	玉置久雄	松阪中央総合病院名誉医院長
顧問	田島和雄	美杉診療所所長　元愛知県がんセンター研究所長
顧問	竹田　寛	桑名市総合医療センター理事長
顧問	広野光子	がん患者の会「金つなぎの会」代表
顧問	白石泰三	桑名市総合医療センター副理事長
顧問	中瀬一則	三重大学医学部附属病院がんセンター研究所長
顧問	野本由人	三重大学医学部教授
顧問	下村　誠	松阪市立病院副院長
顧問	江角浩安	志摩市民病院
実行委員	北出恭子	北出木材
実行委員	山本泰宏	済生会松阪総合病院
実行委員	上村幸生	上村英数教室
実行委員	森川道雄	松阪市
実行委員	松島正也	松阪市
実行委員	下和田恵男	愛知大学
実行委員	津谷章雄	三重県庁
実行委員	中田正弘	鈴鹿市
実行委員	梅田育夫	シャープ亀山工場
実行委員	伊藤文雄	三重大学医学部附属病院
実行委員	小林育夫	桑名市
実行委員	上窪英男	伊賀市役所
実行委員	川口和志	紀北町役場
実行委員	中上　修	四日市市役所
実行委員	谷口智世	松阪市立花岡小学校
実行委員	玉津恭史	紀北町
実行委員	倉野伸治	済生会松阪総合病院
実行委員	稲本剛士	三重県庁
実行委員	江藤公則	三重県庁
実行委員	北川　明	度会町
実行委員	佐古成生	和歌山県庁
実行委員	永井繁男	三重県庁
実行委員	田牧慎也	大台町役場
実行委員	杉山　忠	三重県庁
実行委員	後藤勝則	朝日町役場

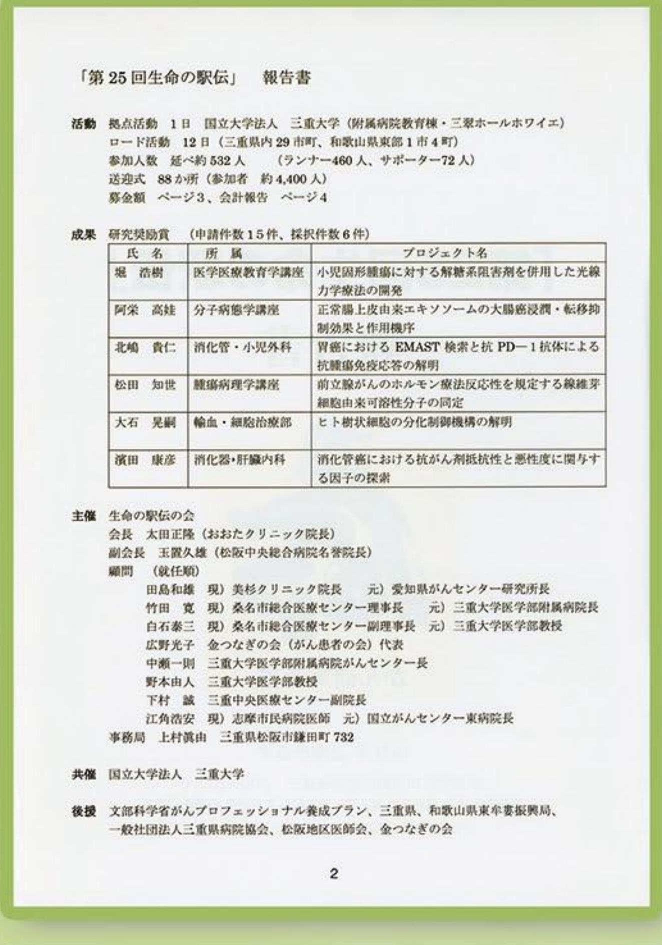
2019

25



「第25回生命の駅伝」
報告書

がん研究支援



「第25回生命の駅伝」　報告書

活動　拠点活動　1日　国立大学法人　三重大学（附属病院教育棟・三翠ホールホワイエ）
ロード活動　12日（三重県内29市町、和歌山県東部1市4町）
参加人数　延べ約532人　　（ランナー460人、サポーター72人）
送迎式　88か所（参加者　約4,400人）
募金額　ページ3、会計報告　ページ4

成果　研究奨励賞　（申請件数15件、採択件数6件）

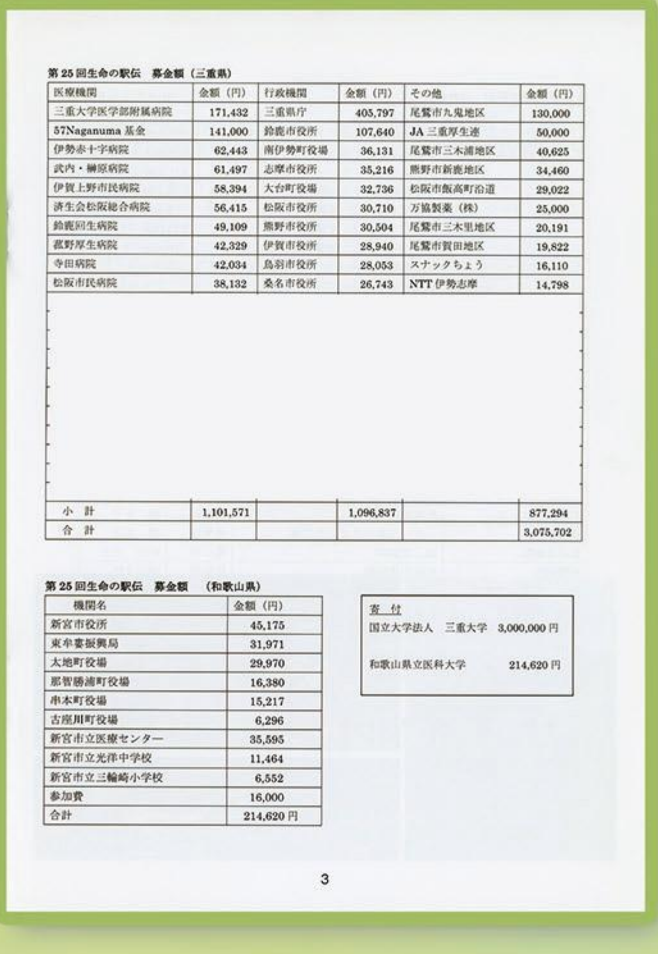
氏　名	所　属	プロジェクト名
堀　浩樹	医学医療教育学講座	小児固形腫瘍に対する解糖系阻害剤を併用した光線力学療法の開発
阿栄　高娃	分子病態学講座	正常腸上皮由来エキソソームの大腸癌浸潤・転移抑制効果と作用機序
北嶋　貴仁	消化管・小児外科	胃癌における EMAST 検索と抗 PD—1 抗体による抗腫瘍免疫応答の解明
松田　知世	腫瘍病理学講座	前立腺がんのホルモン療法反応性を規定する線維芽細胞由来可溶性分子の同定
大石　晃嗣	輸血・細胞治療部	ヒト樹状細胞の分化制御機構の解明
濱田　康彦	消化器・肝臓内科	消化管癌における抗がん剤抵抗性と悪性度に関与する因子の探索

主催　生命の駅伝の会
会長　太田正隆（おおたクリニック院長）
副会長　玉置久雄（松阪中央総合病院名誉院長）
顧問　（就任順）
田島和雄　現）美杉クリニック院長　　元）愛知県がんセンター研究所長
竹田　寛　現）桑名市総合医療センター理事長　　元）三重大学医学部附属病院長
白石泰三　現）桑名市総合医療センター副理事長　元）三重大学医学部教授
広野光子　金つなぎの会（がん患者の会）代表
中瀬一則　三重大学医学部附属病院がんセンター長
野本由人　三重大学医学部教授
下村　誠　三重中央医療センター副院長
江角浩安　現）志摩市民病院医師　元）国立がんセンター東病院長
事務局　上村眞由　三重県松阪市鎌田町732

共催　国立大学法人　三重大学

後援　文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン、三重県、和歌山県東牟婁振興局、
一般社団法人三重県病院協会、松阪地区医師会、金つなぎの会

2



第25回生命の駅伝　募金額（三重県）

医療機関	金額（円）	行政機関	金額（円）	その他	金額（円）
三重大学医学部附属病院	171,432	三重県庁	405,797	尾鷲市九鬼地区	130,000
57Naganuma 基金	141,000	鈴鹿市役所	107,640	JA 三重厚生連	50,000
伊勢赤十字病院	62,443	南伊勢町役場	36,131	尾鷲市三木浦地区	40,625
武内・榊原病院	61,497	志摩市役所	35,216	熊野市新鹿地区	34,460
伊賀上野市民病院	58,394	大台町役場	32,736	松阪市飯高町沿道	29,022
済生会松阪総合病院	56,415	松阪市役所	30,710	万協製薬（株）	25,000
鈴鹿回生病院	49,109	熊野市役所	30,504	尾鷲市三木里地区	20,191
菰野厚生病院	42,329	伊賀市役所	28,940	尾鷲市賀田地区	19,822
寺田病院	42,034	鳥羽市役所	28,053	スナックちょう	16,110
松阪市民病院	38,132	桑名市役所	26,743	NTT 伊勢志摩	14,798
小　計	1,101,571		1,096,837		877,294
合　計					3,075,702

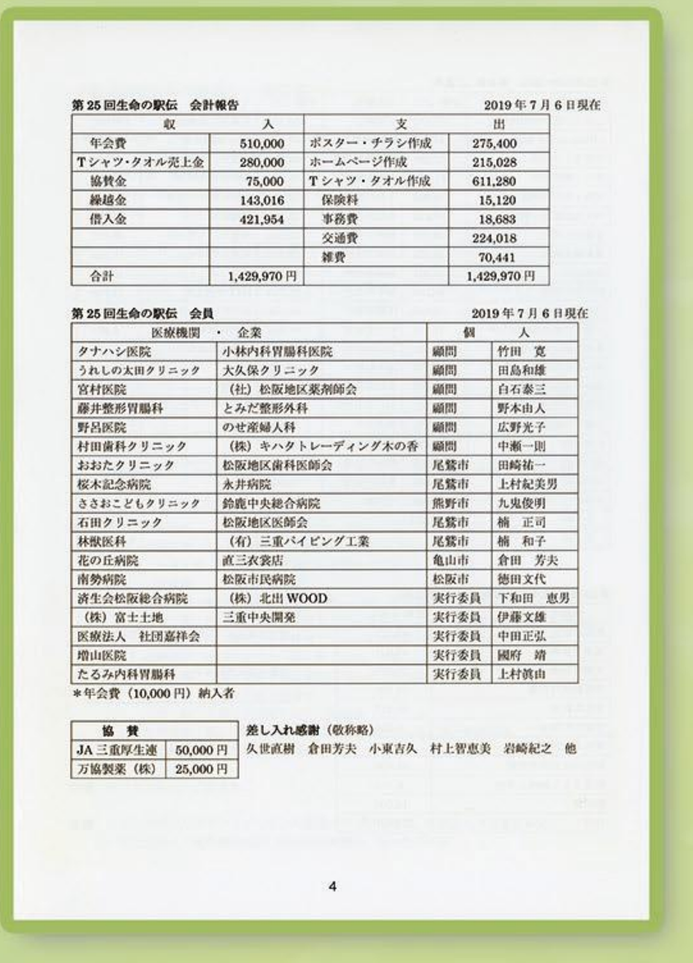
第25回生命の駅伝　募金額　（和歌山県）

機関名	金額（円）
新宮市役所	45,175
東牟婁振興局	31,971
太地町役場	29,970
那智勝浦町役場	16,380
串本町役場	15,217
古座川町役場	6,296
新宮市立医療センター	35,595
新宮市立光洋中学校	11,464
新宮市立三輪崎小学校	6,552
参加費	16,000
合計	214,620円

寄　付

国立大学法人　三重大学	3,000,000円
和歌山県立医科大学	214,620円

3



第25回生命の駅伝　会計報告　　2019年7月6日現在

収	入	支	出
年会費	510,000	ポスター・チラシ作成	275,400
Tシャツ・タオル売上金	280,000	ホームページ作成	215,028
協賛金	75,000	Tシャツ・タオル作成	611,280
繰越金	143,016	保険料	15,120
借入金	421,954	事務費	18,683
		交通費	224,018
		雑費	70,441
合計	1,429,970円		1,429,970円

第25回生命の駅伝　会員　　2019年7月6日現在

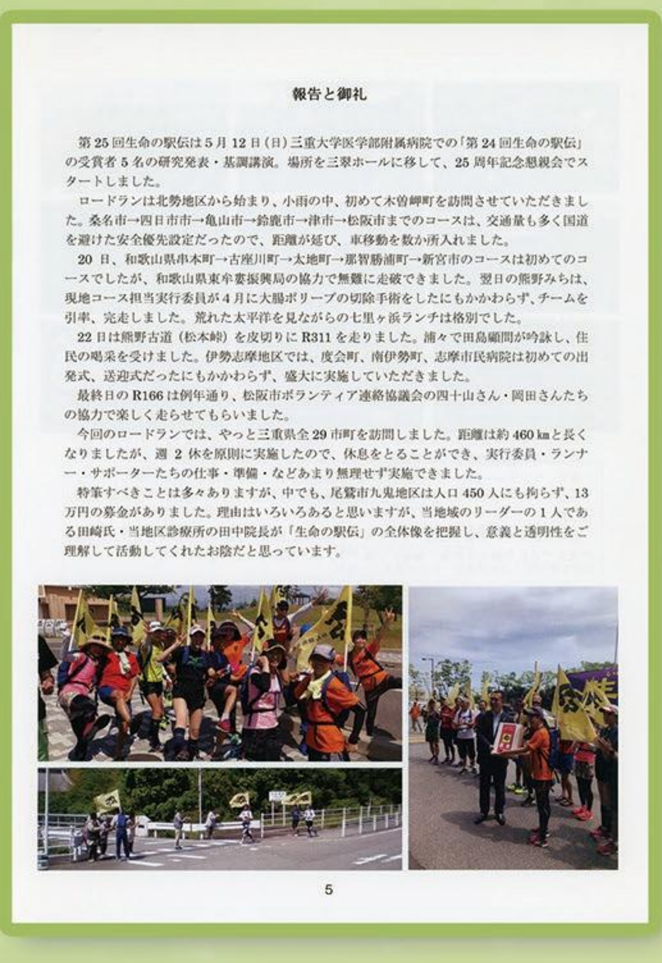
医療機関	・　企業	個	人
タナハシ医院	小林内科胃腸科医院	顧問	竹田　寛
うれしの太田クリニック	大久保クリニック	顧問	田島和雄
宮村医院	（社）松阪地区薬剤師会	顧問	白石泰三
藤井整形胃腸科	とみだ整形外科	顧問	野本由人
野呂医院	のせ産婦人科	顧問	広野光子
村田歯科クリニック	（株）キハタトレーディング木の香	顧問	中瀬一則
おおたクリニック	松阪地区歯科医師会	尾鷲市	田崎祐一
桜木記念病院	永井病院	尾鷲市	上村紀美男
ささおこどもクリニック	鈴鹿中央総合病院	熊野市	九鬼俊明
石田クリニック	松阪地区医師会	尾鷲市	楠　正司
林獣医科	（有）三重パイピング工業	尾鷲市	楠　和子
花の丘病院	直三衣裳店	亀山市	倉田　芳夫
南勢病院	松阪市民病院	松阪市	徳田文代
済生会松阪総合病院	（株）北出 WOOD	実行委員	下和田　恵男
（株）富士土地	三重中央開発	実行委員	伊藤文雄
医療法人　社団嘉祥会		実行委員	中田正弘
増山医院		実行委員	國府　靖
たるみ内科胃腸科		実行委員	上村眞由

＊年会費（10,000円）納入者

協　賛	
JA三重厚生連	50,000円
万協製薬（株）	25,000円

差し入れ感謝（敬称略）
久世直樹　倉田芳夫　小東吉久　村上智恵美　岩崎紀之　他

4



報告と御礼

第25回生命の駅伝は5月12日（日）三重大学医学部附属病院での「第24回生命の駅伝」の受賞者5名の研究発表・基調講演。場所を三翠ホールに移して、25周年記念懇親会でスタートしました。

ロードランは北勢地区から始まり、小雨の中、初めて木曽岬町を訪問させていただきました。桑名市→四日市市→亀山市→鈴鹿市→津市→松阪市までのコースは、交通量も多く国道を避けた安全優先設定だったので、距離が延び、車移動を数か所入れました。

20日、和歌山県串本町→古座川町→太地町→那智勝浦町→新宮市のコースは初めてのコースでしたが、和歌山県東牟婁振興局の協力で無難に走破できました。翌日の熊野みちは、現地コース担当実行委員が4月に大腸ポリープの切除手術をしたにもかかわらず、チームを引率、完走しました。荒れた太平洋を見ながらの七里ヶ浜ランチは格別でした。

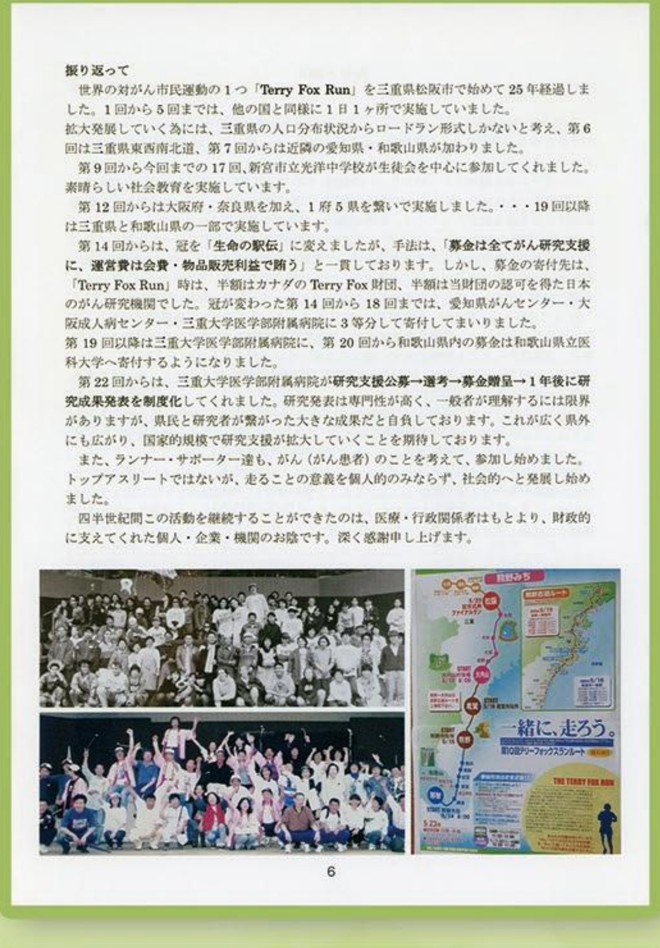
22日は熊野古道（松本峠）を皮切りにR311を走りました。浦々で田島顧問が吟詠し、住民の喝采を受けました。伊勢志摩地区では、度会町、南伊勢町、志摩市民病院は初めての出発式、送迎式だったにもかかわらず、盛大に実施していただきました。

最終日のR166は例年通り、松阪市ボランティア連絡協議会の四十山さん・岡田さんたちの協力で楽しく走らせてもらいました。

今回のロードランでは、やっと三重県全29市町を訪問しました。距離は約460㎞と長くなりましたが、週2休を原則に実施したので、休息をとることができ、実行委員・ランナー・サポーターたちの仕事・準備・などあまり無理せず実施できました。

特筆すべきことは多々ありますが、中でも、尾鷲市九鬼地区は人口450人にも拘らず、13万円の募金がありました。理由はいろいろあると思いますが、当地域のリーダーの1人である田崎氏・当地区診療所の田中院長が「生命の駅伝」の全体像を把握し、意義と透明性をご理解して活動してくれたお陰だと思っています。

5



振り返って

世界の対がん市民運動の1つ「Terry Fox Run」を三重県松阪市で始めて25年経過しました。1回から5回までは、他の国と同様に1日1ヶ所で実施していました。
拡大発展していく為には、三重県の人口分布状況からロードラン形式しかないと考え、第6回は三重県東西南北道、第7回からは近隣の愛知県・和歌山県が加わりました。

第9回から今回までの17回、新宮市立光洋中学校が生徒会を中心に参加してくれました。素晴らしい社会教育を実施しています。

第12回からは大阪府・奈良県を加え、1府5県を繋いで実施しました。・・・19回以降は三重県と和歌山県の一部で実施しています。

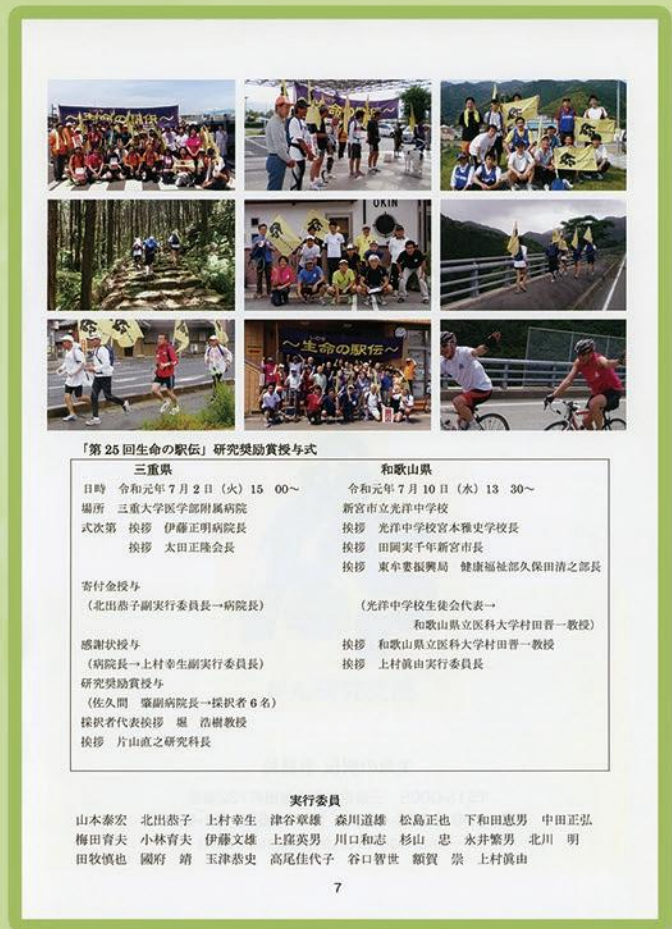
第14回からは、冠を「**生命の駅伝**」に変えましたが、手法は、「**募金は全てがん研究支援に、運営費は会費・物品販売利益で賄う**」と一貫しております。しかし、募金の寄付先は、「Terry Fox Run」時は、半額はカナダの Terry Fox 財団、半額は当財団の認可を得た日本のがん研究機関でした。冠が変わった第14回から18回までは、愛知県がんセンター・大阪成人病センター・三重大学医学部附属病院に3等分して寄付してまいりました。
第19回以降は三重大学医学部附属病院に、第20回から和歌山県内の募金は和歌山県立医科大学へ寄付するようになりました。

第22回からは、三重大学医学部附属病院が**研究支援公募→選考→募金贈呈→1年後に研究成果発表を制度化**してくれました。研究発表は専門性が高く、一般者が理解するには限界がありますが、県民と研究者が繋がった大きな成果だと自負しております。これが広く県外にも広がり、国家的規模で研究支援が拡大していくことを期待しております。

また、ランナー・サポーター達も、がん（がん患者）のことを考えて、参加し始めました。トップアスリートではないが、走ることの意義を個人的のみならず、社会的へと発展し始めました。

四半世紀間この活動を継続することができたのは、医療・行政関係者はもとより、財政的に支えてくれた個人・企業・機関のお陰です。深く感謝申し上げます。

6



「第25回生命の駅伝」研究奨励賞授与式

三重県	和歌山県
日時　令和元年7月2日（火）15　00～	令和元年7月10日（水）13　30～
場所　三重大学医学部附属病院	新宮市立光洋中学校
式次第　挨拶　伊藤正明病院長 挨拶　太田正隆会長	挨拶　光洋中学校宮本雅史学校長 挨拶　田岡実千年新宮市長 挨拶　東牟婁振興局　健康福祉部久保田清之部長
寄付金授与 （北出恭子副実行委員長→病院長）	（光洋中学校生徒会代表→和歌山県立医科大学村田晋一教授）
感謝状授与 （病院長→上村幸生副実行委員長）	挨拶　和歌山県立医科大学村田晋一教授 挨拶　上村眞由実行委員長
研究奨励賞授与 （佐久間　肇副病院長→採択者6名） 採択者代表挨拶　堀　浩樹教授 挨拶　片山直之研究科長	

実行委員

山本泰宏　北出恭子　上村幸生　津谷章雄　森川道雄　松島正也　下和田恵男　中田正弘
梅田育夫　小林育夫　伊藤文雄　上窪英男　川口和志　杉山　忠　永井繁男　北川　明
田牧慎也　國府　靖　玉津恭史　高尾佳代子　谷口智世　額賀　崇　上村眞由

7

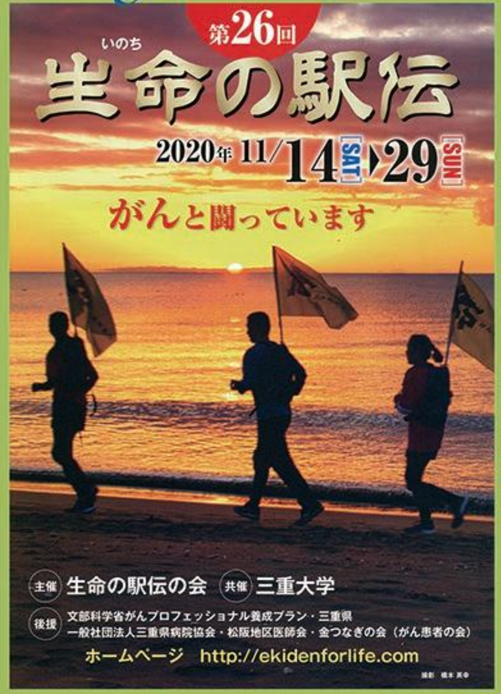
がん研究支援

生命の駅伝 事務局
〒515-0005　三重県松阪市鎌田町732番地
TEL.[redacted]　FAX.0598-51-0505
メール:ekiden.for.life@gmail.com

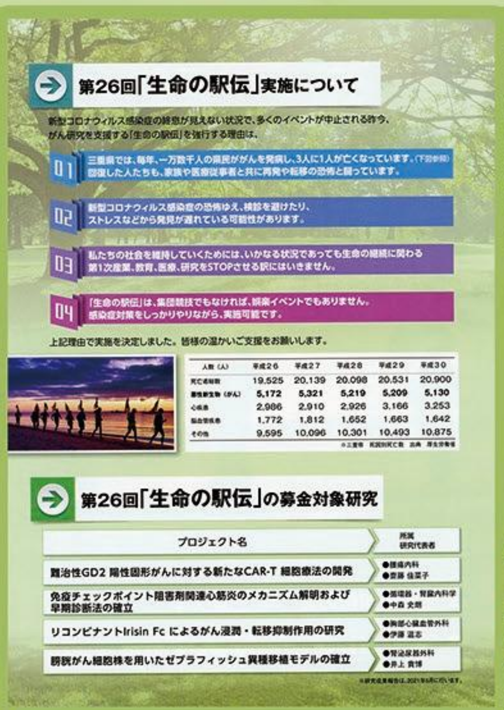
26

いのち
～生命の駅伝～
EKIDEN FOR LIFE

Program


第26回
いのち
生命の駅伝
2020年 11/14〔SAT〕▶29〔SUN〕
がんと闘っています

主催 生命の駅伝の会　共催 三重大学
後援 文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン・三重県
一般社団法人三重県病院協会・松阪地区医師会・金つなぎの会（がん患者の会）
ホームページ　http://ekidenforlife.com


第26回「生命の駅伝」実施について

新型コロナウィルス感染症の終息が見えない状況で、多くのイベントが中止される昨今、がん研究を支援する「生命の駅伝」を強行する理由は、

01 三重県では、毎年、一万数千人の県民ががんを発病し、3人に1人が亡くなっています。(下図参照) 闘病した人たちも、家族や医療従事者と共に再発や転移の恐怖と闘っています。

02 新型コロナウィルス感染症の恐怖ゆえ、検診を避けたり、ストレスなどから発見が遅れている可能性があります。

03 私たちの社会を維持していくためには、いかなる状況であっても生命の継続に関わる第1次産業、教育、医療、研究をSTOPさせる訳にはいきません。

04 「生命の駅伝」は、集団競技でもなければ、娯楽イベントでもありません。感染症対策をしっかりやりながら、実施可能です。

上記理由で実施を決定しました。皆様の温かいご支援をお願いします。

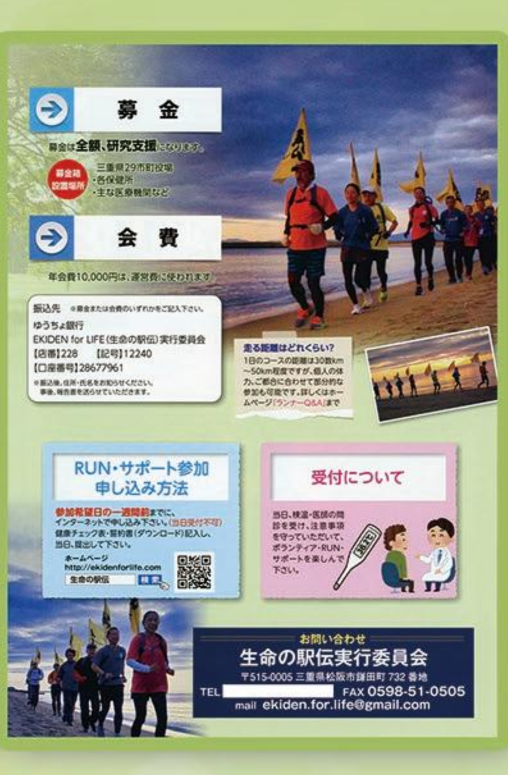
人数（人）	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
死亡者総数	19,525	20,139	20,098	20,531	20,900
悪性新生物（がん）	5,172	5,321	5,219	5,209	5,130
心疾患	2,986	2,910	2,926	3,166	3,253
脳血管疾患	1,772	1,812	1,652	1,663	1,642
その他	9,595	10,096	10,301	10,493	10,875

※三重県 死因別死亡数 出典 厚生労働省

第26回「生命の駅伝」の募金対象研究

プロジェクト名	所属 研究代表者
難治性GD2 陽性固形がんに対する新たなCAR-T 細胞療法の開発	●腫瘍内科 ●齋藤 佳菜子
免疫チェックポイント阻害剤関連心筋炎のメカニズム解明および早期診断法の確立	●循環器・腎臓内科学 ●中森 史朗
リコンビナントIrisin Fc によるがん浸潤・転移抑制作用の研究	●胸部心臓血管外科 ●伊藤 温志
膀胱がん細胞株を用いたゼブラフィッシュ異種移植モデルの確立	●腎泌尿器外科 ●井上 貴博

※研究成果報告は、2021年6月に行います。


募金

募金は全額、研究支援になります。

募金箱設置場所
- 三重県29市町役場
- 各保健所
- 主な医療機関など

会費

年会費10,000円は、運営費に使われます。

振込先 ※募金または会費のいずれかをご記入下さい。
ゆうちょ銀行
EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）実行委員会
【店番】228　【記号】12240
【口座番号】28677961
※振込後、住所・氏名をお知らせください。事後、報告書を送らせていただきます。

走る距離はどれくらい？
1日のコースの距離は30数km～50km程度ですが、個人の体力、ご都合に合わせて部分的な参加も可能です。詳しくはホームページ「ランナーQ&A」まで

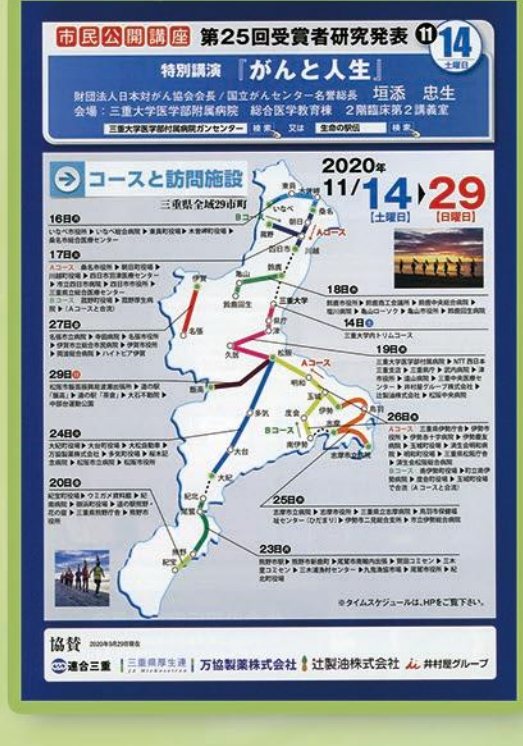
RUN・サポート参加申し込み方法

参加希望日の一週間前までに、インターネットで申し込み下さい。（当日受付不可）
健康チェック表・誓約書（ダウンロード）記入し、当日、提出して下さい。
ホームページ
http://ekidenforlife.com
生命の駅伝　検索

受付について

当日、検温・医師の問診を受け、注意事項を守っていただいて、ボランティア・RUN・サポートを楽しんで下さい。

お問い合わせ
生命の駅伝実行委員会
〒515-0005 三重県松阪市鎌田町 732 番地
TEL [redacted] FAX 0598-51-0505
mail ekiden.for.life@gmail.com


市民公開講座　第25回受賞者研究発表 11/14 土曜日
特別講演『がんと人生』
財団法人日本対がん協会会長／国立がんセンター名誉総長　垣添　忠生
会場：三重大学医学部附属病院　総合医学教育棟　2階臨床第2講義室
三重大学医学部付属病院ガンセンター 検索　又は　生命の駅伝 検索

コースと訪問施設
三重県全域29市町
2020年 11/14【土曜日】▶29【日曜日】

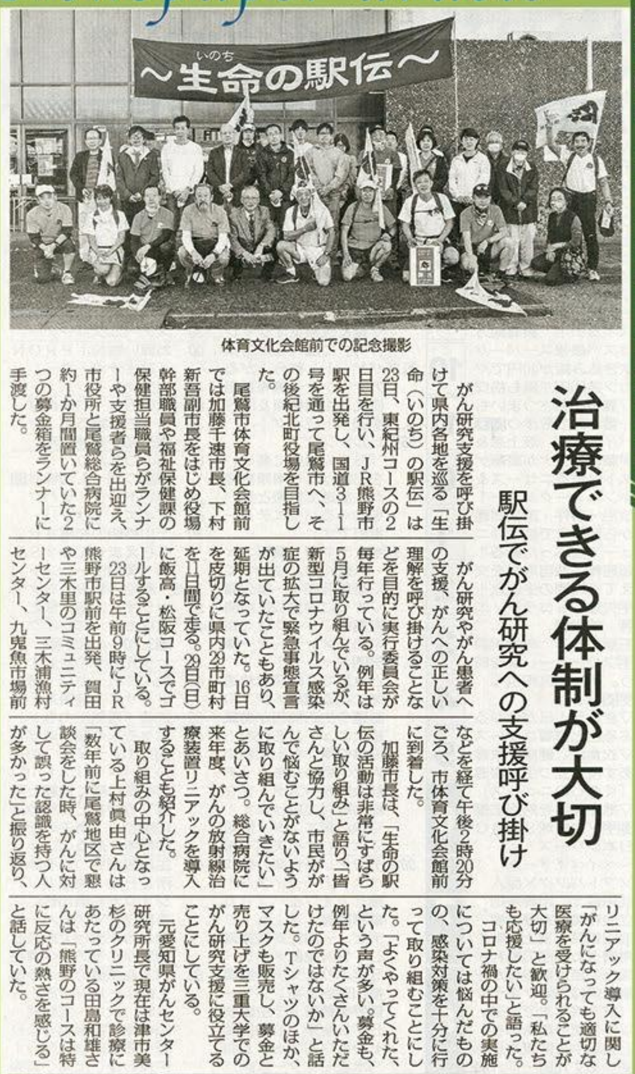
※タイムスケジュールは、HPをご覧下さい。

協賛 2020年9月29日現在
連合三重｜三重県厚生連｜万協製薬株式会社｜辻製油株式会社｜井村屋グループ

Photograph

Newspaper article

紀勢新聞　2020年11月25日


治療できる体制が大切
駅伝でがん研究への支援呼び掛け

体育文化会館前での記念撮影

がん研究支援を呼び掛けて県内各地を巡る「生命（いのち）の駅伝」は23日、東紀州コースの2日目を行い、JR熊野市駅を出発し、国道311号を通って尾鷲市へ、その後紀北町役場を目指した。

尾鷲市体育文化会館前では加藤千速市長、下村新吾副市長をはじめ役場幹部職員や福祉保健課の保健担当職員らがランナーや支援者らを出迎え、市役所と尾鷲総合病院に約1か月間置いていた2つの募金箱をランナーに手渡した。

がん研究やがん患者への支援、がんへの正しい理解を呼び掛けることなどを目的に実行委員会が毎年行っている。例年は5月に取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症の拡大で緊急事態宣言が出ていたこともあり、延期となっていた。16日を皮切りに県内29市町村を11日間で走る。29日(日)に飯高・松阪コースでゴールすることにしている。

23日は午前9時にJR熊野市駅前を出発、賀田や三木里のコミュニティーセンター、三木浦漁村センター、九鬼魚市場前などを経て午後2時20分ごろ、市体育文化会館前に到着した。

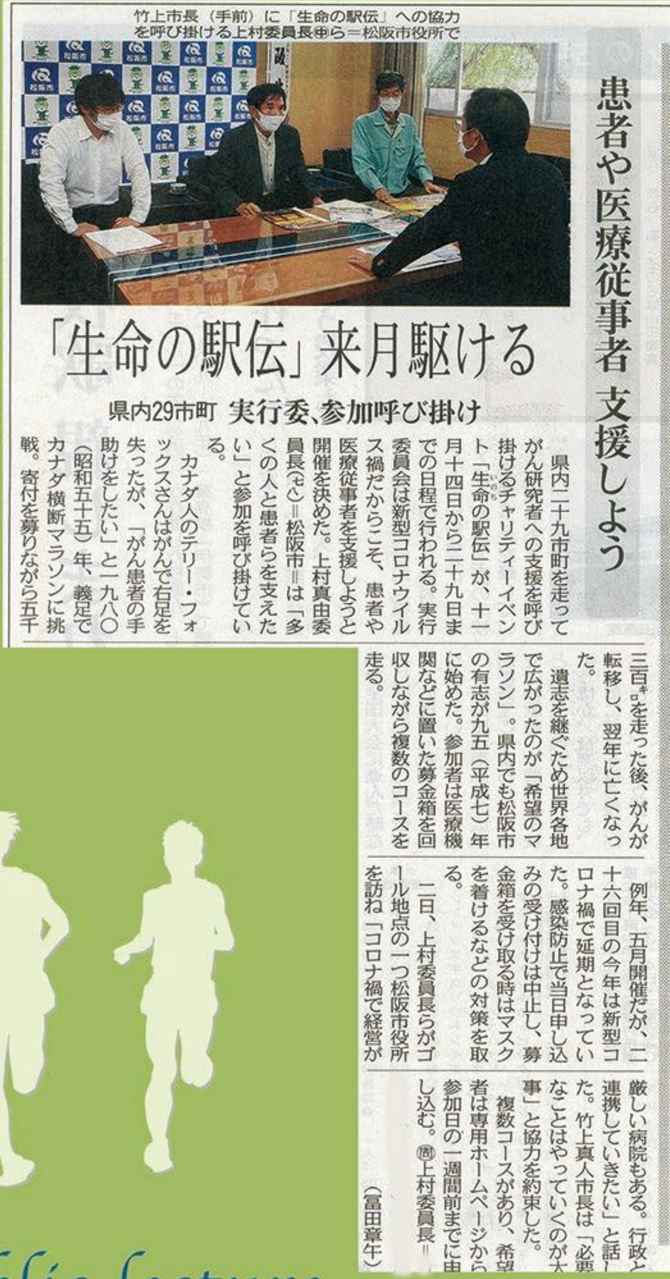
加藤市長は、「生命の駅伝の活動は非常にすばらしい取り組み」と語り、「皆さんと協力し、市民ががんで悩むことがないように取り組んでいきたい」とあいさつ。総合病院に来年度、がんの放射線治療装置リニアックを導入することも紹介した。

取り組みの中心となっている上村眞由さんは「数年前に尾鷲地区で懇談会をした時、がんに対して誤った認識を持つ人が多かった」と振り返り、リニアック導入に関し「がんになっても適切な医療を受けられることが大切」と歓迎。「私たちも応援したい」と語った。

コロナ禍の中での実施については悩んだものの、感染対策を十分に行って取り組むことにした。「よくやってくれた、という声が多い。募金も、例年よりたくさんいただけたのではないか」と話した。Tシャツのほか、マスクも販売し、募金と売り上げを三重大学でのがん研究支援に役立てることにしている。

元愛知県がんセンター研究所長で現在は津市美杉のクリニックで診療にあたっている田島和雄さんは「熊野のコースは特に反応の熱さを感じる」と話していた。

中日新聞【三重版】2020年3月25日


竹上市長（手前）に「生命の駅伝」への協力を呼び掛ける上村委員長㊥ら＝松阪市役所で

患者や医療従事者 支援しよう
「生命の駅伝」来月駆ける
県内29市町 実行委、参加呼び掛け

県内二十九市町を走ってがん研究者への支援を呼び掛けるチャリティーイベント「生命（いのち）の駅伝」が、十一月十四日から二十九日までの日程で行われる。実行委員会は新型コロナウイルス禍だからこそ、患者や医療従事者を支援しようと開催を決めた。上村真由委員長（七〇）＝松阪市＝は「多くの人と患者らを支えたい」と参加を呼び掛けている。

カナダ人のテリー・フォックスさんはがんで右足を失ったが、「がん患者の手助けをしたい」と一九八〇（昭和五十五）年、義足でカナダ横断マラソンに挑戦。寄付を募りながら五千三百㌔を走った後、がんが転移し、翌年に亡くなった。

遺志を継ぐため世界各地で広がったのが「希望のマラソン」。県内でも松阪市の有志が九五（平成七）年に始めた。参加者は医療機関などに置いた募金箱を回収しながら複数のコースを走る。

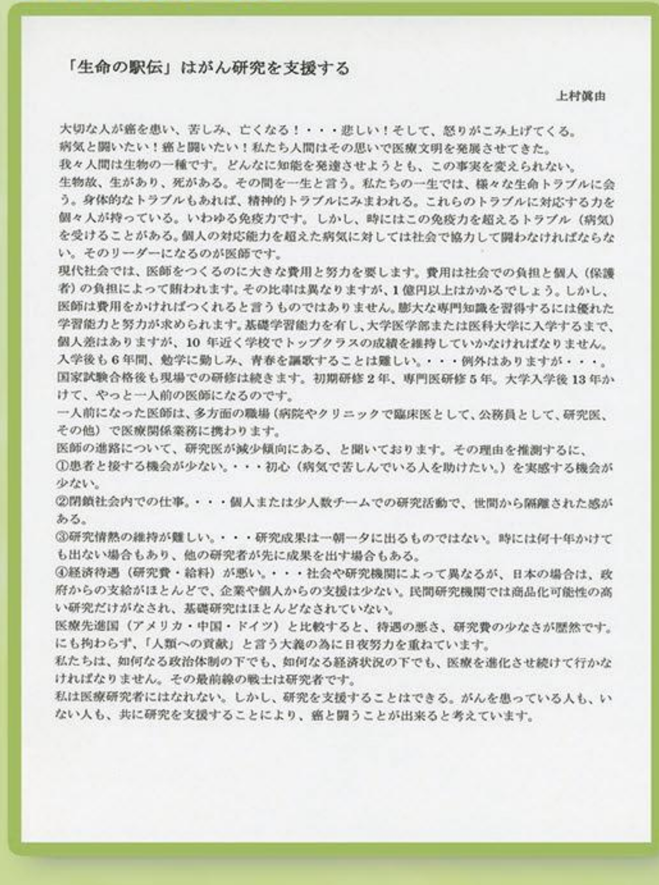
例年、五月開催だが、二十六回目の今年は新型コロナ禍で延期となっていた。感染防止で当日申し込みの受け付けは中止し、募金箱を受け取る時はマスクを着けるなどの対策を取る。

二日、上村委員長らがゴール地点の一つ松阪市役所を訪ね「コロナ禍で経営が厳しい病院もある。行政と連携していきたい」と話した。竹上真人市長は「必要なことはやっていくのが大事」と協力を約束した。

複数コースがあり、希望者は専用ホームページから参加日の一週間前までに申し込む。(問)上村委員長＝[redacted]

（富田章午）

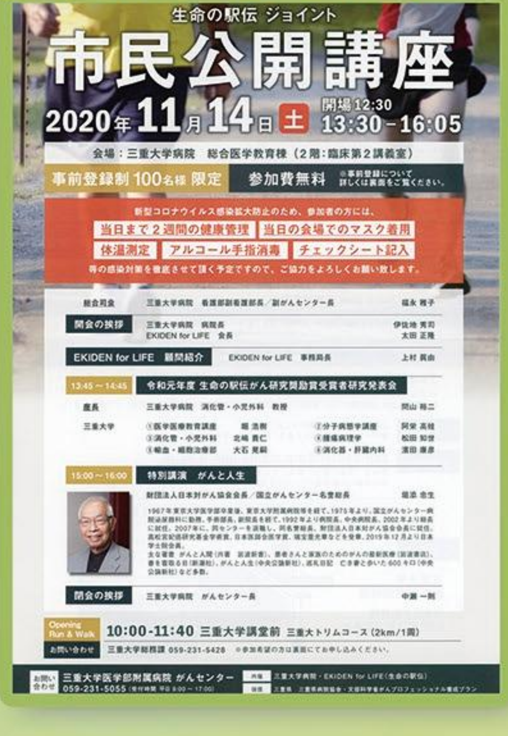
About us


「生命の駅伝」はがん研究を支援する

上村眞由

大切な人が癌を患い、苦しみ、亡くなる！・・・悲しい！そして、怒りがこみ上げてくる。
病気と闘いたい！癌と闘いたい！私たち人間はその思いで医療文明を発展させてきた。
我々人間は生物の一種です。どんなに知能を発達させようとも、この事実を変えられない。
生物故、生があり、死がある。その間を一生と言う。私たちの一生では、様々な生命トラブルに会う。身体的なトラブルもあれば、精神的トラブルにみまわれる。これらのトラブルに対応する力を個々人が持っている。いわゆる免疫力です。しかし、時にはこの免疫力を超えるトラブル（病気）を受けることがある。個人の対応能力を超えた病気に対しては社会で協力して闘わなければならない。そのリーダーになるのが医師です。
現代社会では、医師をつくるのに大きな費用と努力を要します。費用は社会での負担と個人（保護者）の負担によって賄われます。その比率は異なりますが、1億円以上はかかるでしょう。しかし、医師は費用をかければつくれると言うものではありません。膨大な専門知識を習得するには優れた学習能力と努力が求められます。基礎学習能力を有し、大学医学部または医科大学に入学するまで、個人差はありますが、10 年近く学校でトップクラスの成績を維持していかなければなりません。入学後も 6 年間、勉学に勤しみ、青春を謳歌することは難しい。・・・例外はありますが・・・。
国家試験合格後も現場での研修は続きます。初期研修 2 年、専門医研修 5 年。大学入学後 13 年かけて、やっと一人前の医師になるのです。
一人前になった医師は、多方面の職場（病院やクリニックで臨床医として、公務員として、研究医、その他）で医療関係業務に携わります。
医師の進路について、研究医が減少傾向にある、と聞いております。その理由を推測するに、
①患者と接する機会が少ない。・・・初心（病気で苦しんでいる人を助けたい。）を実感する機会が少ない。
②閉鎖社会内での仕事。・・・個人または少人数チームでの研究活動で、世間から隔離された感がある。
③研究情熱の維持が難しい。・・・研究成果は一朝一夕に出るものではない。時には何十年かけても出ない場合もあり、他の研究者が先に成果を出す場合もある。
④経済待遇（研究費・給料）が悪い。・・・社会や研究機関によって異なるが、日本の場合は、政府からの支給がほとんどで、企業や個人からの支援は少ない。民間研究機関では商品化可能性の高い研究だけがなされ、基礎研究はほとんどなされていない。
医療先進国（アメリカ・中国・ドイツ）と比較すると、待遇の悪さ、研究費の少なさが歴然です。にも拘わらず、「人類への貢献」と言う大義の為に日夜努力を重ねています。
私たちは、如何なる政治体制の下でも、如何なる経済状況の下でも、医療を進化させ続けて行かなければなりません。その最前線の戦士は研究者です。
私は医療研究者にはなれない。しかし、研究を支援することはできる。がんを患っている人も、いない人も、共に研究を支援することにより、癌と闘うことが出来ると考えています。

Public lecture


生命の駅伝 ジョイント
市民公開講座
2020年11月14日 土　開場12:30　13:30－16:05
会場：三重大学病院　総合医学教育棟（2階：臨床第2講義室）
事前登録制 100名様 限定　参加費無料 ※事前登録について詳しくは裏面をご覧ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者の方には、
当日まで2週間の健康管理　当日の会場でのマスク着用
体温測定　アルコール手指消毒　チェックシート記入
等の感染対策を徹底させて頂く予定ですので、ご協力をよろしくお願い致します。

総合司会　三重大学病院　看護部副看護部長／副がんセンター長　福永 稚子
開会の挨拶　三重大学病院　病院長　伊佐地 秀司
EKIDEN for LIFE　会長　太田 正隆
EKIDEN for LIFE　顧問紹介　EKIDEN for LIFE　事務局長　上村 眞由

13:45～14:45　令和元年度 生命の駅伝がん研究奨励賞受賞者研究発表会
座長　三重大学病院　消化管・小児外科　教授　問山 裕二
三重大学
①医学医療教育講座　堀 浩樹
②分子病態学講座　阿栄 高娃
③消化管・小児外科　北嶋 貴仁
④腫瘍病理学　松田 知世
⑤輸血・細胞治療部　大石 晃嗣
⑥消化器・肝臓内科　濱田 康彦

15:00～16:00　特別講演　がんと人生
財団法人日本対がん協会会長／国立がんセンター名誉総長　垣添 忠生

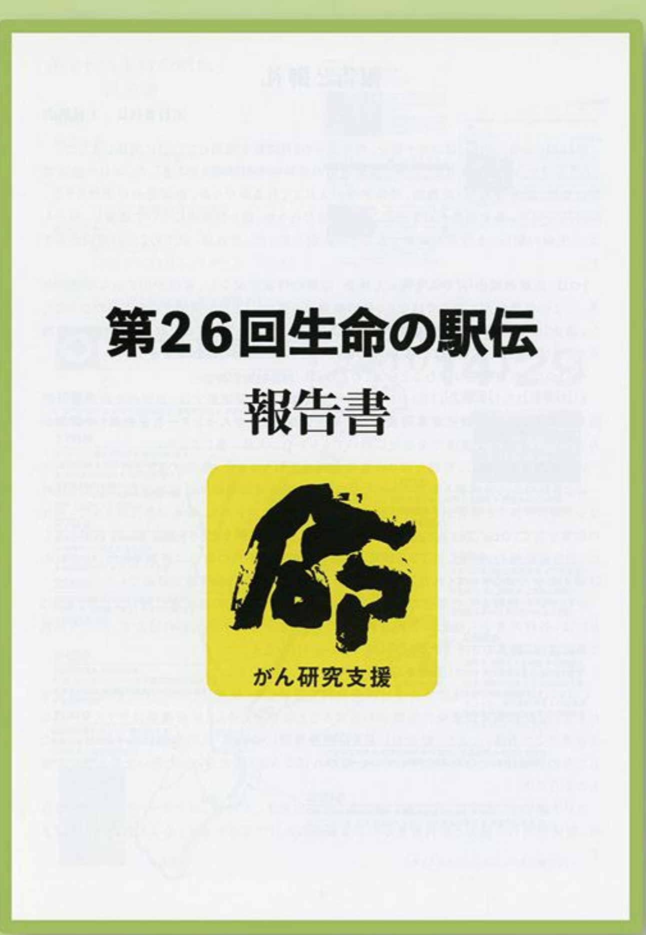
閉会の挨拶　三重大学病院　がんセンター長　中瀬 一則

Opening Run & Walk　10:00-11:40 三重大学講堂前 三重大トリムコース（2km/1周）
お問い合わせ　三重大学総務課 059-231-5428 ※参加希望の方は裏面にてお申し込みください。

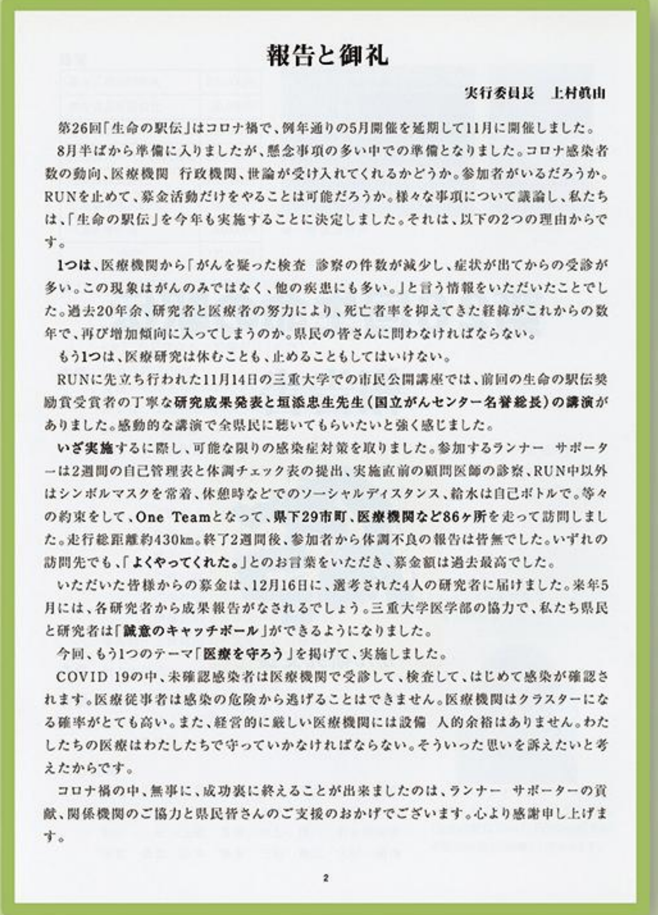
お問い合わせ　三重大学医学部附属病院 がんセンター 059-231-5055

2020

2020



第26回生命の駅伝
報告書



報告と御礼

実行委員長　上村眞由

第26回「生命の駅伝」はコロナ禍で、例年通りの5月開催を延期して11月に開催しました。

8月半ばから準備に入りましたが、懸念事項の多い中での準備となりました。コロナ感染者数の動向、医療機関　行政機関、世論が受け入れてくれるかどうか。参加者がいるだろうか。RUNを止めて、募金活動だけをやることは可能だろうか。様々な事項について議論し、私たちは、「生命の駅伝」を今年も実施することに決定しました。それは、以下の2つの理由からです。

1つは、医療機関から「がんを疑った検査　診察の件数が減少し、症状が出てからの受診が多い。この現象はがんのみではなく、他の疾患にも多い。」と言う情報をいただいたことでした。過去20年余、研究者と医療者の努力により、死亡者率を抑えてきた経緯がこれからの数年で、再び増加傾向に入ってしまうのか。県民の皆さんに問わなければならない。

もう**1つ**は、医療研究は休むことも、止めることもしてはいけない。

RUNに先立ち行われた11月14日の三重大学での市民公開講座では、前回の生命の駅伝奨励賞受賞者の丁寧な**研究成果発表と垣添忠生先生（国立がんセンター名誉総長）の講演**がありました。感動的な講演で全県民に聴いてもらいたいと強く感じました。

いざ実施するに際し、可能な限りの感染症対策を取りました。参加するランナー　サポーターは2週間の自己管理表と体調チェック表の提出、実施直前の顧問医師の診察、RUN中以外はシンボルマスクを常着、休憩時などでのソーシャルディスタンス、給水は自己ボトルで。等々の約束をして、One Teamとなって、**県下29市町、医療機関など86ヶ所**を走って訪問しました。走行総距離約430km。終了2週間後、参加者から体調不良の報告は皆無でした。いずれの訪問先でも、「**よくやってくれた。**」とのお言葉をいただき、募金額は過去最高でした。

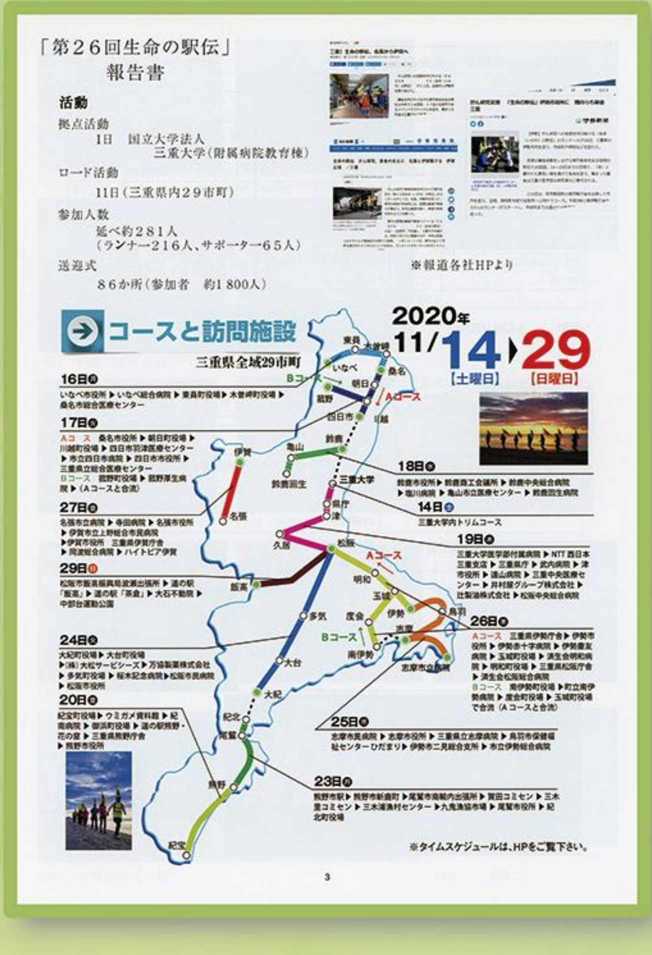
いただいた皆様からの募金は、12月16日に、選考された4人の研究者に届けました。来年5月には、各研究者から成果報告がなされるでしょう。三重大学医学部の協力で、私たち県民と研究者は「**誠意のキャッチボール**」ができるようになりました。

今回、もう1つのテーマ「**医療を守ろう**」を掲げて、実施しました。

COVID 19の中、未確認感染者は医療機関で受診して、検査して、はじめて感染が確認されます。医療従事者は感染の危険から逃げることはできません。医療機関はクラスターになる確率がとても高い。また、経営的に厳しい医療機関には設備　人的余裕はありません。わたしたちの医療はわたしたちで守っていかなければならない。そういった思いを訴えたいと考えたからです。

コロナ禍の中、無事に、成功裏に終えることが出来ましたのは、ランナー　サポーターの貢献、関係機関のご協力と県民皆さんのご支援のおかげでございます。心より感謝申し上げます。

2



「第26回生命の駅伝」
報告書

活動

拠点活動
1日　国立大学法人
三重大学（附属病院教育棟）

ロード活動
11日（三重県内29市町）

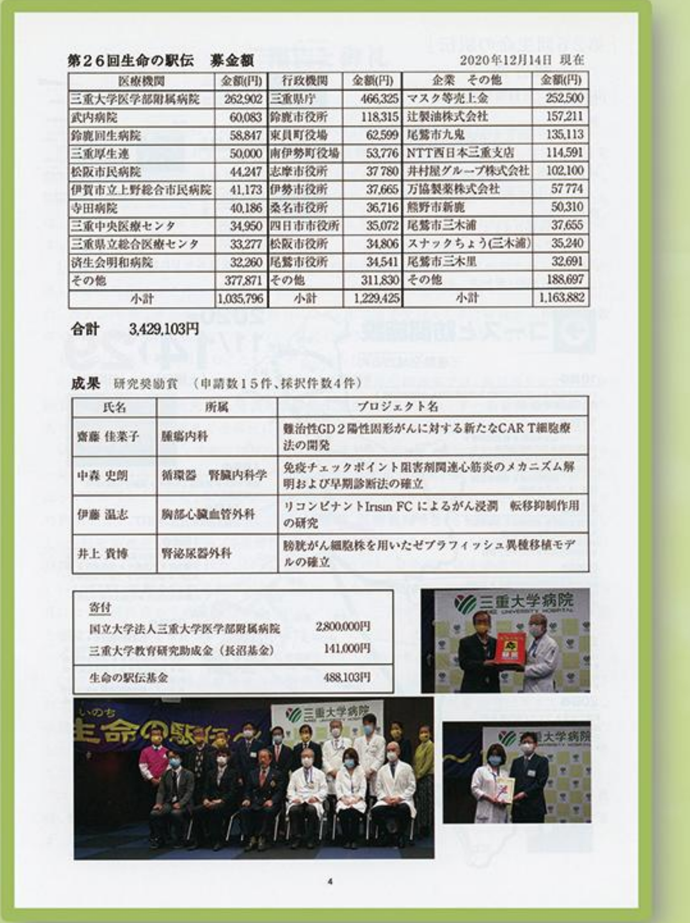
参加人数
延べ約281人
（ランナー216人、サポーター65人）

送迎式
86か所（参加者　約1 800人）

※報道各社HPより

※タイムスケジュールは、HPをご覧下さい。

3



第26回生命の駅伝　募金額　　2020年12月14日 現在

医療機関	金額(円)	行政機関	金額(円)	企業　その他	金額(円)
三重大学医学部附属病院	262,902	三重県庁	466,325	マスク等売上金	252,500
武内病院	60,083	鈴鹿市役所	118,315	辻製油株式会社	157,211
鈴鹿回生病院	58,847	東員町役場	62,599	尾鷲市九鬼	135,113
三重厚生連	50,000	南伊勢町役場	53,776	NTT西日本三重支店	114,591
松阪市民病院	44,247	志摩市役所	37 780	井村屋グループ株式会社	102,100
伊賀市立上野総合市民病院	41,173	伊勢市役所	37,665	万協製薬株式会社	57 774
寺田病院	40,186	桑名市役所	36,716	熊野市新鹿	50,310
三重中央医療センタ	34,950	四日市市役所	35,072	尾鷲市三木浦	37,655
三重県立総合医療センタ	33,277	松阪市役所	34,806	スナックちょう(三木浦)	35,240
済生会明和病院	32,260	尾鷲市役所	34,541	尾鷲市三木里	32,691
その他	377,871	その他	311,830	その他	188,697
小計	1,035,796	小計	1,229,425	小計	1,163,882

合計　3,429,103円

成果　研究奨励賞　（申請数15件、採択件数4件）

氏名	所属	プロジェクト名
齋藤 佳菜子	腫瘍内科	難治性GD２陽性固形がんに対する新たなCAR T細胞療法の開発
中森 史朗	循環器　腎臓内科学	免疫チェックポイント阻害剤関連心筋炎のメカニズム解明および早期診断法の確立
伊藤 温志	胸部心臓血管外科	リコンビナントIrisin FC によるがん浸潤　転移抑制作用の研究
井上 貴博	腎泌尿器外科	膀胱がん細胞株を用いたゼブラフィッシュ異種移植モデルの確立

寄付	
国立大学法人三重大学医学部附属病院	2,800,000円
三重大学教育研究助成金（長沼基金）	141,000円
生命の駅伝基金	488,103円

4

14日　三重大学

20日　雨の熊野路

14日　特別講演『がんと人生』
国立がんセンター名誉総長
垣添 忠生　先生

16日　いなべ厚生病院

17日　桑名市役所出発式

18日　鈴鹿商工会議所

17日　四日市市役所

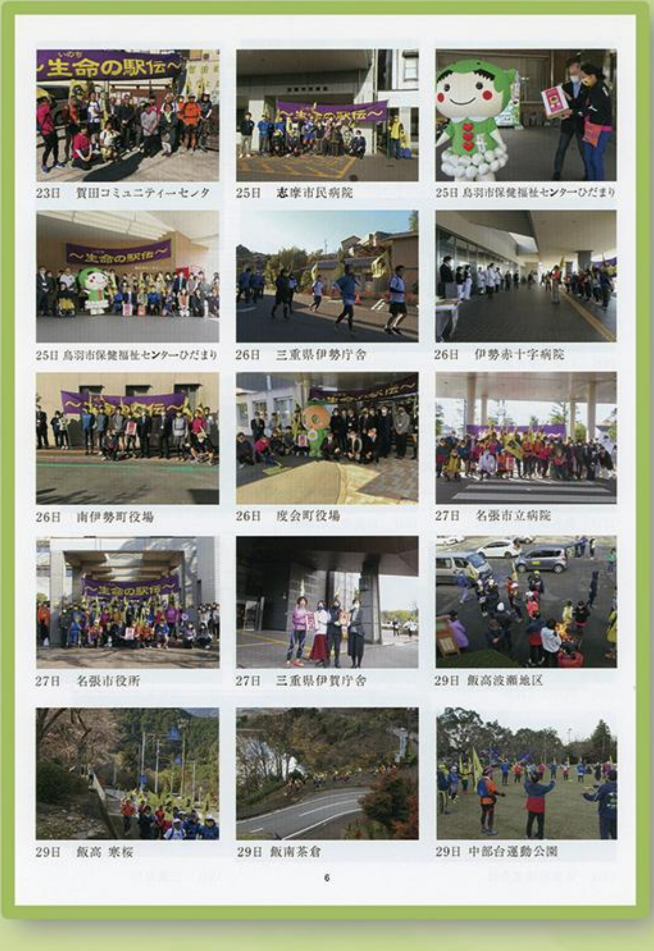
19日　連合三重協賛金授受

19日　井村屋グループ本社

19日　辻製油株式会社

19日　三重県庁

5



23日　賀田コミュニティーセンタ

25日　志摩市民病院

25日 鳥羽市保健福祉センターひだまり

25日 鳥羽市保健福祉センターひだまり

26日　三重県伊勢庁舎

26日　伊勢赤十字病院

26日　南伊勢町役場

26日　度会町役場

27日　名張市立病院

27日　名張市役所

27日　三重県伊賀庁舎

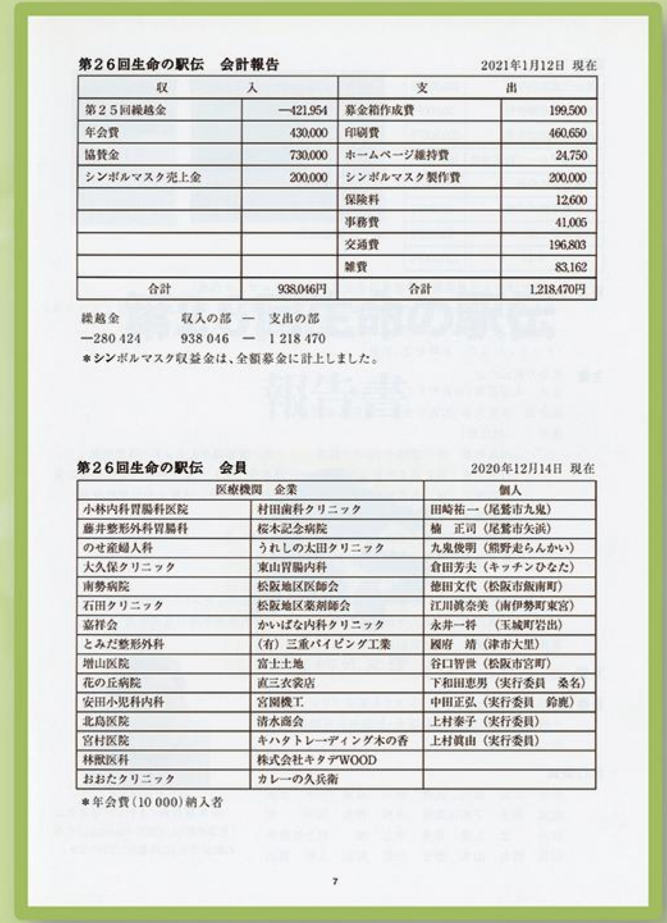
29日　飯高波瀬地区

29日　飯高 寒桜

29日　飯南茶倉

29日　中部台運動公園

6



第26回生命の駅伝　会計報告　　2021年1月12日 現在

収入		支出	
第25回繰越金	─421,954	募金箱作成費	199,500
年会費	430,000	印刷費	460,650
協賛金	730,000	ホームページ維持費	24,750
シンボルマスク売上金	200,000	シンボルマスク製作費	200,000
		保険料	12,600
		事務費	41,005
		交通費	196,803
		雑費	83,162
合計	938,046円	合計	1,218,470円

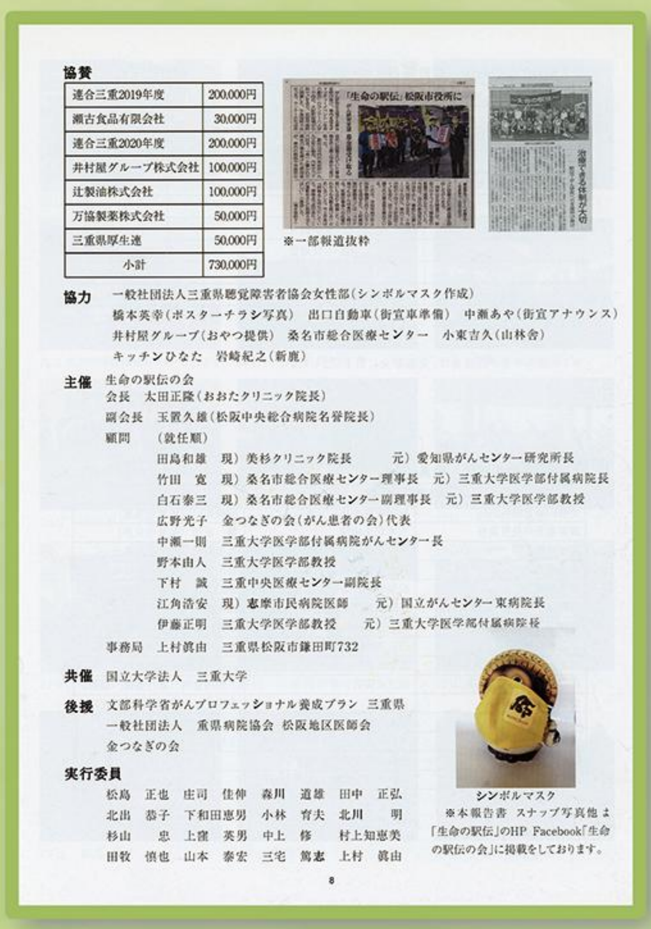
繰越金　　収入の部　─　支出の部
─280 424　　938 046　─　1 218 470
＊シンボルマスク収益金は、全額募金に計上しました。

第26回生命の駅伝　会員　　2020年12月14日 現在

医療機関　企業		個人
小林内科胃腸科医院	村田歯科クリニック	田崎祐一（尾鷲市九鬼）
藤井整形外科胃腸科	桜木記念病院	楠　正司（尾鷲市矢浜）
のせ産婦人科	うれしの太田クリニック	九鬼俊明（熊野走らんかい）
大久保クリニック	東山胃腸内科	倉田芳夫（キッチンひなた）
南勢病院	松阪地区医師会	徳田文代（松阪市飯南町）
石田クリニック	松阪地区薬剤師会	江川眞奈美（南伊勢町東宮）
嘉祥会	かいばな内科クリニック	永井一将　（玉城町岩出）
とみだ整形外科	（有）三重パイピング工業	國府　靖（津市大里）
増山医院	富士土地	谷口智世（松阪市宮町）
花の丘病院	直三衣裳店	下和田恵男（実行委員　桑名）
安田小児科内科	宮園機工	中田正弘（実行委員　鈴鹿）
北島医院	清水商会	上村泰子（実行委員）
宮村医院	キハタトレーディング木の香	上村眞由（実行委員）
林獣医科	株式会社キタデWOOD	
おおたクリニック	カレーの久兵衛	

＊年会費（10 000）納入者

7



協賛

連合三重2019年度	200,000円
瀬古食品有限会社	30,000円
連合三重2020年度	200,000円
井村屋グループ株式会社	100,000円
辻製油株式会社	100,000円
万協製薬株式会社	50,000円
三重県厚生連	50,000円
小計	730,000円

※一部報道抜粋

協力　一般社団法人三重県聴覚障害者協会女性部（シンボルマスク作成）
橋本英幸（ポスターチラシ写真）　出口自動車（街宣車準備）　中瀬あや（街宣アナウンス）
井村屋グループ（おやつ提供）　桑名市総合医療センター　小東吉久（山林舎）
キッチンひなた　岩崎紀之（新鹿）

主催　生命の駅伝の会
会長　太田正隆（おおたクリニック院長）
副会長　玉置久雄（松阪中央総合病院名誉院長）
顧問　（就任順）
田島和雄　現）美杉クリニック院長　元）愛知県がんセンター研究所長
竹田　寛　現）桑名市総合医療センター理事長　元）三重大学医学部付属病院長
白石泰三　現）桑名市総合医療センター副理事長　元）三重大学医学部教授
広野光子　金つなぎの会（がん患者の会）代表
中瀬一則　三重大学医学部付属病院がんセンター長
野本由人　三重大学医学部教授
下村　誠　三重中央医療センター副院長
江角浩安　現）志摩市民病院医師　元）国立がんセンター東病院長
伊藤正明　三重大学医学部教授　元）三重大学医学部付属病院長
事務局　上村眞由　三重県松阪市鎌田町732

共催　国立大学法人　三重大学

後援　文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン　三重県
一般社団法人　重県病院協会　松阪地区医師会
金つなぎの会

実行委員
松島　正也　庄司　佳伸　森川　道雄　田中　正弘
北出　恭子　下和田恵男　小林　育夫　北川　明
杉山　忠　上窪　英男　中上　修　村上知恵美
田牧　慎也　山本　泰宏　三宅　篤志　上村　眞由

シンボルマスク
※本報告書 スナップ写真他 は「生命の駅伝」のHP Facebook「生命の駅伝の会」に掲載をしております。

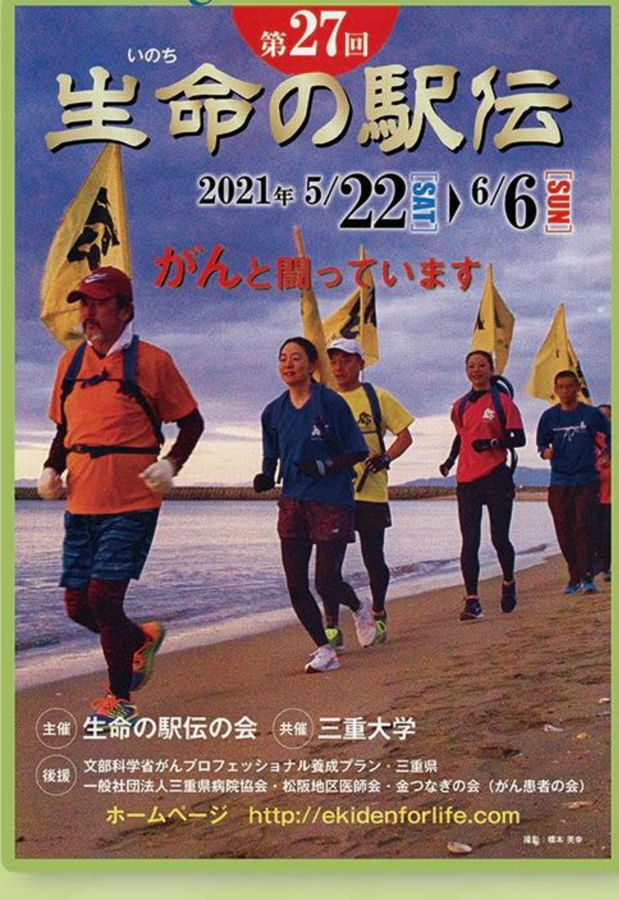
8

～生命（いのち）の駅伝～

EKIDEN FOR LIFE

2021

Program


第27回

生命（いのち）の駅伝

2021年 5/22［SAT］▶ 6/6［SUN］

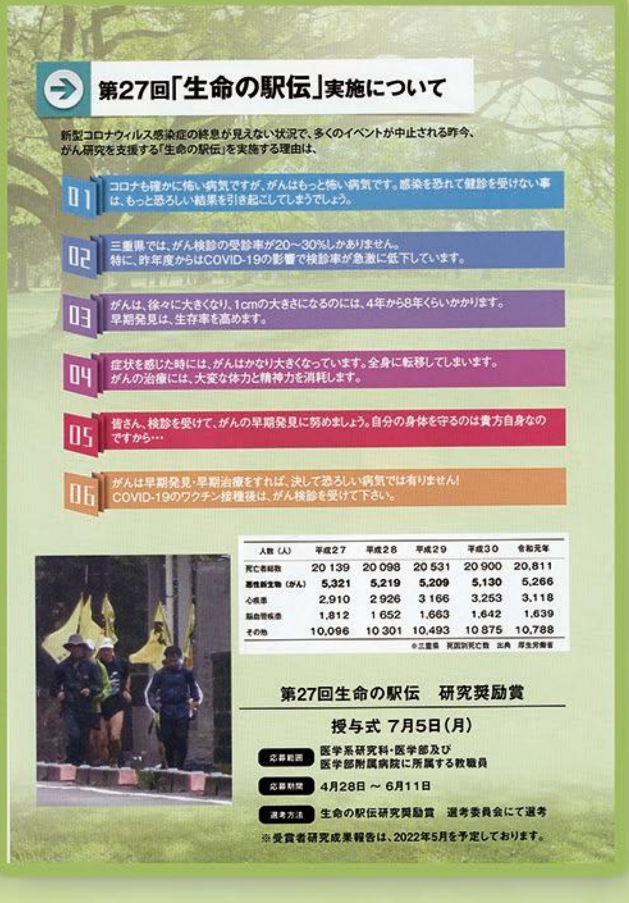
がんと闘っています

主催 生命の駅伝の会　共催 三重大学

後援 文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン・三重県
一般社団法人三重県病院協会・松阪地区医師会・金つなぎの会（がん患者の会）

ホームページ　http://ekidenforlife.com

撮影：橋本 英幸


第27回「生命の駅伝」実施について

新型コロナウィルス感染症の終息が見えない状況で、多くのイベントが中止される昨今、
がん研究を支援する「生命の駅伝」を実施する理由は、

01 コロナも確かに怖い病気ですが、がんはもっと怖い病気です。感染を恐れて健診を受けない事は、もっと恐ろしい結果を引き起こしてしまうでしょう。

02 三重県では、がん検診の受診率が20～30%しかありません。
特に、昨年度からはCOVID-19の影響で検診率が急激に低下しています。

03 がんは、徐々に大きくなり、1cmの大きさになるのには、4年から8年くらいかかります。
早期発見は、生存率を高めます。

04 症状を感じた時には、がんはかなり大きくなっています。全身に転移してしまいます。
がんの治療には、大変な体力と精神力を消耗します。

05 皆さん、検診を受けて、がんの早期発見に努めましょう。自分の身体を守るのは貴方自身なのですから…

06 がんは早期発見・早期治療をすれば、決して恐ろしい病気では有りません！
COVID-19のワクチン接種後は、がん検診を受けて下さい。

人数（人）	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元年
死亡者総数	20 139	20 098	20 531	20 900	20,811
悪性新生物（がん）	5,321	5,219	5,209	5,130	5,266
心疾患	2,910	2 926	3 166	3,253	3,118
脳血管疾患	1,812	1 652	1,663	1,642	1,639
その他	10,096	10 301	10,493	10 875	10,788

※三重県　死因別死亡数　出典　厚生労働省

第27回生命の駅伝　研究奨励賞

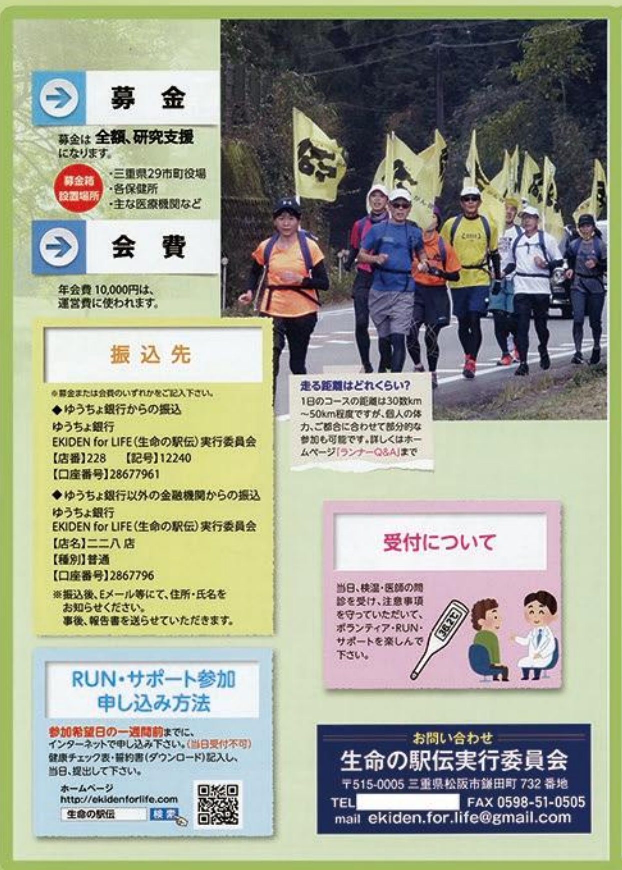
授与式 7月5日（月）

応募範囲　医学系研究科・医学部及び医学部附属病院に所属する教職員

応募期間　4月28日 ～ 6月11日

選考方法　生命の駅伝研究奨励賞　選考委員会にて選考

※受賞者研究成果報告は、2022年5月を予定しております。


募　金

募金は 全額、研究支援になります。

募金箱設置場所
- 三重県29市町役場
- 各保健所
- 主な医療機関など

会　費

年会費 10,000円は、運営費に使われます。

振込先

※募金または会費のいずれかをご記入下さい。

◆ゆうちょ銀行からの振込
ゆうちょ銀行
EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）実行委員会
【店番】228　【記号】12240
【口座番号】28677961

◆ゆうちょ銀行以外の金融機関からの振込
ゆうちょ銀行
EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）実行委員会
【店名】二二八 店
【種別】普通
【口座番号】2867796

※振込後、Eメール等にて、住所・氏名をお知らせください。
事後、報告書を送らせていただきます。

RUN・サポート参加申し込み方法

参加希望日の一週間前までに、インターネットで申し込み下さい。（当日受付不可）
健康チェック表・誓約書（ダウンロード）記入し、当日、提出して下さい。

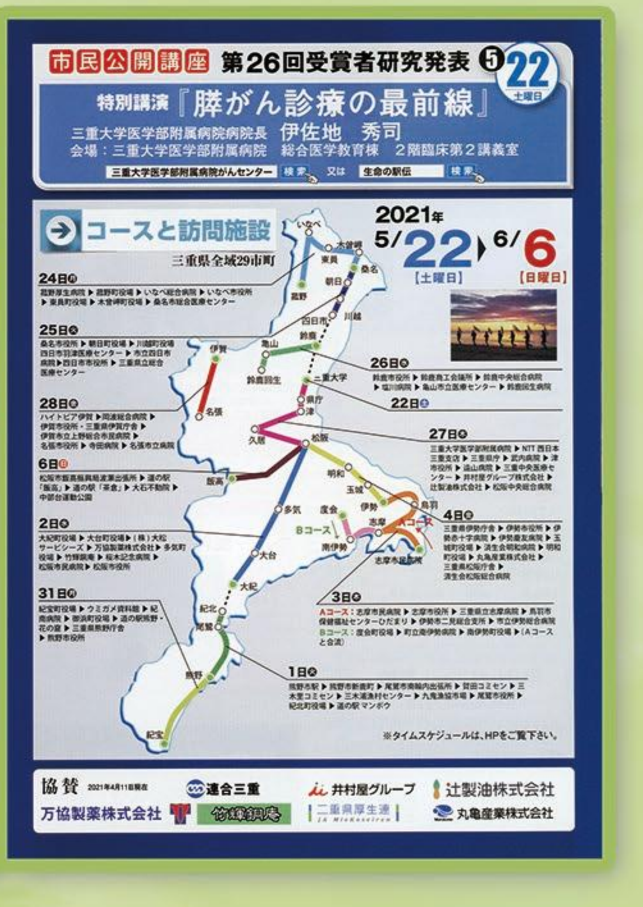
ホームページ
http://ekidenforlife.com
生命の駅伝　検索

走る距離はどれくらい？
1日のコースの距離は30数km～50km程度ですが、個人の体力、ご都合に合わせて部分的な参加も可能です。詳しくはホームページ「ランナーQ&A」まで

受付について

当日、検温・医師の問診を受け、注意事項を守っていただいて、ボランティア・RUN・サポートを楽しんで下さい。

お問い合わせ
生命の駅伝実行委員会
〒515-0005 三重県松阪市鎌田町 732 番地
TEL [redacted]　FAX 0598-51-0505
mail ekiden.for.life@gmail.com


市民公開講座　第26回受賞者研究発表 ⑤22 土曜日

特別講演『膵がん診療の最前線』
三重大学医学部附属病院病院長　伊佐地　秀司
会場：三重大学医学部附属病院　総合医学教育棟　2階臨床第2講義室
三重大学医学部附属病院がんセンター　検索　又は　生命の駅伝　検索

コースと訪問施設

三重県全域29市町

2021年 5/22【土曜日】▶ 6/6【日曜日】

22日（土）

24日（月）
菰野厚生病院 ▶ 菰野町役場 ▶ いなべ総合病院 ▶ いなべ市役所 ▶ 東員町役場 ▶ 木曽岬町役場 ▶ 桑名市総合医療センター

25日（火）
桑名市役所 ▶ 朝日町役場 ▶ 川越町役場 ▶ 四日市羽津医療センター ▶ 市立四日市病院 ▶ 四日市市役所 ▶ 三重県立総合医療センター

26日（水）
鈴鹿市役所 ▶ 鈴鹿商工会議所 ▶ 鈴鹿中央総合病院 ▶ 塩川病院 ▶ 亀山市立医療センター ▶ 鈴鹿回生病院

27日（木）
三重大学医学部附属病院 ▶ NTT西日本三重支店 ▶ 三重県庁 ▶ 武内病院 ▶ 津市役所 ▶ 遠山病院 ▶ 三重中央医療センター ▶ 井村屋グループ株式会社 ▶ 辻製油株式会社 ▶ 松阪中央総合病院

28日（金）
ハイトピア伊賀 ▶ 岡波総合病院 ▶ 伊賀市役所・三重県伊賀庁舎 ▶ 伊賀市立上野総合市民病院 ▶ 名張市役所 ▶ 寺田病院 ▶ 名張市立病院

31日（月）
紀宝町役場 ▶ ウミガメ資料館 ▶ 紀南病院 ▶ 御浜町役場 ▶ 道の駅熊野・花の窟 ▶ 三重県熊野庁舎 ▶ 熊野市役所

1日（火）
熊野市駅 ▶ 熊野市新鹿町 ▶ 尾鷲市南輪内出張所 ▶ 賀田コミセン ▶ 三木里コミセン ▶ 三木浦漁村センター ▶ 九鬼漁協市場 ▶ 尾鷲市役所 ▶ 紀北町役場 ▶ 道の駅 マンボウ

2日（水）
大紀町役場 ▶ 大台町役場 ▶（株）大紀サービシーズ ▶ 万協製薬株式会社 ▶ 多気町役場 ▶ 竹輝銅庵 ▶ 桜木記念病院 ▶ 松阪市民病院 ▶ 松阪市役所

3日（木）
Aコース：志摩市民病院 ▶ 志摩市役所 ▶ 三重県立志摩病院 ▶ 鳥羽市保健福祉センターひだまり ▶ 伊勢市二見総合支所 ▶ 市立伊勢総合病院
Bコース：度会町役場 ▶ 町立南伊勢病院 ▶ 南伊勢町役場 ▶（Aコースと合流）

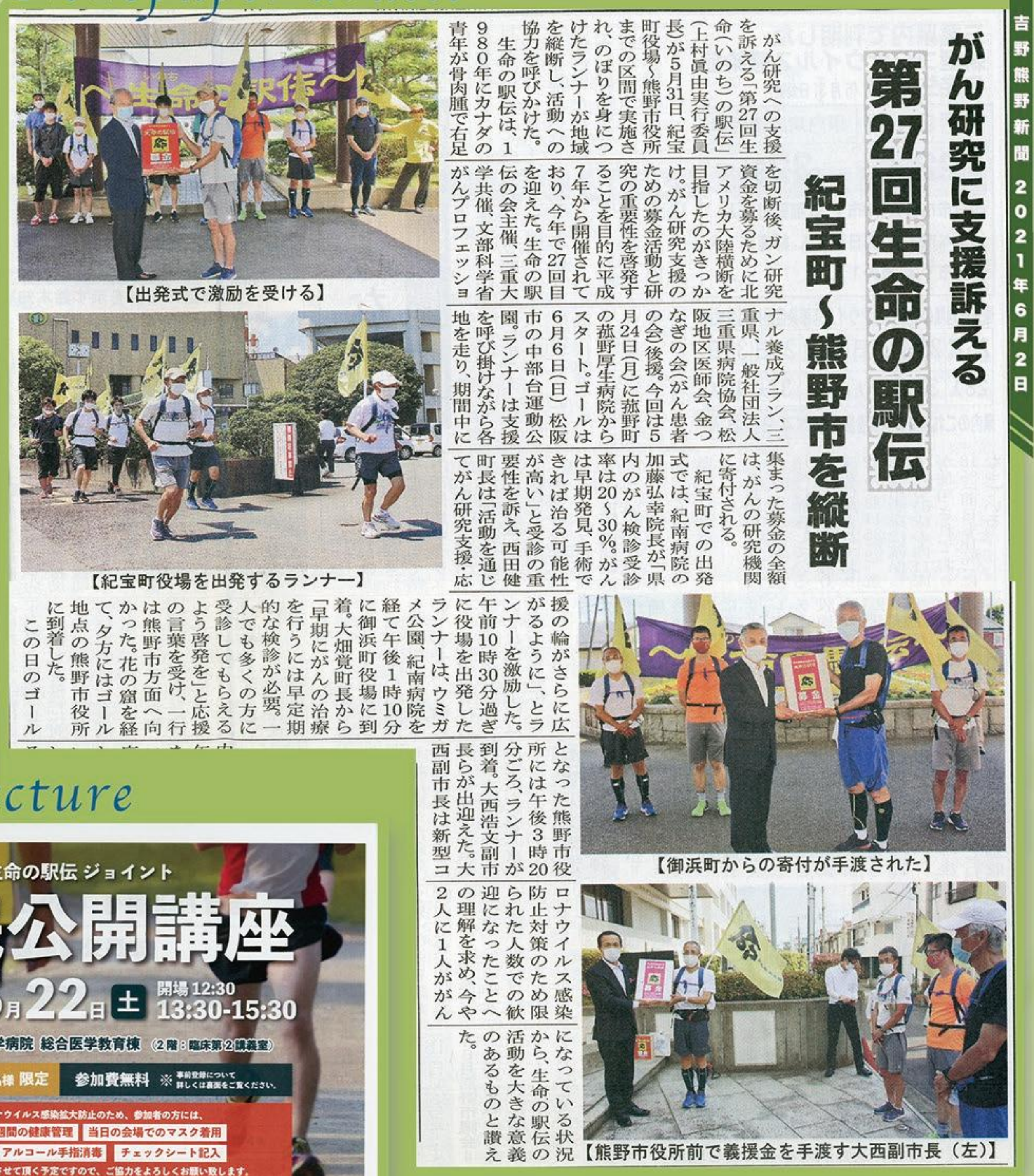
4日（金）
三重県伊勢庁舎 ▶ 伊勢市役所 ▶ 伊勢赤十字病院 ▶ 伊勢慶友病院 ▶ 玉城町役場 ▶ 済生会明和病院 ▶ 明和町役場 ▶ 丸亀産業株式会社 ▶ 三重県松阪庁舎 ▶ 済生会松阪総合病院

6日（日）
松阪市飯高振興局波瀬出張所 ▶ 道の駅「飯高」▶ 道の駅「茶倉」▶ 大石不動院 ▶ 中部台運動公園

※タイムスケジュールは、HPをご覧下さい。

協賛　2021年4月11日現在
連合三重　井村屋グループ　辻製油株式会社
万協製薬株式会社　竹輝銅庵　三重県厚生連　丸亀産業株式会社

Newspaper article


吉野熊野新聞　2021年6月2日

がん研究に支援訴える
第27回生命の駅伝
紀宝町～熊野市を縦断

がん研究への支援を訴える「第27回生命（いのち）の駅伝」（上村眞由実行委員長）が5月31日、紀宝町役場～熊野市役所までの区間で実施され、のぼりを身につけたランナーが地域を縦断し、活動への協力を呼びかけた。

生命の駅伝は、1980年にカナダの青年が骨肉腫で右足を切断後、ガン研究資金を募るために北アメリカ大陸横断を目指したのがきっかけ。がん研究支援のための募金活動と研究の重要性を啓発することを目的に平成7年から開催されており、今年で27回目を迎えた。生命の駅伝の会主催、三重大学共催、文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン、三重県、一般社団法人三重県病院協会、松阪地区医師会、金つなぎの会（がん患者の会）後援。今回は5月24日（月）に菰野町の菰野厚生病院からスタート。ゴールは6月6日（日）松阪市の中部台運動公園。ランナーは支援を呼び掛けながら各地を走り、期間中に集まった募金の全額は、がんの研究機関に寄付される。

紀宝町での出発式では、紀南病院の加藤弘幸院長が「県内のがん検診受診率は20～30%。がんは早期発見、手術できれば治る可能性が高い」と受診の重要性を訴え、西田健町長は「活動を通じてがん研究支援・応援の輪がさらに広がるように」、とランナーを激励した。

午前10時30分過ぎに役場を出発したランナーは、ウミガメ公園、紀南病院を経て午後1時10分に御浜町役場に到着。大畑覚町長から「早期にがんの治療を行うには早定期的な検診が必要。一人でも多くの方に受診してもらえるよう啓発を」と応援の言葉を受け、一行は熊野市方面へ向かった。夕方にはゴール地点の熊野市役所に到着した。

この日のゴールとなった熊野市役所には午後3時20分ごろ、ランナーが到着。大西浩文副市長らが出迎えた。大西副市長は新型コロナウイルス感染防止対策のため限られた人数での歓迎になったことへの理解を求め、今や2人に1人ががんになっている状況から、生命の駅伝の活動を大きな意義のあるものと讃えた。

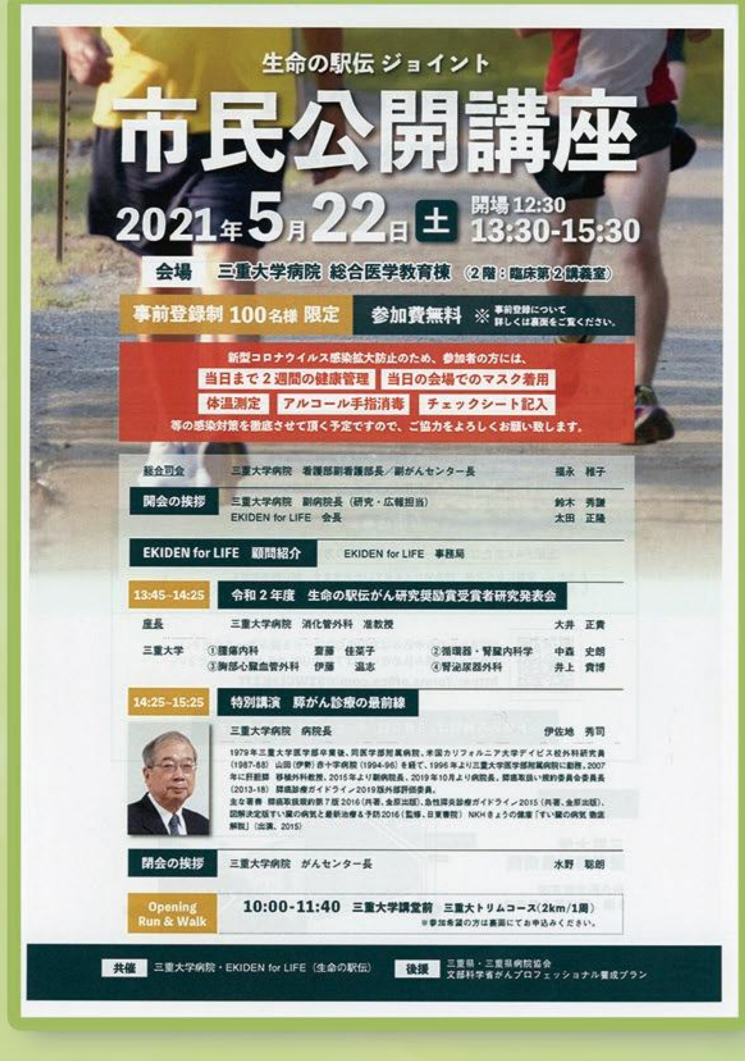
【出発式で激励を受ける】

【紀宝町役場を出発するランナー】

【御浜町からの寄付が手渡された】

【熊野市役所前で義援金を手渡す大西副市長（左）】

Public lecture


生命の駅伝 ジョイント

市民公開講座

2021年5月22日 土　開場 12:30　13:30-15:30

会場　三重大学病院 総合医学教育棟（2階：臨床第2講義室）

事前登録制 100名様 限定　参加費無料 ※事前登録について詳しくは裏面をご覧ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者の方には、
当日まで2週間の健康管理　当日の会場でのマスク着用
体温測定　アルコール手指消毒　チェックシート記入
等の感染対策を徹底させて頂く予定ですので、ご協力をよろしくお願い致します。

総合司会　三重大学病院　看護部副看護部長／副がんセンター長　福永　稚子

開会の挨拶　三重大学病院　副病院長（研究・広報担当）　鈴木　秀謙
EKIDEN for LIFE　会長　太田　正隆

EKIDEN for LIFE　顧問紹介　EKIDEN for LIFE　事務局

13:45-14:25　令和2年度　生命の駅伝がん研究奨励賞受賞者研究発表会
座長　三重大学病院　消化管外科　准教授　大井　正貴
三重大学　①腫瘍内科　齋藤　佳菜子　②循環器・腎臓内科学　中森　史朗
③胸部心臓血管外科　伊藤　温志　④腎泌尿器外科　井上　貴博

14:25-15:25　特別講演　膵がん診療の最前線
三重大学病院　病院長　伊佐地　秀司
1979年三重大学医学部卒業後、同医学部附属病院、米国カリフォルニア大学デイビス校外科研究員（1987-88）山田（伊勢）赤十字病院（1994-96）を経て、1996年より三重大学医学部附属病院に勤務。2007年に肝胆膵・移植外科教授、2015年より副病院長、2019年10月より病院長。膵癌取扱い規約委員会委員長（2013-18）膵癌診療ガイドライン2019版外部評価委員。
主な著書　膵癌取扱規約第7版2016（共著、金原出版）、急性膵炎診療ガイドライン2015（共著、金原出版）、図解決定版すい臓の病気と最新治療&予防2016（監修、日東書院）NHKきょうの健康「すい臓の病気 徹底解説」（出演、2015）

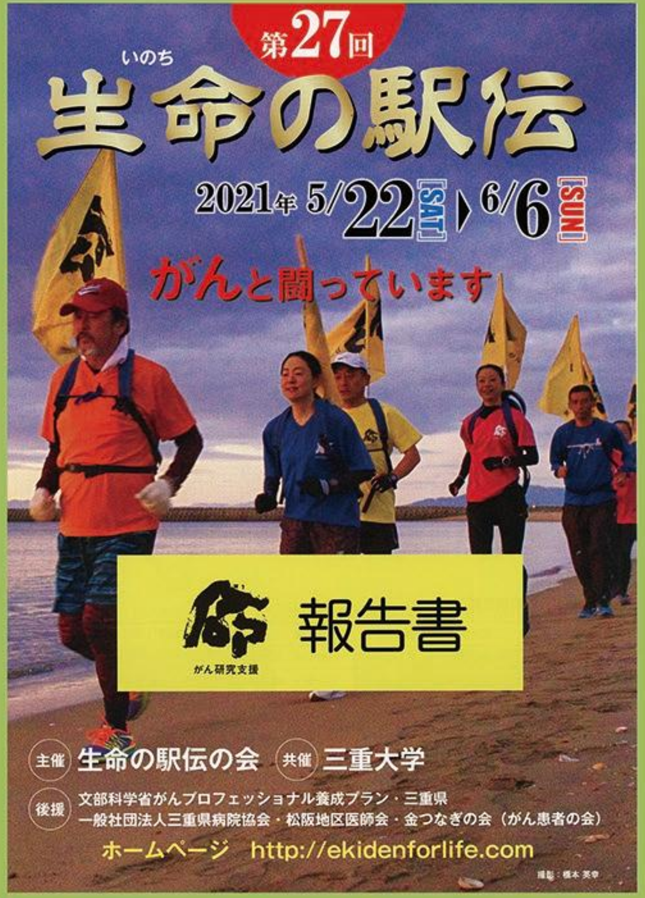
閉会の挨拶　三重大学病院　がんセンター長　水野　聡朗

Opening Run & Walk　10:00-11:40　三重大学講堂前　三重大トリムコース（2km/1周）
※参加希望の方は裏面にてお申込みください。

共催　三重大学病院・EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）　後援　三重県・三重県病院協会　文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン

Photograph

2021



第27回

生命（いのち）の駅伝

2021年 5/22［SAT］▶ 6/6［SUN］

がんと闘っています

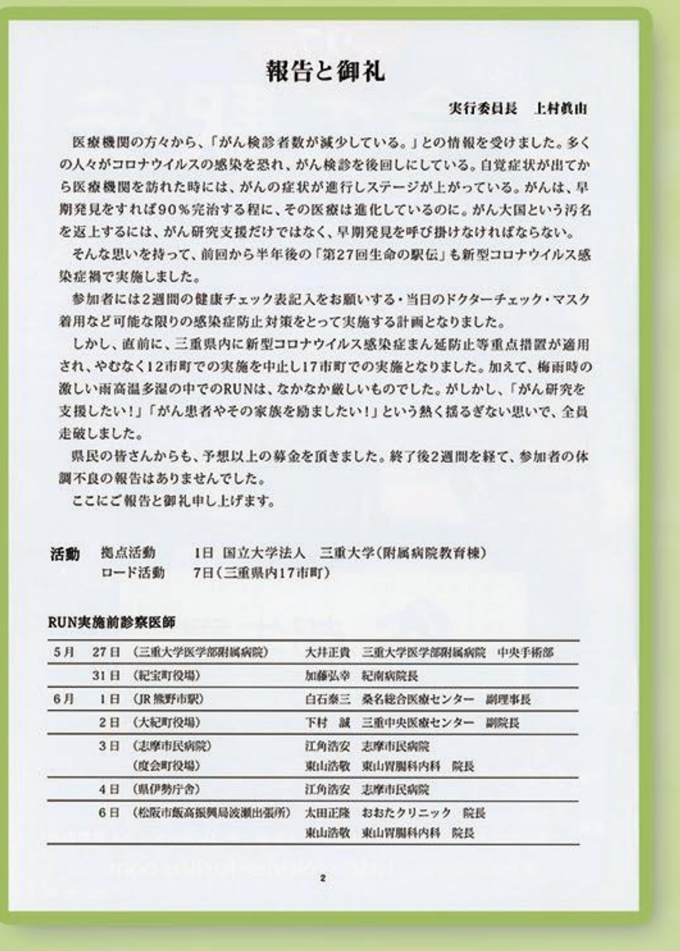
がん研究支援 報告書

主催 生命の駅伝の会　共催 三重大学

後援 文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン・三重県
一般社団法人三重県病院協会・松阪地区医師会・金つなぎの会（がん患者の会）

ホームページ　http://ekidenforlife.com

撮影：橋本 英幸



報告と御礼

実行委員長　上村眞由

医療機関の方々から、「がん検診者数が減少している。」との情報を受けました。多くの人々がコロナウイルスの感染を恐れ、がん検診を後回しにしている。自覚症状が出てから医療機関を訪れた時には、がんの症状が進行しステージが上がっている。がんは、早期発見をすれば90％完治する程に、その医療は進化しているのに。がん大国という汚名を返上するには、がん研究支援だけではなく、早期発見を呼び掛けなければならない。

そんな思いを持って、前回から半年後の「第27回生命の駅伝」も新型コロナウイルス感染症禍で実施しました。

参加者には2週間の健康チェック表記入をお願いする・当日のドクターチェック・マスク着用など可能な限りの感染症防止対策をとって実施する計画となりました。

しかし、直前に、三重県内に新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が適用され、やむなく12市町での実施を中止し17市町での実施となりました。加えて、梅雨時の激しい雨高温多湿の中でのRUNは、なかなか厳しいものでした。がしかし、「がん研究を支援したい！」「がん患者やその家族を励ましたい！」という熱く揺るぎない思いで、全員走破しました。

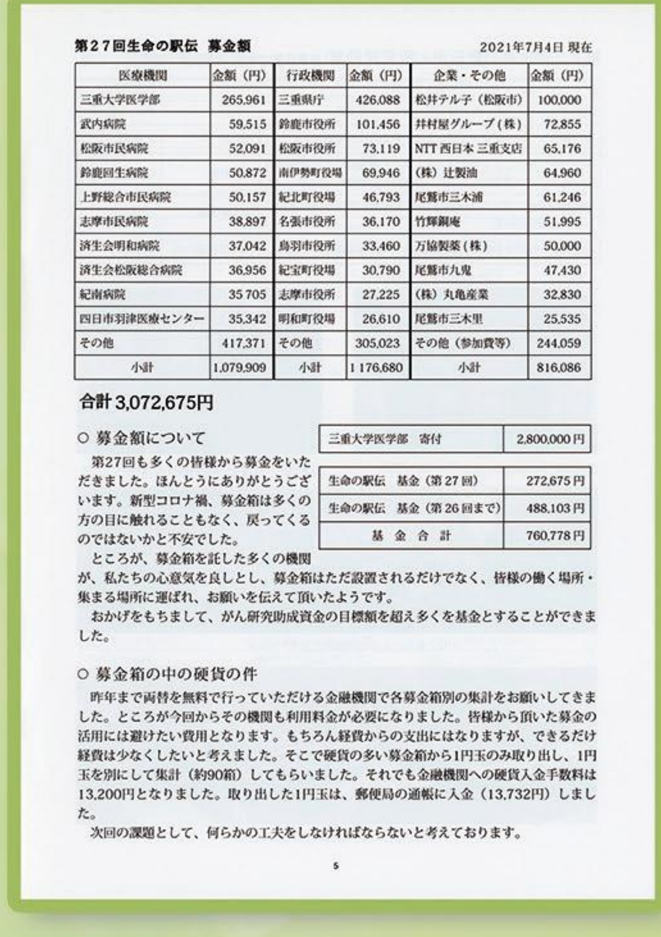
県民の皆さんからも、予想以上の募金を頂きました。終了後2週間を経て、参加者の体調不良の報告はありませんでした。

ここにご報告と御礼申し上げます。

活動　拠点活動　1日 国立大学法人　三重大学（附属病院教育棟）
ロード活動　7日（三重県内17市町）

RUN実施前診察医師

5月	27日	（三重大学医学部附属病院）	大井正貴　三重大学医学部附属病院　中央手術部
	31日	（紀宝町役場）	加藤弘幸　紀南病院長
6月	1日	（JR熊野市駅）	白石泰三　桑名総合医療センター　副理事長
	2日	（大紀町役場）	下村　誠　三重中央医療センター　副院長
	3日	（志摩市民病院） （度会町役場）	江角浩安　志摩市民病院 東山浩敬　東山胃腸科内科　院長
	4日	（県伊勢庁舎）	江角浩安　志摩市民病院
	6日	（松阪市飯高振興局波瀬出張所）	太田正隆　おおたクリニック　院長 東山浩敬　東山胃腸科内科　院長



第２７回生命の駅伝　募金額　2021年7月4日 現在

医療機関	金額（円）	行政機関	金額（円）	企業・その他	金額（円）
三重大学医学部	265,961	三重県庁	426,088	松井テル子（松阪市）	100,000
武内病院	59,515	鈴鹿市役所	101,456	井村屋グループ（株）	72,855
松阪市民病院	52,091	松阪市役所	73,119	NTT 西日本 三重支店	65,176
鈴鹿回生病院	50,872	南伊勢町役場	69,946	（株）辻製油	64,960
上野総合市民病院	50,157	紀北町役場	46,793	尾鷲市三木浦	61,246
志摩市民病院	38,897	名張市役所	36,170	竹輝銅庵	51,995
済生会明和病院	37,042	鳥羽市役所	33,460	万協製薬（株）	50,000
済生会松阪総合病院	36,956	紀宝町役場	30,790	尾鷲市九鬼	47,430
紀南病院	35 705	志摩市役所	27,225	（株）丸亀産業	32,830
四日市羽津医療センター	35,342	明和町役場	26,610	尾鷲市三木里	25,535
その他	417,371	その他	305,023	その他（参加費等）	244,059
小計	1,079,909	小計	1 176,680	小計	816,086

合計 3,072,675円

三重大学医学部　寄付	2,800,000円

生命の駅伝　基金（第27回）	272,675円
生命の駅伝　基金（第26回まで）	488,103円
基　金　合　計	760,778円

○ 募金額について

第27回も多くの皆様から募金をいただきました。ほんとうにありがとうございます。新型コロナ禍、募金箱は多くの方の目に触れることもなく、戻ってくるのではないかと不安でした。

ところが、募金箱を託した多くの機関が、私たちの心意気を良しとし、募金箱はただ設置されるだけでなく、皆様の働く場所・集まる場所に運ばれ、お願いを伝えて頂いたようです。

おかげをもちまして、がん研究助成資金の目標額を超え多くを基金とすることができました。

○ 募金箱の中の硬貨の件

昨年まで両替を無料で行っていただける金融機関で各募金箱別の集計をお願いしてきました。ところが今回からその機関も利用料金が必要になりました。皆様から頂いた募金の活用には避けたい費用となります。もちろん経費からの支出にはなりますが、できるだけ経費は少なくしたいと考えました。そこで硬貨の多い募金箱から1円玉のみ取り出し、1円玉を別にして集計（約90箱）してもらいました。それでも金融機関への硬貨入金手数料は13,200円となりました。取り出した1円玉は、郵便局の通帳に入金（13,732円）しました。

次回の課題として、何らかの工夫をしなければならないと考えております。

第２７回生命の駅伝がん研究奨励賞（申請件数：18件　採択件数：5件）

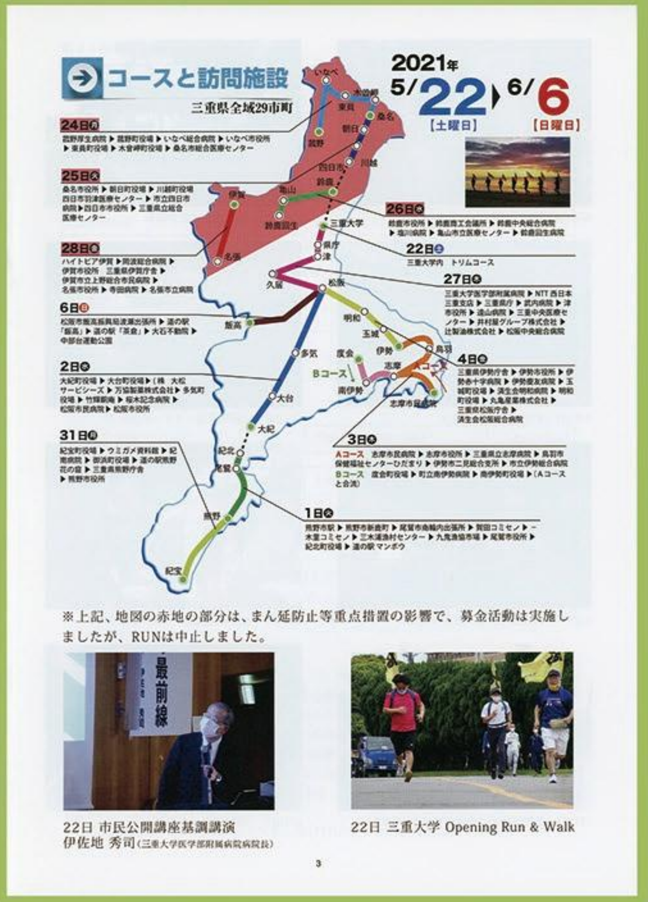
プロジェクト名	所属名	研究代表者
ポリオウィルスを用いた神経芽腫の新しい治療研究	小児科	豊田 秀美
難治性メラノーマに対する新規遺伝子免疫療法の開発	皮膚科	近藤 誠
リンパシンチグラフィを用いた婦人科がん術後のリンパ循環動態の究明とリンパ浮腫発症予防及び早期外科的利用への応用	形成外科	三井 康平
胃癌腹膜播種に関する非侵襲的DNAメチル化マーカーの確立ならびに有用性の検証	消化管外科	志村 匡信
ホモロジー技術を利用した膵癌細胞診病理画像解析技術の開発	消化器肝臓内科	山田 玲子

生命の駅伝の会から三重大学への寄付贈呈

三重大学から生命の駅伝の会への感謝状

生命の駅伝がん研究奨励賞受賞者を囲んで

受賞者と生命の駅伝の会との交流



コースと訪問施設

三重県全域29市町

2021年 5/22【土曜日】▶ 6/6【日曜日】

24日(月) 菰野厚生病院 ▶ 菰野町役場 ▶ いなべ総合病院 ▶ いなべ市役所 ▶ 東員町役場 ▶ 木曽岬町役場 ▶ 桑名市総合医療センター
25日(火) 桑名市役所 ▶ 朝日町役場 ▶ 川越町役場 四日市羽津医療センター ▶ 市立四日市病院 ▶ 四日市市役所 ▶ 三重県立総合医療センター
28日(金) ハイトピア伊賀 ▶ 岡波総合病院 ▶ 伊賀市役所 三重県伊賀庁舎 ▶ 伊賀市立上野総合市民病院 ▶ 名張市役所 ▶ 寺田病院 ▶ 名張市立病院
6日(日) 松阪市飯高振興局波瀬出張所 ▶ 道の駅「飯高」 ▶ 道の駅「茶倉」 ▶ 大石不動院 ▶ 中部台運動公園
2日(水) 大紀町役場 ▶ 大台町役場 ▶ (株 大松サービシーズ ▶ 万協製薬株式会社 ▶ 多気町役場 ▶ 竹輝銅庵 ▶ 桜木記念病院 ▶ 松阪市民病院 ▶ 松阪市役所
31日(月) 紀宝町役場 ▶ ウミガメ資料館 ▶ 紀南病院 ▶ 御浜町役場 ▶ 道の駅熊野花の窟 ▶ 三重県熊野庁舎 ▶ 熊野市役所
26日(水) 鈴鹿市役所 ▶ 鈴鹿商工会議所 ▶ 鈴鹿中央総合病院 ▶ 塩川病院 ▶ 亀山市立医療センター ▶ 鈴鹿回生病院
22日(土) 三重大学内 トリムコース
27日(木) 三重大学医学部附属病院 ▶ NTT西日本三重支店 ▶ 三重県庁 ▶ 武内病院 ▶ 津市役所 ▶ 遠山病院 ▶ 三重中央医療センター ▶ 井村屋グループ株式会社 ▶ 辻製油株式会社 ▶ 松阪中央総合病院
4日(金) 三重県伊勢庁舎 ▶ 伊勢市役所 ▶ 伊勢赤十字病院 ▶ 伊勢慶友病院 ▶ 玉城町役場 ▶ 済生会明和病院 ▶ 明和町役場 ▶ 丸亀産業株式会社 ▶ 三重県松阪庁舎 ▶ 済生会松阪総合病院
3日(木) Aコース 志摩市民病院 ▶ 志摩市役所 ▶ 三重県立志摩病院 ▶ 鳥羽市保健福祉センターひだまり ▶ 伊勢市二見総合支所 ▶ 市立伊勢総合病院 Bコース 度会町役場 ▶ 町立南伊勢病院 ▶ 南伊勢町役場 ▶（Aコースと合流）
1日(火) 熊野市駅 ▶ 熊野市新鹿町 ▶ 尾鷲市曽根出張所 ▶ 賀田コミセン ▶ 三木里コミセン ▶ 三木浦漁村センター ▶ 九鬼漁協市場 ▶ 尾鷲市役所 ▶ 紀北町役場 ▶ 道の駅 マンボウ
いなべ
木曽岬
東員
桑名
菰野
朝日
川越
四日市
亀山
鈴鹿
伊賀
鈴鹿回生
三重大学
名張
県庁
津
久居
松阪
明和
飯高
玉城
伊勢
鳥羽
多気
度会
Bコース
Aコース
志摩
南伊勢
志摩市民病院
大台
大紀
紀北
尾鷲
熊野
紀宝

※上記、地図の赤地の部分は、まん延防止等重点措置の影響で、募金活動は実施しましたが、RUNは中止しました。

22日 市民公開講座基調講演
伊佐地 秀司（三重大学医学部附属病院病院長）

22日 三重大学 Opening Run & Walk

5月27日　激しい雨の中を果敢に走る

5月31日　花の窟にて記念撮影

6月1日　R311絶景の中を走る

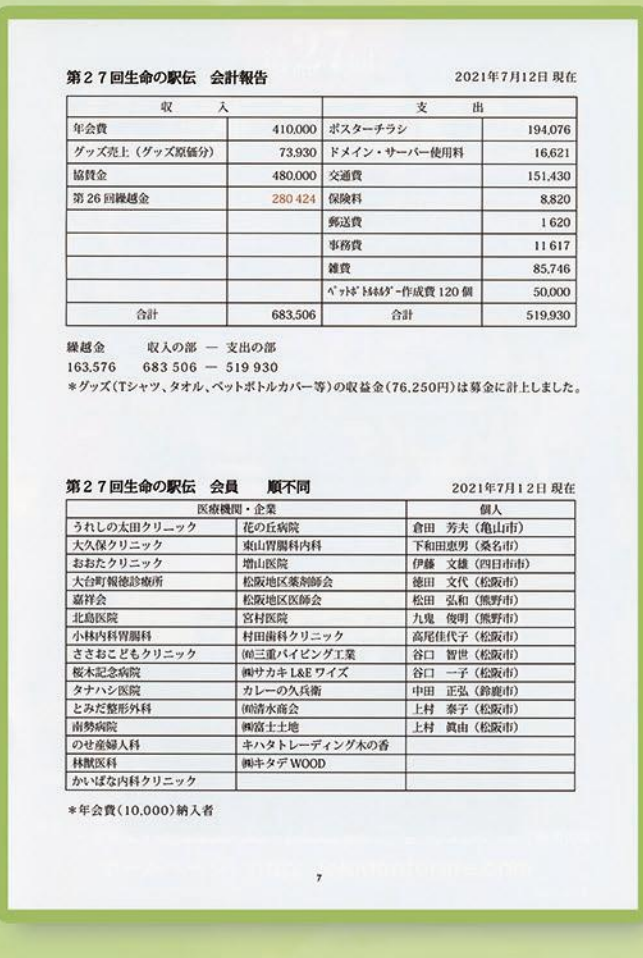
6月2日　大紀町役場ドクターチェック

6月2日　松阪市民病院　竹上市長RUN

6月3日　志摩市民病院ドクターチェック

6月4日　伊勢市役所　鈴木市長、雨中のRUN

6月6日　会長が53kmを先導



第２７回生命の駅伝　会計報告　2021年7月12日 現在

収入		支出	
年会費	410,000	ポスターチラシ	194,076
グッズ売上（グッズ原価分）	73,930	ドメイン・サーバー使用料	16,621
協賛金	480,000	交通費	151,430
第26回繰越金	280 424	保険料	8,820
		郵送費	1 620
		事務費	11 617
		雑費	85,746
		ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙﾎﾙﾀﾞｰ作成費 120 個	50,000
合計	683,506	合計	519,930

繰越金　収入の部 — 支出の部
163,576　683 506 — 519 930

＊グッズ（Tシャツ、タオル、ペットボトルカバー等）の収益金（76,250円）は募金に計上しました。

第２７回生命の駅伝　会員　順不同　2021年7月12日 現在

医療機関・企業		個人
うれしの太田クリニック	花の丘病院	倉田　芳夫（亀山市）
大久保クリニック	東山胃腸科内科	下和田恵男（桑名市）
おおたクリニック	増山医院	伊藤　文雄（四日市市）
大台町報徳診療所	松阪地区薬剤師会	徳田　文代（松阪市）
嘉祥会	松阪地区医師会	松田　弘和（熊野市）
北島医院	宮村医院	九鬼　俊明（熊野市）
小林内科胃腸科	村田歯科クリニック	高尾佳代子（松阪市）
ささおこどもクリニック	㈲三重パイピング工業	谷口　智世（松阪市）
桜木記念病院	㈱サカキ L&E ワイズ	谷口　一子（松阪市）
タナハシ医院	カレーの久兵衛	中田　正弘（鈴鹿市）
とみだ整形外科	㈲清水商会	上村　泰子（松阪市）
南勢病院	㈱富士土地	上村　眞由（松阪市）
のせ産婦人科	キハタトレーディング木の香	
林獣医科	㈱キタデ WOOD	
かいばな内科クリニック		

＊年会費（10,000）納入者

協賛
（運営費支援）

井村屋グループ	100 000円
辻製油株式会社	100,000円
三重県厚生連 JA MieKoseiren	100,000円
竹輝銅庵	50,000円
万協製薬株式会社	50,000円
丸亀産業株式会社	50,000円
一般社団法人 三重県病院協会	30,000円

協力
- がん患者の会
  - 金つなぎの会（名張市）
  - アイリーライフ（桑名市）
  - なごみの会（紀南病院）
- 三重県聴覚障害者協会女性部
- （有）出口自動車修理所
- 橋本英幸
- 中辻知子
- カレーの久兵衛
- 山林舎
- キッチンひなた

主催　生命の駅伝の会

会　長　太田正隆　おおたクリニック院長　**副会長**　玉置久雄　松阪中央総合病院名誉院長

顧　問　田島和雄　洗心福祉会美杉クリニック院長　元）愛知県がんセンター名誉研究所長
竹田　寛　桑名市総合医療センター理事長兼総括病院長
白石泰三　桑名市総合医療センター副理事長
広野光子　金つなぎの会代表
中瀬一則　南勢病院副院長　元）三重大学医学部附属病院がんセンター長
野本由人　三重大学医学系研究科放射線治療腫瘍学講座教授
下村　誠　三重中央医療センター副院長
江角浩安　志摩市民病院医師　元）国立がんセンター東病院長
伊藤正明　三重大学長
（就任順）

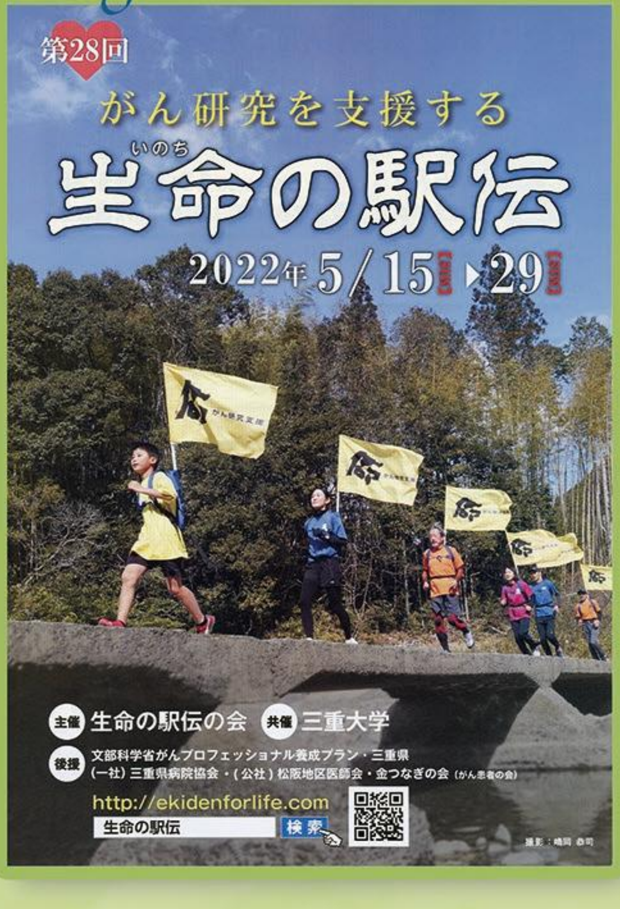
事務局　上村眞由　三重県松阪市鎌田町 732

実行委員
伊東　恵美　上窪　美男　上村　眞由　上村　泰子　北川　明　小林　育夫
下和田恵男　庄司　佳伸　杉山　忠　田牧　慎也　玉津　恭史　中上　修
中田　正弘　松島　正也　村上知恵美　森川　道雄　山本　泰宏

～生命（いのち）の駅伝～
EKIDEN FOR LIFE

2022

Program



第28回

がん研究を支援する

生命（いのち）の駅伝

2022年5/15【日】▶29【日】

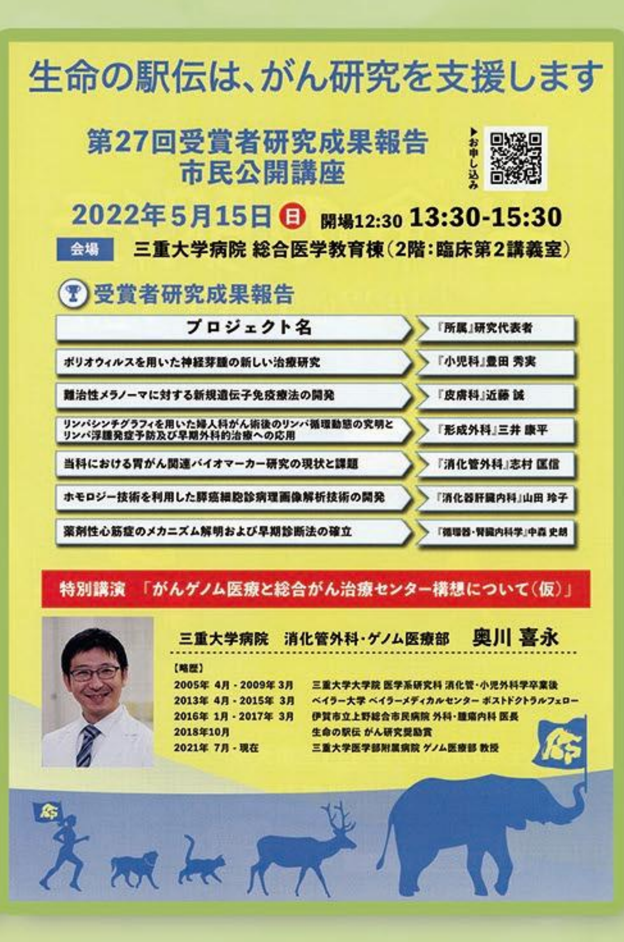
主催 生命の駅伝の会　**共催** 三重大学

後援 文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン・三重県
(一社) 三重県病院協会・(公社) 松阪地区医師会・金つなぎの会 (がん患者の会)

http://ekidenforlife.com

生命の駅伝　検索

撮影：嶋岡 恭司



生命の駅伝は、がん研究を支援します

第27回受賞者研究成果報告
市民公開講座

▶お申し込み

2022年5月15日 日　開場12:30 13:30-15:30

会場　三重大学病院 総合医学教育棟（2階：臨床第2講義室）

受賞者研究成果報告

プロジェクト名	『所属』研究代表者
ポリオウィルスを用いた神経芽腫の新しい治療研究	『小児科』豊田 秀実
難治性メラノーマに対する新規遺伝子免疫療法の開発	『皮膚科』近藤 誠
リンパシンチグラフィを用いた婦人科がん術後のリンパ循環動態の究明とリンパ浮腫発症予防及び早期外科的治療への応用	『形成外科』三井 康平
当科における胃がん関連バイオマーカー研究の現状と課題	『消化管外科』志村 匡信
ホモロジー技術を利用した膵癌細胞診病理画像解析技術の開発	『消化器肝臓内科』山田 玲子
薬剤性心筋症のメカニズム解明および早期診断法の確立	『循環器・腎臓内科学』中森 史朗

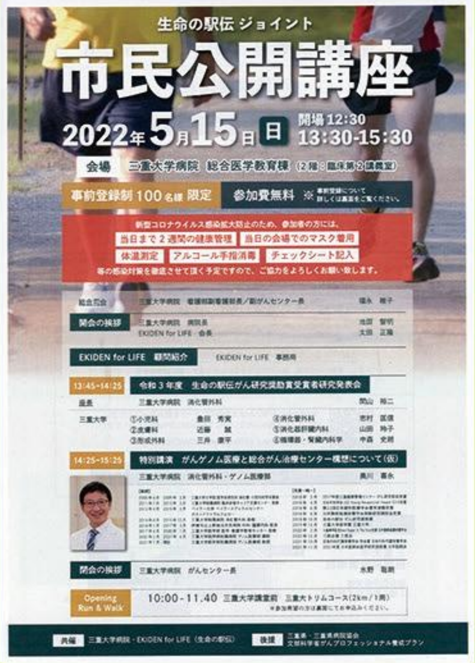
特別講演 「がんゲノム医療と総合がん治療センター構想について（仮）」

三重大学病院　消化管外科・ゲノム医療部　**奥川 喜永**

【略歴】

2005年 4月 - 2009年 3月	三重大学大学院 医学系研究科 消化管・小児外科学卒業後
2013年 4月 - 2015年 3月	ベイラー大学 ベイラーメディカルセンター ポストドクトラルフェロー
2016年 1月 - 2017年 3月	伊賀市立上野総合市民病院 外科・腫瘍内科 医長
2018年10月	生命の駅伝 がん研究奨励賞
2021年 7月 - 現在	三重大学医学部附属病院 ゲノム医療部 教授

Public lecture



生命の駅伝 ジョイント

市民公開講座

2022年5月15日 日　開場12:30 13:30-15:30

会場　三重大学病院 総合医学教育棟（2階：臨床第2講義室）

事前登録制 100名様 限定　参加費無料 ※事前登録について詳しくは裏面をご覧ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者の方には、
当日まで2週間の健康管理　当日の会場でのマスク着用
体温測定　アルコール手指消毒　チェックシート記入
等の感染対策を徹底させて頂く予定ですので、ご協力をよろしくお願い致します。

総合司会	三重大学病院 看護部副看護部長／副がんセンター長	福永 稚子
開会の挨拶	三重大学病院 病院長 EKIDEN for LIFE・会長	池田 智明 太田 正隆
EKIDEN for LIFE 顧問紹介	EKIDEN for LIFE 事務局	

13:45-14:25　令和3年度 生命の駅伝がん研究奨励賞受賞者研究発表会

座長	三重大学病院 消化管外科			問山 裕二
三重大学	①小児科	豊田 秀実	④消化管外科	志村 匡信
	②皮膚科	近藤 誠	⑤消化器肝臓内科	山田 玲子
	③形成外科	三井 康平	⑥循環器・腎臓内科学	中森 史朗

14:25-15:25　特別講演 がんゲノム医療と総合がん治療センター構想について（仮）

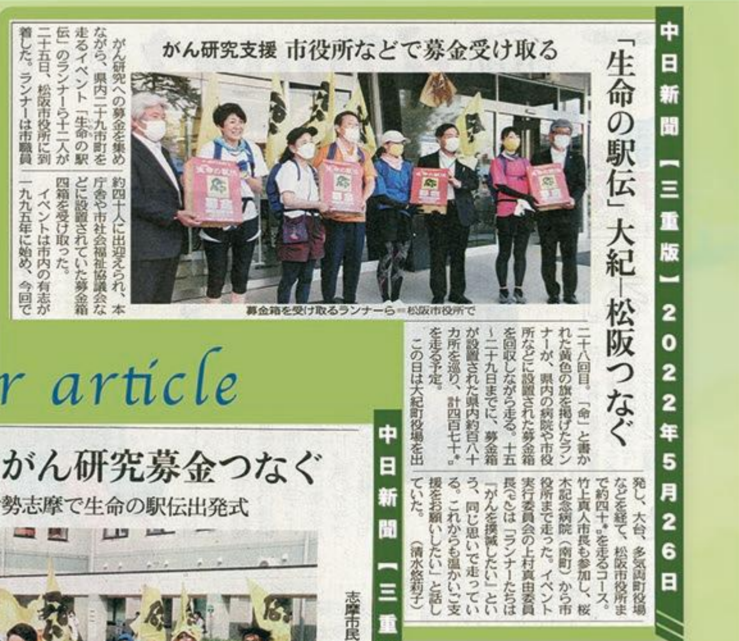
三重大学病院 消化管外科・ゲノム医療部　奥川 喜永

閉会の挨拶　三重大学病院 がんセンター長　水野 聡朗

Opening Run & Walk　10:00-11:40 三重大学講堂前 三重大トリムコース(2km/1周)
※参加希望の方は裏面にてお申込みください。

共催　三重大学病院・EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）　後援　三重県・三重県病院協会　文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン

Newspaper article



中日新聞【三重版】2022年5月26日

「生命の駅伝」大紀―松阪つなぐ

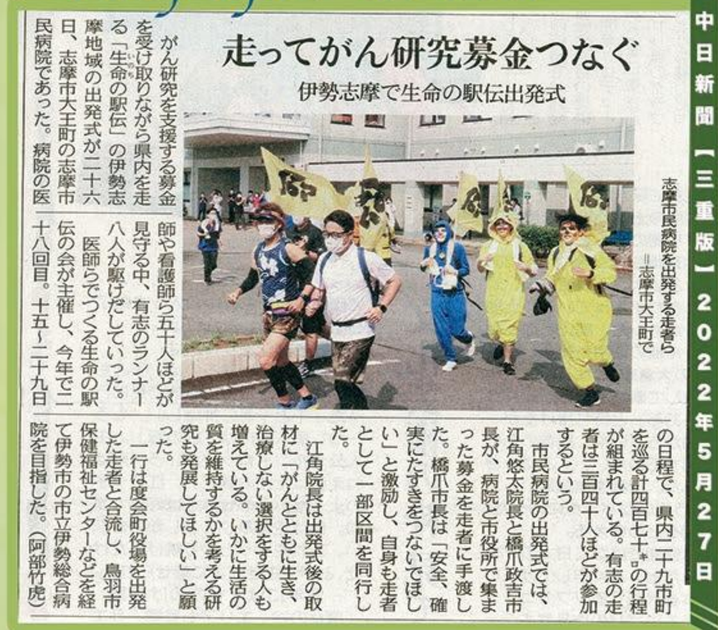
がん研究支援 市役所などで募金受け取る

募金箱を受け取るランナーら＝松阪市役所で

がん研究への募金を集めながら、県内二十九市町を走るイベント「生命の駅伝」のランナーら十二人が二十五日、松阪市役所に到着した。ランナーは市職員約四十人に出迎えられ、本庁舎や市社会福祉協議会などに設置されていた募金箱四箱を受け取った。

イベントは市内の有志が一九九五年に始め、今回で二十八回目。「命」と書かれた黄色の旗を掲げたランナーが、県内の病院や市役所などに設置された募金箱を回収しながら走る。十五～二十九日までに、募金箱が設置された県内約百八十カ所を巡り、計四百七十キロを走る予定。

この日は大紀町役場を出発し、大台、多気両町役場などを経て、松阪市役所まで約四十キロを走るコース。竹上真人市長も参加し、桜木記念病院（南町）から市役所まで走った。イベント実行委員会の上村真由委員長は「ランナーたちは『がんを撲滅したい』という、同じ思いで走っている。これからも温かいご支援をお願いしたい」と話していた。（清水祭莉子）



中日新聞【三重版】2022年5月27日

走ってがん研究募金つなぐ

伊勢志摩で生命の駅伝出発式

志摩市民病院を出発する走者ら＝志摩市大王町で

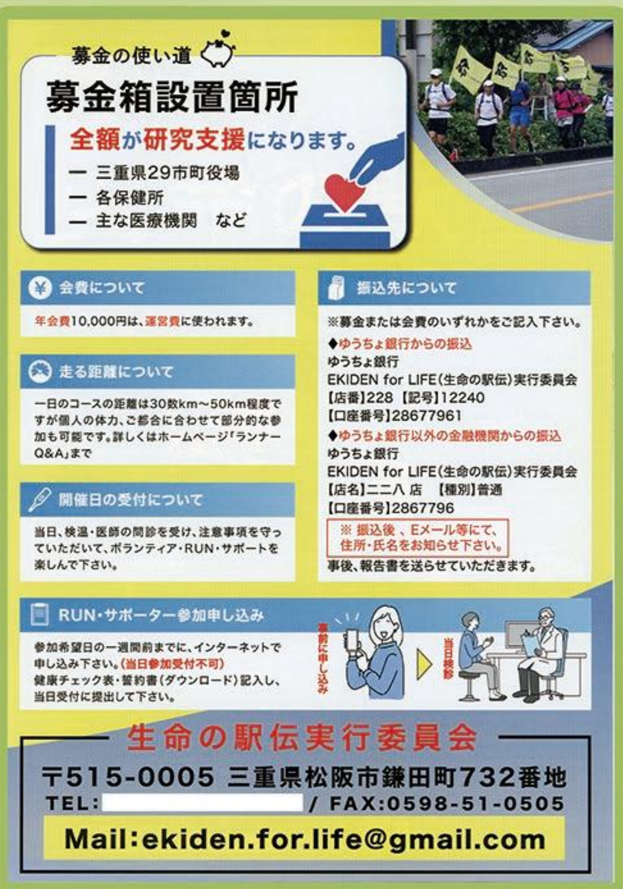
がん研究を支援する募金を受け取りながら県内を走る「生命（いのち）の駅伝」の伊勢志摩地域の出発式が二十六日、志摩市大王町の志摩市民病院であった。病院の医師や看護師ら五十人ほどが見守る中、有志のランナー八人が駆けだしていった。

医師らでつくる生命の駅伝の会が主催し、今年で二十八回目。十五～二十九日の日程で、県内二十九市町を巡る計四百七十キロの行程が組まれている。有志の走者は三百四十人ほどが参加するという。

市民病院の出発式では、江角悠太院長と橋爪政吉市長が、病院と市役所で集まった募金を走者に手渡した。橋爪市長は「安全、確実にたすきをつないでほしい」と激励し、自身も走者として一部区間を同行した。

江角院長は出発式後の取材に「がんとともに生き、治療しない選択をする人も増えている。いかに生活の質を維持するかを考える研究も発展してほしい」と願った。

一行は度会町役場を出発した走者と合流し、鳥羽市保健福祉センターなどを経て伊勢市の市立伊勢総合病院を目指した。（阿部竹虎）



募金の使い道

募金箱設置箇所

全額が研究支援になります。

- 三重県29市町役場
- 各保健所
- 主な医療機関　など

会費について

年会費10,000円は、運営費に使われます。

走る距離について

一日のコースの距離は30数km～50km程度ですが個人の体力、ご都合に合わせて部分的な参加も可能です。詳しくはホームページ「ランナーQ&A」まで

開催日の受付について

当日、検温・医師の問診を受け、注意事項を守っていただいて、ボランティア・RUN・サポートを楽しんで下さい。

振込先について

※募金または会費のいずれかをご記入下さい。

◆ゆうちょ銀行からの振込
ゆうちょ銀行
EKIDEN for LIFE(生命の駅伝)実行委員会
【店番】228 【記号】12240
【口座番号】28677961

◆ゆうちょ銀行以外の金融機関からの振込
ゆうちょ銀行
EKIDEN for LIFE(生命の駅伝)実行委員会
【店名】二二八 店　【種別】普通
【口座番号】2867796

※ 振込後 、Eメール等にて、住所・氏名をお知らせ下さい。

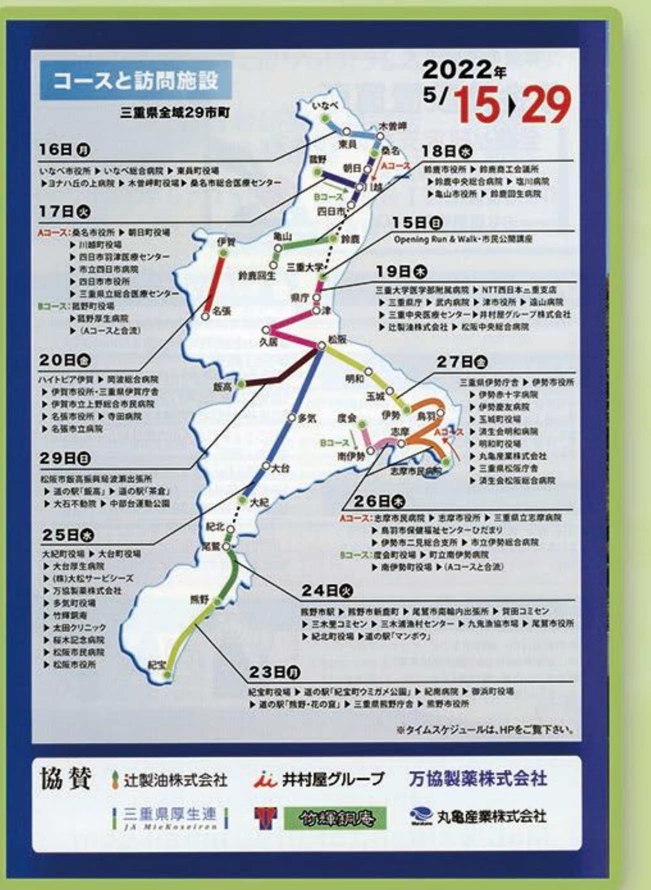
事後、報告書を送らせていただきます。

RUN・サポーター参加申し込み

参加希望日の一週間前までに、インターネットで申し込み下さい。(当日参加受付不可)
健康チェック表・誓約書(ダウンロード)記入し、当日受付に提出して下さい。

生命の駅伝実行委員会

〒515-0005 三重県松阪市鎌田町732番地
TEL:[redacted] / FAX:0598-51-0505
Mail:ekiden.for.life@gmail.com



コースと訪問施設

三重県全域29市町

2022年 5/15▶29

15日(日)
Opening Run & Walk・市民公開講座

16日(月)
いなべ市役所 ▶ いなべ総合病院 ▶ 東員町役場
▶ヨナハ丘の上病院 ▶ 木曽岬町役場 ▶ 桑名市総合医療センター

17日(火)
Aコース：桑名市役所 ▶ 朝日町役場
▶ 川越町役場
▶ 四日市羽津医療センター
▶ 市立四日市病院
▶ 四日市市役所
▶ 三重県立総合医療センター
Bコース：菰野町役場
▶菰野厚生病院
▶ (Aコースと合流)

18日(水)
鈴鹿市役所 ▶ 鈴鹿商工会議所
▶鈴鹿中央総合病院 ▶ 塩川病院
▶亀山市役所 ▶ 鈴鹿回生病院

19日(木)
三重大学医学部附属病院 ▶ NTT西日本三重支店
▶ 三重県庁 ▶ 武内病院 ▶ 津市役所 ▶ 遠山病院
▶ 三重中央医療センター ▶井村屋グループ株式会社
▶ 辻製油株式会社 ▶ 松阪中央総合病院

20日(金)
ハイトピア伊賀 ▶ 岡波総合病院
▶ 伊賀市役所・三重県伊賀庁舎
▶ 伊賀市立上野総合市民病院
▶ 名張市役所 ▶ 寺田病院
▶ 名張市立病院

23日(月)
紀宝町役場 ▶ 道の駅「紀宝町ウミガメ公園」▶ 紀南病院 ▶ 御浜町役場
▶ 道の駅「熊野・花の窟」▶ 三重県熊野庁舎 ▶ 熊野市役所

24日(火)
熊野市駅 ▶ 熊野市新鹿町 ▶ 尾鷲市須賀利出張所 ▶ 賀田コミセン
▶ 三木里コミセン ▶ 三木浦漁村センター ▶ 九鬼漁協市場 ▶ 尾鷲市役所
▶ 紀北町役場 ▶道の駅「マンボウ」

25日(水)
大紀町役場 ▶ 大台町役場
▶ 大台厚生病院
▶ (株)大松サービシーズ
▶ 万協製薬株式会社
▶ 多気町役場
▶ 竹輝銅庵
▶ 太田クリニック
▶ 桜木記念病院
▶ 松阪市民病院
▶ 松阪市役所

26日(木)
Aコース：志摩市民病院 ▶ 志摩市役所 ▶ 三重県立志摩病院
▶ 鳥羽市保健福祉センターひだまり
▶ 伊勢市二見総合支所 ▶ 市立伊勢総合病院
Bコース：度会町役場 ▶ 町立南伊勢病院
▶ 南伊勢町役場 ▶ (Aコースと合流)

27日(金)
三重県伊勢庁舎 ▶ 伊勢市役所
▶ 伊勢赤十字病院
▶ 伊勢慶友病院
▶ 玉城町役場
▶ 済生会明和病院
▶ 明和町役場
▶ 丸亀産業株式会社
▶ 三重県松阪庁舎
▶ 済生会松阪総合病院

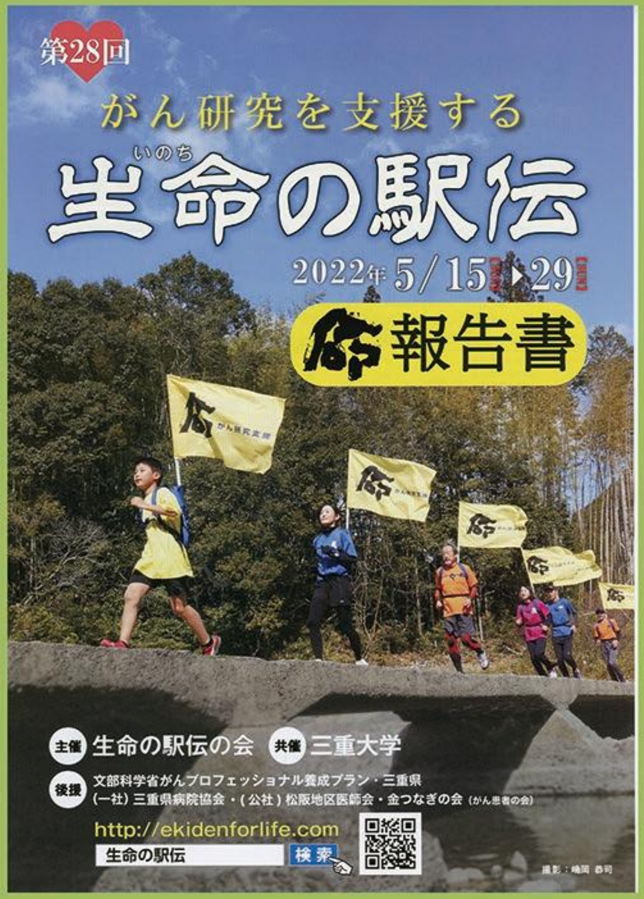
29日(日)
松阪市飯高振興局波瀬出張所
▶ 道の駅「飯高」▶ 道の駅「茶倉」
▶ 大石不動院 ▶ 中部台運動公園

※タイムスケジュールは、HPをご覧下さい。

協賛
辻製油株式会社
井村屋グループ
万協製薬株式会社
三重県厚生連 JA MieKouseiren
竹輝銅庵
丸亀産業株式会社

Photograph

2022



第28回

がん研究を支援する

生命（いのち）の駅伝

2022年 5/15▶29

報告書

主催 生命の駅伝の会　共催 三重大学

後援 文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン・三重県
（一社）三重県病院協会・（公社）松阪地区医師会・金つなぎの会（がん患者の会）

http://ekidenforlife.com

生命の駅伝　検索

撮影：嶋岡 恭司

報告と御礼

実行委員長 上村眞由

第26回、第27回に続き第28回もコロナ禍での実施となりました。

5月15日の市民公開講座から29日までの12日間、三重県29市町と60の医療機関等を走って訪問させていただきました。

猛暑日が多かった中で、感染症対策上、水分の補給など個人負担を多くしたので、さらに厳しいRUNとなりました。しかし、沿道や訪問箇所での多くの方々の温かい応援のお陰で、総走行距離400km超を無事に走破できました。

この3年間の実施で大きな進歩がありました。それは参加したスタッフ・ランナー・サポーターが「皆でがんと闘おう！」と強い意識を共有して、「生命の駅伝」を実施するようになったことです。

一方、11研究の応募の中から、「がん研究に関するプロジェクト選考会」で審査され、7月1日の表彰式で、優れた5研究に、各々60万円を支援することが決まりました。「がんに負けない」という県民の思いを研究者に届けることができました。

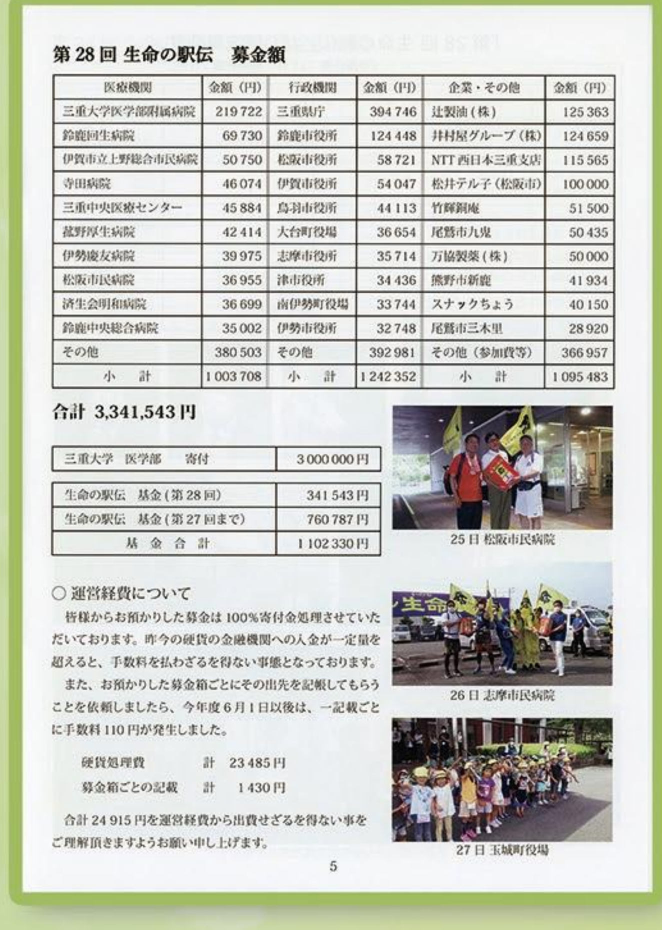
ご参加、ご協力いただいた関係者の皆様に心から感謝いたします。

活動

拠点活動	1日	三重大学医学部附属病院教育棟
ロード活動	10日	三重県内29市町

RUN実施前診察医師（実施日順）

白石　泰三	生命の駅伝の会　顧問
竹田　寛	生命の駅伝の会　顧問
吉田　健太	三重大学病院　医師
加藤　弘幸	紀南病院　院長
田島　和雄	生命の駅伝の会　顧問
江角　浩安	生命の駅伝の会　顧問
東山　浩敬	東山胃腸科内科　院長
太田　正隆	生命の駅伝の会　会長



第28回 生命の駅伝　募金額

医療機関	金額（円）	行政機関	金額（円）	企業・その他	金額（円）
三重大学医学部附属病院	219 722	三重県庁	394 746	辻製油（株）	125 363
鈴鹿回生病院	69 730	鈴鹿市役所	124 448	井村屋グループ（株）	124 659
伊賀市立上野総合市民病院	50 750	松阪市役所	58 721	NTT西日本三重支店	115 565
寺田病院	46 074	伊賀市役所	54 047	松井テル子（松阪市）	100 000
三重中央医療センター	45 884	鳥羽市役所	44 113	竹輝銅庵	51 500
菰野厚生病院	42 414	大台町役場	36 654	尾鷲市九鬼	50 435
伊勢慶友病院	39 975	志摩市役所	35 714	万協製薬（株）	50 000
松阪市民病院	36 955	津市役所	34 436	熊野市新鹿	41 934
済生会明和病院	36 699	南伊勢町役場	33 744	スナックちょう	40 150
鈴鹿中央総合病院	35 002	伊勢市役所	32 748	尾鷲市三木里	28 920
その他	380 503	その他	392 981	その他（参加費等）	366 957
小　計	1 003 708	小　計	1 242 352	小　計	1 095 483

合計 3,341,543円

三重大学　医学部　寄付	3 000 000円

生命の駅伝　基金（第28回）	341 543円
生命の駅伝　基金（第27回まで）	760 787円
基金合計	1 102 330円

○ 運営経費について

皆様からお預かりした募金は100%寄付金処理させていただいております。昨今の硬貨の金融機関への入金が一定量を超えると、手数料を払わざるを得ない事態となっております。

また、お預かりした募金箱ごとにその出先を記帳してもらうことを依頼しましたら、今年度6月1日以後は、一記載ごとに手数料110円が発生しました。

硬貨処理費	計　23 485円
募金箱ごとの記載	計　1 430円

合計24 915円を運営経費から出費せざるを得ない事をご理解頂きますようお願い申し上げます。

25日 松阪市民病院

26日 志摩市民病院

27日 玉城町役場

「第28回 生命の駅伝」がん研究奨励賞

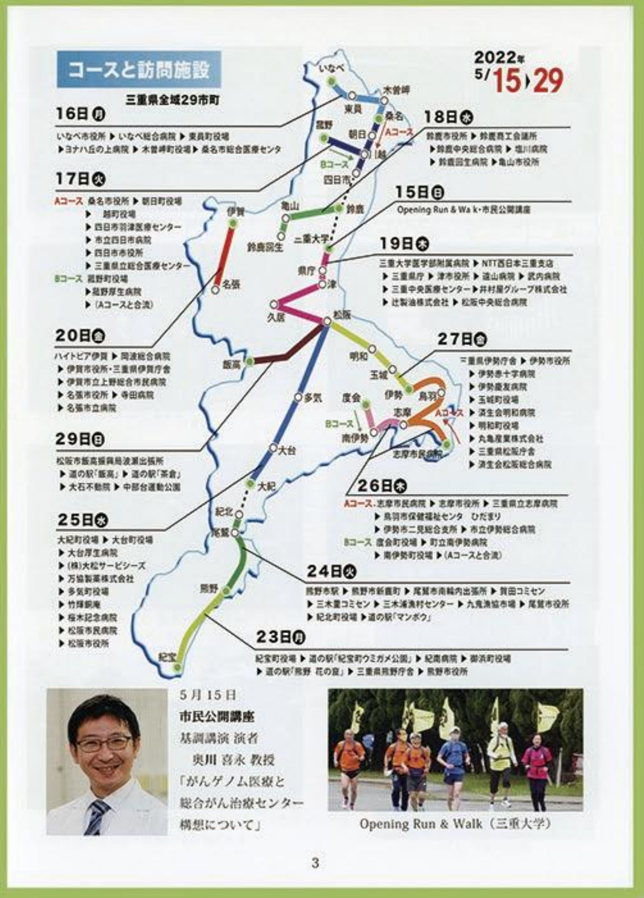
（申請件数：11件　採択件数：5件）

プロジェクト名	所属名	研究代表者
尿を利用した新たな小児脳腫瘍スクリーニング法の開発	脳神経外科学	北野　詳太郎
女性癌術後リンパ浮腫リンパマッサージ法の個別最適化	看護部	石永　美佳
小児・AYA世代の希少がん患者へのシームレスな診療・療養支援体制の検討	小児・AYAがんトータルケアセンター	岩本　彰太郎
消化器癌における新規生体観察手法を用いた術中癌細胞診断の開発	消化管・小児外科	佐藤　友紀
原発不明癌におけるクロマチンリモデリング異常の検索および臨床的特徴の調査	腫瘍内科	戸野　泰孝

生命の駅伝の会から三重大学への寄付贈呈

三重大学から生命の駅伝の会への感謝状

生命の駅伝がん研究奨励賞受賞者を囲んで



コースと訪問施設

2022年 5/15›29

三重県全域29市町

16日(月) いなべ市役所 ▶ いなべ総合病院 ▶ 東員町役場 ▶ヨナハ丘の上病院 ▶ 木曽岬町役場 ▶ 桑名市総合医療センタ

17日(火)
Aコース 桑名市役所 ▶ 朝日町役場
▶ 越町役場
▶ 四日市羽津医療センター
▶ 市立四日市病院
▶ 四日市市役所
▶ 三重県立総合医療センター
Bコース 菰野町役場
▶菰野厚生病院
▶（Aコースと合流）

18日(水) 鈴鹿市役所 ▶ 鈴鹿商工会議所 ▶鈴鹿中央総合病院 ▶ 塩川病院 ▶ 鈴鹿回生病院 ▶亀山市役所

15日(日) Opening Run & Walk・市民公開講座

19日(木) 三重大学医学部附属病院 ▶ NTT西日本三重支店 ▶ 三重県庁 ▶ 津市役所 ▶ 遠山病院 ▶ 武内病院 ▶ 三重中央医療センター ▶井村屋グループ株式会社 ▶ 辻製油株式会社 ▶ 松阪中央総合病院

20日(金) ハイトピア伊賀 ▶ 岡波総合病院
▶ 伊賀市役所・三重県伊賀庁舎
▶ 伊賀市立上野総合市民病院
▶ 名張市役所 ▶ 寺田病院
▶ 名張市立病院

27日(金) 三重県伊勢庁舎 ▶ 伊勢市役所
▶ 伊勢赤十字病院
▶ 伊勢慶友病院
▶ 玉城町役場
▶ 済生会明和病院
▶ 明和町役場
▶ 丸亀産業株式会社
▶ 三重県松阪庁舎
▶ 済生会松阪総合病院

29日(日) 松阪市飯高振興局波瀬出張所
▶ 道の駅「飯高」 ▶ 道の駅「茶倉」
▶ 大石不動院 ▶ 中部台運動公園

26日(木)
Aコース. 志摩市民病院 ▶ 志摩市役所 ▶ 三重県立志摩病院
▶ 鳥羽市保健福祉センタ　ひだまり
▶ 伊勢市二見総合支所 ▶ 市立伊勢総合病院
Bコース 度会町役場 ▶ 町立南伊勢病院
▶ 南伊勢町役場 ▶（Aコースと合流）

25日(水) 大紀町役場 ▶ 大台町役場
▶ 大台厚生病院
▶ (株)大松サービシーズ
▶ 万協製薬株式会社
▶ 多気町役場
▶ 竹輝銅庵
▶ 桜木記念病院
▶ 松阪市民病院
▶ 松阪市役所

24日(火) 熊野市駅 ▶ 熊野市新鹿町 ▶ 尾鷲市南輪内出張所 ▶ 賀田コミセン
▶ 三木里コミセン ▶ 三木浦漁村センター ▶ 九鬼漁協市場 ▶ 尾鷲市役所
▶ 紀北町役場 ▶道の駅「マンボウ」

23日(月) 紀宝町役場 ▶ 道の駅「紀宝町ウミガメ公園」 ▶ 紀南病院 ▶ 御浜町役場
▶ 道の駅「熊野 花の窟」 ▶ 三重県熊野庁舎 ▶ 熊野市役所

5月15日
市民公開講座
基調講演 演者
奥川 喜永 教授
「がんゲノム医療と総合がん治療センター構想について」

Opening Run & Walk（三重大学）

16日 いなべ市役所ロードランスタート

17日 三重県立総合医療センター

18日 鈴鹿市役所出発式

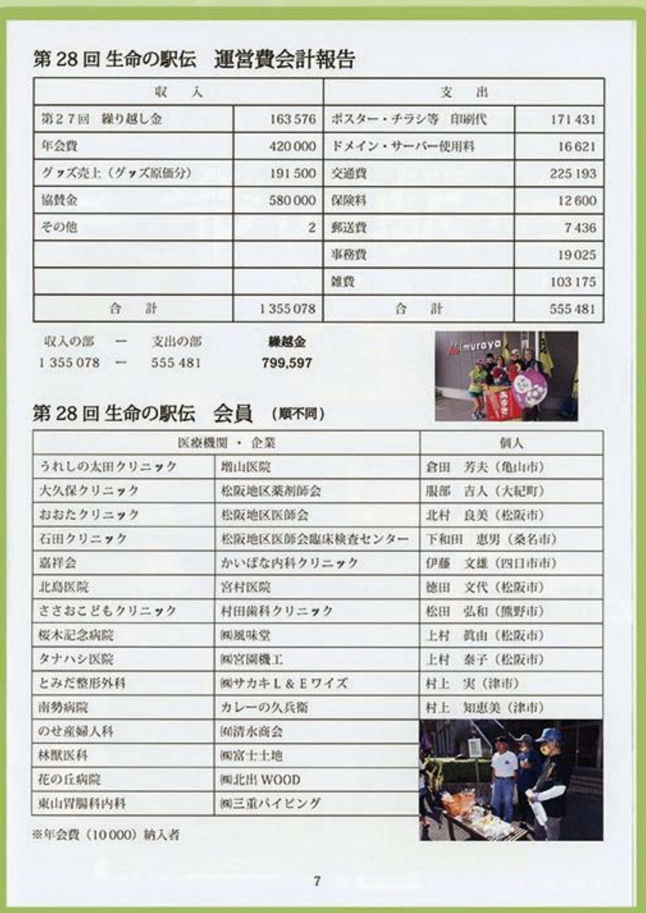
19日 三重県庁

19日 新築された武内病院

20日 伊賀→名張 ランチタイム

23日 熊野路・街頭募金

25日 大紀町役場出発式



第28回 生命の駅伝　運営費会計報告

収入		支出	
第27回　繰り越し金	163 576	ポスター・チラシ等　印刷代	171 431
年会費	420 000	ドメイン・サーバー使用料	16 621
グッズ売上（グッズ原価分）	191 500	交通費	225 193
協賛金	580 000	保険料	12 600
その他	2	郵送費	7 436
		事務費	19 025
		雑費	103 175
合計	1 355 078	合計	555 481

収入の部	ー	支出の部	繰越金
1 355 078	ー	555 481	**799,597**

第28回 生命の駅伝　会員（順不同）

医療機関・企業		個人
うれしの太田クリニック	増山医院	倉田　芳夫（亀山市）
大久保クリニック	松阪地区薬剤師会	服部　吉人（大紀町）
おおたクリニック	松阪地区医師会	北村　良美（松阪市）
石田クリニック	松阪地区医師会臨床検査センター	下和田　恵男（桑名市）
嘉祥会	かいばな内科クリニック	伊藤　文雄（四日市市）
北島医院	宮村医院	徳田　文代（松阪市）
ささおこどもクリニック	村田歯科クリニック	松田　弘和（熊野市）
桜木記念病院	㈱風味堂	上村　眞由（松阪市）
タナハシ医院	㈱宮園機工	上村　泰子（松阪市）
とみだ整形外科	㈱サカキL＆Eワイズ	村上　実（津市）
南勢病院	カレーの久兵衛	村上　知恵美（津市）
のせ産婦人科	㈲清水商会	
林獣医科	㈱富士土地	
花の丘病院	㈱北出WOOD	
東山胃腸科内科	㈱三重パイピング	

※年会費（10 000）納入者

協賛

（運営費支援）

	連合三重 200,000円	三重県厚生連 JA MieKoseiren 100,000円
井村屋グループ 50,000円	辻製油株式会社 50,000円	万協製薬株式会社 50,000円
丸亀産業株式会社 50,000円	竹輝銅庵 50,000円	一般社団法人 三重県病院協会 30,000円

協力
・がん患者の会
　金つなぎの会（名張市）
　アイリーライフ（桑名市）
　なごみの会（紀南病院）
・（有）出口自動車修理所
・嶋岡恭司（広報写真）
・中辻知子（アナウンス）
・山林舎（食事提供）
・キッチンひなた（食事提供）

主催　生命の駅伝の会

会長　太田　正隆　おおたクリニック院長　**副会長**　玉置　久雄　松阪中央総合病院名誉院長

顧問
田島　和雄　洗心福祉会美杉クリニック院長　愛知県がんセンター名誉研究所長
竹田　寛　桑名市総合医療センター理事長兼総括病院長　三重県病院協会 理事長
白石　泰三　桑名市総合医療センター副理事長
広野　光子　金つなぎの会代表
中瀬　一則　南勢病院副院長　元）三重大学医学部附属病院がんセンター長
野本　由人　三重大学医学系研究科放射線治療腫瘍学講座教授
下村　誠　三重中央医療センター院長
江角　浩安　志摩市民病院医師　元）国立がんセンター東病院長
伊藤　正明　三重大学長
伊佐地 秀司　三重大学医学部名誉教授　松阪市民病院 顧問

（就任順）

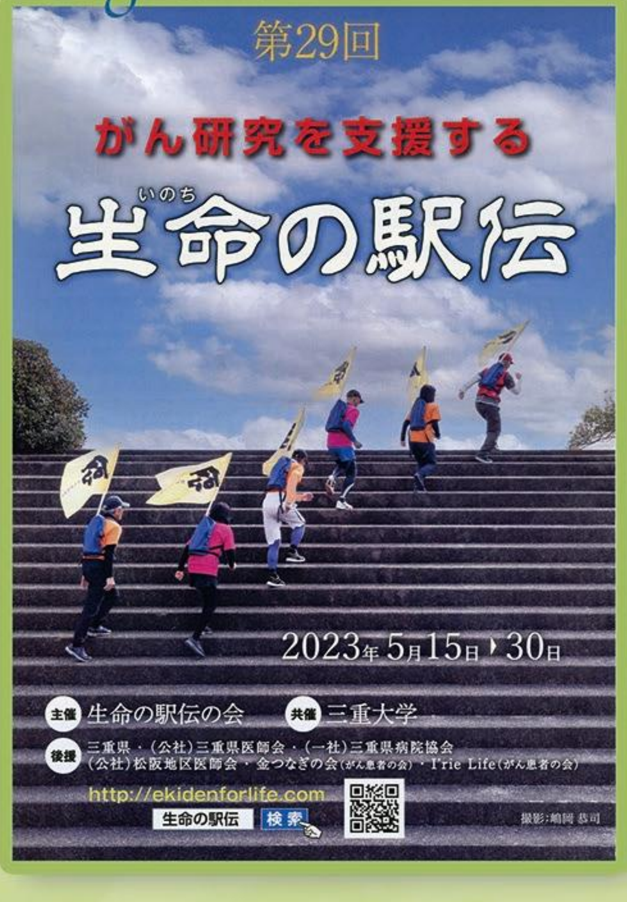
事務局　上村　眞由　三重県松阪市鎌田町 732

実行委員
伊藤　恵美　岩崎　紀之　上窪　英男　上村　泰子　北川　明　小林　育夫
下和田恵男　庄司　佳伸　杉山　忠　田牧　慎也　玉津　恭史　中上　修
松島　正也　松田　宏和　三宅　篤志　村上知恵美　森川　道雄　山本　泰宏

〜生命（いのち）の駅伝〜

EKIDEN FOR LIFE

Program



第29回

がん研究を支援する

生命（いのち）の駅伝

2023年5月15日▶30日

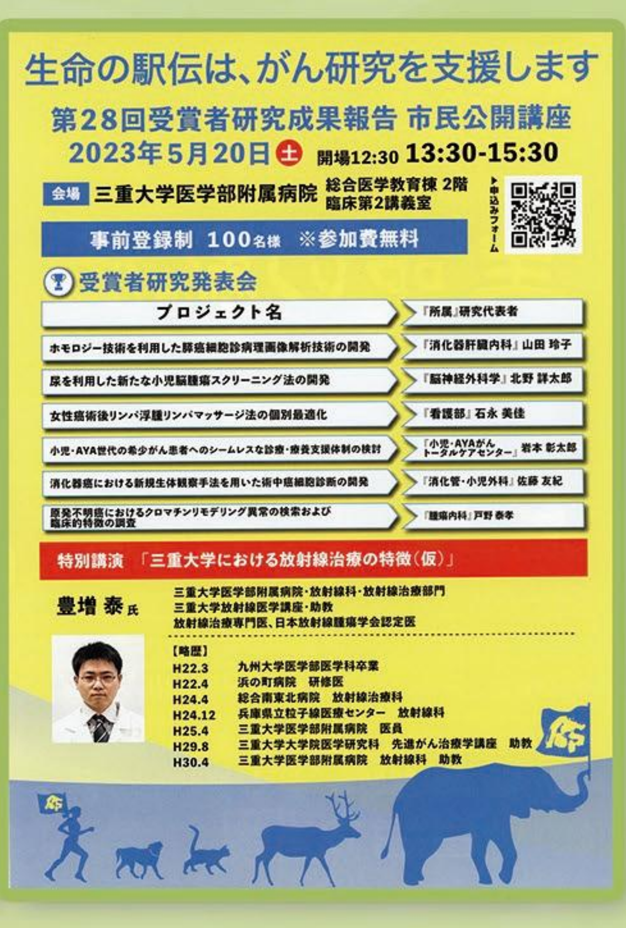
主催 生命の駅伝の会　共催 三重大学

後援 三重県・(公社)三重県医師会・(一社)三重県病院協会
(公社)松阪地区医師会・金つなぎの会(がん患者の会)・I'rie Life(がん患者の会)

http://ekidenforlife.com

生命の駅伝 検索

撮影:鮎岡 悲司



生命の駅伝は、がん研究を支援します

第28回受賞者研究成果報告 市民公開講座

2023年5月20日㊏ 開場12:30 13:30-15:30

会場 三重大学医学部附属病院 総合医学教育棟 2階 臨床第2講義室

▶申込みフォーム

事前登録制 100名様 ※参加費無料

受賞者研究発表会

プロジェクト名	『所属』研究代表者
ホモロジー技術を利用した膵癌細胞診病理画像解析技術の開発	『消化器肝臓内科』山田 玲子
尿を利用した新たな小児脳腫瘍スクリーニング法の開発	『脳神経外科学』北野 詳太郎
女性癌術後リンパ浮腫リンパマッサージ法の個別最適化	『看護部』石永 美佳
小児・AYA世代の希少がん患者へのシームレスな診療・療養支援体制の検討	『小児・AYAがんトータルケアセンター』岩本 彰太郎
消化器癌における新規生体観察手法を用いた術中癌細胞診断の開発	『消化管・小児外科』佐藤 友紀
原発不明癌におけるクロマチンリモデリング異常の検索および臨床的特徴の調査	『腫瘍内科』戸野 泰孝

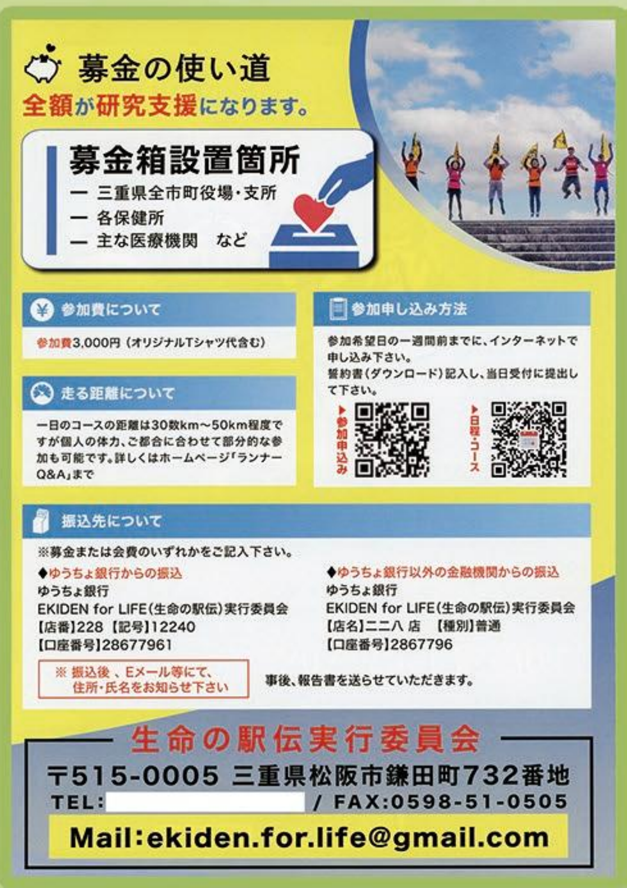
特別講演 「三重大学における放射線治療の特徴（仮）」

豊増 泰 氏

三重大学医学部附属病院・放射線科・放射線治療部門
三重大学放射線医学講座・助教
放射線治療専門医、日本放射線腫瘍学会認定医

【略歴】

H22.3	九州大学医学部医学科卒業
H22.4	浜の町病院　研修医
H24.4	総合南東北病院　放射線治療科
H24.12	兵庫県立粒子線医療センター　放射線科
H25.4	三重大学医学部附属病院　医員
H29.8	三重大学大学院医学研究科　先進がん治療学講座　助教
H30.4	三重大学医学部附属病院　放射線科　助教



募金の使い道

全額が研究支援になります。

募金箱設置箇所
- 三重県全市町役場・支所
- 各保健所
- 主な医療機関　など

参加費について

参加費3,000円（オリジナルTシャツ代含む）

走る距離について

一日のコースの距離は30数km〜50km程度ですが個人の体力、ご都合に合わせて部分的な参加も可能です。詳しくはホームページ「ランナーQ&A」まで

参加申し込み方法

参加希望日の一週間前までに、インターネットで申し込み下さい。
誓約書（ダウンロード）記入し、当日受付に提出して下さい。

▶参加申込み　▶日程・コース

振込先について

※募金または会費のいずれかをご記入下さい。

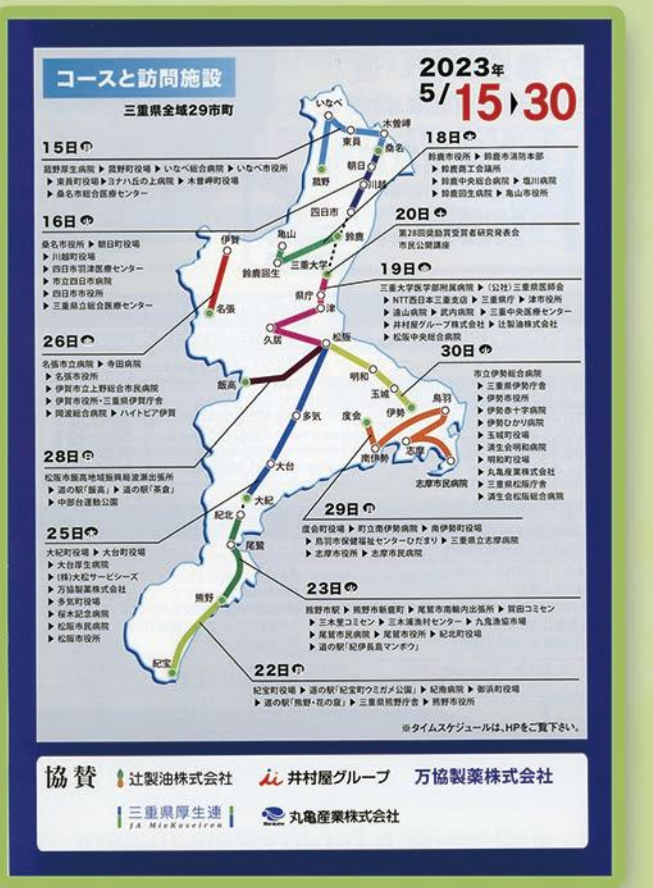
◆ゆうちょ銀行からの振込
ゆうちょ銀行
EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）実行委員会
【店番】228 【記号】12240
【口座番号】28677961

◆ゆうちょ銀行以外の金融機関からの振込
ゆうちょ銀行
EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）実行委員会
【店名】二二八 店　【種別】普通
【口座番号】2867796

※ 振込後 、Eメール等にて、住所・氏名をお知らせ下さい

事後、報告書を送らせていただきます。

生命の駅伝実行委員会
〒515-0005 三重県松阪市鎌田町732番地
TEL:[redacted] / FAX:0598-51-0505
Mail:ekiden.for.life@gmail.com



コースと訪問施設

三重県全域29市町

2023年 5/15▶30

15日㊊
菰野厚生病院 ▶ 菰野町役場 ▶ いなべ総合病院 ▶ いなべ市役所 ▶ 東員町役場 ▶ヨナハ丘の上病院 ▶ 木曽岬町役場 ▶ 桑名市総合医療センター

16日㊋
桑名市役所 ▶ 朝日町役場 ▶ 川越町役場 ▶ 四日市羽津医療センター ▶ 市立四日市病院 ▶ 四日市市役所 ▶ 三重県立総合医療センター

18日㊍
鈴鹿市役所 ▶ 鈴鹿市消防本部 ▶ 鈴鹿商工会議所 ▶ 鈴鹿中央総合病院 ▶ 塩川病院 ▶ 鈴鹿回生病院 ▶ 亀山市役所

19日㊎
三重大学医学部附属病院 ▶ （公社）三重県医師会 ▶ NTT西日本三重支店 ▶ 三重県庁 ▶ 津市役所 ▶ 遠山病院 ▶ 武内病院 ▶ 三重中央医療センター ▶ 井村屋グループ株式会社 ▶ 辻製油株式会社 ▶ 松阪中央総合病院

20日㊏
第28回奨励賞受賞者研究発表会 市民公開講座

22日㊊
紀宝町役場 ▶ 道の駅「紀宝町ウミガメ公園」 ▶ 紀南病院 ▶ 御浜町役場 ▶ 道の駅「熊野・花の窟」 ▶ 三重県熊野庁舎 ▶ 熊野市役所

23日㊋
熊野市駅 ▶ 熊野市新鹿町 ▶ 尾鷲市南輪内出張所 ▶ 賀田コミセン ▶ 三木里コミセン ▶ 三木浦漁村センター ▶ 九鬼漁協市場 ▶ 尾鷲市民病院 ▶ 尾鷲市役所 ▶ 紀北町役場 ▶ 道の駅「紀伊長島マンボウ」

25日㊍
大紀町役場 ▶ 大台町役場 ▶ 大台厚生病院 ▶ (株)大松サービシーズ ▶ 万協製薬株式会社 ▶ 多気町役場 ▶ 桜木記念病院 ▶ 松阪市民病院 ▶ 松阪市役所

26日㊎
名張市立病院 ▶ 寺田病院 ▶ 名張市役所 ▶ 伊賀市立上野総合市民病院 ▶ 伊賀市役所・三重県伊賀庁舎 ▶ 岡波総合病院 ▶ ハイトピア伊賀

28日㊐
松阪市飯高地域振興局波瀬出張所 ▶ 道の駅「飯高」 ▶ 道の駅「茶倉」 ▶ 中部台運動公園

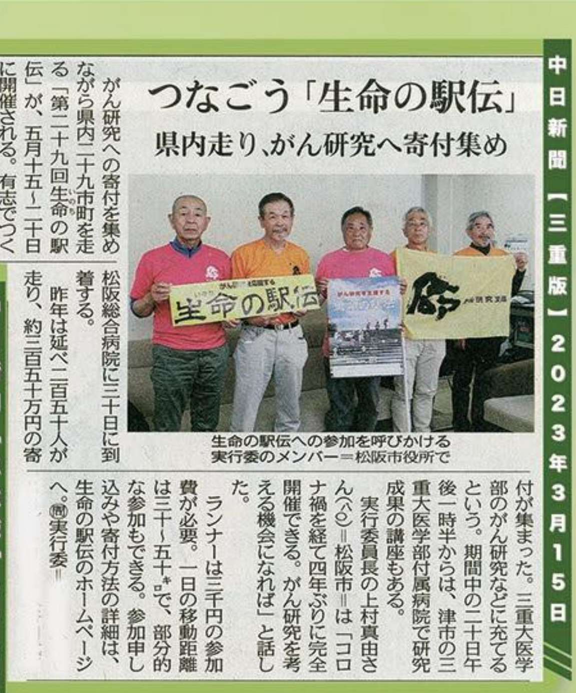
29日㊊
度会町役場 ▶ 町立南伊勢病院 ▶ 南伊勢町役場 ▶ 鳥羽市保健福祉センターひだまり ▶ 三重県立志摩病院 ▶ 志摩市役所 ▶ 志摩市民病院

30日㊋
市立伊勢総合病院 ▶ 三重県伊勢庁舎 ▶ 伊勢市役所 ▶ 伊勢赤十字病院 ▶ 伊勢ひかり病院 ▶ 玉城町役場 ▶ 済生会明和病院 ▶ 明和町役場 ▶ 丸亀産業株式会社 ▶ 三重県松阪庁舎 ▶ 済生会松阪総合病院

※タイムスケジュールは、HPをご覧下さい。

協賛 辻製油株式会社　井村屋グループ　万協製薬株式会社　三重県厚生連 JA MieKoseiren　丸亀産業株式会社

Newspaper article



中日新聞【三重版】2023年3月15日

つなごう「生命の駅伝」

県内走り、がん研究へ寄付集め

生命の駅伝への参加を呼びかける実行委のメンバー＝松阪市役所で

がん研究への寄付を集めながら県内二十九市町を走る「第二十九回生命（いのち）の駅伝」が、五月十五～三十日に開催される。有志でつくる実行委員会がランナーを募っている。

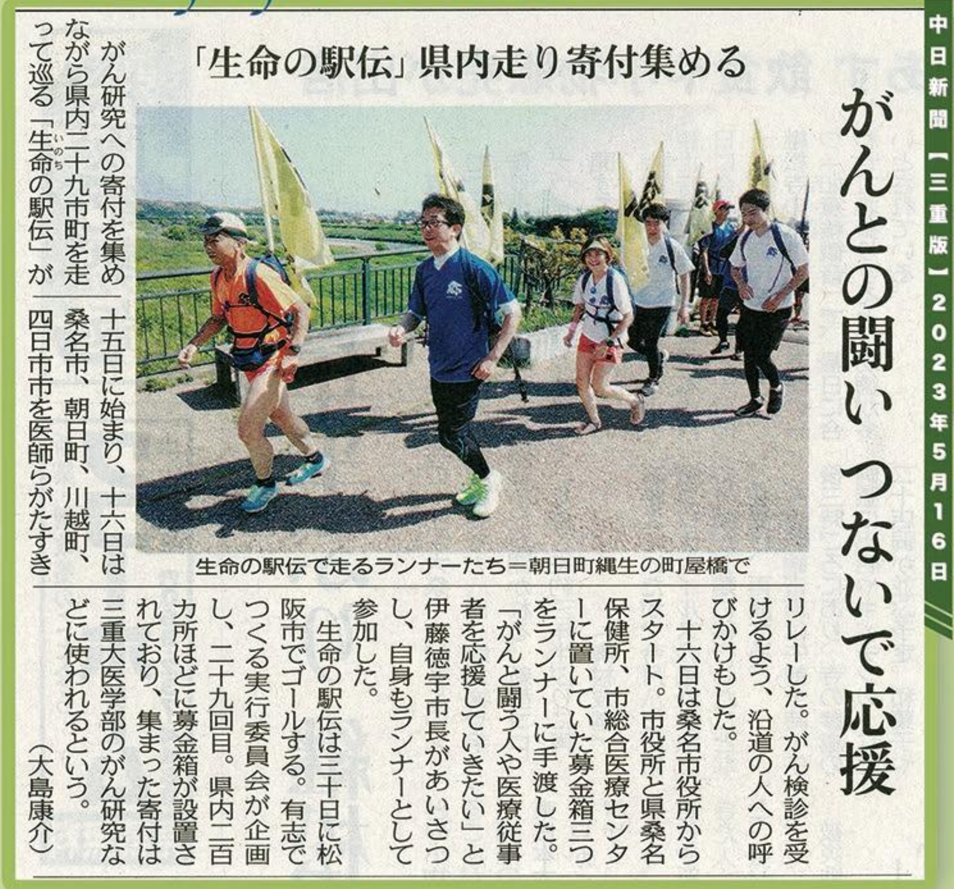
ランナーは、県内の市役所や町役場、医療機関など二百カ所近くに設置した募金箱を回収しながら、県内二十九市町を通る全十一コース、約四百三十㌔を十六日間かけてたすきをつなぐ。五月十五日に菰野町の菰野厚生病院を出発し、ゴールとなる松阪市の済生会松阪総合病院に三十日に到着する。

昨年は延べ二百五十人が走り、約三百五十万円の寄付が集まった。三重大医学部のがん研究などに充てるという。期間中の二十日午後一時半からは、津市の三重大医学部付属病院で研究成果の講座もある。

実行委員長の上村真由さん（六〇）＝松阪市＝は「コロナ禍を経て四年ぶりに完全開催できる。がん研究を考える機会になれば」と話した。

ランナーは三千円の参加費が必要。一日の移動距離は三十～五十㌔で、部分的な参加もできる。参加申し込みや寄付方法の詳細は、生命の駅伝のホームページへ。（問）実行委＝

がん研究を支援する
生命の駅伝



中日新聞【三重版】2023年5月16日

がんとの闘い つないで応援

「生命の駅伝」県内走り寄付集める

生命の駅伝で走るランナーたち＝朝日町縄生の町屋橋で

がん研究への寄付を集めながら県内二十九市町を走って巡る「生命（いのち）の駅伝」が十五日に始まり、十六日は桑名市、朝日町、川越町、四日市市を医師らがたすきリレーした。がん検診を受けるよう、沿道の人への呼びかけもした。

十六日は桑名市役所からスタート。市役所と県桑名保健所、市総合医療センターに置いていた募金箱三つをランナーに手渡した。「がんと闘う人や医療従事者を応援していきたい」と伊藤徳宇市長があいさつし、自身もランナーとして参加した。

生命の駅伝は三十日に松阪市でゴールする。有志でつくる実行委員会が企画し、二十九回目。県内二百カ所ほどに募金箱が設置されており、集まった寄付は三重大医学部のがん研究などに使われるという。（大島康介）

Photograph

辻製油株式会社
〜生命（いのち）の駅伝〜

2023

2023

29

第29回

がん研究を支援する

生命（いのち）の駅伝

報告書

2023年5月15日▶30日

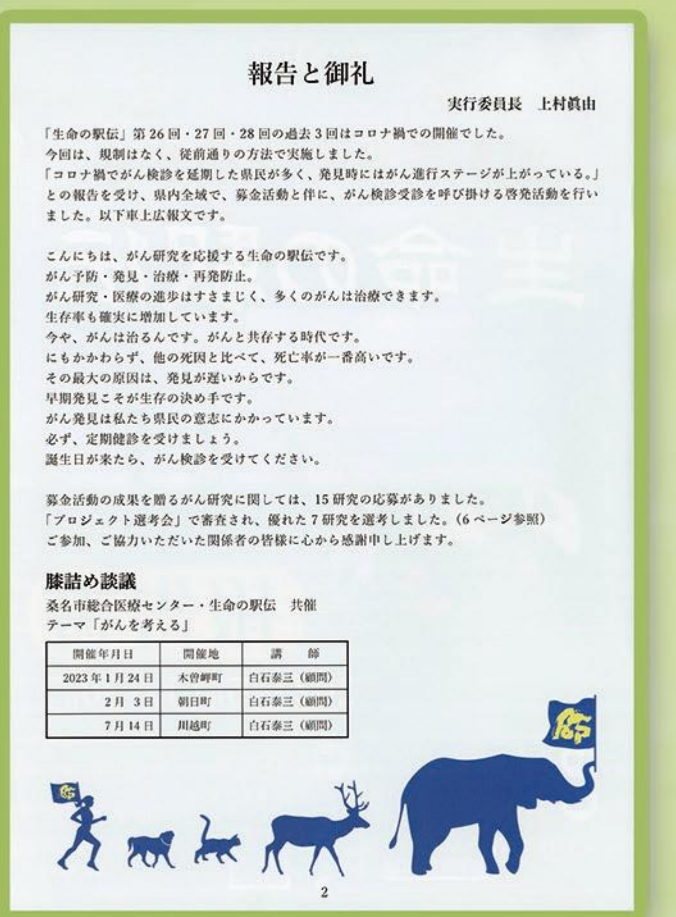
主催 生命の駅伝の会　**共催** 三重大学

後援 三重県・（公社）三重県医師会・（一社）三重県病院協会
（公社）松阪地区医師会・金つなぎの会（がん患者の会）・I'rie Life（がん患者の会）

http://ekidenforlife.com

生命の駅伝　検索

撮影：嶋岡 恭司



報告と御礼

実行委員長　上村眞由

「生命の駅伝」第26回・27回・28回の過去3回はコロナ禍での開催でした。
今回は、規制はなく、従前通りの方法で実施しました。
「コロナ禍でがん検診を延期した県民が多く、発見時にはがん進行ステージが上がっている。」
との報告を受け、県内全域で、募金活動と伴に、がん検診受診を呼び掛ける啓発活動を行いました。以下車上広報文です。

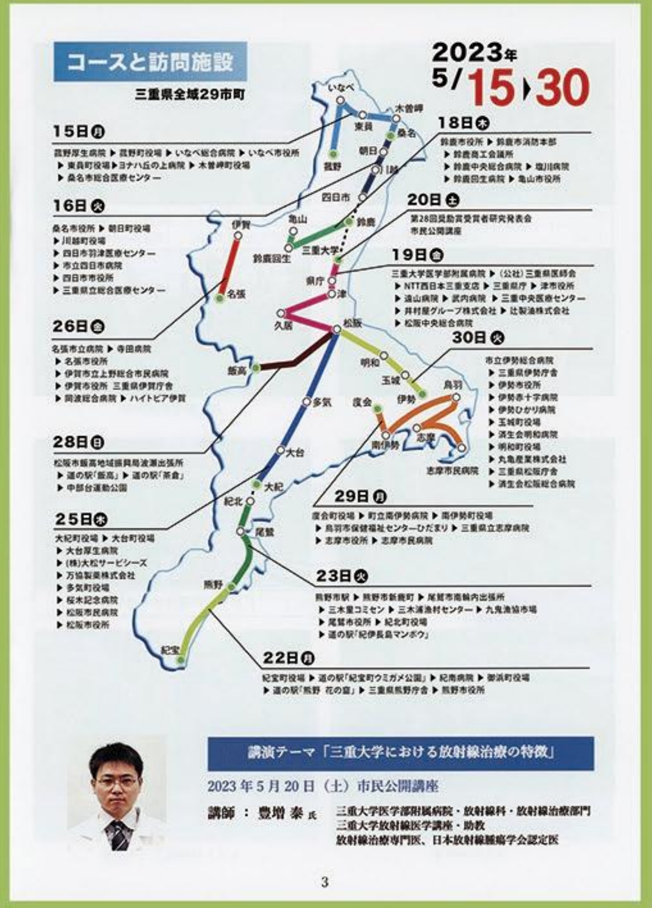
こんにちは、がん研究を応援する生命の駅伝です。
がん予防・発見・治療・再発防止。
がん研究・医療の進歩はすさまじく、多くのがんは治療できます。
生存率も確実に増加しています。
今や、がんは治るんです。がんと共存する時代です。
にもかかわらず、他の死因と比べて、死亡率が一番高いです。
その最大の原因は、発見が遅いからです。
早期発見こそが生存の決め手です。
がん発見は私たち県民の意志にかかっています。
必ず、定期健診を受けましょう。
誕生日が来たら、がん検診を受けてください。

募金活動の成果を贈るがん研究に関しては、15研究の応募がありました。
「プロジェクト選考会」で審査され、優れた7研究を選考しました。（6ページ参照）
ご参加、ご協力いただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

膝詰め談議

桑名市総合医療センター・生命の駅伝　共催
テーマ「がんを考える」

開催年月日	開催地	講　師
2023年1月24日	木曽岬町	白石泰三（顧問）
2月　3日	朝日町	白石泰三（顧問）
7月14日	川越町	白石泰三（顧問）



コースと訪問施設

三重県全域29市町

2023年
5/15▶30

15日（月）
菰野厚生病院 ▶ 菰野町役場 ▶ いなべ総合病院 ▶ いなべ市役所
▶ 東員町役場 ▶ ヨナハ丘の上病院 ▶ 木曽岬町役場
▶ 桑名市総合医療センター

16日（火）
桑名市役所 ▶ 朝日町役場
▶ 川越町役場
▶ 四日市羽津医療センター
▶ 市立四日市病院
▶ 四日市市役所
▶ 三重県立総合医療センター

18日（木）
鈴鹿市役所 ▶ 鈴鹿市消防本部
▶ 鈴鹿商工会議所
▶ 鈴鹿中央総合病院 ▶ 塩川病院
▶ 鈴鹿回生病院 ▶ 亀山市役所

20日（土）
第28回奨励賞受賞者研究発表会
市民公開講座

19日（金）
三重大学医学部附属病院 ▶（公社）三重県医師会
▶ NTT西日本三重支店 ▶ 三重県庁 ▶ 津市役所
▶ 遠山病院 ▶ 武内病院 ▶ 三重中央医療センター
▶ 井村屋グループ株式会社 ▶ 辻製油株式会社
▶ 松阪中央総合病院

26日（金）
名張市立病院 ▶ 寺田病院
▶ 名張市役所
▶ 伊賀市立上野総合市民病院
▶ 伊賀市役所 三重県伊賀庁舎
▶ 岡波総合病院 ▶ ハイトピア伊賀

30日（火）
市立伊勢総合病院
▶ 三重県伊勢庁舎
▶ 伊勢市役所
▶ 伊勢赤十字病院
▶ 伊勢ひかり病院
▶ 玉城町役場
▶ 済生会明和病院
▶ 明和町役場
▶ 丸亀産業株式会社
▶ 三重県松阪庁舎
▶ 済生会松阪総合病院

28日（日）
松阪市飯高地域振興局波瀬出張所
▶ 道の駅「飯高」▶ 道の駅「茶倉」
▶ 中部台運動公園

29日（月）
度会町役場 ▶ 町立南伊勢病院 ▶ 南伊勢町役場
▶ 鳥羽市保健福祉センターひだまり ▶ 三重県立志摩病院
▶ 志摩市役所 ▶ 志摩市民病院

25日（木）
大紀町役場 ▶ 大台町役場
▶ 大台厚生病院
▶（株）大松サービシーズ
▶ 万協製薬株式会社
▶ 多気町役場
▶ 桜木記念病院
▶ 松阪市民病院
▶ 松阪市役所

23日（火）
熊野市駅 ▶ 熊野市新鹿町 ▶ 尾鷲市南輪内出張所
▶ 三木里コミセン ▶ 三木浦漁村センター ▶ 九鬼漁協市場
▶ 尾鷲市役所 ▶ 紀北町役場
▶ 道の駅「紀伊長島マンボウ」

22日（月）
紀宝町役場 ▶ 道の駅「紀宝町ウミガメ公園」▶ 紀南病院 ▶ 御浜町役場
▶ 道の駅「熊野 花の窟」▶ 三重県熊野庁舎 ▶ 熊野市役所

講演テーマ「三重大学における放射線治療の特徴」

2023年5月20日（土）市民公開講座

講師：豊増 泰 氏　三重大学医学部附属病院・放射線科・放射線治療部門
三重大学放射線医学講座・助教
放射線治療専門医、日本放射線腫瘍学会認定医

大台町

スナックちょう（尾鷲市三木浦町）

井村屋グループ株式会社

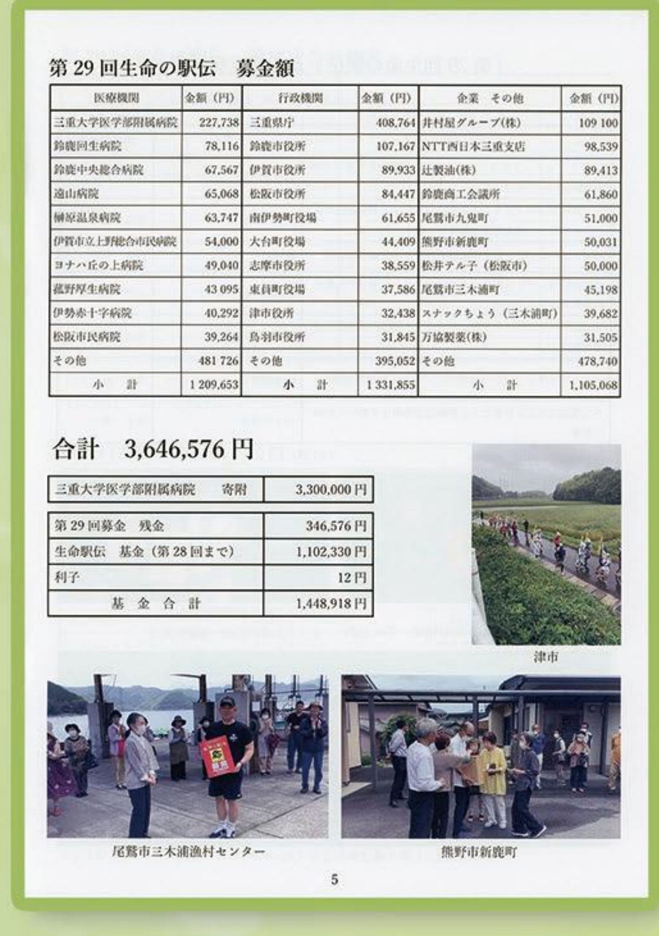
丸亀産業株式会社

玉城町役場

三重中央医療センターで昼食

松阪市内

辻製油株式会社



第29回生命の駅伝　募金額

医療機関	金額（円）	行政機関	金額（円）	企業　その他	金額（円）
三重大学医学部附属病院	227,738	三重県庁	408,764	井村屋グループ(株)	109 100
鈴鹿回生病院	78,116	鈴鹿市役所	107,167	NTT西日本三重支店	98,539
鈴鹿中央総合病院	67,567	伊賀市役所	89,933	辻製油(株)	89,413
遠山病院	65,068	松阪市役所	84,447	鈴鹿商工会議所	61,860
榊原温泉病院	63,747	南伊勢町役場	61,655	尾鷲市九鬼町	51,000
伊賀市立上野総合市民病院	54,000	大台町役場	44,409	熊野市新鹿町	50,031
ヨナハ丘の上病院	49,040	志摩市役所	38,559	松井テル子（松阪市）	50,000
菰野厚生病院	43 095	東員町役場	37,586	尾鷲市三木浦町	45,198
伊勢赤十字病院	40,292	津市役所	32,438	スナックちょう（三木浦町）	39,682
松阪市民病院	39,264	鳥羽市役所	31,845	万協製薬(株)	31,505
その他	481 726	その他	395,052	その他	478,740
小　計	1 209,653	小　計	1 331,855	小　計	1,105,068

合計　3,646,576円

三重大学医学部附属病院　寄附	3,300,000円

第29回募金　残金	346,576円
生命駅伝　基金（第28回まで）	1,102,330円
利子	12円
基　金　合　計	1,448,918円

津市

尾鷲市三木浦漁村センター

熊野市新鹿町

「第29回生命の駅伝」がん研究奨励賞

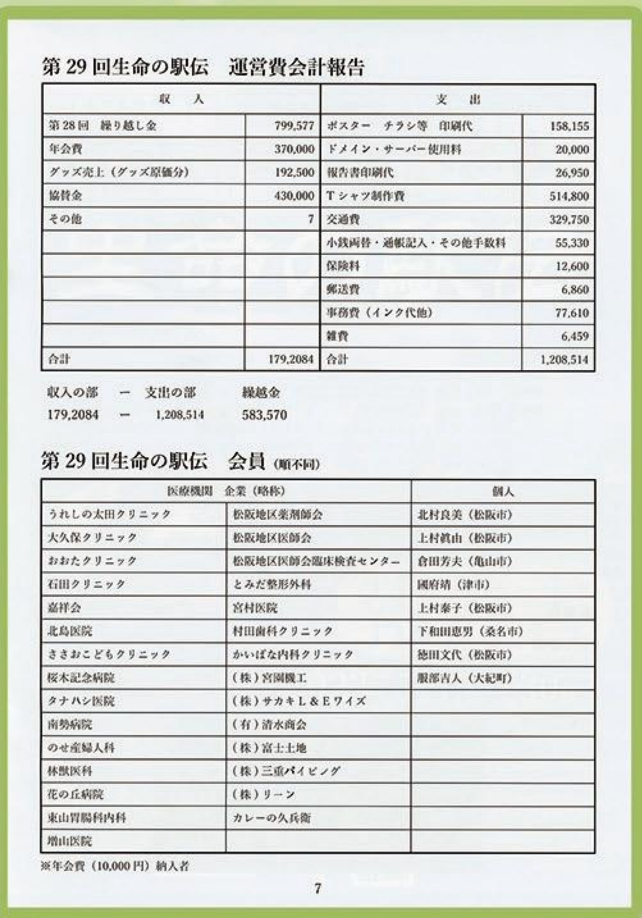
（申請件数　15件　採択件数　7件）

プロジェクト名	所属名	研究代表者
CpGアジュバントを用いたがん浸潤　転移のがん悪性化制御治療薬の研究開発	個別化がん免疫治療学講座	百瀬　文康
ヒト変異EGFR TGマウスを用いたNETsのがん進展におけるエピゲノムおよび細菌叢解析	ゲノム診療科	藤原　拓海
ホモロジー解析による前立腺癌の診断支援に関する研究	病理部	内田　克典
悪性脳腫瘍における尿中バイオマーカーを利用した再発早期発見システムの開発	脳神経外科	北野　詳太郎
胆道癌に対する標準科学療法がもたらす腫瘍内微小環境変化の探索	消化器　肝臓内科	藤原　直人
ユビキチン様分子ISG15の膵がんにおける作用機構解析	統合薬理学	西村　有平
がん関連血栓症を対象とする腫瘍循環器精密医療研究体制の構築	分子生理学	坂東　泰子

実行委員 下和田恵男から
三重大学医学部附属病院 鈴木副病院長へ寄附金贈呈

三重大学医学部附属病院から
実行委員 北村良美へ感謝状贈呈

第29回がん研究奨励賞受賞者（※坂東泰子氏は代理）



第29回生命の駅伝　運営費会計報告

収　入		支　出	
第28回　繰り越し金	799,577	ポスター　チラシ等　印刷代	158,155
年会費	370,000	ドメイン・サーバー使用料	20,000
グッズ売上（グッズ原価分）	192,500	報告書印刷代	26,950
協賛金	430,000	Tシャツ制作費	514,800
その他	7	交通費	329,750
		小銭両替・通帳記入・その他手数料	55,330
		保険料	12,600
		郵送費	6,860
		事務費（インク代他）	77,610
		雑費	6,459
合計	179,2084	合計	1,208,514

収入の部	－	支出の部	繰越金
179,2084	－	1,208,514	583,570

第29回生命の駅伝　会員（順不同）

医療機関　企業（略称）		個人
うれしの太田クリニック	松阪地区薬剤師会	北村良美（松阪市）
大久保クリニック	松阪地区医師会	上村眞由（松阪市）
おおたクリニック	松阪地区医師会臨床検査センター	倉田芳夫（亀山市）
石田クリニック	とみだ整形外科	國府靖（津市）
嘉祥会	宮村医院	上村泰子（松阪市）
北島医院	村田歯科クリニック	下和田恵男（桑名市）
ささおこどもクリニック	かいばな内科クリニック	徳田文代（松阪市）
桜木記念病院	（株）宮岡機工	服部吉人（大紀町）
タナハシ医院	（株）サカキL＆Eワイズ	
南勢病院	（有）清水商会	
のせ産婦人科	（株）富士土地	
林獣医科	（株）三重パイピング	
花の丘病院	（株）リーン	
東山胃腸科内科	カレーの久兵衛	
増山医院		

※年会費（10,000円）納入者

協賛（運営費支援）

井村屋グループ 100,000円	辻製油株式会社 100,000円	三重県厚生連 JA MieKoseiren 100,000円
万協製薬株式会社 50,000円	丸亀産業株式会社 50,000円	一般社団法人 三重県病院協会 30,000円

協力
・がん患者の会
金つなぎの会（名張市）
アイリーライフ（桑名市）
なごみの会（熊野）
嶋岡恭司（広報写真）
中辻知子（広報アナウンス）
（有）出口自動車修理所
カレーの久兵衛（食事提供）
おにぎりの桃太郎（食事提供）
・山林舎（食事提供）
キッチンひなた（食事提供）

主催　生命の駅伝の会

会長	太田　正隆	おおたクリニック院長
副会長	玉置　久雄	松阪中央総合病院名誉院長
顧問	田島　和雄	洗心福祉会美杉クリニック院長　愛知県がんセンター名誉研究所長
	竹田　寛	桑名市総合医療センター理事長兼総括病院長　三重県病院協会理事長
	白石　泰三	桑名市総合医療センター副理事長
	広野　光子	金つなぎの会代表
	中瀬　一則	南勢病院副院長　元）三重大学医学部附属病院がんセンター長
	野本　由人	三重大学医学系研究科放射線治療腫瘍学講座教授
	下村　誠	三重中央医療センター院長
	江角　浩安	志摩市民病院医師　元）国立がんセンター東病院長
	伊藤　正明	三重大学 学長
	伊佐地秀司	三重大学名誉教授　松阪市民病院顧問　ヨナハ丘の上病院顧問

（就任順）

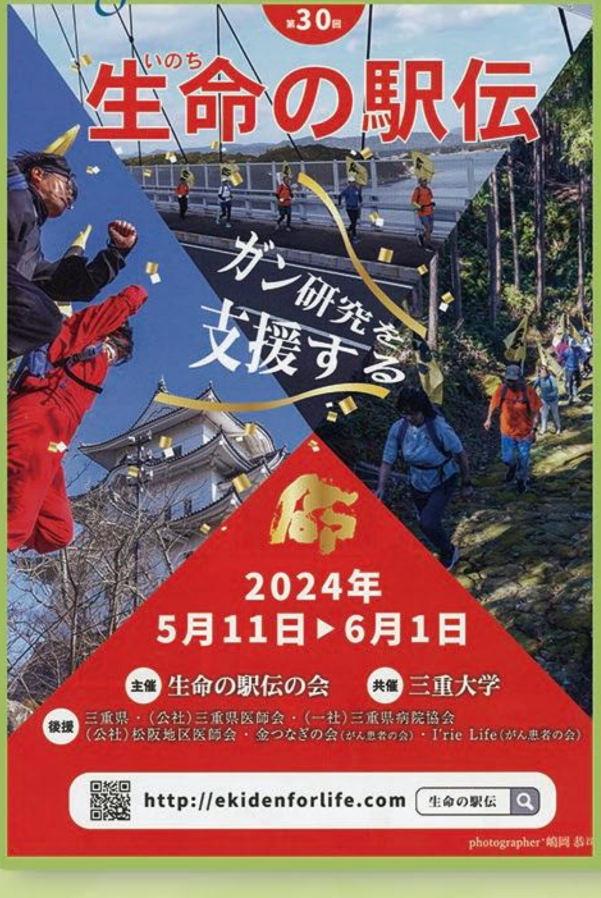
事務局　上村　眞由　三重県松阪市鎌田町732

実行委員

伊藤　文雄	伊藤　恵美	岩崎　紀之	上窪　英男	上村　幸生
上村　泰子	北川　明	小林　育夫	北村　良美	倉田　芳夫
下和田恵男	田牧　慎也	玉津　恭史	中上　修	松田　宏和
三宅　篤志	村上智恵美	森川　道雄	山本　泰宏	（五十音順）

〜生命（いのち）の駅伝〜
EKIDEN FOR LIFE

Program


第30回
いのち
生命の駅伝
ガン研究を支援する

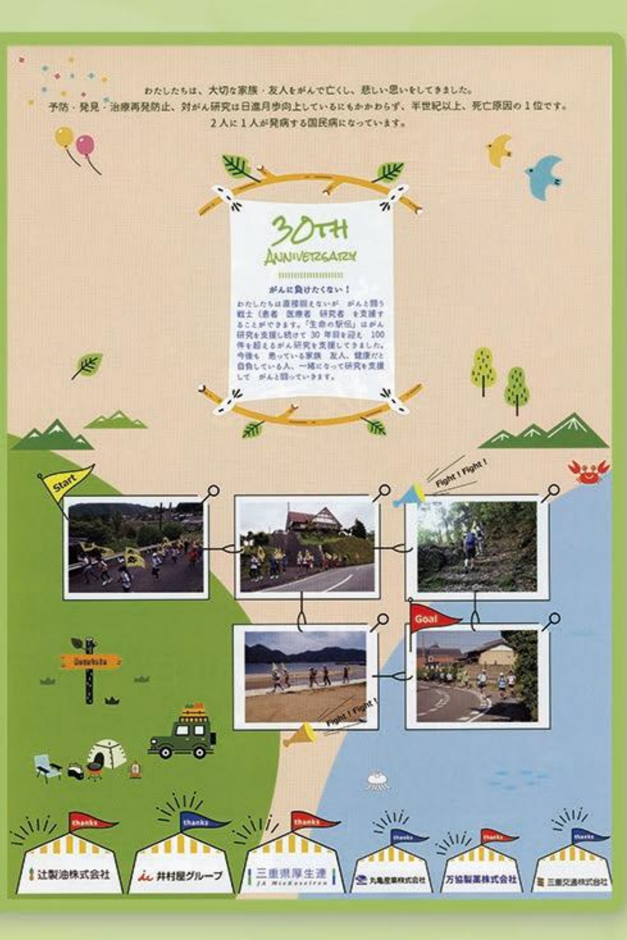
2024年
5月11日▶6月1日

主催 生命の駅伝の会　**共催** 三重大学

後援 三重県・（公社）三重県医師会・（一社）三重県病院協会
（公社）松阪地区医師会・金つなぎの会（がん患者の会）・I'rie Life（がん患者の会）

http://ekidenforlife.com　生命の駅伝

photographer･嶋岡 恭


わたしたちは、大切な家族・友人をがんで亡くし、悲しい思いをしてきました。
予防・発見・治療再発防止、対がん研究は日進月歩向上しているにもかかわらず、半世紀以上、死亡原因の１位です。
２人に１人が発病する国民病になっています。

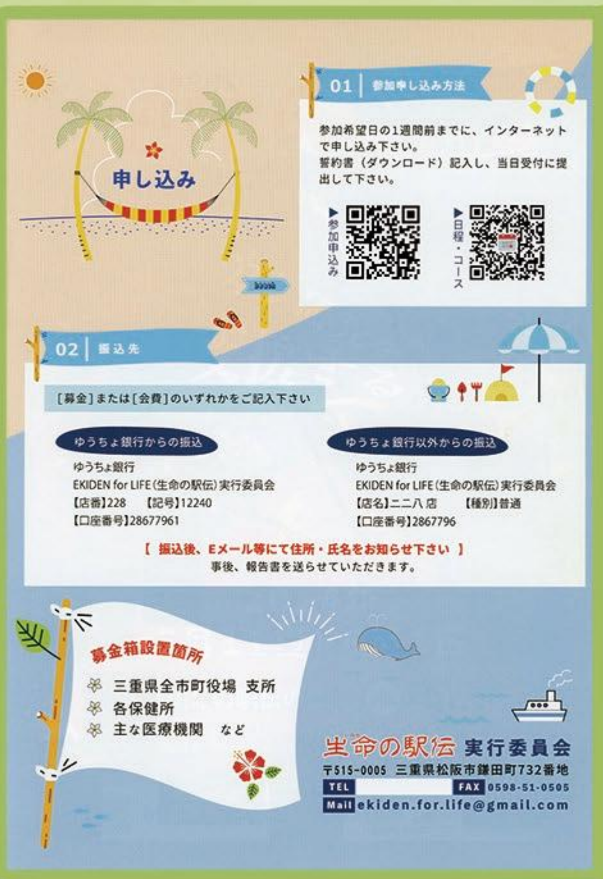
30TH ANNIVERSARY

がんに負けたくない！

わたしたちは直接闘えないが、がんと闘う戦士（患者、医療者、研究者）を支援することができます。「生命の駅伝」はがん研究を支援し続けて30年目を迎え、100件を超えるがん研究を支援してきました。今後も、患っている家族、友人、健康だと自負している人、一緒になって研究を支援して、がんと闘っていきます。

Start
Fight！Fight！
Goal
Fight！Fight！
thanks

辻製油株式会社　井村屋グループ　三重県厚生連 JA MieKouseiren　丸亀産業株式会社　万協製薬株式会社　三重交通株式会社



01　参加申し込み方法

参加希望日の1週間前までに、インターネットで申し込み下さい。
誓約書（ダウンロード）記入し、当日受付に提出して下さい。

▶参加申込み　▶日程・コース

02　振込先

［募金］または［会費］のいずれかをご記入下さい

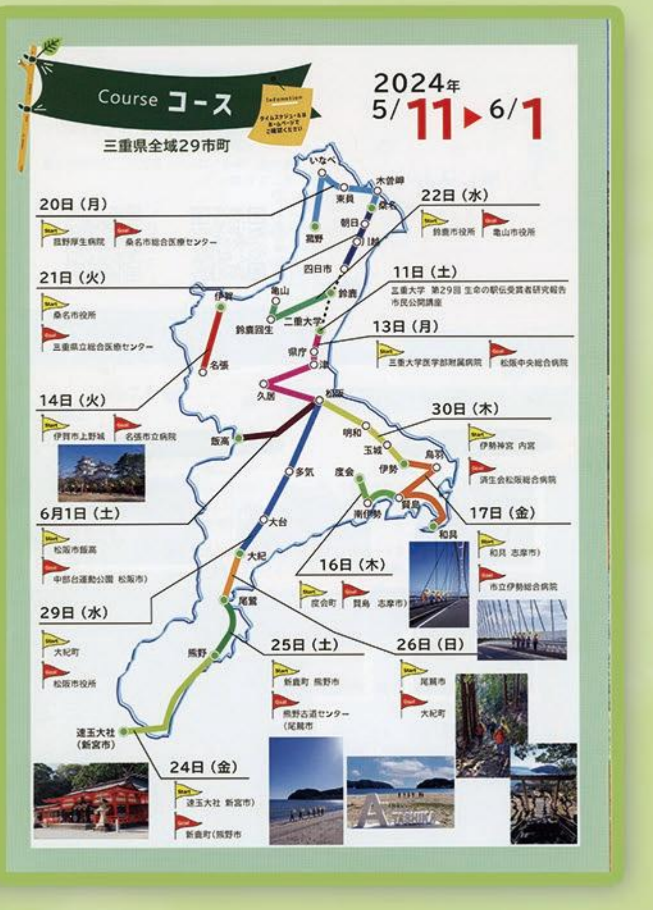
ゆうちょ銀行からの振込
ゆうちょ銀行
EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）実行委員会
【店番】228　【記号】12240
【口座番号】28677961

ゆうちょ銀行以外からの振込
ゆうちょ銀行
EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）実行委員会
【店名】二二八 店　【種別】普通
【口座番号】2867796

【 振込後、Eメール等にて住所・氏名をお知らせ下さい 】
事後、報告書を送らせていただきます。

募金箱設置箇所
- 三重県全市町役場 支所
- 各保健所
- 主な医療機関　など

生命の駅伝 実行委員会
〒515-0005 三重県松阪市鎌田町732番地
TEL　FAX 0598-51-0505
Mail ekiden.for.life@gmail.com


Course コース

三重県全域29市町

2024年
5/11▶6/1

20日（月）
Start 菰野厚生病院　Goal 桑名市総合医療センター

21日（火）
Start 桑名市役所　Goal 三重県立総合医療センター

14日（火）
Start 伊賀市上野城　Goal 名張市立病院

6月1日（土）
Start 松阪市飯高　Goal 中部台運動公園（松阪市）

29日（水）
Start 大紀町　Goal 松阪市役所

22日（水）
Start 鈴鹿市役所　Goal 亀山市役所

11日（土）
三重大学 第29回 生命の駅伝受賞者研究報告
市民公開講座

13日（月）
Start 三重大学医学部附属病院　Goal 松阪中央総合病院

30日（木）
Start 伊勢神宮 内宮　Goal 済生会松阪総合病院

17日（金）
Start 和具（志摩市）　Goal 市立伊勢総合病院

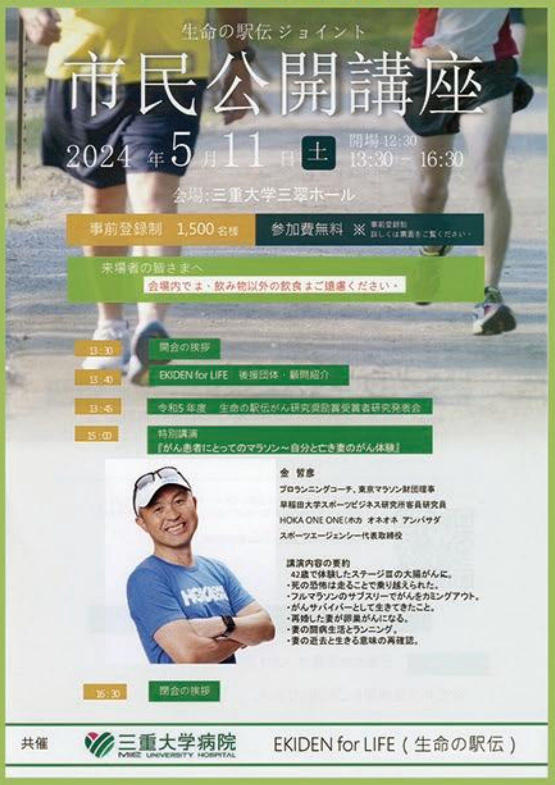
16日（木）
Start 度会町　Goal 賢島（志摩市）

25日（土）
Start 新鹿町（熊野市）　Goal 熊野古道センター（尾鷲市）

26日（日）
Start 尾鷲市　Goal 大紀町

24日（金）
Start 速玉大社（新宮市）　Goal 新鹿町（熊野市）

Public lecture


生命の駅伝 ジョイント

市民公開講座

2024年5月11日（土）開場12:30
13:30 ～ 16:30

会場：三重大学三翠ホール

事前登録制　1,500名様　参加費無料　※事前登録制 詳しくは裏面をご覧ください。

来場者の皆さまへ
会場内では、飲み物以外の飲食はご遠慮ください。

13:30　開会の挨拶
13:40　EKIDEN for LIFE　後援団体・顧問紹介
13:45　令和5年度　生命の駅伝がん研究奨励賞受賞者研究発表会
15:00　特別講演『がん患者にとってのマラソン～自分と亡き妻のがん体験』

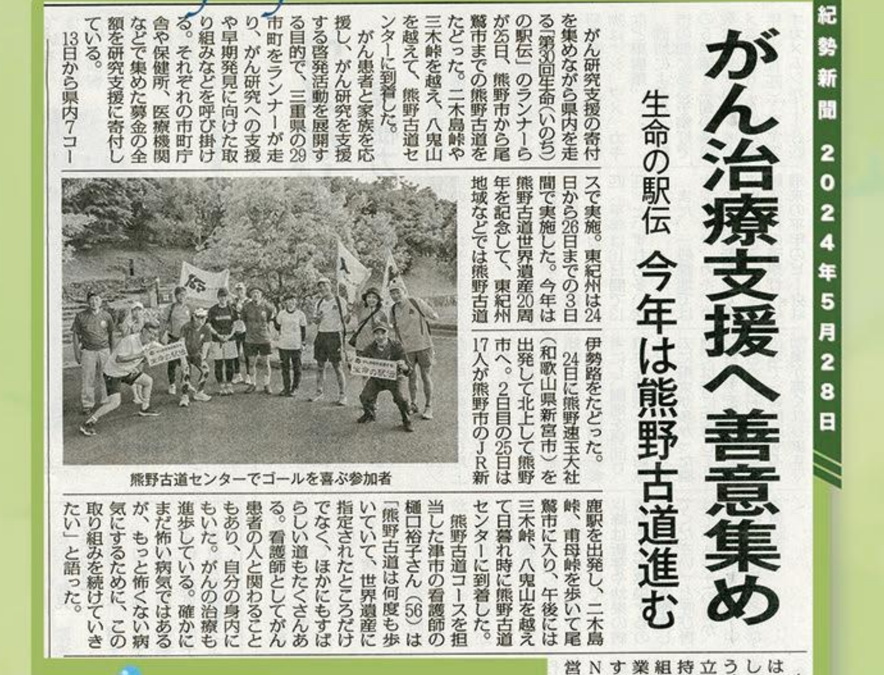
金 哲彦
プロランニングコーチ、東京マラソン財団理事
早稲田大学スポーツビジネス研究所客員研究員
HOKA ONE ONE（ホカ オネオネ）アンバサダ
スポーツエージェンシー代表取締役

講演内容の要約
42歳で体験したステージⅢの大腸がんに。
・死の恐怖は走ることで乗り越えられた。
・フルマラソンのサブスリーでがんをカミングアウト。
・がんサバイバーとして生きてきたこと。
・再婚した妻が卵巣がんになる。
・妻の闘病生活とランニング。
・妻の逝去と生きる意味の再確認。

16:30　閉会の挨拶

共催　三重大学病院 MIE UNIVERSITY HOSPITAL　EKIDEN for LIFE（生命の駅伝）

Newspaper article


紀勢新聞　2024年5月28日

がん治療支援へ善意集め

生命の駅伝　今年は熊野古道進む

がん研究支援の寄付を集めながら県内を走る「第30回生命（いのち）の駅伝」のランナーらが25日、熊野市から尾鷲市までの熊野古道をたどった。二木島峠や三木峠を越え、八鬼山を越えて、熊野古道センターに到着した。

がん患者と家族を応援し、がん研究を支援する啓発活動を展開する目的で、三重県の29市町をランナーが走り、がん研究への支援や早期発見に向けた取り組みなどを呼び掛ける。それぞれの市町庁舎や保健所、医療機関などで集めた募金の全額を研究支援に寄付している。

13日から県内7コースで実施。東紀州は24日から26日までの3日間で実施した。今年は熊野古道世界遺産20周年を記念して、東紀州地域などでは熊野古道伊勢路をたどった。

24日に熊野速玉大社（和歌山県新宮市）を出発して北上して熊野市へ。2日目の25日は17人が熊野市のJR新鹿駅を出発し、二木島峠、甫母峠を歩いて尾鷲市に入り、午後には三木峠、八鬼山を越えて日暮れ時に熊野古道センターに到着した。

熊野古道コースを担当した津市の看護師の樋口裕子さん（56）は「熊野古道は何度も歩いていて、世界遺産に指定されたところだけでなく、ほかにもすばらしい道もたくさんある。看護師としてがん患者の人と関わることもあり、自分の身内にもいた。がんの治療も進歩している。確かにまだ怖い病気ではあるが、もっと怖くない病気にするために、この取り組みを続けていきたい」と語った。

上村真由代表（81）は「みなさんの善意をしっかり伝えられるよう、走る人も社会に役立っていると自負心を持って高い意識で取り組んでいる。今後は企業からの寄付を受けやすく、継続するためにNPO法人化しての運営を検討している」と話した。

翌朝の26日には、同センターで尾鷲市の出発式があり、山口修史市福祉保健課長、竹平専作尾鷲総合病院事務局長、宮本秀男熊野古道センター長が、市役所や総合病院、熊野古道センターに設置していた募金箱を手渡した。

熊野古道センターでゴールを喜ぶ参加者

Photograph

飯高　林業総合センター
〜生命の駅伝〜

2024

2024

30

第30回

いのち
生命の駅伝

がん研究を支援する

報告書

2024年
5月11日▶6月1日

主催 生命の駅伝の会　共催 三重大学

後援 三重県・（公社）三重県医師会・（一社）三重県病院協会
（公社）松阪地区医師会・金つなぎの会（がん患者の会）・I'rie Life（がん患者の会）

http://ekidenforlife.com　生命の駅伝

photographer 嶋岡 恭司　designer 川合 容子

報告と御礼

実行委員長　上村眞由

第1回～第13回「Terry Fox Run」、募金支援先は Terry Fox 財団（カナダ）と愛知県がんセンター。第14回～第30回「生命の駅伝」のがん研究支援イベントを開催してきました。活動成果として、これまでの募金総額は５４，３５４，９２４円。募金支援先は三重大学医学部附属病院 91 研究、和歌山県立医科大学 5 回、大阪成人病センター 3 回、奈良県立医科大学、チャイルド・ケモ・ハウス（大阪府 NPO 法人小児がんセンター）1 回。

第 26・27・28 回はコロナ禍中での実施でしたが、「がん検診率が激減していて、早期発見が難しい。」と顧問の先生方から聞き、がん検診推進を街宣しながら実施しました。勿論、万全の感染防止対策をしての実施で、幸いにも発病者は出ませんでした。

第 30 回のロードランは 13 日間で 77 ヶ所の行政機関・医療機関・企業等を訪問し、温かい送迎を受けました。11 自治体の首長がランに参加しました。ロードランの他、対がんシンポジウム 8 回、膝詰め談議 18 回、市民公開講座（三重大学病院と共催）14 回を重ねてきました。

私たちの活動基本方針、①ボランティア活動で②募金は全てがん研究支援に③活動資金は会費と協賛金で賄う、を守って実施してきました。

また、近年、がんと闘っている患者・がん罹患体験者・その家族の方々の本活動への理解が深まってきたように感じます。こうした皆様の切実な願いから多額の募金協力等もあり、第 30 回の募金は、過去最高額となりました。

皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。

募金活動の成果を贈るがん研究に関しては、今回 15 研究の応募がありました。
「プロジェクト選考会」で審査され、優れた 5 研究を選考しました。（6 ページ参照）
ご参加、ご協力いただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

膝詰め談議（2024 年度）

開催年月日	開催地	講　師
2024 年 1 月 16 日	菰野町	白石泰三（顧問）
4 月 6 日	熊野市	白石泰三（顧問）
4 月 6 日	御浜町	田島和雄（顧問）、加藤弘幸（紀南病院）
4 月 13 日	大台町	伊佐地秀司（顧問）、松島康（大台町報徳診療所）
4 月 14 日	松阪市飯南町	伊佐地秀司（顧問）

2

第 30 回生命の駅伝　募金額

医療機関	金額（円）	行政機関	金額（円）	企業	金額（円）
桑名市総合医療センター	320,297	三重県庁	427,065	井村屋グループ(株)	131,500
遠山病院	126,489	尾鷲市役所	106,929	NTT西日本三重支店	109,466
鈴鹿回生病院	100,957	鈴鹿市役所	104,398	丸亀産業(株)	96,813
三重大学医学部附属病院	90,400	松阪市役所	80,000	万協製薬(株)	61,010
松阪中央総合病院	81,441	名張市役所	61,678	辻製油(株)	43,742
上野総合市民病院	60,313	津市役所	56,583	その他企業	93,490
三重県医師会	53 000	南伊勢町役場	55,805	その他	金額（円）
ヨナハ丘の上病院	52,499	志摩市役所	49,332	スナックちょう（三木浦町）	89,263
済生会松阪総合病院	50,710	熊野市役所	45,384	尾鷲市九鬼町	68,210
三重県立総合医療センター	40,790	大台町役場	40 737	松井テル子（松阪市）	50,000
その他	576,707	その他	439,486	尾鷲市三木浦町	38,751
				熊野市新鹿町	35,490
				その他（沿道・参加費等）	539,761
小　計	1,553,603	小　計	1,467,397	小　計	1,357,496

合計　4,378,496 円

井村屋グループ株式会社

辻製油株式会社

万協製薬株式会社

丸亀産業株式会社

5

「第 30 回生命の駅伝」がん研究奨励賞

（申請件数　15 件　採択件数　5 件）

プロジェクト名	所属名	研究代表者	寄付額
リンパ管を標的とする革新的悪性腫瘍治療薬の開発	修復再生病理学	丸山　和晃	100 万円
難治転移性がんに対するがん治療・再発抑制 T 細胞（CAR/TCR T）ワクチンの開発研究	個別化がん免疫治療学	百瀬　文康	100 万円
Total neoadjuvant therapy を施行した進行直腸癌の腫瘍学的予後予測に関する Multi Omics パネルの開発と検証	消化管小児外科	山下　真司	100 万円
乳癌マウスモデルを用いた抗腫瘍ワクチンによる腫瘍転移抑制効果の検討	病理部	小塚　祐司	100 万円
乳癌化学療法における自己毛髪ウィッグの有用性の検討	乳腺センター	木本　真緒	100 万円

繰り越し金（第 29 回まで）	1,448,918
第 30 回 募金	4,378,496
合計	5,827,414
三重大学医学部附属病院　寄附	▲ 5,000,000
繰り越し金	827,414

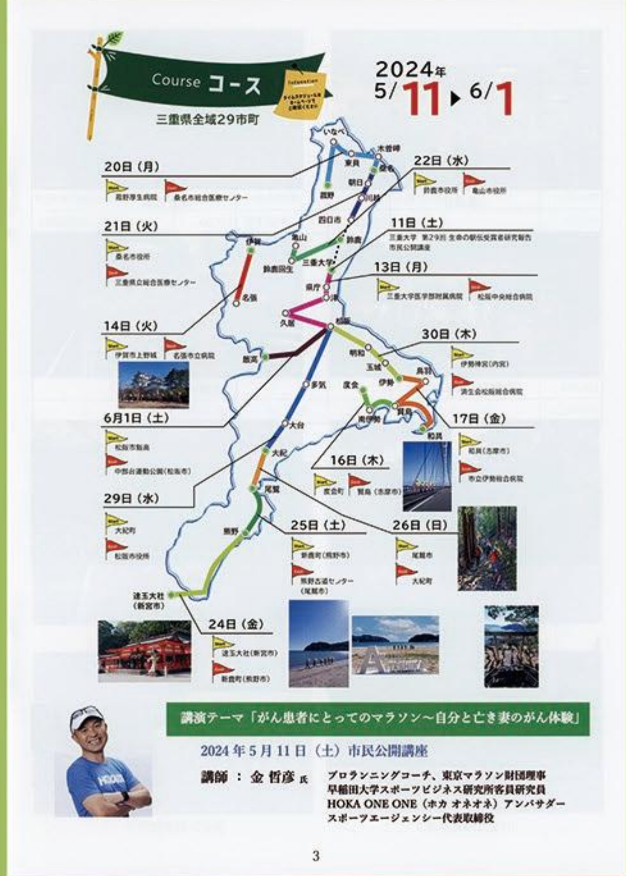
実行委員会から
三重大学医学部附属病院へ寄附金贈呈

三重大学医学部附属病院から
実行委員会へ感謝状贈呈

第 30 回がん研究奨励賞受賞者

受賞者の挨拶

6



講演テーマ「がん患者にとってのマラソン～自分と亡き妻のがん体験」

2024 年 5 月 11 日（土）市民公開講座

講師 ： 金 哲彦 氏　プロランニングコーチ、東京マラソン財団理事
早稲田大学スポーツビジネス研究所客員研究員
HOKA ONE ONE（ホカ オネオネ）アンバサダー
スポーツエージェンシー代表取締役

3

三重県庁

熊野古道

熊野古道センター

志摩パールブリッジ

伊賀上野城

桑名市役所

鈴鹿商工会議所

ヨナハ丘の上病院

スナックちょう（尾鷲市三木浦町）

4

第 30 回生命の駅伝　運営費会計報告

収　入		支　出	
第 29 回　繰り越し金	583,570	ポスター・チラシ等　印刷代	325,740
年会費	390,000	講演料	100,000
グッズ売上（グッズ原価分）	91,000	ドメイン　サーバー使用料	22,000
協賛金	480,000	報告書印刷代	28 050
その他	70,722	ランナーサポート　サポート車整備	77,514
		交通費	383,390
		小銭両替　通帳記入・その他手数料	56,870
		保険料	12,600
		郵送費	3,470
		事務費（インク代他）	61,032
		雑費	36,136
合計	1,615,292	合計	1,106,802

収入の部	支出の部	繰越金
1,615,292	1,106,802	508,490

第 30 回生命の駅伝　会員（順不同）

医療機関・企業（略称）		個人
松阪市民病院	東山胃腸科内科	北村良美（松阪市）
済生会松阪総合病院	増山医院	上村眞由（松阪市）
松阪中央総合病院	松阪地区薬剤師会	倉田芳夫（亀山市）
うれしの太田クリニック	松阪地区医師会	國府靖（津市）
大久保クリニック	とみだ整形外科	上村泰子（松阪市）
おおたクリニック	宮村医院	下和田恵男（桑名市）
石田クリニック	村田歯科クリニック	徳田文代（松阪市）
嘉祥会	かいばな内科クリニック	服部吉人（大紀町）
北島医院	（株）サカキＬ＆Ｅワイズ	東政徳（津市）
桜木記念病院	（株）富士土地	3 ぱっと理容店（松阪市）
タナハシ医院	（株）三重パイピング	中村陽子（伊勢市）
南勢病院	（株）リーン	広野光子（名張市）
林眼医科	カレーの久兵衛	
花の丘病院		

※年会費（10,000 円）納入者

7

協賛（運営費支援）

井村屋グループ 100,000 円	辻製油株式会社 100,000 円	三重県厚生連 JA MieKoseiren 100,000 円
万協製薬株式会社 50,000 円	丸亀産業株式会社 50,000 円	三重交通株式会社 50,000 円
三重県病院協会 30,000 円		

協力
- がん患者の会
  - 金つなぎの会（名張市）
  - I'rie LIFE（桑名市）
- 三重県立熊野古道センター
- 尾鷲鮫漕隊
- 中辻知子（広報アナウンス）
- （有）出口自動車修理所
- カレーの久兵衛（食事提供）
- 山林舎（食事提供）
  - キッチンひなた（食事提供）

主催　生命の駅伝の会

会長	太田　正隆	おおたクリニック院長
副会長	玉置　久雄	松阪中央総合病院名誉院長
顧問（就任順）	田島　和雄	洗心福祉会美杉クリニック院長　愛知県がんセンター名誉研究所長
	竹田　寛	桑名市総合医療センター理事長兼総括病院長　三重県病院協会理事長
	白石　泰三	桑名市総合医療センター副理事長
	広野　光子	金つなぎの会代表
	中瀬　一則	南勢病院副院長　元）三重大学医学部附属病院がんセンター長
	野本　由人	三重大学医学系研究科放射線治療腫瘍学講座教授
	下村　誠	三重中央医療センター院長
	江角　浩安	志摩市民病院医師　元）国立がんセンター東病院長
	伊藤　正明	三重大学 学長
	伊佐地秀司	三重大学名誉教授　松阪市民病院顧問　ヨナハ丘の上病院理事長

実行委員
◎実行委員長

伊藤　文雄	岩崎　紀之	上窪　英男	上村　幸生	◎上村　眞由
北川　明	北村　良美	楠谷　さゆり	倉田　芳夫	小林　育夫
下和田恵男	田中　宏樹	田牧　慎也	玉津　恭史	中上　修
中村　陽子	永井　繁男	樋口　裕子	松谷　実	松田　宏和
村上智恵美	森川　道雄	山本　泰広		（五十音順）

事務局　上村　泰子　三重県松阪市鎌田町 732

8

K.Design
デザイン：川合 容子 / 西井 有加里 / 松岡 里菜 / 木下 雅子

命
がん研究支援

生命の駅伝

〒515-0005 三重県松阪市鎌田町732
TEL 0598-51-3741
https://ekidenforlife.com